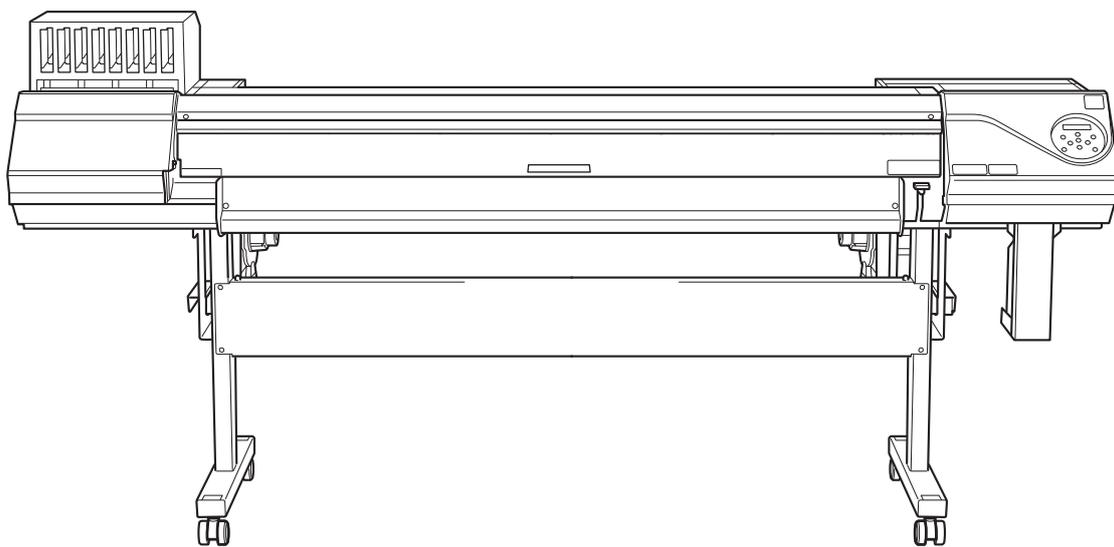


TrueVIS MG-640 / MG-300

ユーザーズマニュアル



このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

- 本製品を正しく安全にご使用いただくため、また性能を十分理解していただくために、本書を必ずお読みください。
- 本書の内容の一部または全部を、無断で複写・複製することはできません。
- 本製品の仕様ならびに本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- 本製品および本書の内容について、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたら、当社あてにご連絡ください。
- 本製品の故障の有無にかかわらず、本製品をお使いいただいたことによって生じた直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品により作られた製作物に対して生じた、直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

FA02997

<https://www.rolanddg.co.jp/>

R1-230126

Copyright © 2023 Roland DG Corporation

目次

基本的な扱い方	7
基本情報	8
各部の名称と機能.....	9
プリンター本体.....	9
操作パネル.....	14
表示画面.....	15
使用するメディアについて.....	16
メディアの種類について.....	16
使用可能なメディアの条件.....	17
メニュー表.....	18
メインメニュー.....	18
ファンクションメニュー.....	22
言語、単位選択メニュー.....	23
基本操作	24
電源の操作.....	25
電源オン.....	25
電源オフ.....	27
電源の操作に関するご注意.....	28
スリープモード（省電力機能）.....	29
メディアのセットアップ.....	30
ロールメディアのセットアップ.....	30
カットメディアのセットアップ.....	49
メディアの切り離し.....	62
設置後はじめにやること.....	63
インクの着弾位置のずれを詳細に調整する.....	63
出力前の確認.....	65
LAN（ローカルエリアネットワーク）の状態.....	65
インクの沈殿を防ぐ.....	65
出力の一時停止と中止.....	66
出力の一時停止と再開.....	66
出力の中止.....	66
インクカートリッジの交換.....	67
インクが無くなったときのお知らせ.....	67
インクの沈殿を防ぐ.....	67
出力方法	68
プリントの方法	69
プリント出力前の準備.....	70
1日のワークフローの確認.....	70
テストプリントとノーマルクリーニング.....	71
プリント出力.....	73
Step 1: プリントのための一括設定.....	73
Step 2: 出力の開始.....	82
カットの方法	84
カット出力前の準備.....	85
Step 1: メディアが無理に引っ張られないようにする.....	85
Step 2: カッティングの調整を実施する.....	86
カット出力.....	88
Step 1: カットのための一括設定.....	88
Step 2: 出力の開始.....	93

プリント&カットの方法	94
プリント&カット出力前の準備	95
Step 1: テストプリントとノーマルクリーニング	95
Step 2: カッティングの調整を実施する	97
プリント&カット出力.....	99
Step 1: プリント&カットのための一括設定.....	99
Step 2: 出力の開始.....	113
クロップ&カットの方法	115
クロップ&カット出力前の準備	116
クロップ&カットとは.....	116
Step 1: テストプリントとノーマルクリーニング	117
Step 2: カッティングの調整を実施する	119
クロップ&カット出力.....	121
Step 1: クロップ&カットのための一括設定.....	121
Step 2: クロップマーク付き出力の開始	134
Step 3: カット出力の準備.....	136
Step 4: カット出力の開始.....	140
品質と効率を最適化する	141
出力品質を最適化する	142
補正機能を使う	143
インクの着弾位置のずれを調整する	143
インクの着弾位置のずれを詳細に調整する	145
横すじを軽減する (送り補正機能)	147
メディアの性質に応じた設定.....	149
メディアの厚みにプリントヘッド高さを合わせる	149
透明なメディアを使用する	151
コシのないメディアを使用する	152
浮き上がりやすい/スムーズに動かないメディアを使用する	153
カッティングの設定を細かく調整する	154
カッティング条件を細かく設定する	154
切り込み量を細かく調整する	156
印刷面にカットするときの調整をする.....	157
カッティング時の距離補正をする.....	162
角をきれいにカットできるようにする (オーバーカット)	164
本機のカッティング設定をソフトウェア RIP の設定よりも優先させる.....	165
プリント&カットの設定を細かく調整する	166
印刷とカットのずれを補正する.....	166
カッティング動作中に印刷位置とカット位置のずれを補正する.....	170
クロップ&カットの設定を細かく調整する	172
クロップ&カットの位置を手動で合わせる	172
クロップ印刷とカットのずれを補正する (クロップ&カット同時テスト)	174
クロップ印刷とカットのずれを補正する (クロップ&カット分離テスト)	178
クロップマークの読み取りセンサーを補正する.....	184
メディアに合わせてクロップマークの読み取りセンサーをレベル調整する	187
クロップマークの読み取りセンサーレベルをリセットする	188
印刷中のクリーニングによる中断を回避する.....	189
印刷中に行われるクリーニングについて.....	189
作業効率を最適化する	192
プリセットを活用する.....	193
現在の設定をプリセットに保存する	193
プリセットを呼び出して出力する	195
出力開始位置を調整する	196
ベースポイントを設定する	196
出力時間を短縮する	198

幅のせまいメディアへの出力を速くする	198
メディア巻取装置を使用する	199
メディア巻取装置について	199
その他の便利な機能	200
テストプリントを横に並べて印刷する	200
業務管理を最適化する	201
業務を適切かつ効率的に管理する	202
現在日時を設定してメンテナンスに活用する	202
メディアの残量が表示されるようにする	203
メディア交換時に必ず残量表示を更新する	205
メディア残量を印刷する	206
インクが無くなったときの動作を決める	207
インクの使用期限切れを通知する	208
インクの使用期限を確認する	209
スリープモード（省電力機能）になるまでの時間を設定する	210
スリープモード（省電力機能）にならないようにする	211
プリンターの基本設定を管理する	212
表示言語と単位の設定	212
システム情報を確認する	213
すべての設定を工場出荷時の状態に戻す	214
メンテナンス	215
はじめに	216
取り扱いに際してのお願い	217
プリンター	217
インクカートリッジ	217
メンテナンスの基礎知識	218
メンテナンスの種類とタイミング	218
自動メンテナンス機能と注意事項	219
長期間使わないときの処置	220
レギュラーメンテナンス	221
機体の清掃	222
メディアの通り道の清掃	222
カッティングキャリッジのローラーの清掃	223
毎日必要なメンテナンス	224
インクカートリッジのメンテナンス	224
テストプリントとノーマルクリーニング	225
マニュアルクリーニング	227
月に1度以上必要なクリーニング	238
UV照射装置の清掃が必要なタイミング	238
UV照射装置の清掃方法	239
廃液の処理	244
廃液処理におけるご注意	245
廃液処理のメッセージが表示されたら	246
ハードメンテナンス	248
ノーマルクリーニングの効果がないうち	249
ミディアムクリーニングの方法	249
パワフルクリーニングの方法	251
マニュアルクリーニング	253
マニュアルクリーニングが必要なタイミング	253
マニュアルクリーニングの方法	254
ホワイトインクの色ムラが発生したとき	266
インク循環の方法	266

ライトチョーククリーニングの方法	267
ホワイティング以外の色ムラが発生したとき	269
ライトチョーククリーニングの方法	269
重度のドット抜け、ドットよれ、色むらへの対応	271
インク更新の方法	271
印刷に使用するプリントヘッドを部分的に制限する	274
応急処置) プrintヘッド表面のクリーニング	276
消耗部品の交換	277
メンテナンス用部品の交換	278
ワイパーの交換	278
フェルトワイパーの交換	282
刃物の交換	285
カッターの交換	285
セパレーティングナイフ (メディア切り離し用ナイフ) の交換	291
消耗部品、消耗品のお問い合わせについて	294
お客様ご自身でご購入、交換作業ができるもの	294
交換前にお問い合わせが必要なもの	294
トラブルへの対応方法	295
出力品質のトラブル	296
印刷が粗い／横すじが入る	297
プリントヘッドがドット抜けを起こしていませんか?	297
プリントヘッド高さは適切ですか?	297
送り補正はしてありますか?	297
インクの着弾位置補正 [メディアギャップホセイ] はしてありますか?	297
プリンターは水平で安定した場所に設置してありますか?	297
印刷モードは適切ですか?	298
メディアの取り付け方法は適切ですか?	298
[プリセット] メニューの設定は適切ですか?	298
印刷するとメディアが汚れる	299
プリントヘッドがメディアに当たっていませんか?	299
プリントヘッドが汚れていませんか?	299
ピンチローラーやメディアクランプが汚れていませんか?	299
色が安定しない／ムラになる	300
インクカートリッジを振ってから取り付けましたか?	300
メディアがしわになっていませんか?	300
印刷途中で一時停止しませんでしたか?	300
印刷中にクリーニングが行われていませんか?	300
プリンターは水平で安定した場所に設置してありますか?	300
メディアの取り付け方法は適切ですか?	300
動作条件を適切に設定してありますか?	301
[プリセット] メニューの設定は適切ですか?	301
UV 照射装置の照射窓は汚れていませんか?	301
カットがずれる／ゆがむ	302
メディアの取り付け方法は適切ですか?	302
カッティング条件の設定は適切ですか?	302
出力の長さが長すぎませんか?	302
伸縮の大きいメディアを使用していませんか?	302
[カッティングメニュー] の [キャリブレーション] は正しく設定されていますか?	302
ピンチローラーを適切な位置に配置していますか?	303
プリントとカットがずれる	304
プリントとカットのずれを補正しましたか?	304
クロップ&カットのトラブル	305
クロップマークの自動検出に失敗した	306
メディアに"しわ"や"ゆがみ"がありませんか?	306

メディアサイズが大きすぎませんか？	306
光が反射しやすいメディアを使っていませんか？	306
透明なメディアを使っていませんか？	306
プリントとカットがずれる	307
クロップ印刷とカットのずれを補正しましたか？	307
メディア送りのトラブル	308
メディアがしわになる／縮む	309
メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか？	309
メディアクランプは取り付けてありますか？	309
部屋の湿度が高すぎませんか？	309
使用しているメディアにたわみがありませんか？	309
メディアが斜行する	310
メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか？	310
メディア送りがなめらかでない	311
メディアが何かにぶつかったりしていませんか？	311
メディアが厚すぎませんか？	311
グリットローラーが汚れていませんか？	311
メディアが詰まった	312
エラーメッセージが表示されていませんか？	312
メディアが反ったりしわになったりしていませんか？	312
プリントヘッド高さが低すぎませんか？	312
グリットローラーが汚れていませんか？	312
メディアクランプは取り付けてありますか？	312
メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか？	312
メディアが何かにぶつかったりしていませんか？	313
メディアが厚すぎませんか？	313
機体のトラブル	314
プリントヘッドが動かない	315
はじめに行う処置	315
どうしても動かないときは	315
プリンター本体が動かない	317
電源がオンになっていますか？	317
[SETUP] が点灯していますか？	317
カバーが開いていませんか？	317
トップ画面が表示されていますか？	317
[PAUSE] が点灯していませんか？	317
画面にメッセージが表示されていませんか？	317
ケーブルが接続されていますか？	318
LAN のルーティングは適切ですか？	318
LAN の設定は正しいですか？	318
ソフトウェア RIP が異常終了していませんか？	318
インクがなくなっていないですか？	318
メディアの切り離しができない	319
セパレーティングナイフ（メディア切り離し用ナイフ）は取り付けてありますか？	319
カットレールは取り付けてありますか？	319
セットアップができない	320
マニュアルクリーニングを実施しましたか？	320
操作パネルのメッセージ	321
メッセージ	322
[1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8 ■]	322
[カバー ヲ トジテクダサイ]	322
[シート ヲ セット シテクダサイ]	322
[シート ガ ナクナリマシタ]	322
[ハイエキ ヲ ステテクダサイ]	322
[ハイエキ ガ マンタンデス ステテクダサイ]	322
[ハイエキボトル ヲ セットシテ クダサイ]	322

[フェルト コウカン ノ ジキデス]	323
[ヘッド ホゴモード ニ ハイリマス]	323
[メディアクランプ ヲ ハズシテクダサイ]	323
[メンテナンス ノ ジキデス]	323
[メンテナンス ガ ヒツヨウデス]	323
[ワイパー コウカン ノ ジキデス]	324
エラーメッセージ	325
[アラインポイント ノ イチガ フセイデス]	325
[インク ショウ キゲン ガ キレテイマス]	325
[クロップ マーク ガ ミツカリマセン]	325
[クロップマーク ヲ カケマセン シュツリョクヲツツケマスカ?]	325
[コウオンエラー： デンゲンライレナオシテクダサイ **° C]	326
[サービス コール ****]	326
[シート ガ タリマセン シュツリョクヲツツケマスカ?]	326
[シートセット エラー サイセット シテクダサイ]	326
[ティオンエラー： デンゲンライレナオシテクダサイ **° C]	326
[データ エラー キャンセル シテイマス..]	327
[ピンチローラ エラー ダウン サセテ クダサイ]	327
[ピンチローラ エラー ヒダリ (ミギ) ノ イチガ フセイデス]	327
[ピンチローラ エラー ミギカラ 2バンメ]	327
[フセイナ カートリッジ デス]	327
[ヘッド カンソウ ホゴノタメ テイシ シマシタ]	327
[ヘッドタカサ ヲ ニ シテクダサイ]	327
[ポンプ ホゴノタメ ドウサ ヲ テイシ シマシタ]	328
[モーターエラー：デンゲン ヲ イレナオシテ クダサイ]	328

付録..... 329

移送するときの作業..... 330

移送の準備をする.....	331
Step 1: メディアとカッターホルダーを取り外す	331
Step 2: インクを循環させる (ホワイトインクを使用している場合のみ)	333
Step 3: ワイパーの下に溜まったインクを除去する.....	334
Step 4: 廃液を捨てる.....	336
Step 5: プリントヘッドを固定具で固定する.....	337
Step 6: 再設置する.....	338

主な仕様..... 339

印刷／カッティング領域.....	340
最大領域.....	340
クロップマーク使用時の最大印刷領域.....	341
連続印刷時のメディア切り離し位置.....	342
カッターについて.....	343

Memo 344

この文書について.....	345
---------------	-----

基本的な扱い方

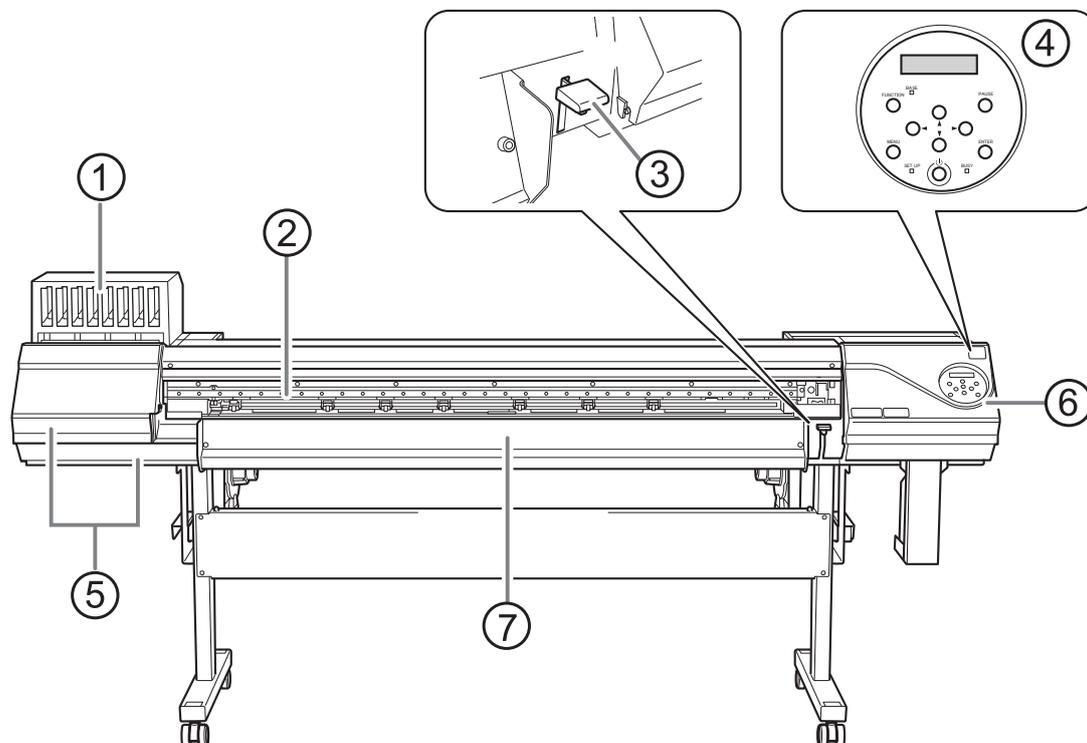
基本情報

各部の名称と機能.....	9
プリンター本体.....	9
操作パネル.....	14
表示画面.....	15
使用するメディアについて.....	16
メディアの種類について.....	16
使用可能なメディアの条件.....	17
メニュー表.....	18
メインメニュー.....	18
ファンクションメニュー.....	22
言語、単位選択メニュー.....	23

各部の名称と機能

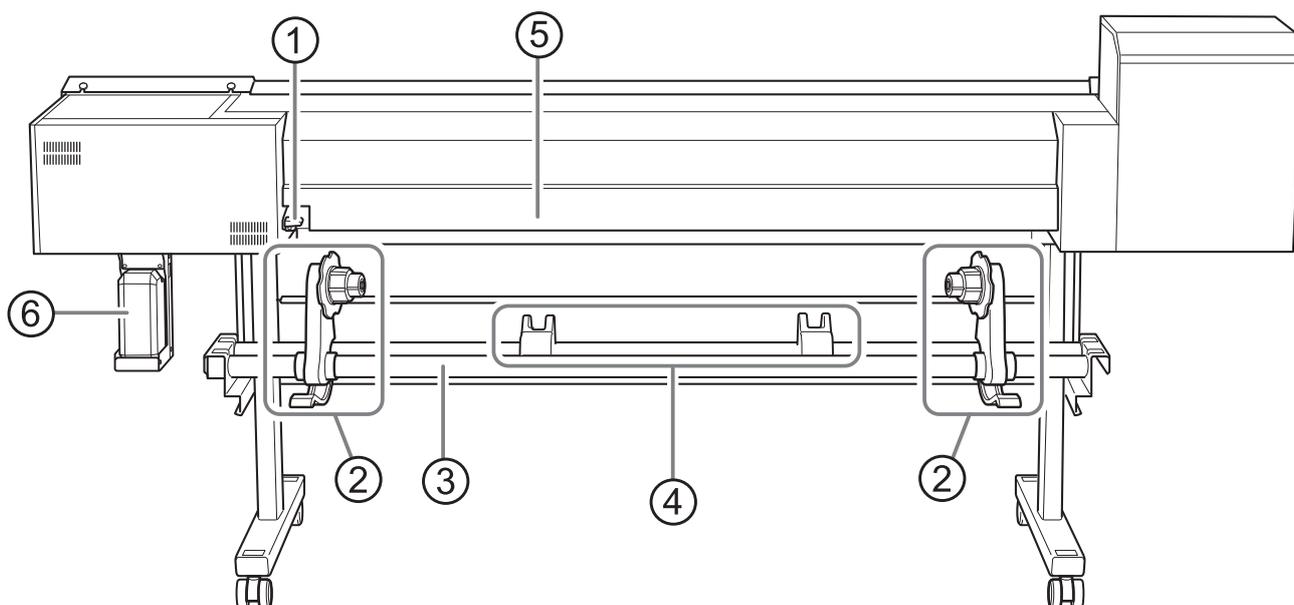
プリンター本体

前面



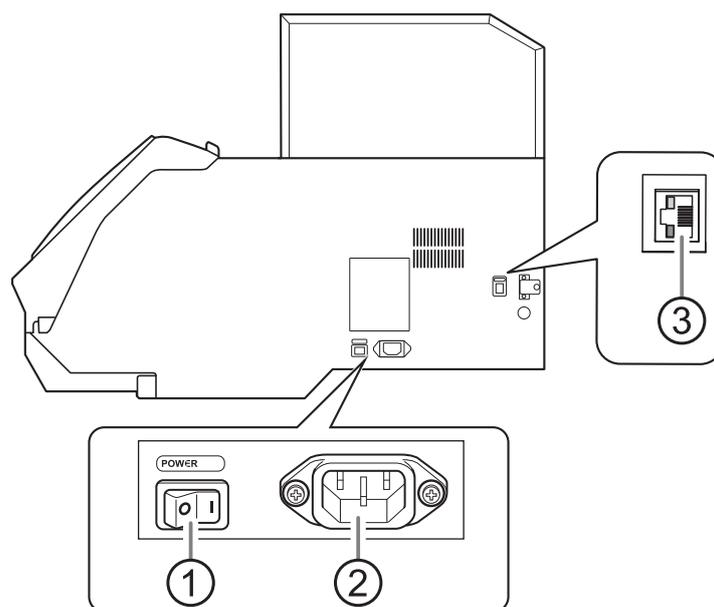
番号	名称	機能概要
①	カートリッジスロット	インクカートリッジを取り付ける場所です。
②	フロントカバー	メディアをセットするときなどに開けます。メディアをセットするとき以外は、閉じておいてください。
③	ローディングレバー (前側)	メディアを取り付けるときに操作します。
④	操作パネル	本機を操作するボタンが配置されたパネルです。 P. 14 操作パネル
⑤	カバーL (上)、カバーL (下)	メンテナンス時に開けます。
⑥	カバーR	メンテナンス時に開けます。
⑦	フロントUVシールド	UVランプの光を遮断します。

背面



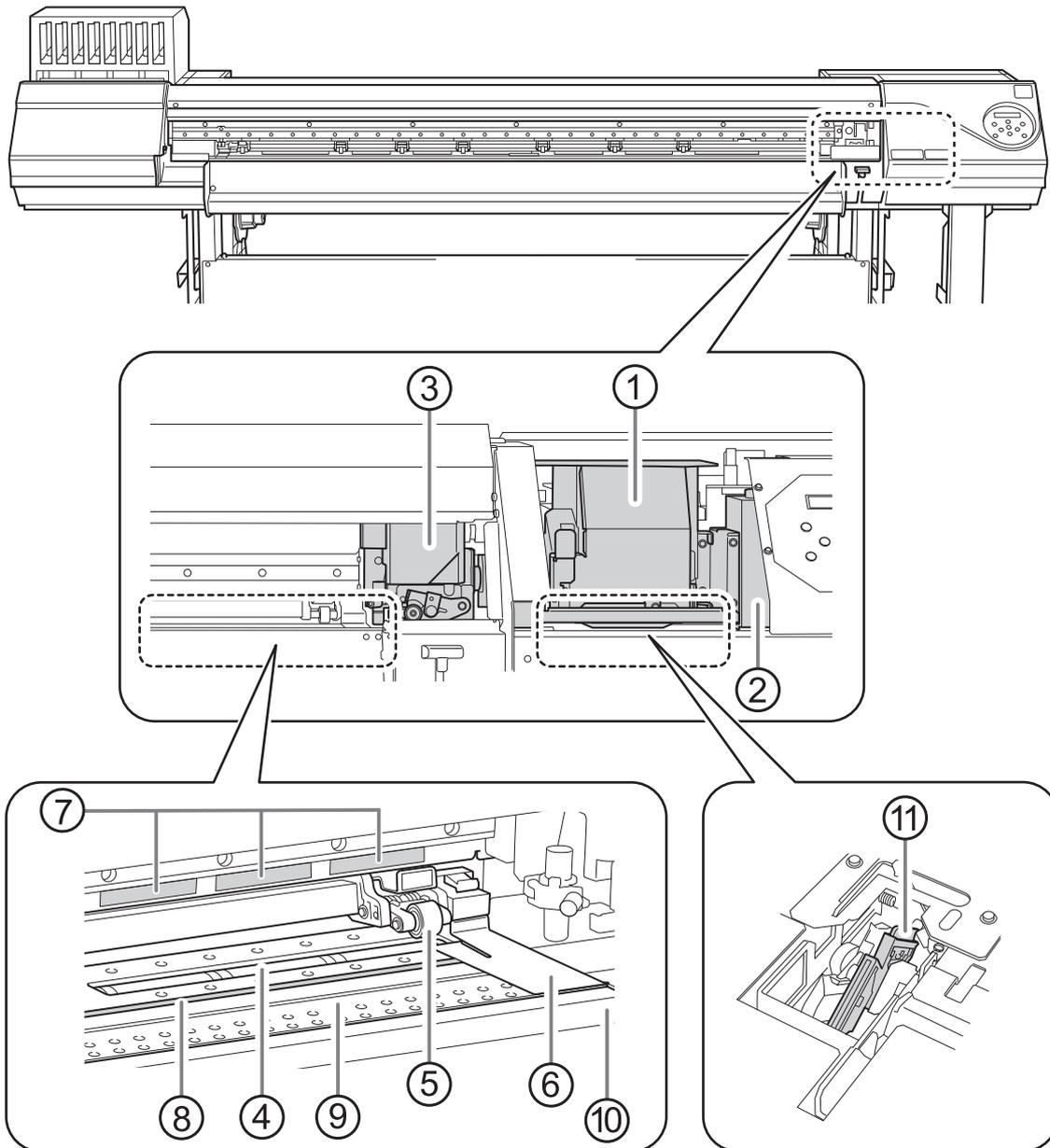
番号	名称	機能概要
①	ローディングレバー (後側)	メディアを取り付けるときに操作します。
②	メディアホルダー	メディアを取り付けるときに使用します。
③	シャフト	
④	メディアステイ	
⑤	リヤUVシールド	UVランプの光を遮断します。メディアを取り付けにくいとき開けますが、終わったら閉じてください。開けたままだと印刷できません。
⑥	廃液ボトル	インクの廃液をためておくためのボトルです。ボトルから廃液が溢れそうなときは、エラーが表示され印刷できなくなります。

側面



番号	名称	機能概要
①	メイン電源スイッチ	メイン電源をオンオフします。
②	電源コネクタ	電源ケーブルを接続します。
③	イーサネットコネクタ	イーサネットケーブルを接続します。

フロントカバー内部／プリントヘッド周辺



番号	名称	機能概要
①	プリントヘッドキャリッジ	プリントヘッドを装備しています。
②	UV 照射装置	インクを硬化する UV 光を照射します。
③	カッティングキャリッジ	カッターとセパレーティングナイフ（メディア切り離し用ナイフ）を装備しています。
④	グリットローラー	メディアを送るローラーです。
⑤	ピンチローラー （左ピンチローラー、右ピンチローラー、ミドルピンチローラー）	ローディングレバーをおろすと、メディアを挟み込みます。それぞれの位置にしたがって左ピンチローラー、右ピンチローラー、ミドルピンチローラーと呼びます。左右のピンチローラーは青シールが貼ってあります。

番号	名称	機能概要
⑥	メディアクランプ	メディアの端を押さえて、浮き上がりを抑えます。メディア切り口の毛羽がプリントヘッドにふれることも防ぎます。
⑦	グリットマーク	グリットローラーの位置を示します。メディアを取り付けるとき、ピンチローラーは必ずこのマークの範囲内に配置してください。
⑧	カッタープロテクション	カッティング時のカッターの通り道です。カッターの刃先を保護します。
⑨	プラテン	メディアの通り道です。メディアの浮きを防ぐ吸着ファンが内蔵されています。
⑩	エプロン	搬送中のメディアをスムーズに通します。
⑪	ワイパー	自動クリーニング時などにプリントヘッドを清掃します。

動作中にカバーを開けた場合

出力動作中にフロントカバー、カバーL、カバーR、リヤUVシールド（以下、総称して「カバー」）のいずれかを開けると、本機は緊急停止します。緊急停止すると、表示画面にカバーを閉じるように促すメッセージが表示されます。画面の指示にしたがって、カバーを閉じてください。

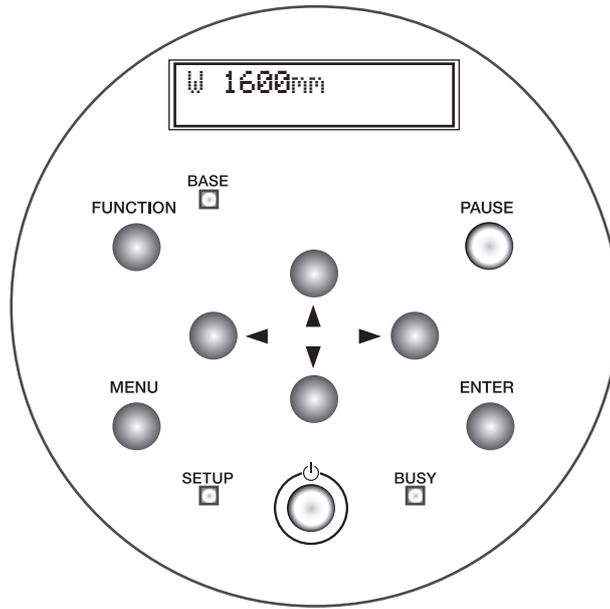
カバーを閉じると、作業を継続できるようになります。

カバーを閉じても作業を継続できない場合は、復帰できないエラーが発生している可能性があります。

関連情報

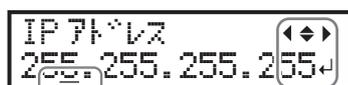
- [P. 325 エラーメッセージ](#)

操作パネル



部位	名称	詳細	本書内での表記
	表示画面	各種の設定メニューなどを表示します。	
	サブ電源スイッチ	プリンターをオンオフします（オフにするには1秒以上押し続けます）。スリープモードに入るとゆっくり点滅します。	
	エンターキー	設定値の決定などに使います。	[ENTER]
	メニューキー	各種の設定メニューに入るときに押します。	[MENU]
	ファンクションキー	プリントヘッドのクリーニングやテストプリントなどの設定メニューに入る時に押します。	[FUNCTION]
	ポーズキー	出力を一時停止します。一時停止中は点灯します。	[PAUSE]
	カーソルキー	各種メニューの設定やメディアの移動などに使います。	[◀] [▼] [▲] [▶]
	ビジーランプ	印刷中などに点灯します。	[BUSY]
	セットアップランプ	メディアが正しくセットされると点灯します。	[SETUP]
	ベースポイントランプ	ベースポイント（出力開始位置）が設定されると点灯します。	[BASE]

表示画面



①	カーソル		設定の変更対象を示しています。カーソルキーで移動することができます。
②	方向マーク	◀ ▲ ▼ ▶	表示された方向のカーソルキーを押すと、設定を選んだり画面を切り替えたりすることができます。
	ENTER マーク	↵	[ENTER] を押すと、選んだ設定を決定したり、処理を実行したりします。
③	現在値		現在の設定（変更前）を表示します。
④	設定値		変更したい設定（変更後）を選びます。

使用するメディアについて

メディアの種類について

本書では、出力に使用する用紙を「メディア」と呼びます。本機で使用するメディアには大きく分けて次の2種類があります。

- ロールメディア：紙管などに巻かれているもの
- カットメディア：定型サイズのメディアなど、紙管などに巻かれていないもの

ロールメディア、カットメディア共に用途に合わせてさまざまな紙質の種類を選択できます。各メディアの詳細については、メディアの購入先にお問い合わせください。

使用可能なメディアの条件

本機は、どんなメディアにでも印刷できるわけではありません。メディアの選定にあたっては、必ずテストを行い、満足できる出力結果が得られるか事前に確認してください。

サイズ

	64 インチモデル	30 インチモデル
幅*1	210 ~ 1,625 mm (8.3 ~ 64 インチ)	182 ~ 762 mm (7.2 ~ 30 インチ)
カッティング可能なメディア厚み*1	0.08 ~ 0.22 mm (メディアの材質による)	
台紙 (剥離紙) を含む最大メディア厚み*1	印刷だけの場合: 1.0 mm カッティングする場合: 0.4 mm	
ロールメディアの最大外径	210 mm	
ロールメディアの紙管内径	76.2 mm (3 インチ) または 50.8 mm (2 インチ)	

*1 ロールメディア、カットメディア共通

ロール最大重量

- 64 インチモデル: 40 kg
- 30 インチモデル: 25 kg

メモ

巻取装置を使用する場合は、巻取装置の条件に依存します。

その他の条件

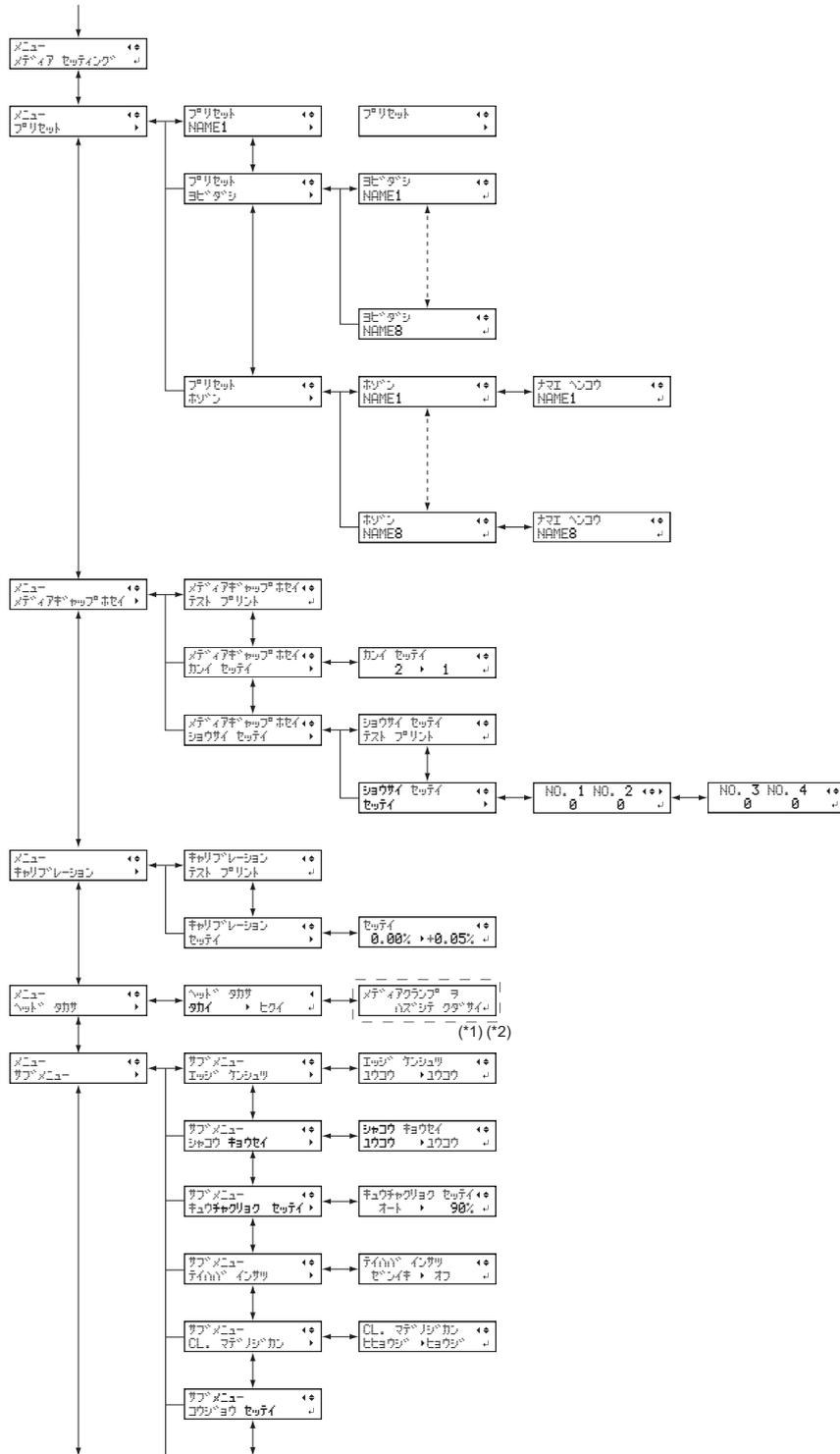
次のようなメディアは使用できません。

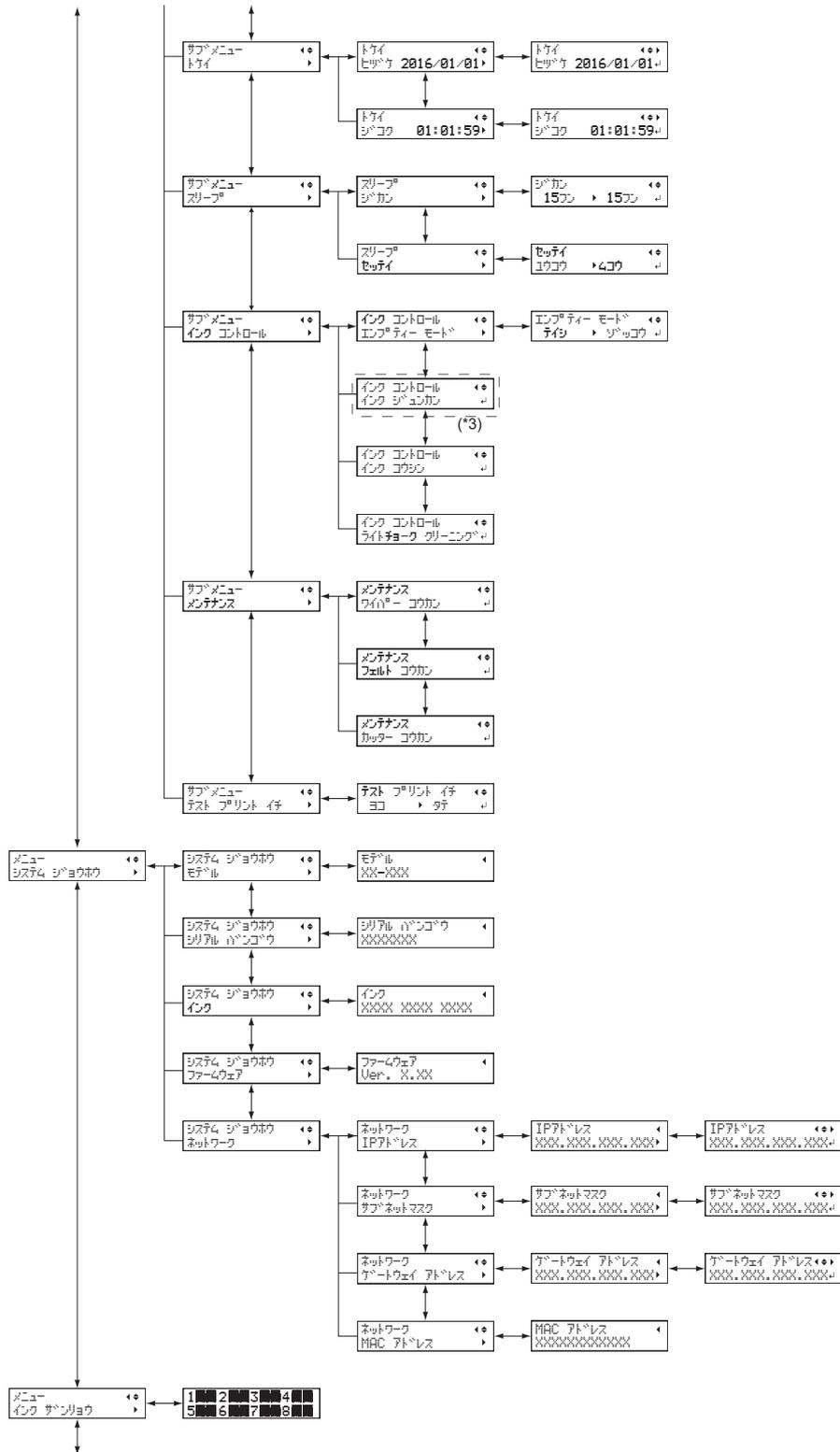
- メディアの巻き始めが紙管 (芯) に接着されているもの
- 強く反っているか、巻き癖の強いもの
- 紙管 (芯) が曲がったりつぶれたりしているもの
- 取り付け時にロールが自重で曲がってしまうもの
- ロール自体がたわんでいるもの
- ロールに巻きずれがあるもの

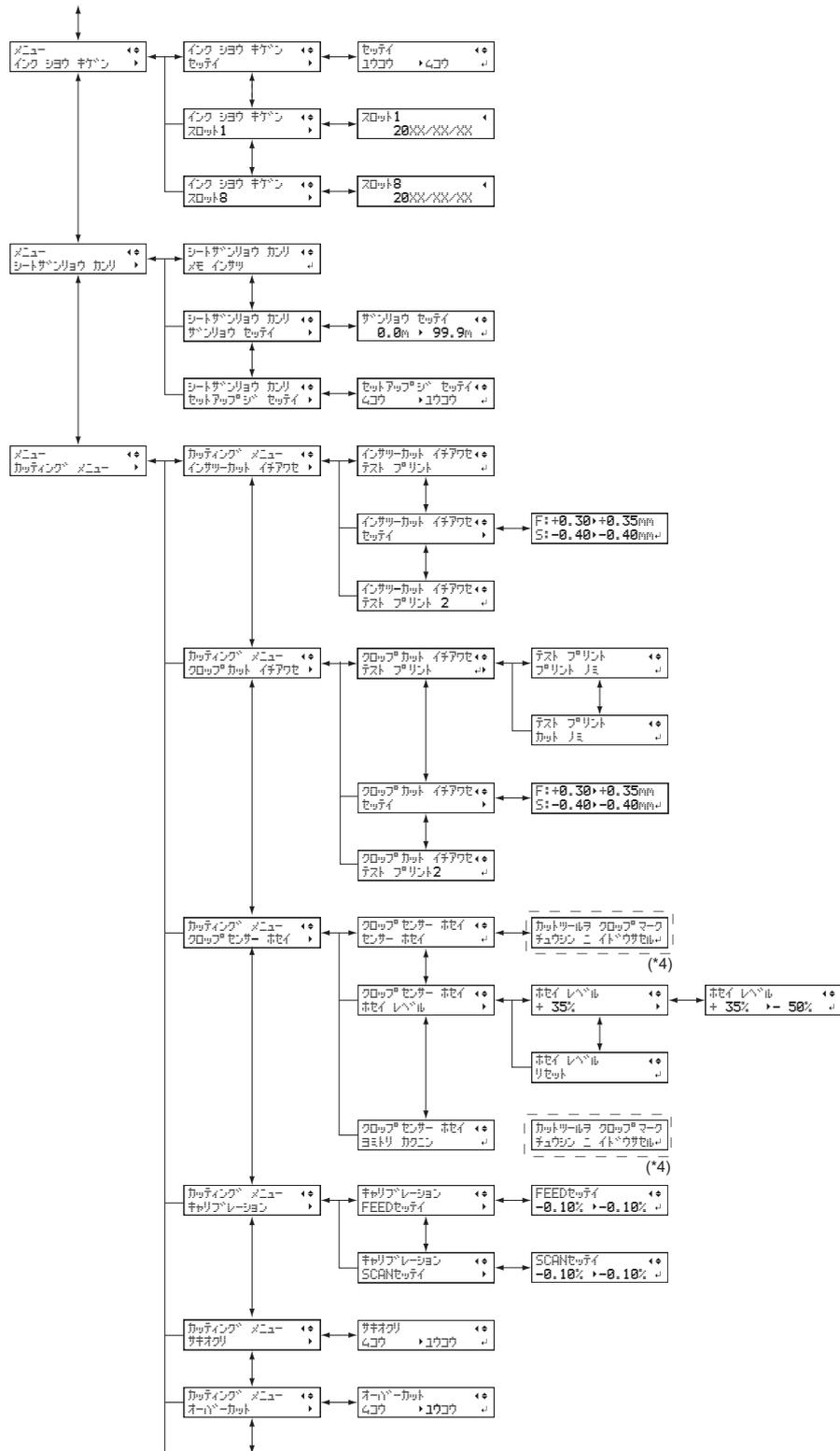
メニュー表

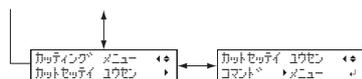
メインメニュー

[MENU] を押す。





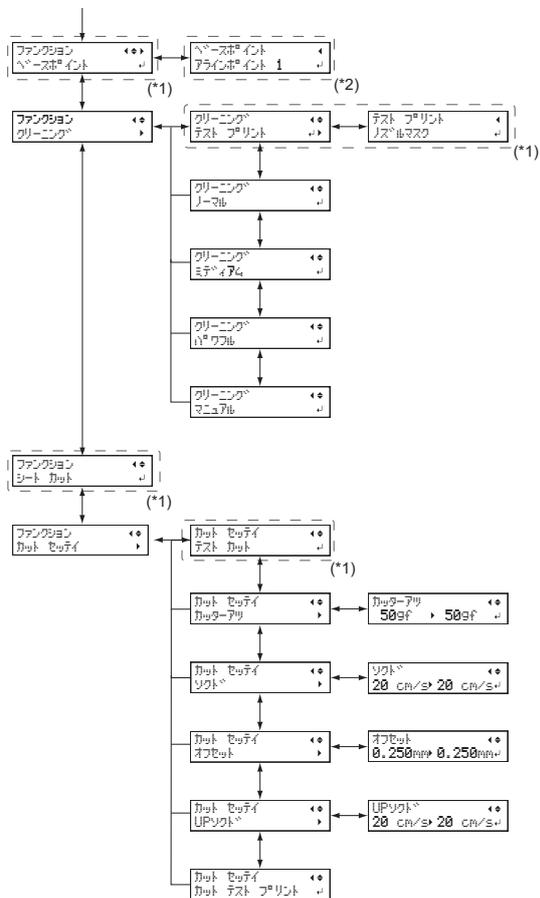




- (*1) ヘッド高さが [Sp.ロー] のときだけ表示されます。
- (*2) メディアのセットアップ後、メディア幅が表示されておりかつメディアクランプが付いている状態のときに表示されます。
- (*3) ホワイトを含むインクタイプの際に表示されます。
- (*4) メディアのセットアップ後、メディア幅が表示されているときに表示されます。

ファンクションメニュー

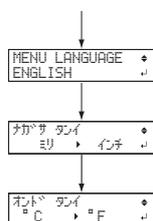
[FUNCTION] を押す。



(*1) メディア取り付け完了後、メディア幅が表示されている状態のときに表示されます。
(*2) ベースポイントを設定していないときには表示されません。

言語、単位選択メニュー

[MENU] を押しながら、サブ電源をオンにする。



基本操作

電源の操作.....	25
電源オン.....	25
電源オフ.....	27
電源の操作に関するご注意.....	28
スリープモード（省電力機能）.....	29
メディアのセットアップ.....	30
ロールメディアのセットアップ.....	30
カットメディアのセットアップ.....	49
メディアの切り離し.....	62
設置後はじめにやること.....	63
インクの着弾位置のずれを詳細に調整する.....	63
出力前の確認.....	65
LAN（ローカルエリアネットワーク）の状態.....	65
インクの沈殿を防ぐ.....	65
出力の一時停止と中止.....	66
出力の一時停止と再開.....	66
出力の中止.....	66
インクカートリッジの交換.....	67
インクが無くなったときのお知らせ.....	67
インクの沈殿を防ぐ.....	67

電源の操作

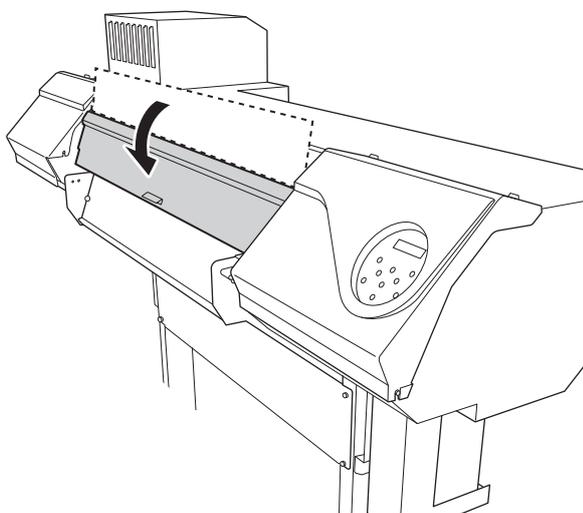
電源オン

⚠ 警告

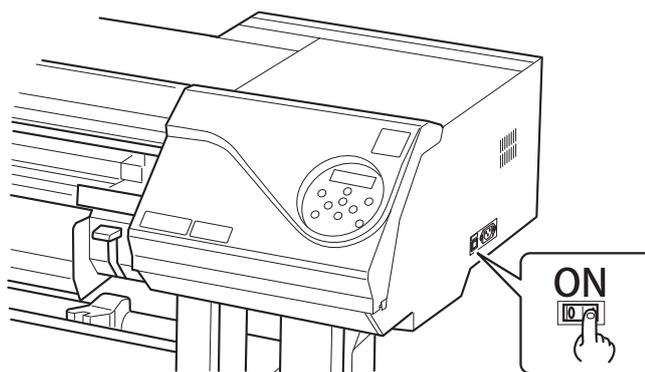
出力していないときは、メディアを外すか、サブ電源をオフにする。
同じ場所を熱し続けると、メディアから有害ガスが出たり、発火したりする恐れがあります。

手順

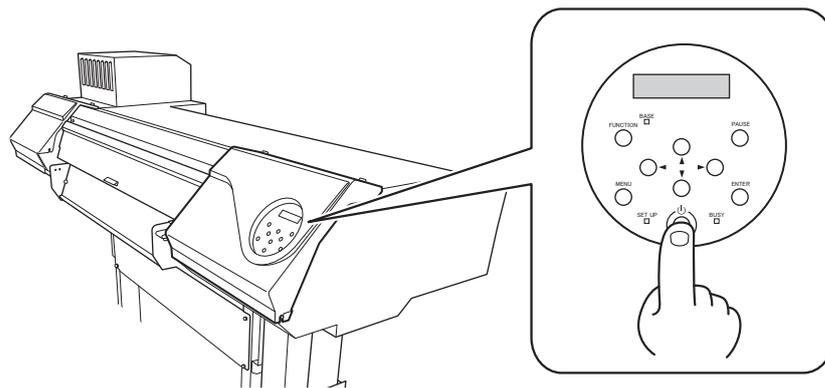
1. フロントカバーを閉じる。



2. メイン電源をオンにする。



3. サブ電源をオンにする。



電源オフ

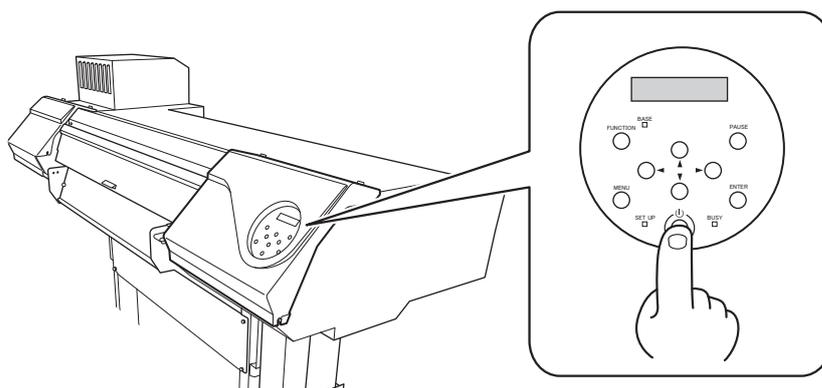
⚠ 警告

出力していないときは、メディアを外すか、サブ電源をオフにする。

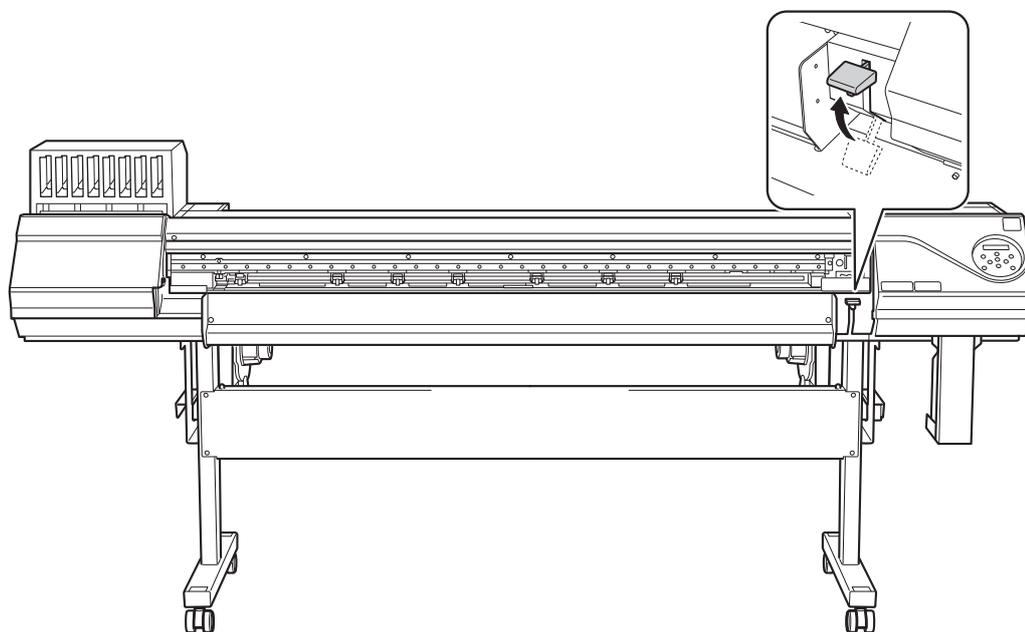
同じ場所を熱し続けると、メディアから有害ガスが出たり、発火したりする恐れがあります。

手順

1. 印刷が終了したら、サブ電源をオフにする。
サブ電源スイッチを1秒以上長押ししてください。



2. ローディングレバーを上げてメディアを取り外す。
サブ電源がオンの状態でも、本機を使用しないときはローディングレバーを上げておいてください。



電源の操作に関するご注意

重要

メイン電源は常にオンにしておいてください。

メイン電源はオフにしないでください。オンにしておくことで自動メンテナンスが定期的に行われます。自動メンテナンスを行わないとプリントヘッドが壊れるなど、本機の故障の原因となります。

動作中にいきなりメイン電源をオフにしたり、コンセントを抜いたりしないでください。

動作中にいきなりメイン電源をオフにしたり、コンセントを抜いたりすると、プリントヘッドが壊れることがあります。必ず先にサブ電源をオフにしてください。誤ってオフにしてしまったときは、すぐにメイン電源とサブ電源をオンにし直してください。

スリープモード（省電力機能）

本機は省電力機能を持っており、何の動作もしていない状態が一定時間続くとより消費電力の少ない「スリープモード」に切り替わります。スリープモードになる時間は、工場出荷時には 30 分に設定されています。スリープモードになると、サブ電源スイッチがゆっくり点滅します。操作パネルを操作したり、コンピューターから印刷データを送ったりすると、通常モードに戻ります。

スリープモードの設定は変更できますが、消費電力の節約や過熱事故防止のため、スリープモードへの移行時間は 30 分以下に設定することをおすすめします。

関連情報

- ・ [P. 210 スリープモード（省電力機能）になるまでの時間を設定する](#)

メディアのセットアップ

ロールメディアのセットアップ

プリンターにロールメディアを取り付けます。取り付けが完了すると [SETUP] が点灯します。この作業を「メディアのセットアップ」と呼びます。

⚠ 注意

ロールメディアは正しくセットする。
メディアが落下してけがをすることがあります。

⚠ 注意

ロールメディアは重さが 40 kg (30 インチモデルは 25 kg) 程度ある。
取り扱うときはけがに注意すること。

⚠ 注意

重さが 40 kg (30 インチモデルは 25 kg) を超えるメディアをセットしない。
本機が重さに耐えられず、転倒したり、メディアが落下する恐れがあります。

1. メディアをメディアホルダーに取り付ける

⚠ 警告

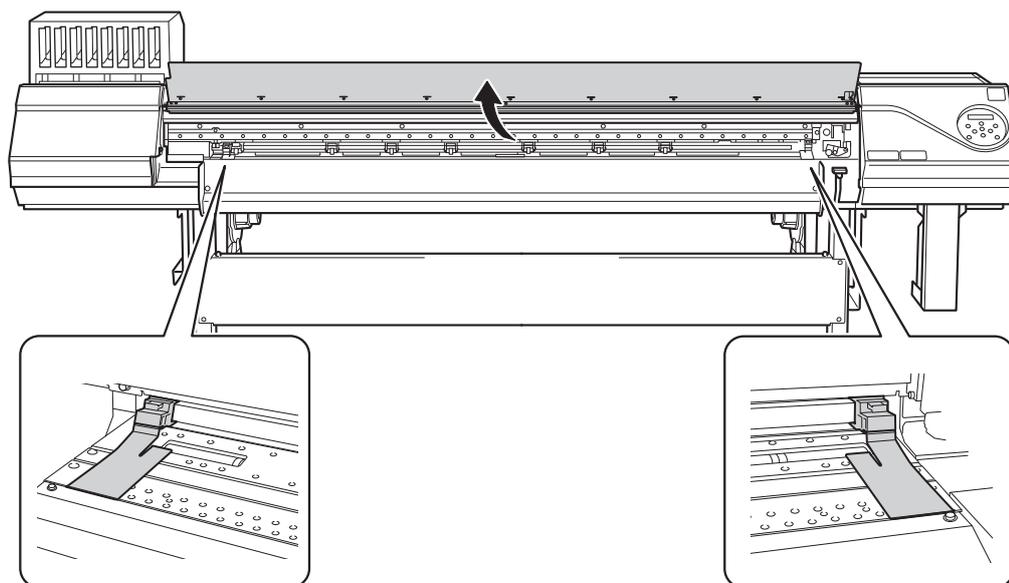
ロールメディアを取り扱うときは、2人以上で持ち、落下に十分注意する。
重いメディアを無理に持ち上げようとすると、身体を痛めます。もし落下すると、けがの原因になります。

メモ

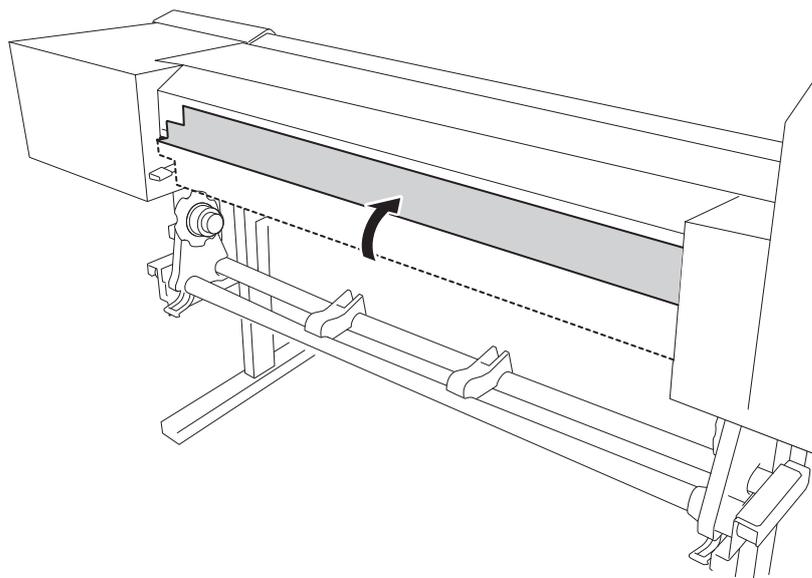
本機のメディアホルダーは、紙管内径 2 インチおよび 3 インチの両方に使用できます。

手順

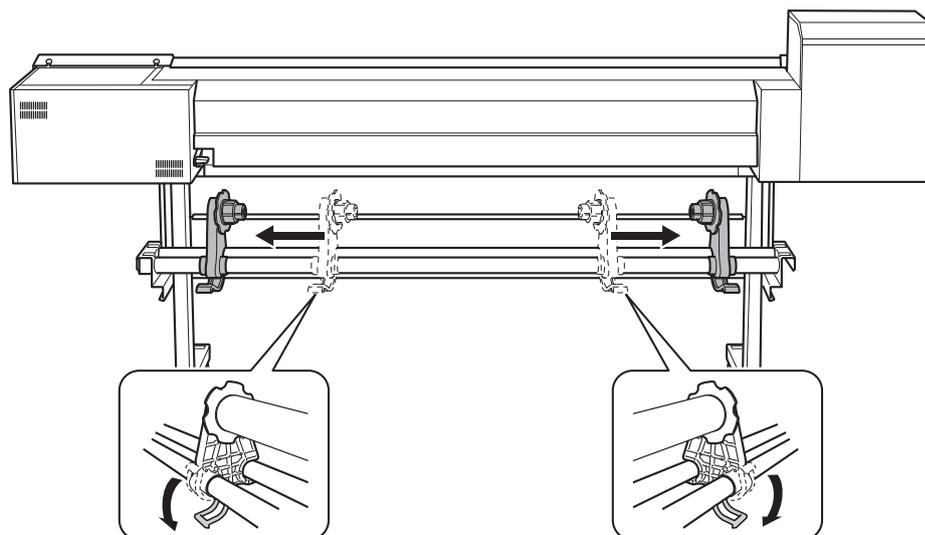
1. フロントカバーを開ける。
2. プリントヘッド高さが [ヒクイ] または [タカイ] の場合は、メディアクランプを左右両端のグリットローラーの外側まで移動する。



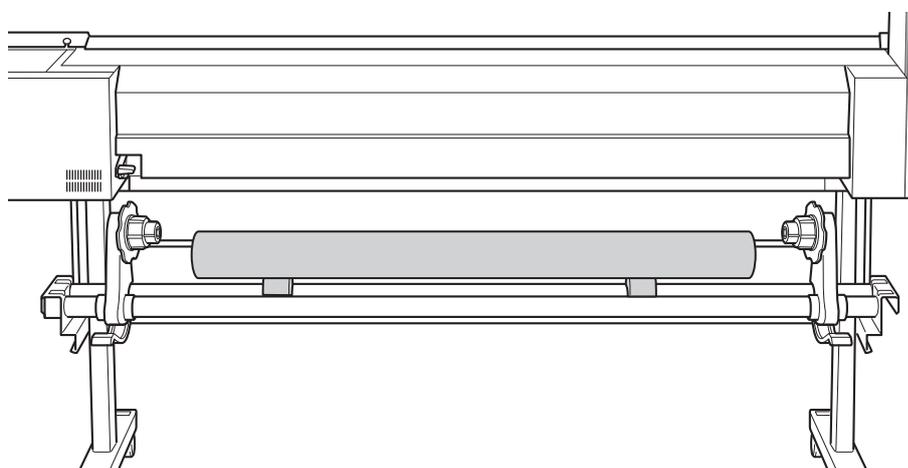
3. プリントヘッド高さが【Sp.ロー】の場合は、メディアクランプを取り外す。
メディアクランプを取り外さないでセットアップができません。
4. プリンターの背面に移動し、リヤUV シールドを開ける。



5. メディアホルダーの固定を解除し、左右いっぱいまで寄せる。

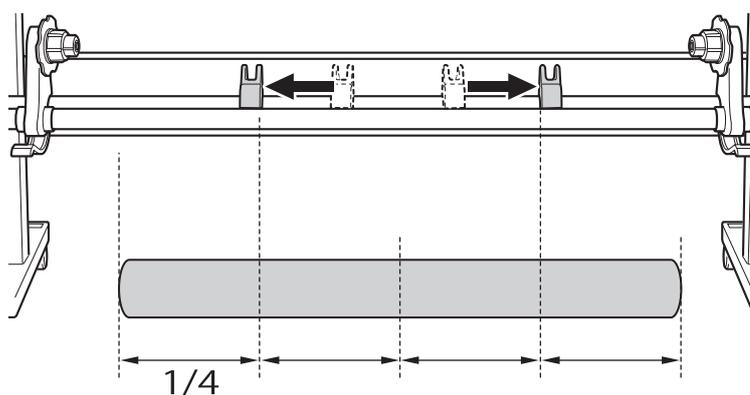


6. メディアステイにメディアを置く。



メモ

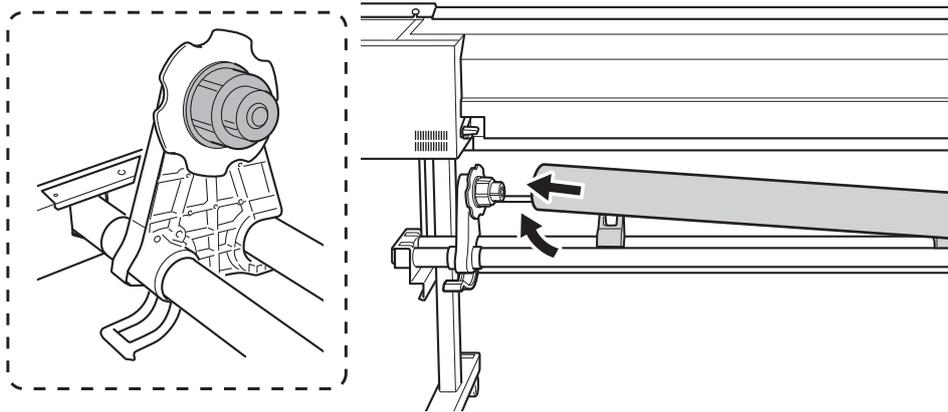
メディアステイは、メディアの両端から 1/4 の位置に置いてください。



重要

メディアをメディアステイの上に長時間置いたままにしないでください。メディアが変形してしまう可能性があります。

7. メディアホルダー [左] のエンドキャップにメディアの紙管をはめ込む。

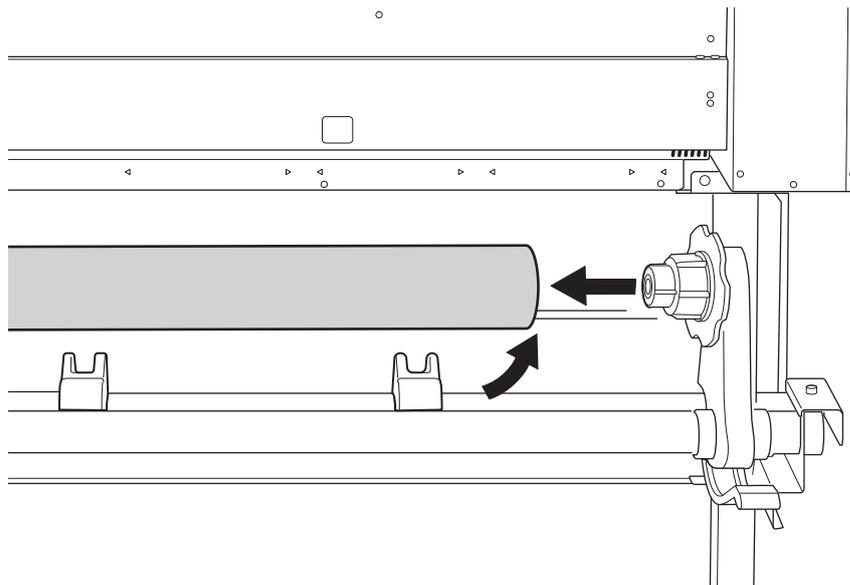


8. メディアホルダー [右] を動かしてエンドキャップをメディアの紙管にはめ込む。
メディアが簡単に動かないように、しっかりとめ込んでください。

重要

メディアホルダーはまだ固定しないでください。

この後メディアホルダーの位置を調整してから固定します。まだ固定しないでください。



メディアの種類や設定によって、次の作業は異なります。以下にしたがって進んでください。

- 一般的なメディアの場合：2. A：メディアの位置を決める (P. 34)
- 透明なメディアや [エッジケンシュツ] や [シャコウ キョウセイ] を [ムコウ] に設定している場合：2. B：メディアの位置を決める (P. 40)

2. A：メディアの位置を決める

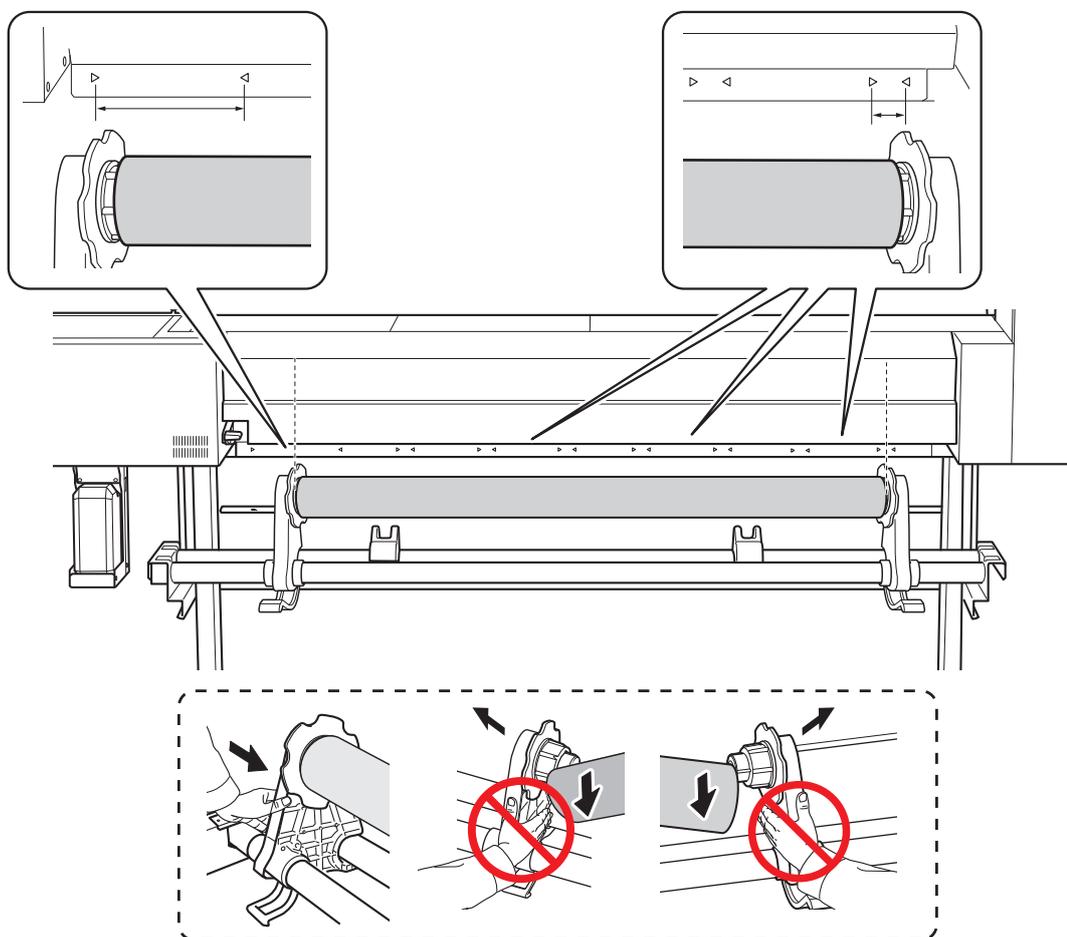
ここでは吸着ファンを利用してメディアの斜行を防止する方法を記します。メディアの端を検出できない透明なメディアを使用する場合や〔エッジケンシュツ〕または〔シャコウ キョウセイ〕を〔ムコウ〕に設定している場合、吸着ファンは自動で作動しないため、この手順ではメディアをセットできません。この場合は、**2. B：メディアの位置を決める (P. 40)** を参照してください。

手順

1. グリットマークを基準に、メディアの左右位置を決める。

位置を決めるときは、次の点に注意してください。

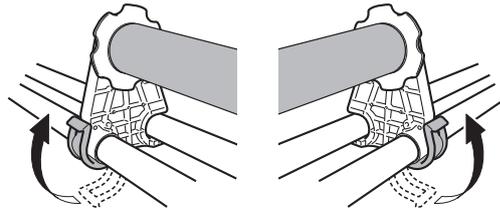
- メディアホルダーは、外側を持って動かしてください。
- メディアの左端は、左端のグリットマークの範囲内に入る位置にしてください。
- メディアの右端は、いずれかのグリットマークの範囲内に入る位置にしてください。



⚠ 注意

指示された位置以外の場所を持って作業しないこと。メディア自体を持って動かさないこと。
メディアホルダーからメディアが落下してけがをすることがあります。

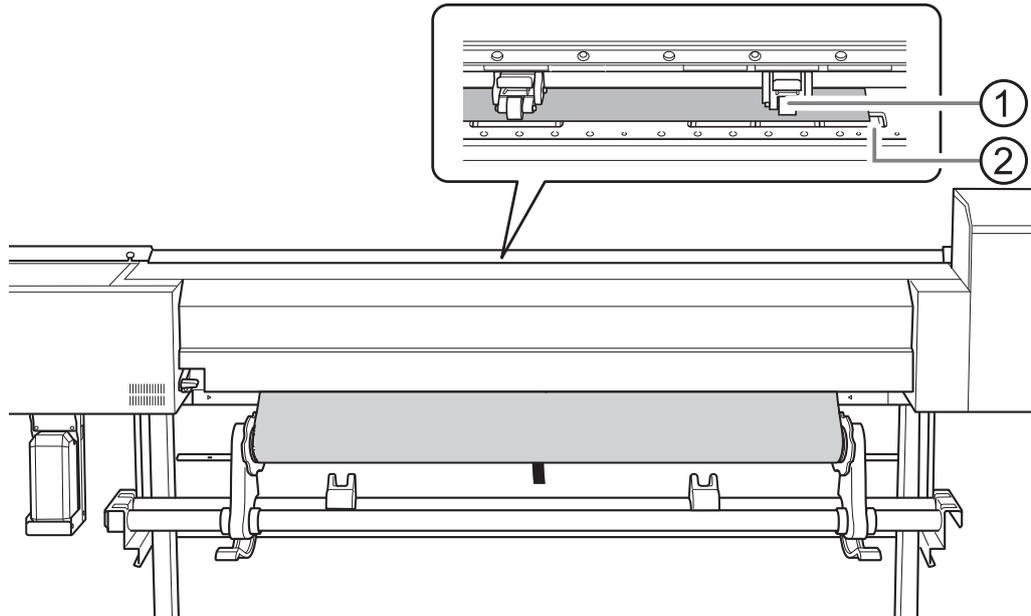
2. メディアホルダーを固定する。



3. 次の手順でメディアをセットする。

この手順を行うことでメディアの斜行を防止します。

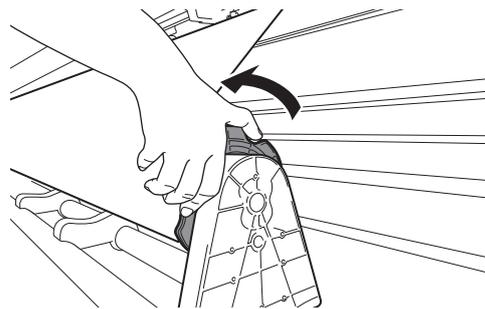
(1) メディアの先端をピンチローラー (①) とグリットローラー (②) の間に通す。



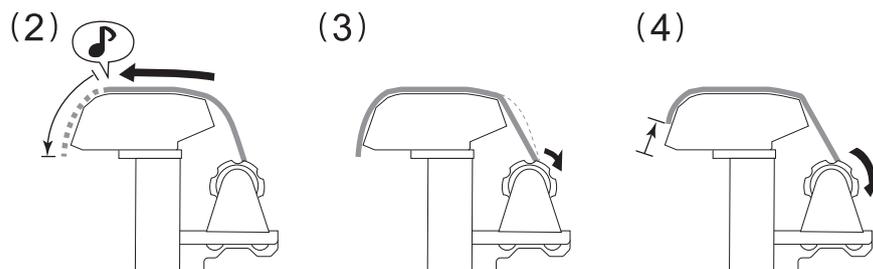
(2) ピッと音になるまでメディアを送り、約 20 cm さらにメディアを送る。

ピッと音が鳴ったあと、約 5 秒後にピッピッと音が鳴り吸着ファンが作動します。吸着ファンの作動中は、メディアから手を離してもメディアを保持します。

(3) メディアホルダーのフランジを持ち、巻取方向にまわしてメディアのたるみを取る。



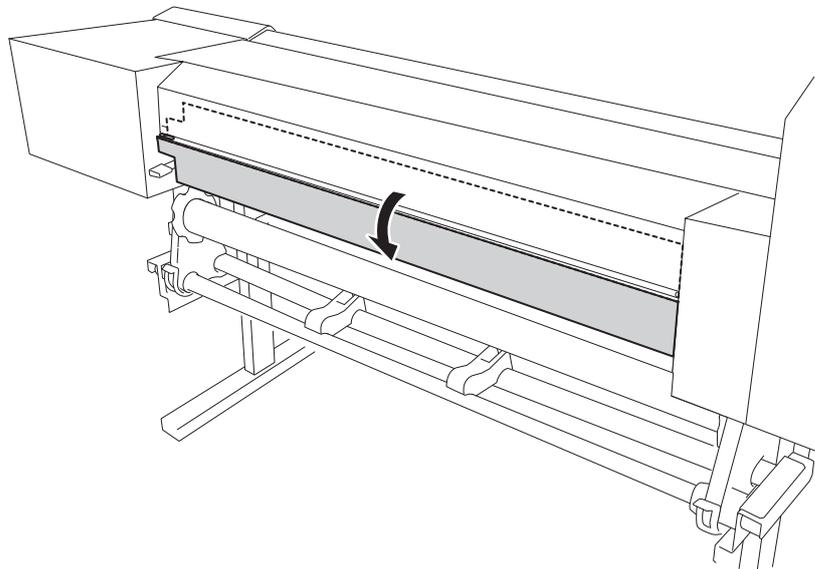
(4) たるみがない状態から、さらに 10 cm 程度メディアを巻き取る。



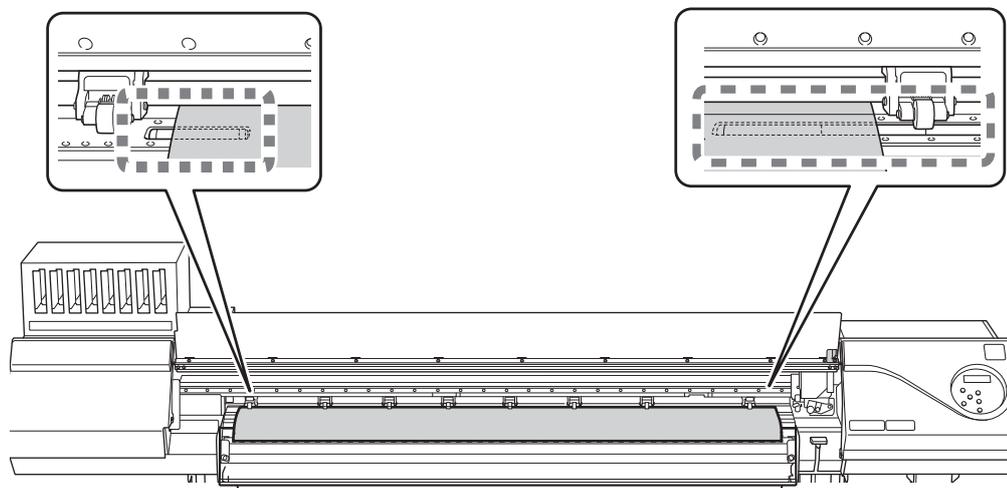
メモ

巻き取りすぎると、ピピッと音がして吸着ファンが止まります。メディアを巻き取り、手順 (1) からやり直してください。

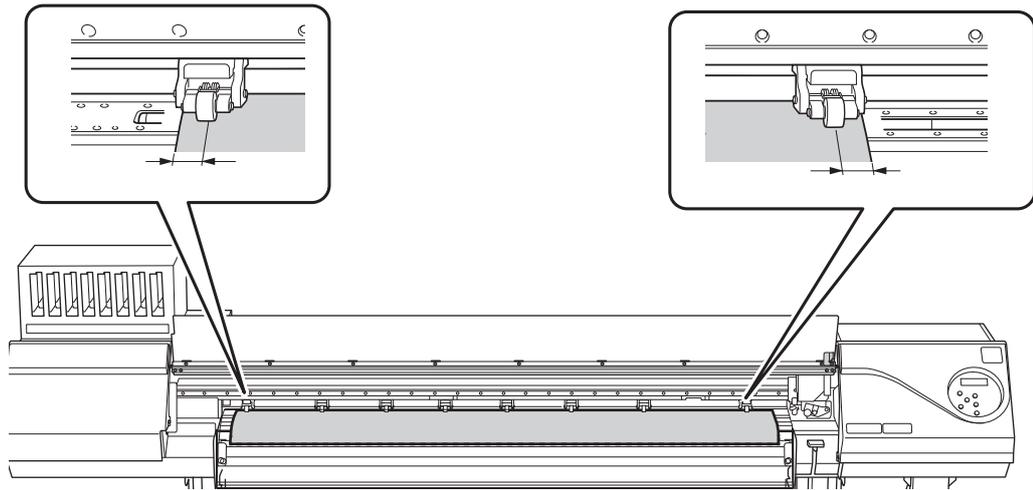
4. リヤUV シールドを閉じる。



**5. プリンターの前面に移動し、メディアの両端がグリットローラーの上にあることを確認する。
メディアの右端は、必ず右端のグリットローラー上にのせてください。**



**6. 左右のピンチローラーを移動して、メディアの両端に配置する。
メディアの端から 15 mm 程度離れた位置に配置してください。**

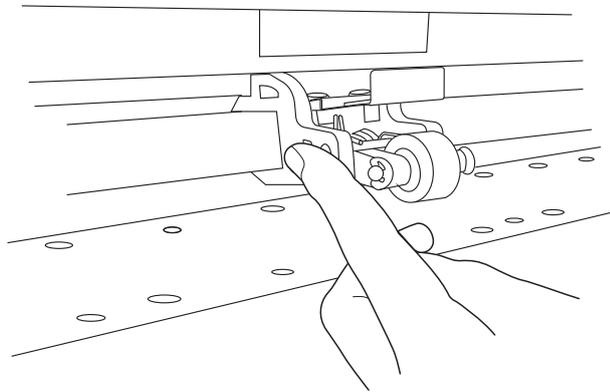


重要

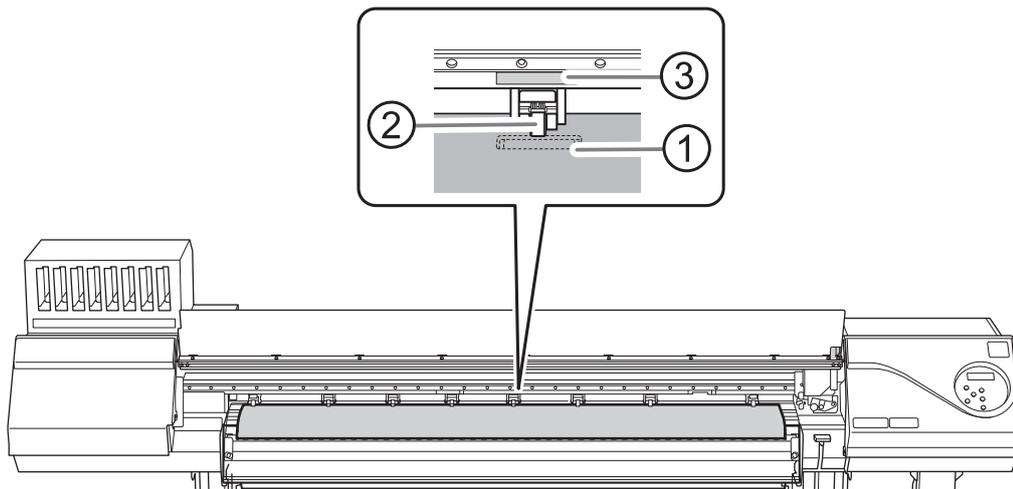
- 必ず左右のピンチローラーを使用してください。ミドルピンチローラーと左右ピンチローラーでは、メディアを挟み込む力が違います。ミドルピンチローラーでメディアの端を挟むと、メディアの送りが安定しなくなります。
- メディアの位置を直したい場合は、プリンター背面に戻りメディアホルダーの固定を解除し手順 1 からやり直してください。プリンター前面でメディアだけを持って無理やり位置を直すと、出力時にメディアが斜行したり、浮いたりして出力品質に影響します。

メモ

ピンチローラーを移動するときは、レール近くを押すとスムーズに動きます。

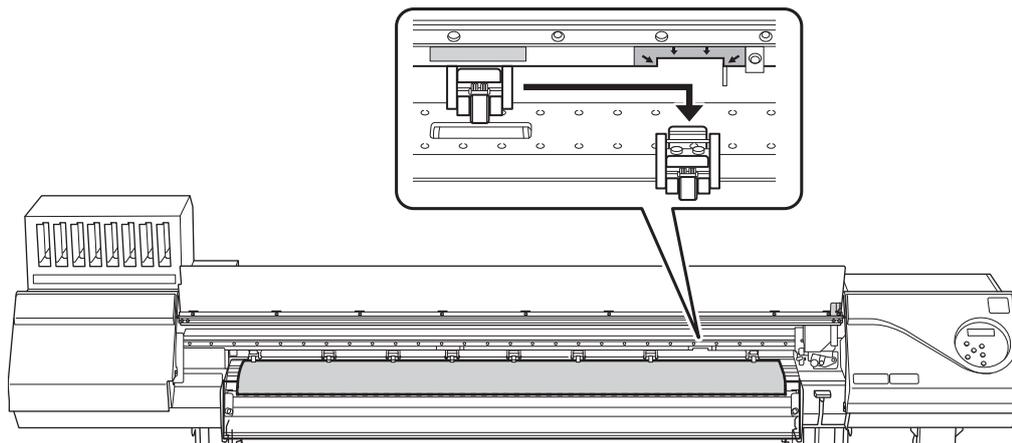


7. メディアがのっている残りすべてのグリットローラー (①) の上に、ミドルピンチローラー (②) を移動する。グリットローラーのある場所には、グリットマーク (③) があります。



重要

- メディア幅の範囲にあるすべてのグリッドマークに、ミドルピンチローラーを配置してください。ミドルピンチローラーの配置忘れがあると、メディアが斜行したり、浮いたりして出力品質に影響します。
- 使用するメディアの幅によっては、ミドルピンチローラーが余ります。余ったミドルピンチローラーは、取り外してください。

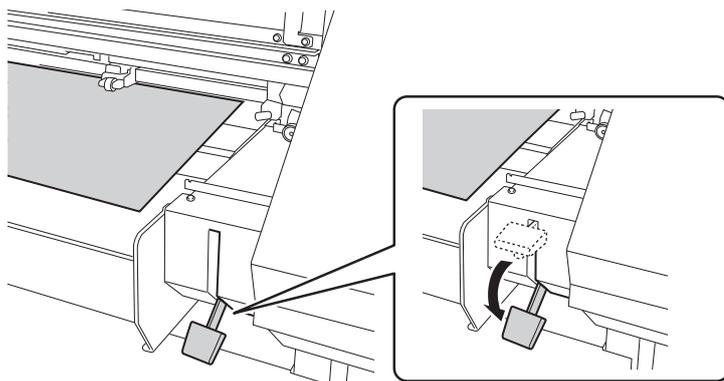


8. ローディングレバー（前側）を下ろす。

このとき [セットアップシマス ENTER ヲオシテクダサイ] というメッセージが表示画面に表示されますが、まだ [ENTER] を押さずに次の手順に進んでください。

重要

メディアの位置を直したい場合は、プリンター背面に戻りメディアホルダーの固定を解除し手順 1 からやり直してください。プリンター前面でメディアだけを持って無理やり位置を直すと、出力時にメディアが斜行したり、浮いたりして出力品質に影響します。



2. B：メディアの位置を決める

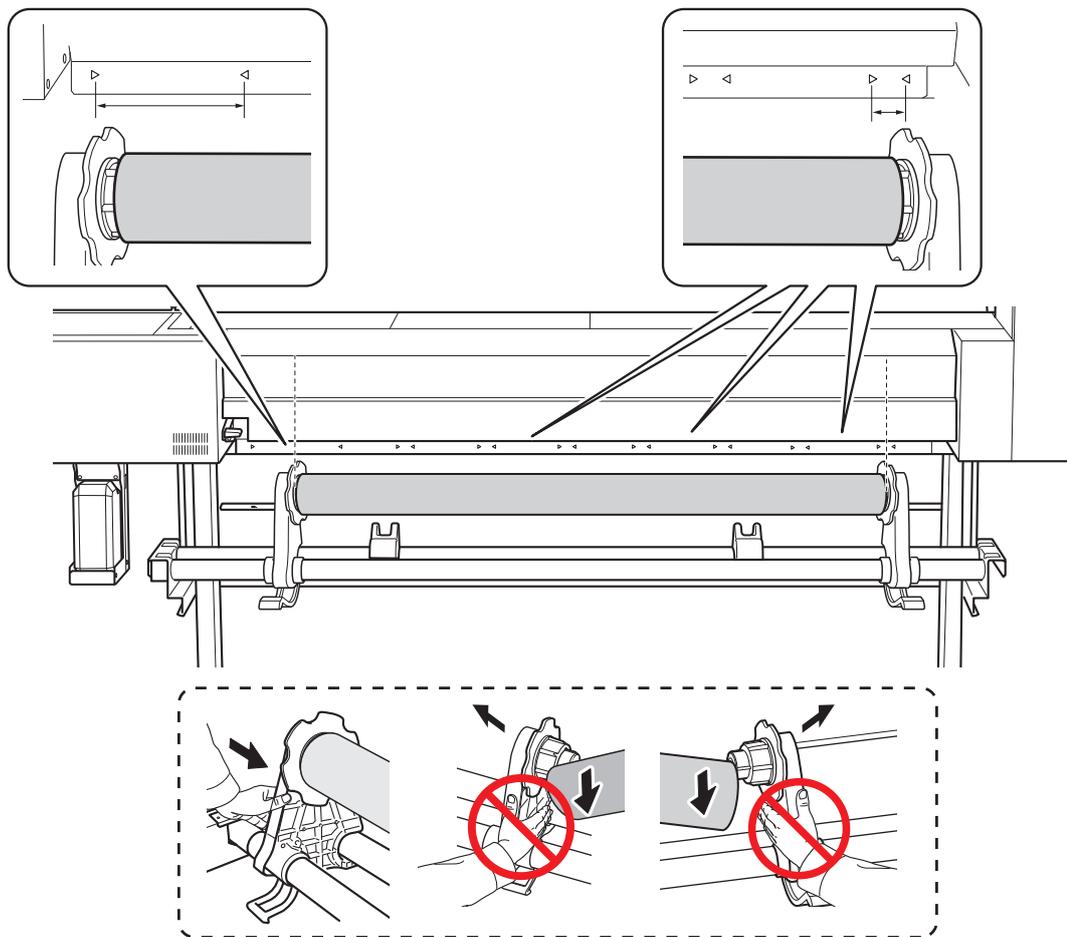
ここではメディアの斜行防止機能を利用しないでメディアの位置を決める方法を記します。メディアの端を検出できない透明なメディアや、〔エッジケンシュツ〕または〔シャコウ キョウセイ〕を〔ムコウ〕に設定している場合が該当します。

手順

1. グリットマークを基準に、メディアの左右位置を決める。

位置を決めるときは、次の点に注意してください。

- メディアホルダーは、外側から持って動かしてください。
- メディアの左端は、左端のグリットマークの範囲内に入る位置にしてください。
- メディアの右端は、いずれかのグリットマークの範囲内に入る位置にしてください。



⚠ 注意

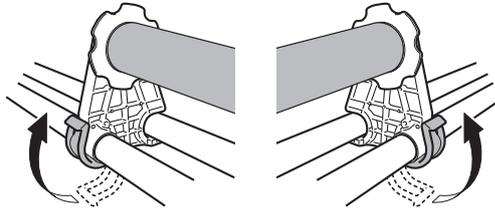
指示された位置以外の場所を持って作業しないこと。メディア自体を持って動かさないこと。
メディアホルダーからメディアが落下してけがをすることがあります。

重要

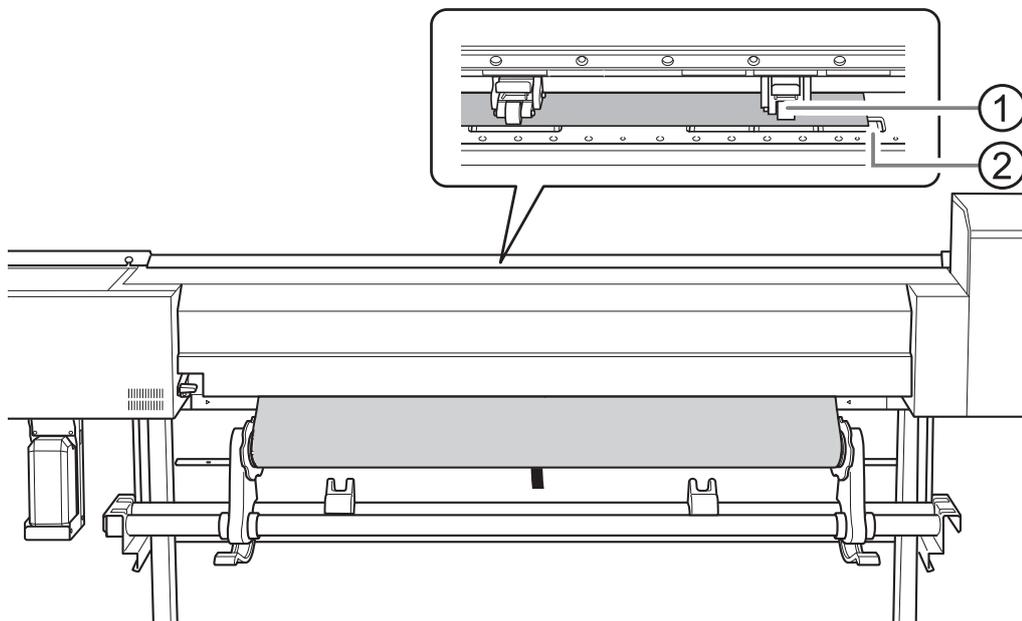
メディアの左右位置はこの時点でしっかり決めてください。

このあとピンチローラーなどでメディアを固定するときにメディアの左右位置がずれている場合は、もう一度この時点に戻ってやり直す必要があります。メディアだけを持って無理やり位置を直すと、出力時にメディアが斜行したりして出力結果に悪影響が出ます。

2. メディアホルダーを固定する。



3. メディアの先端をピンチローラー (①) とグリットローラー (②) の間に通す。



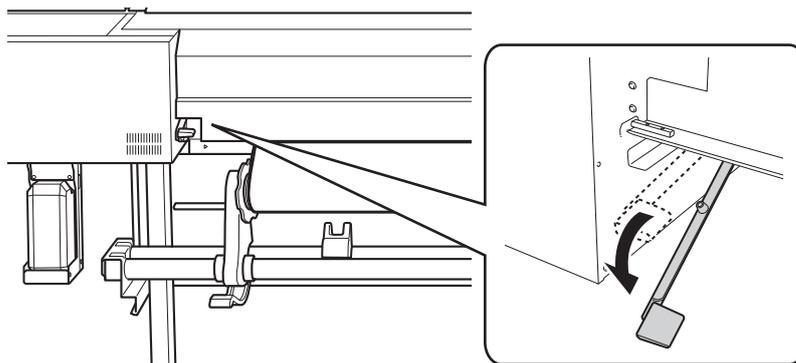
メモ

メディアの吸着が弱すぎたり強すぎたりして、メディアがうまくセットできないときは、[PAUSE] を押してください。[PAUSE] を押すたびに吸着力が 3 段階に切り替わります。

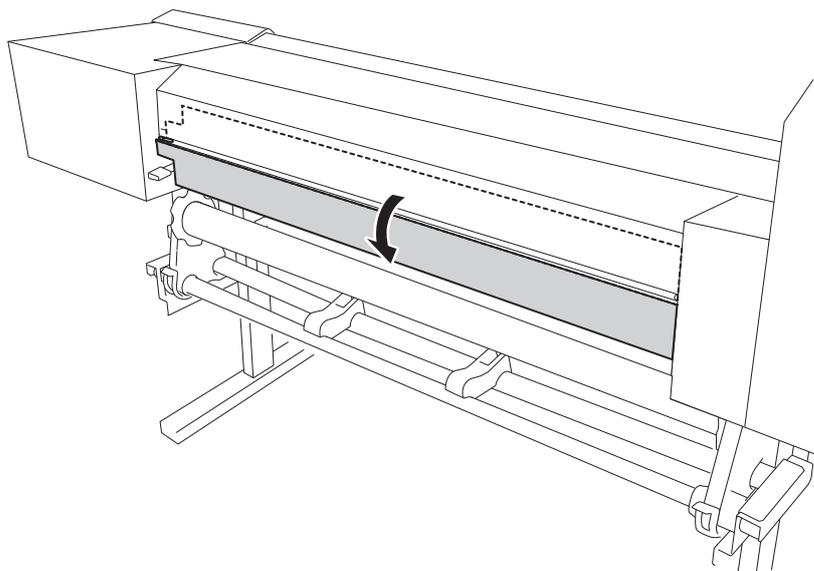
4. ローディングレバー (後側) を下ろす。

メディアが固定されます。

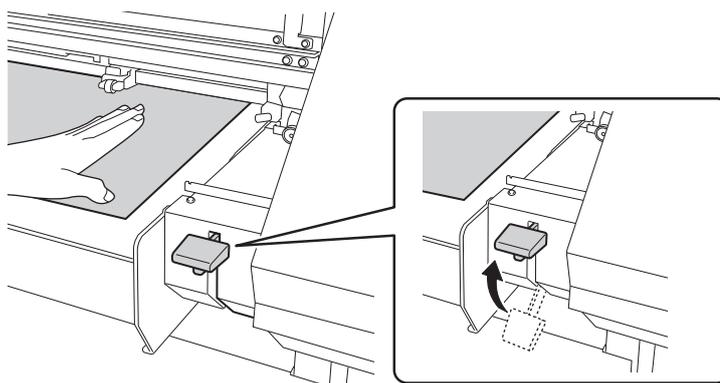
このとき、[セットアップシマス ENTER ヲオシテクダサイ] というメッセージが表示画面に表示されますが、まだ [ENTER] を押さずに次の手順に進んでください。



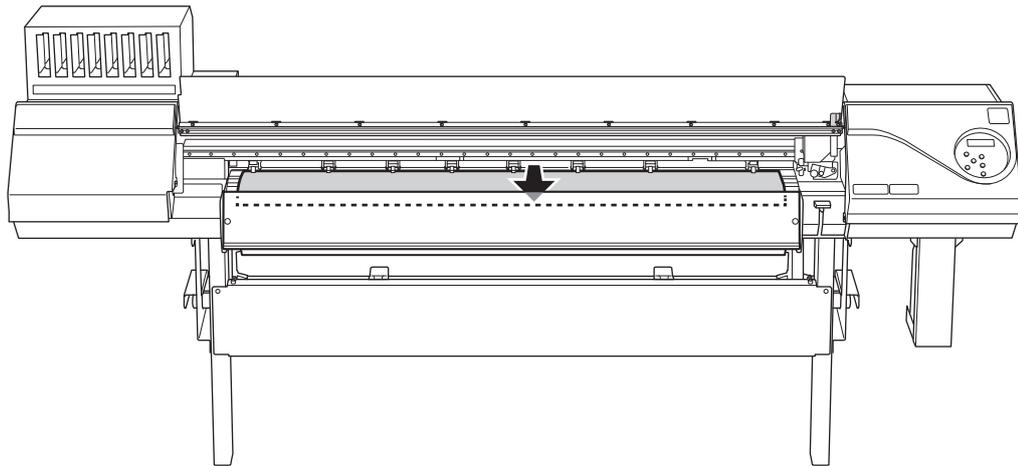
5. リヤUV シールドを閉じる。



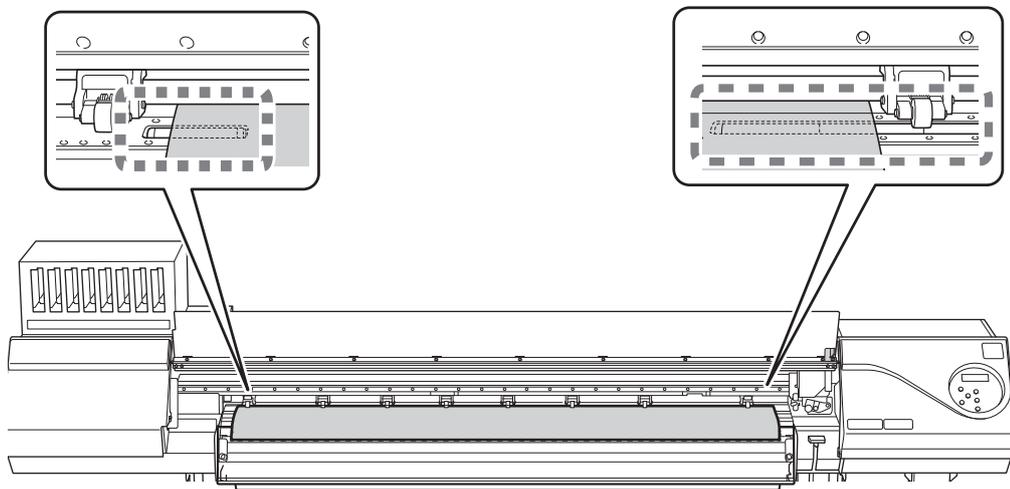
6. プリンターの前面に移動し、メディアを軽く押さえながらローディングレバー（前側）を上げる。メディアの固定が解除されます。



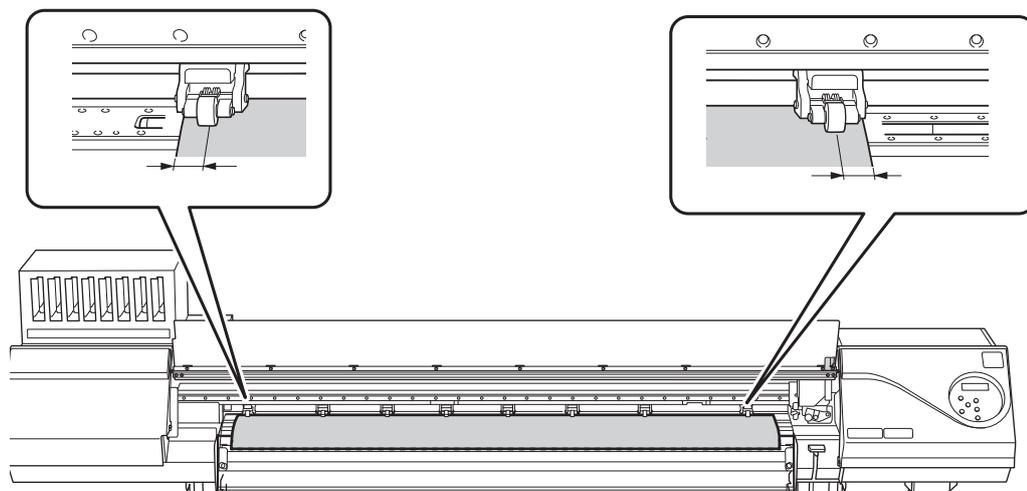
7. メディアをエプロンの上まで引き出す。



8. メディアの両端がグリットローラーの上にあることを確認する。
メディアの右端は、必ず右端に三つ並んだグリットローラーの上に乗せてください。



9. 左右のピンチローラーを移動して、メディアの両端に配置する。
メディアの端から 15 mm 程度離れた位置に配置してください。

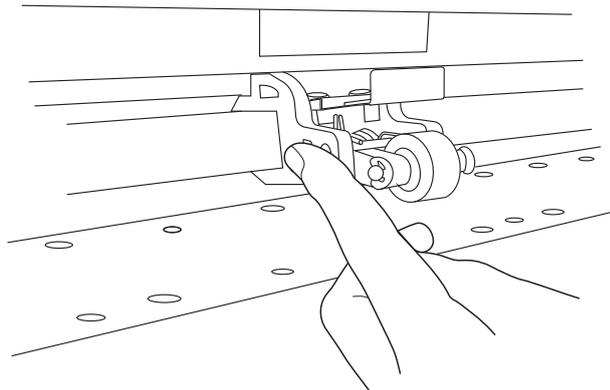


重要

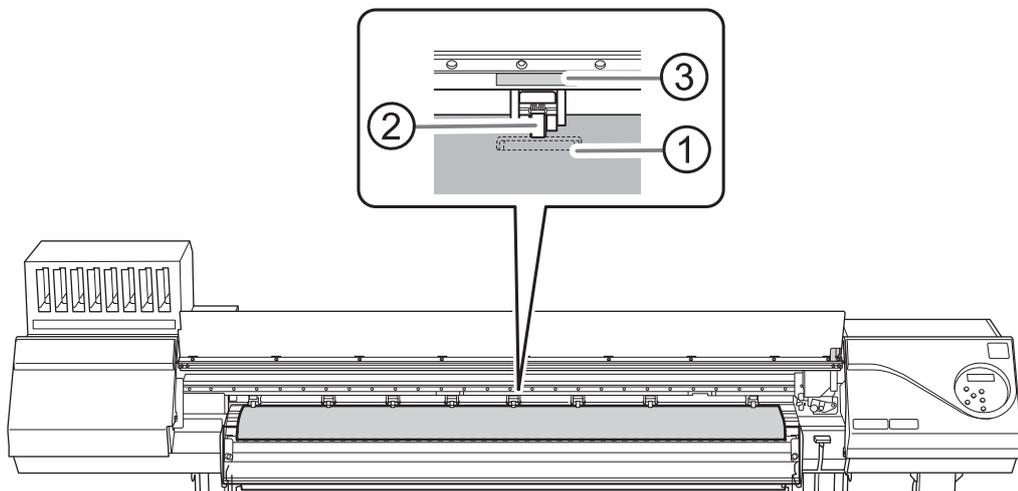
- 必ず左右のピンチローラーを使用してください。ミドルピンチローラーと左右ピンチローラーでは、メディアを挟み込む力が違います。ミドルピンチローラーでメディアの端を挟むと、メディアの送りが安定しなくなります。
- メディアの位置を直したい場合は、プリンター背面に戻りメディアホルダーの固定を解除し手順 1 からやり直してください。プリンター前面でメディアだけを持って無理やり位置を直すと、出力時にメディアが斜行したり、浮いたりして出力品質に影響します。

メモ

ピンチローラーを移動するときは、レール近くを押すとスムーズに動きます。

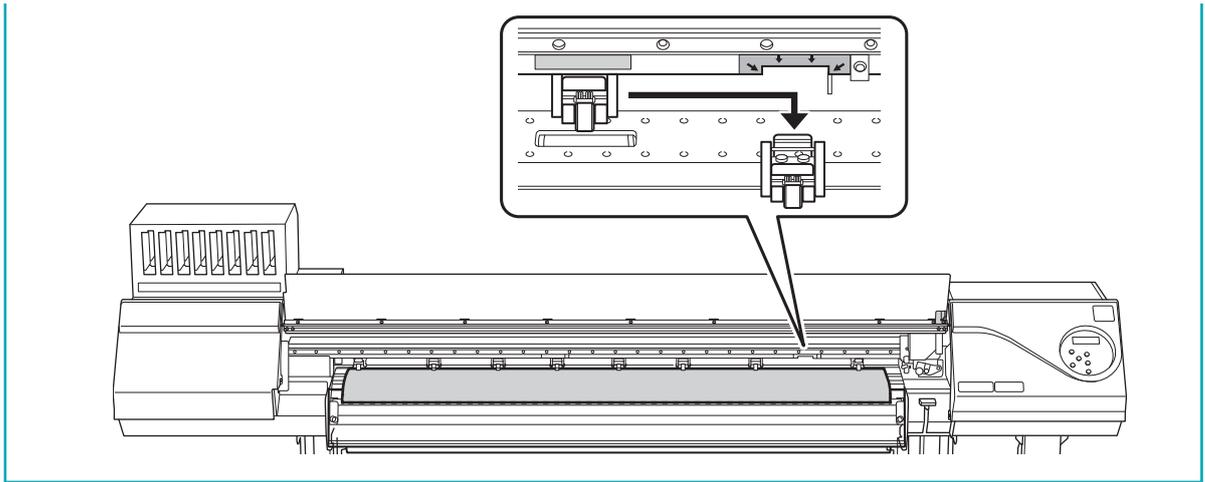


10. メディアがのっている残りすべてのグリットローラー (①) の上に、ミドルピンチローラー (②) を移動する。グリットローラーのある場所には、グリットマーク (③) があります。

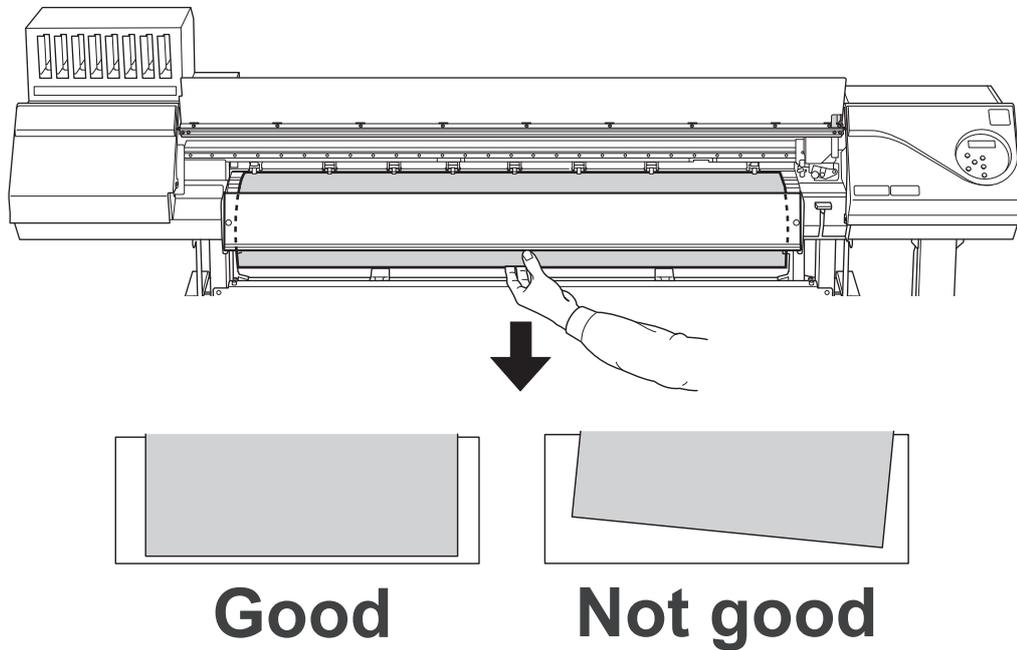


重要

- メディア幅の範囲にあるすべてのグリットマークに、ミドルピンチローラーを配置してください。ミドルピンチローラーの配置忘れがあると、メディアが斜行したり、浮いたりして出力品質に影響します。
- 使用するメディアの幅によっては、ミドルピンチローラーが余ります。余ったミドルピンチローラーは、必ず取り外してください。



11. メディアの中央を持ってまっすぐに引き出し、メディア全体がピンと張るようにする。

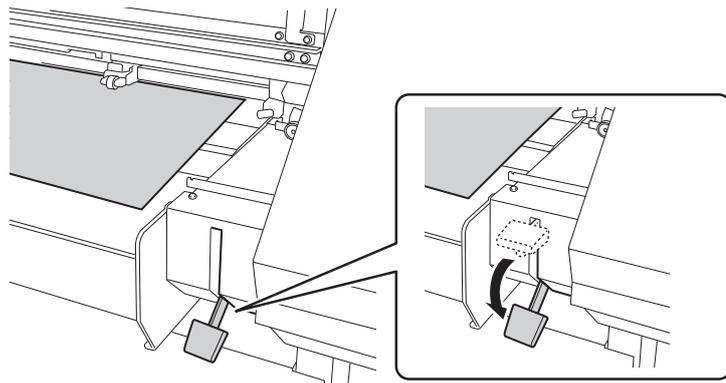


12. ローディングレバー（前側）を下ろす。

このとき [セットアップシマス ENTER ヲオシテクダサイ] というメッセージが表示画面に表示されますが、まだ [ENTER] を押さずに次の手順に進んでください。

重要

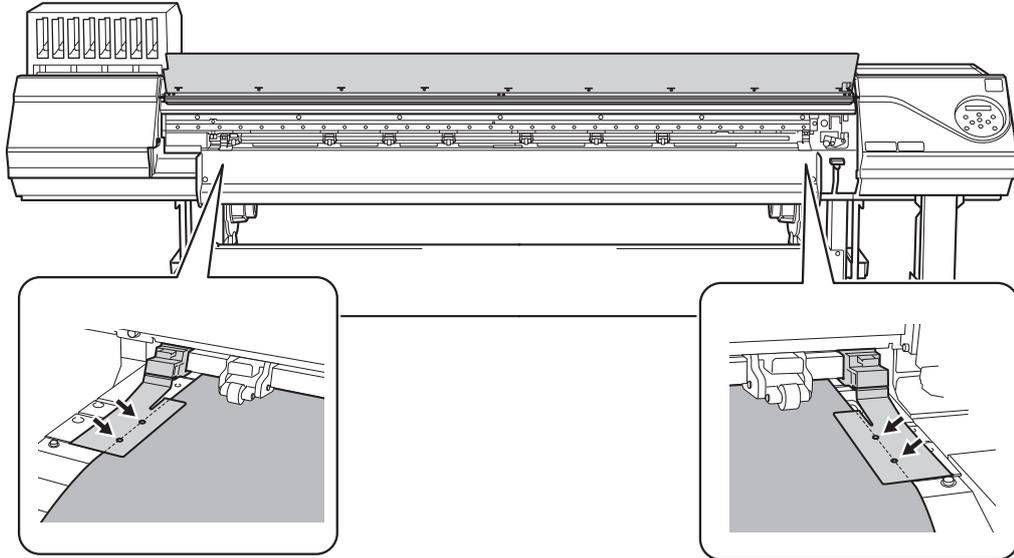
メディアの位置を直したい場合は、プリンター背面に戻りメディアホルダーの固定を解除し手順 1 からやり直してください。プリンター前面でメディアだけを持って無理やり位置を直すと、出力時にメディアが斜行したり、浮いたりして出力品質に影響します。



3. セットアップを完了する

手順

1. 左右のメディアクランプの穴の中心をメディアの端に合わせる。



2. フロントカバーを閉じる。

3. [ENTER] を押す。

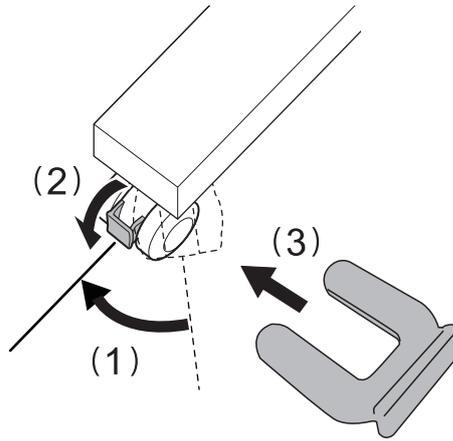
[ENTER] を押すと、カッティングキャリッジが動いてメディアの幅を検出します。この動作を初期動作と呼びます。初期動作が完了すると操作パネルの [SETUP] が点灯し、表示画面に出力可能な幅が表示されます。

重要

ロールメディアを使わないときには取り外してください。

ロールメディアは、取り付けのまま長時間放置しないでください。使わないときは必ず取り外して保管してください。長時間放置すると、メディア全体がたわんで出力品質の悪化やモーターエラーの原因となります。

4. メディアをセットするために機体を移動したときは、メディアをセットしたあと機体をもとの位置に戻し、キャスターを固定する。
 - (1) キャスターを前に向ける。
 - (2) ロックをかける。
 - (3) キャスターホルダーでキャスターを固定する。



カットメディアのセットアップ

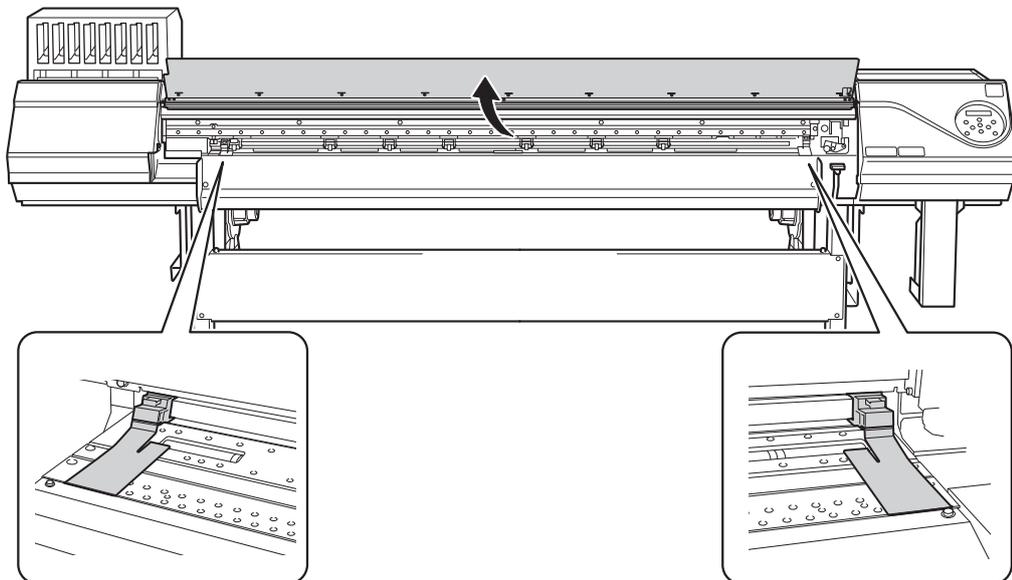
プリンターにカットメディアを取り付けます。取り付けが完了すると [SETUP] が点灯します。この作業を「メディアのセットアップ」と呼びます。

1. A：メディアの位置を決める

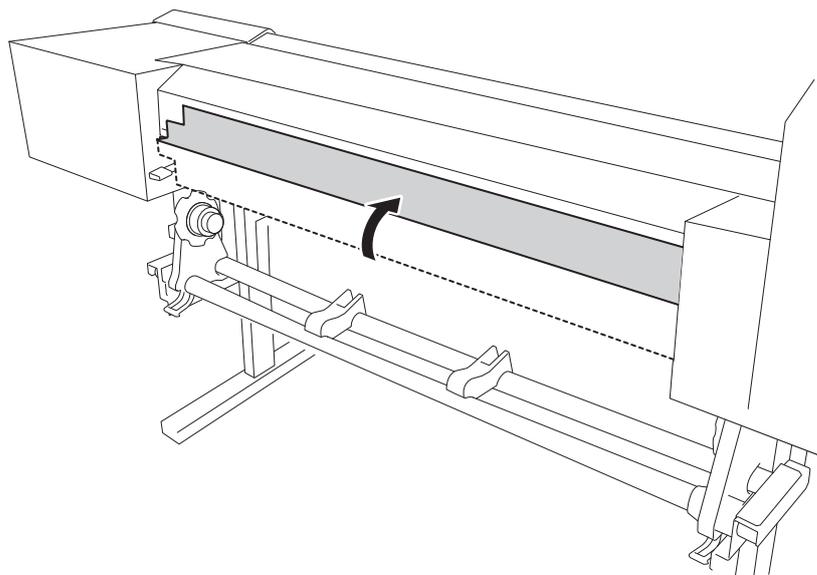
ここでは吸着ファンを利用してメディアの斜行を防止する方法を記します。メディアの端を検出できない透明なメディアを使用する場合や [エッジケンシュツ] または [シャコウ キョウセイ] を [ムコウ] に設定している場合は、吸着ファンは作動しないためこの手順ではメディアをセットできません。この場合は、[1. B：メディアの位置を決める \(P. 55\)](#) を参照してください。

手順

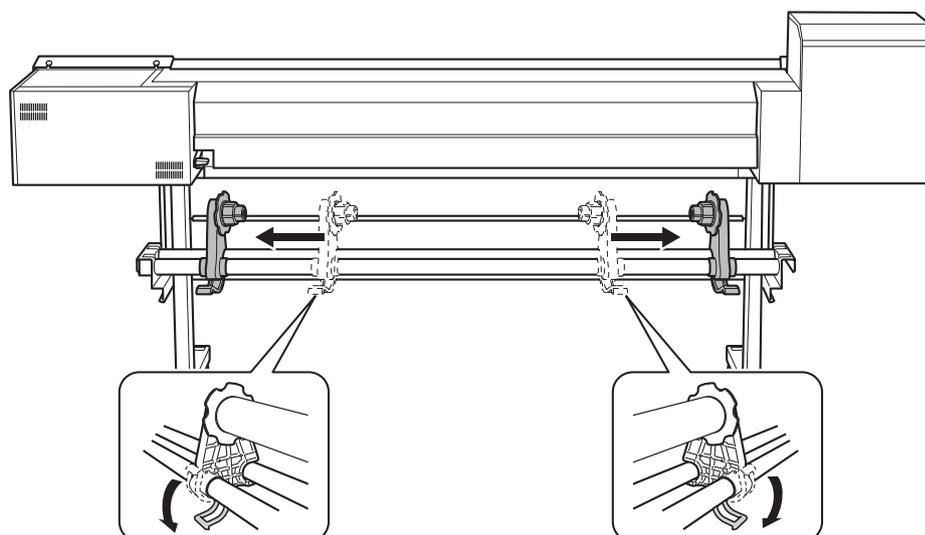
1. フロントカバーを開ける。
2. プリントヘッド高さが [ヒクイ] または [タカイ] の場合は、メディアクランプを左右両端のグリットローラーの外側まで移動する。



3. プリントヘッド高さが [Sp.ロー] の場合は、メディアクランプを取り外す。
メディアクランプを取り外さないとセットアップができません。
4. プリンターの背面に移動し、リヤUV シールドを開ける。



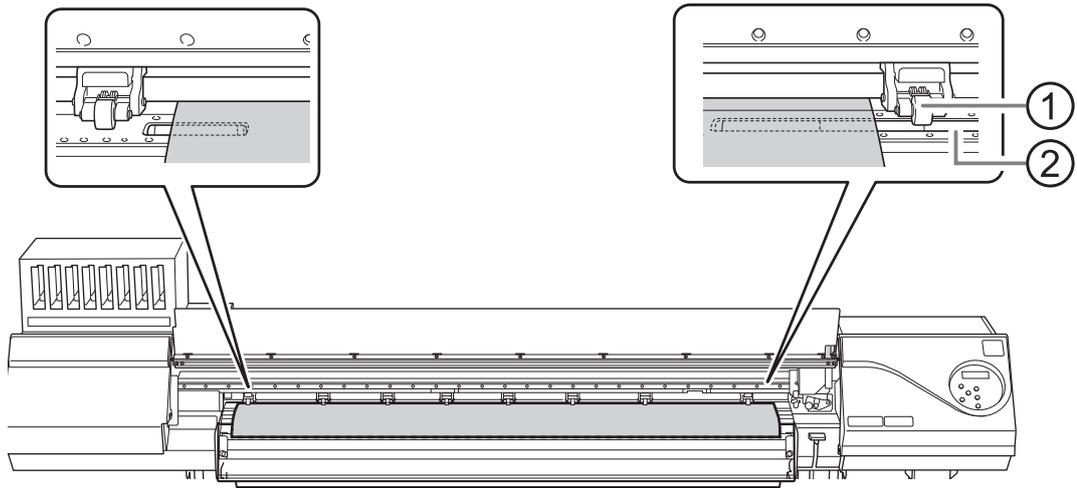
5. メディアホルダーの固定を解除し、左右いっぱいまで寄せる。



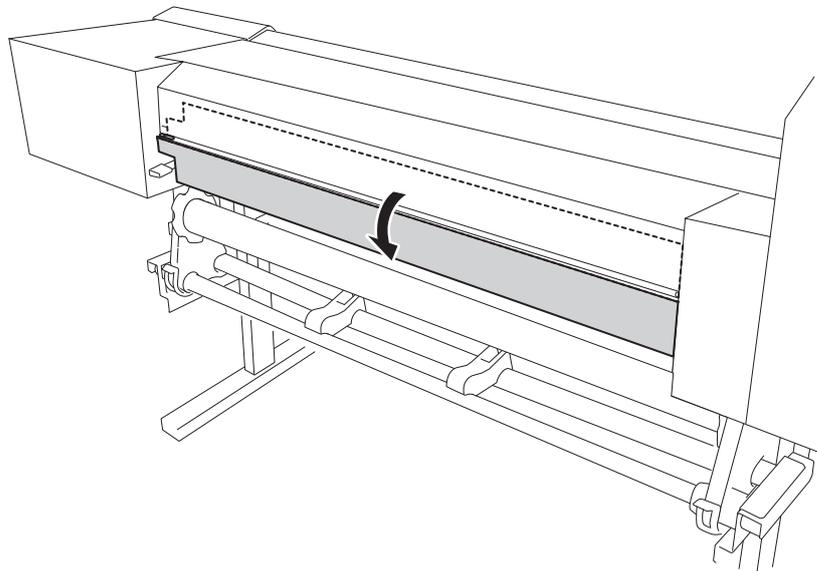
6. プリンターの背面から、メディアの先端をピンチローラー (①) とグリットローラー (②) の間に通し、ピッと音が鳴るまでメディアを送る。

ピッと音が鳴ったあと、約5秒後にピッピッと音が鳴り吸着ファンが作動します。吸着ファンの作動中は、メディアから手を離してもメディアが戻ることはありません。

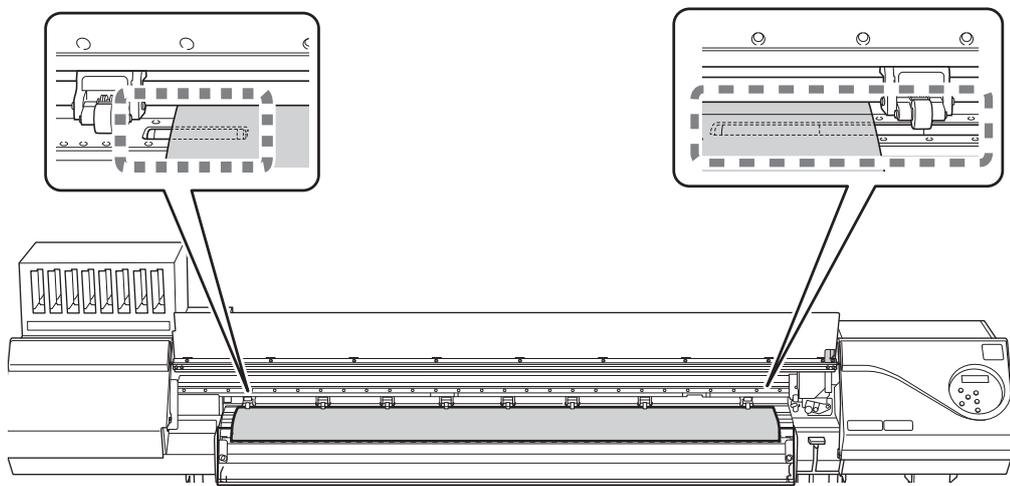
メディアをプリンターの前面からセットする場合は、メディアの前端（印刷開始する側）を一度プラテン上まで送ってから手前に引くと、吸着ファンが動作します。



7. リヤUV シールドを閉じる。

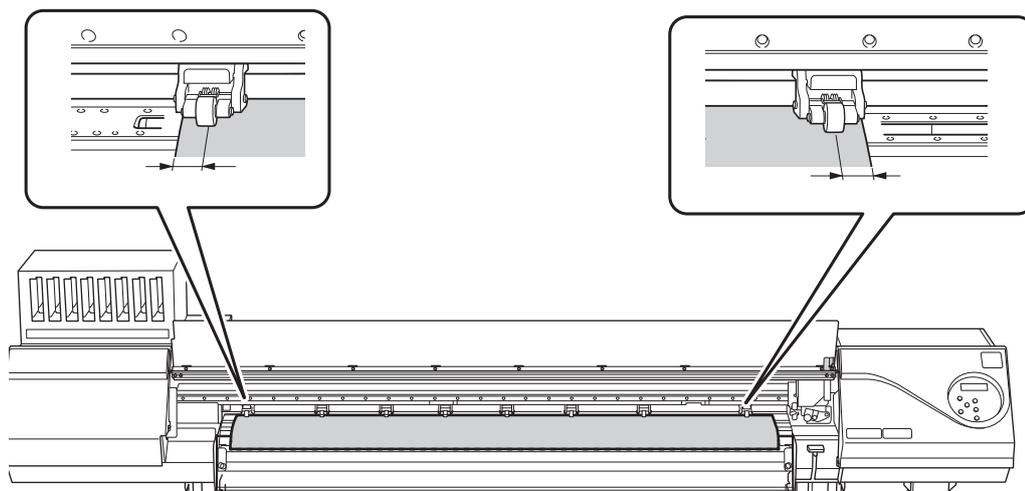


**8. プリンターの前面に移動し、メディアの両端がグリットローラーの上にあることを確認する。
メディアの右端は、必ず右端のグリットローラー上にのせてください。**



9. 左右のピンチローラーを移動して、メディアの両端に配置する。

メディアの端から 15 mm 程度離れた位置に配置してください。

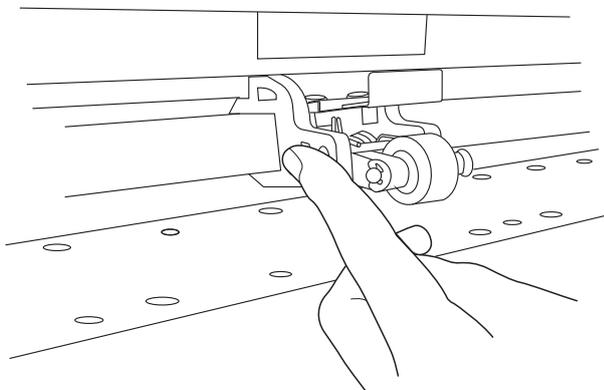


重要

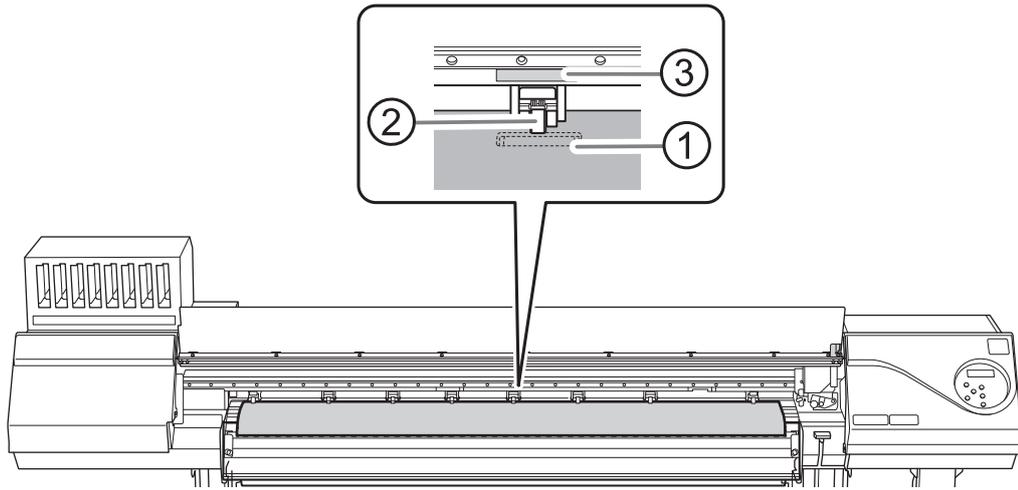
- 必ず左右のピンチローラーを使用してください。ミドルピンチローラーと左右ピンチローラーでは、メディアを挟み込む力が違います。ミドルピンチローラーでメディアの端を挟むと、メディアの送りが安定しなくなります。
- メディアの位置を直したい場合は、手順 6 まで戻ってやり直してください。

メモ

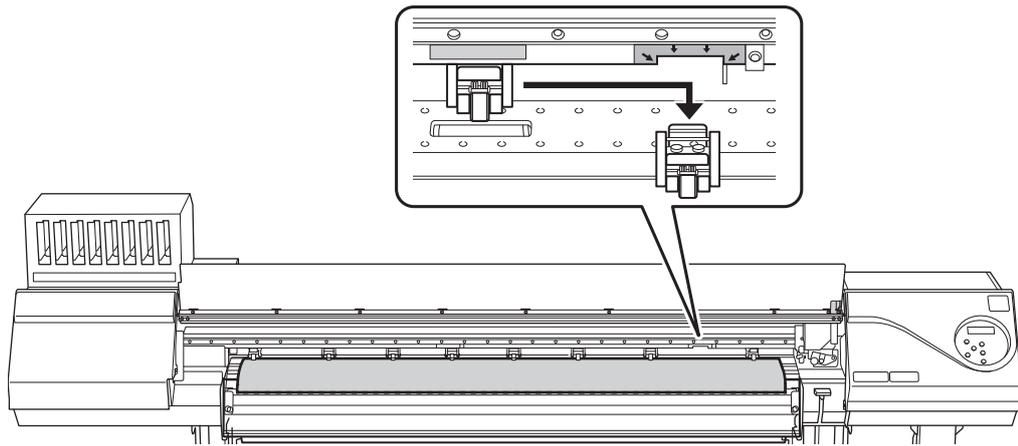
ピンチローラーを移動するときは、レール近くを押すとスムーズに動きます。



10. メディアがのっている残りすべてのグリットローラー (①) の上に、ミドルピンチローラー (②) を移動する。グリットローラーのある場所には、グリットマーク (③) があります。

**重要**

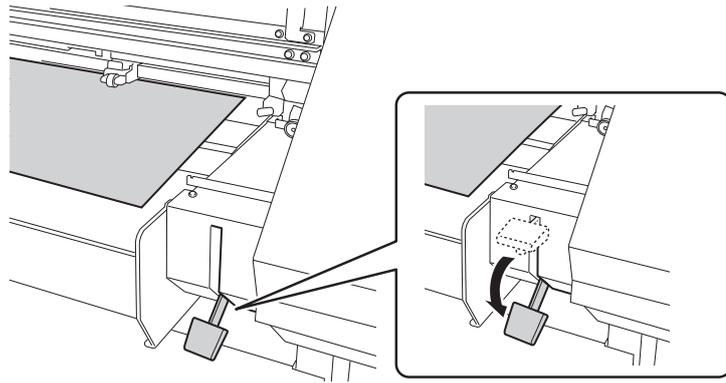
- メディア幅の範囲にあるすべてのグリッドマークに、ミドルピンチローラーを配置してください。ミドルピンチローラーの配置忘れがあると、メディアが斜行したり、浮いたりして出力品質に影響します。
- 使用するメディアの幅によっては、ミドルピンチローラーが余ります。余ったミドルピンチローラーは、取り外してください。

**11. ローディングレバー（前側）を下ろす。**

このとき [セットアップシマス ENTER ヲオシテクダサイ] というメッセージが表示画面に表示されますが、まだ [ENTER] を押さずに次の手順に進んでください。

重要

メディアの位置を直したい場合は、手順 6 まで戻ってやり直してください。

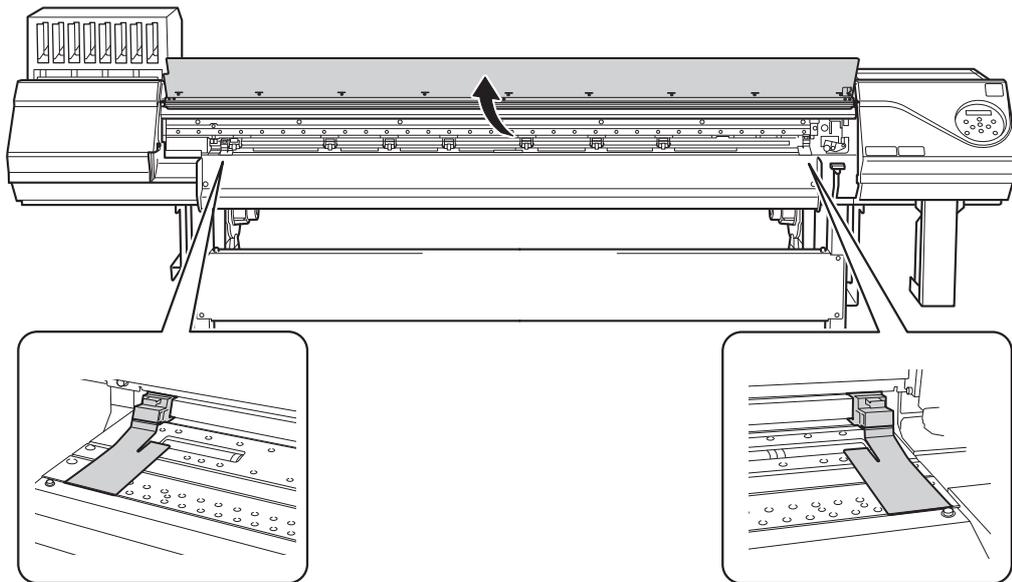


1. B：メディアの位置を決める

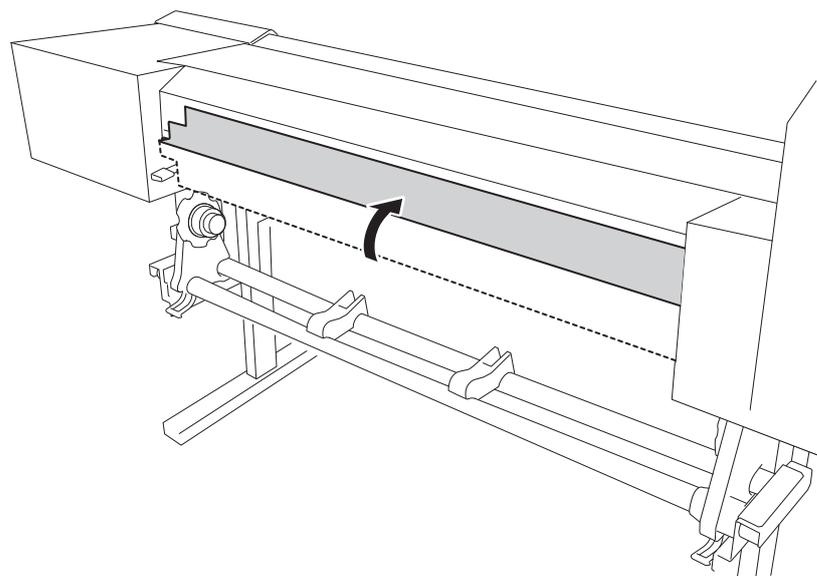
ここでは吸着ファンを利用しないでメディアの位置を決める方法を記します。メディアの端を検出できない透明なメディアや、〔エッジケンシュツ〕または〔シャコウ キョウセイ〕を〔ムコウ〕に設定している場合が該当します。

手順

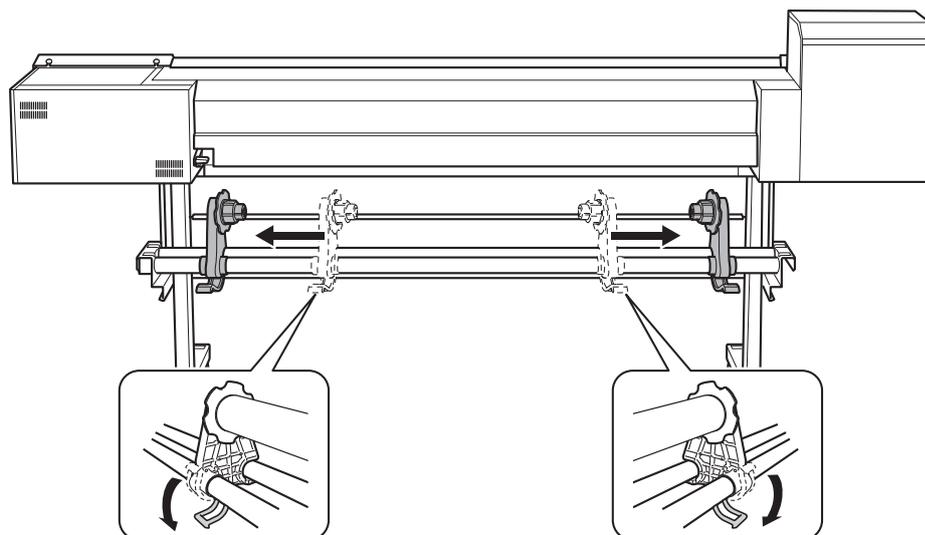
1. フロントカバーを開ける。
2. プリントヘッド高さが〔ヒクイ〕または〔タカイ〕の場合は、メディアクランプを左右両端のグリットローラーの外側まで移動する。



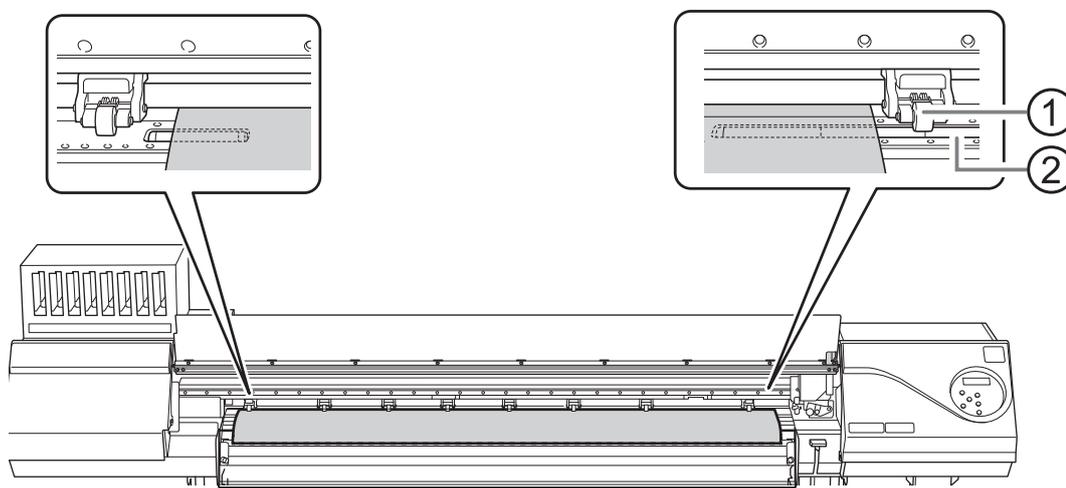
3. プリントヘッド高さが〔Sp.ロー〕の場合は、メディアクランプを取り外す。
メディアクランプを取り外さないでセットアップができません。
4. プリンターの背面に移動し、リヤUV シールドを開ける。



5. メディアホルダーの固定を解除し、左右いっぱいまで寄せる。



6. メディアの先端をピンチローラー (①) とグリットローラー (②) の間に通す。



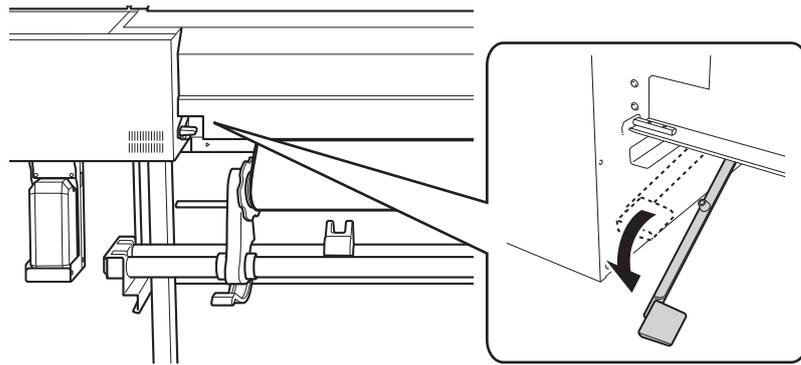
メモ

メディアの吸着が弱すぎたり強すぎたりして、メディアがうまくセットできないときは、[PAUSE] を押してください。[PAUSE] を押すたびに吸着力が3段階に切り替わります。

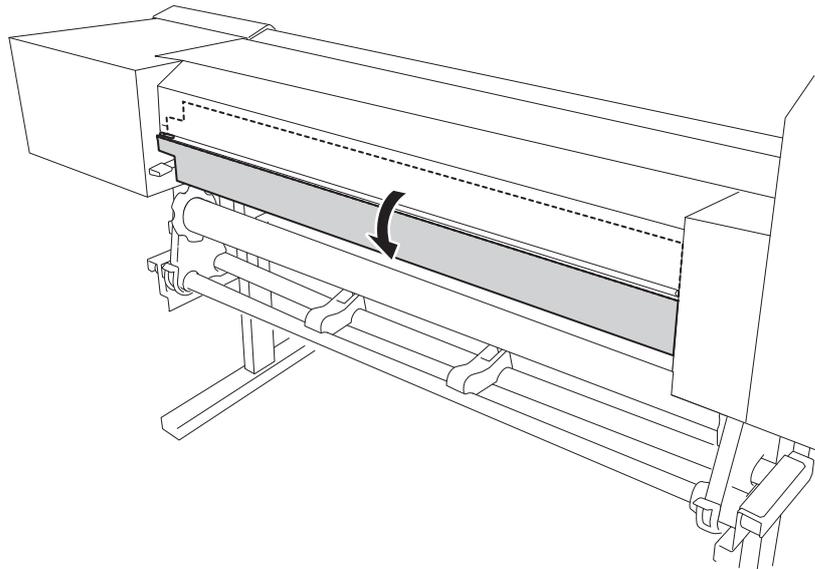
7. ローディングレバー (後側) を下ろす。

メディアが固定されます。

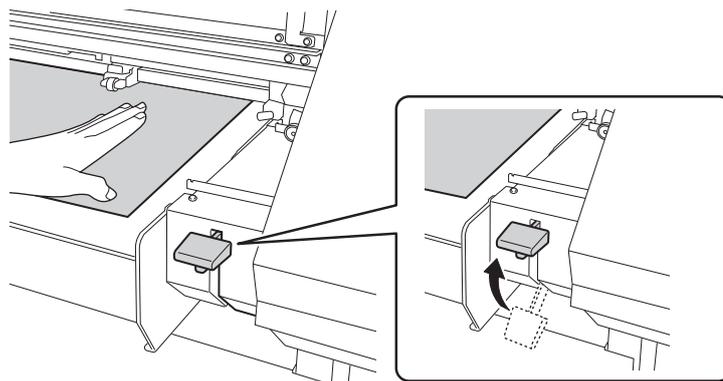
このとき、[セットアップシマス ENTER ヲオシテクダサイ] というメッセージが表示画面に表示されますが、まだ[ENTER] を押さずに次の手順に進んでください。



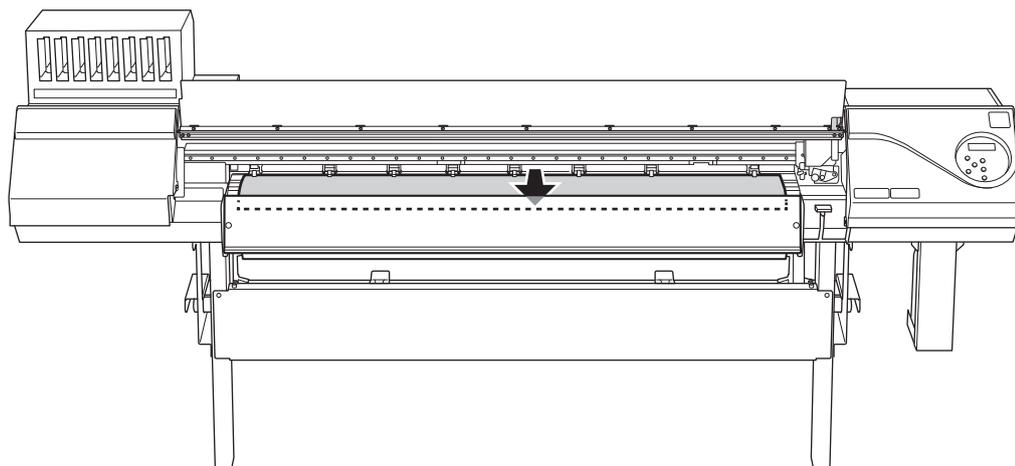
8. リヤUV シールドを閉じる。



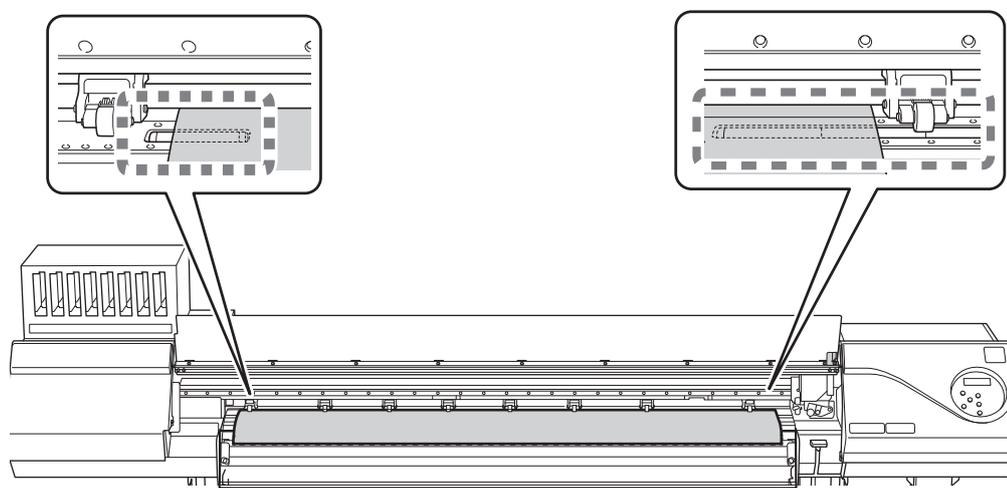
9. プリンターの前面に移動し、メディアを軽く押さえながらローディングレバー（前側）を上げる。メディアの固定が解除されます。



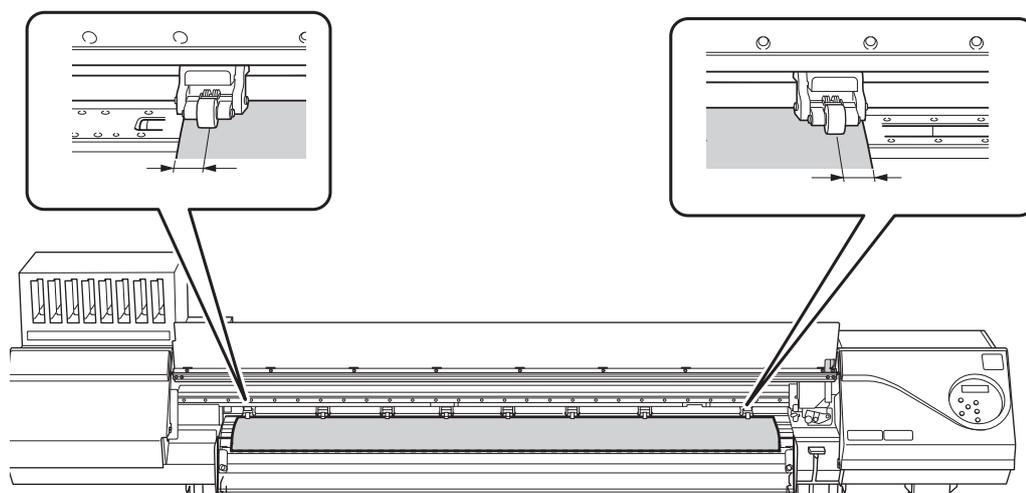
10. メディアをエプロンの上まで引き出す。



- 11.** メディアの両端がグリットローラーの上にあることを確認する。
メディアの右端は、必ず右端に三つ並んだグリットローラーの上に乗せてください。



- 12.** 左右のピンチローラーを移動して、メディアの両端に配置する。
メディアの端から 15 mm 程度離れた位置に配置してください。

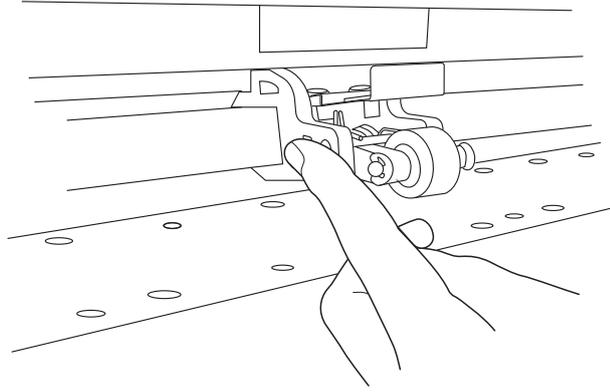


重要

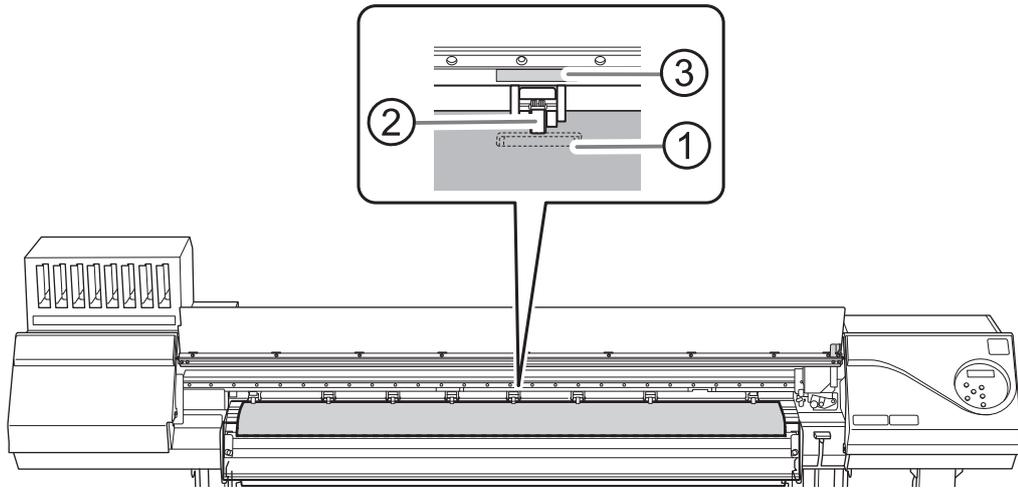
必ず左右のピンチローラーを使用してください。ミドルピンチローラーと左右ピンチローラーでは、メディアを挟み込む力が違います。ミドルピンチローラーでメディアの端を挟むと、メディアの送りが安定しなくなります。

メモ

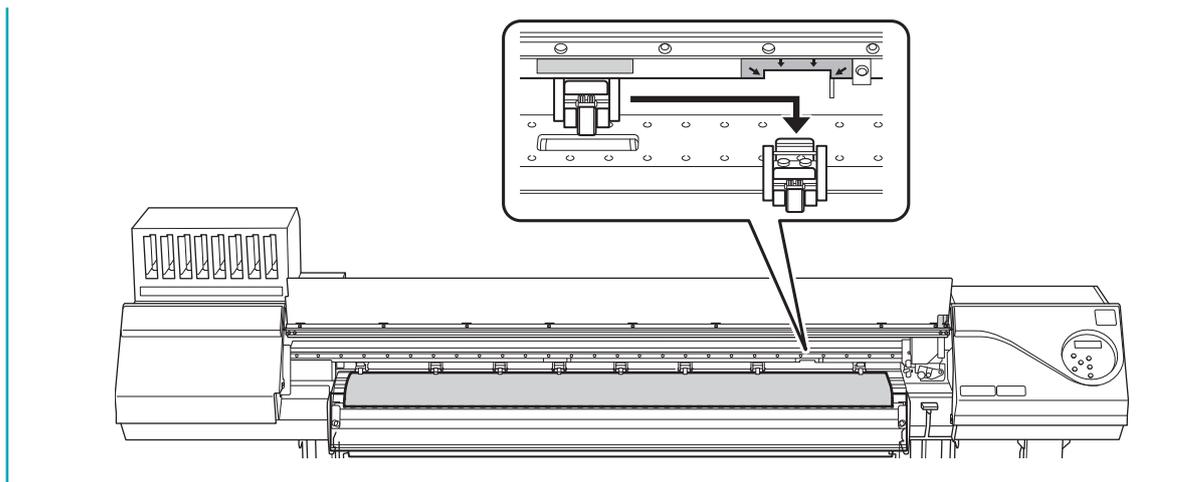
ピンチローラーを移動するときは、レール近くを押すとスムーズに動きます。



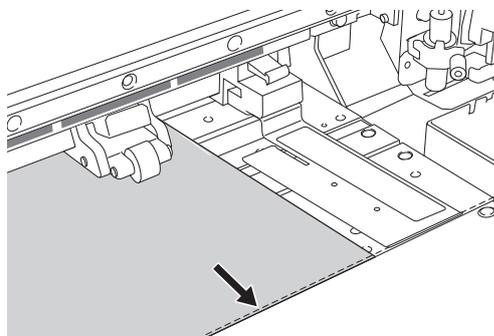
13. メディアがのっている残りすべてのグリットローラー (①) の上に、ミドルピンチローラー (②) を移動する。グリットローラーのある場所には、グリットマーク (③) があります。

**重要**

- メディア幅の範囲にあるすべてのグリットマークに、ミドルピンチローラーを配置してください。ミドルピンチローラーの配置忘れがあると、メディアが斜行したり、浮いたりして出力品質に影響します。
- 使用するメディアの幅によっては、ミドルピンチローラーが余ります。余ったミドルピンチローラーは、必ず取り外してください。



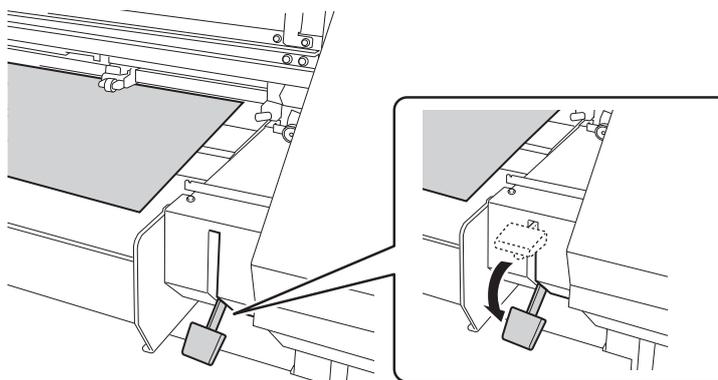
14. メディアをまっすぐにする。
 下図のように、矢印で示したラインに合わせるとよいでしょう。



15. ローディングレバー（前側）を下ろす。
 このとき [セットアップシマス ENTER ヲオシテクダサイ] というメッセージが表示画面に表示されますが、まだ [ENTER] を押さずに次の手順に進んでください。

重要

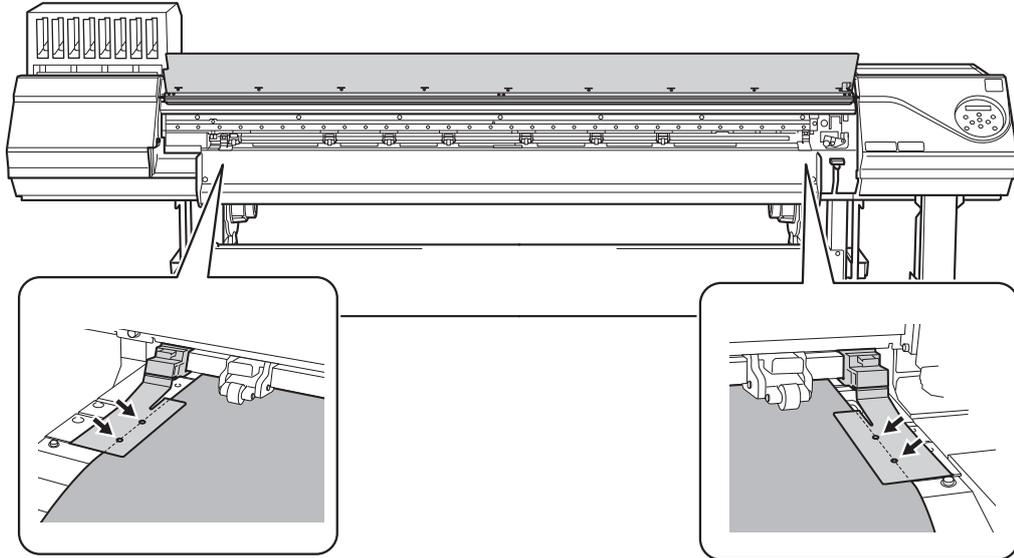
固定する前にメディアの位置を直したい場合は、手順 6 まで戻ってやり直してください。



2. セットアップを完了する

手順

1. 左右のメディアクランプの穴の中心をメディアの端に合わせる。



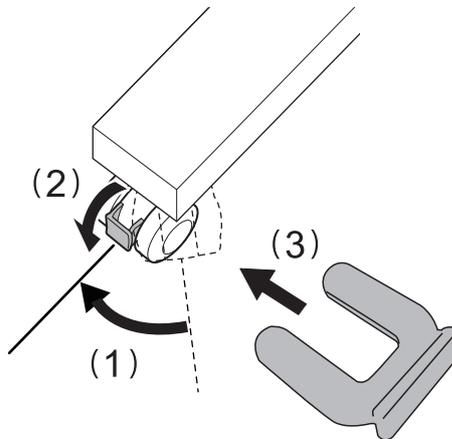
2. フロントカバーを閉じる。

3. [ENTER] を押す。

[ENTER] を押すと、カットिंगキャリッジが動いてメディアの幅を検出します。この動作を初期動作と呼びます。初期動作が完了すると操作パネルの [SETUP] が点灯し、表示画面に出力可能な幅が表示されます。

4. メディアをセットするために機体を移動したときは、メディアをセットしたあと機体をもとの位置に戻し、キャスターを固定する。

- (1) キャスターを前に向ける。
- (2) ロックをかける。
- (3) キャスターホルダーでキャスターを固定する。



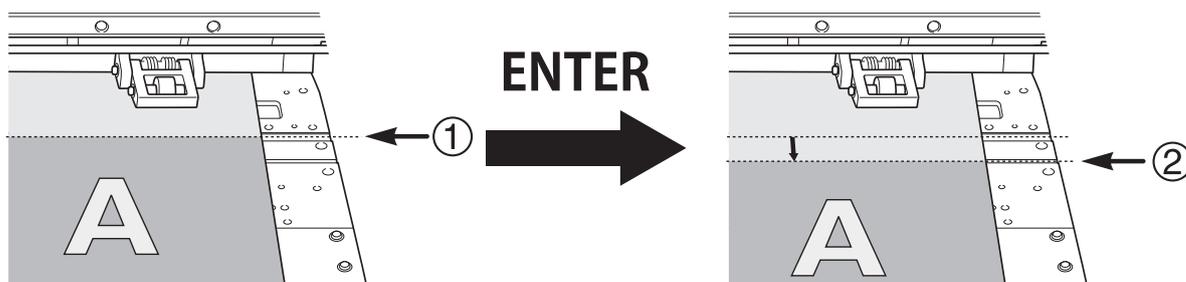
メディアの切り離し

手順

1. メディアクランプが取り付けられている場合は、取り外す。
2. フロントカバーを閉じる。
3. [SETUP] が点灯していることを確認する。
4. [FUNCTION] を押す。
5. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



6. [ENTER] を押す。
[ENTER] を押す前にカッタープロテクションのライン上にあった位置 (①) が、切り離しライン (②) の上まで移動して切り離されます。



メモ

出力終了後に自動でメディアが切り離されるようにソフトウェア RIP で設定できます。設定の仕方はお使いのソフトウェア RIP の取扱説明書を参照してください。

重要

切り離し操作について

- 切り離すときに [▲] を押してメディアを引き戻さないでください。メディア先端から切り離し位置までの長さが短いと、うまく切り離せないことがあります

メディアの材質にご注意ください

- 切り離しができないものがあります
- 切り離し後にメディアがプラテン上に残ってしまうものがあります。メディアがプラテン上に残っているときは、手で取り外してください

設置後はじめにやること

インクの着弾位置のずれを詳細に調整する

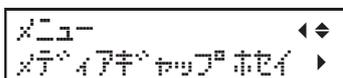
インクの着弾位置のずれを調整します。

次の場合は、必ずこの調整を行ってください。

- 本機を初めて使用する場合
- 使用するメディアの種類を変更する場合
- ヘッド高さを変更した場合
- [メディアギャップホセイ カンイ セッテイ] で印刷が改善されない場合

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



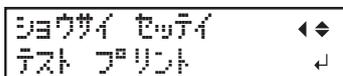
```
メニュー ◀▶
メディアギャップホセイ ▶
```

3. [▶] [▲] の順に押して、以下の画面を表示する。



```
メディアギャップホセイ ◀▶
ショウサイ セッテイ ▶
```

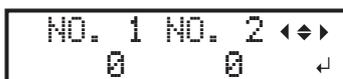
4. [▶] を押して、以下の画面を表示する。



```
ショウサイ セッテイ ◀▶
テスト プリント ↵
```

5. [ENTER] を押す。
テストパターンの印刷を開始します。

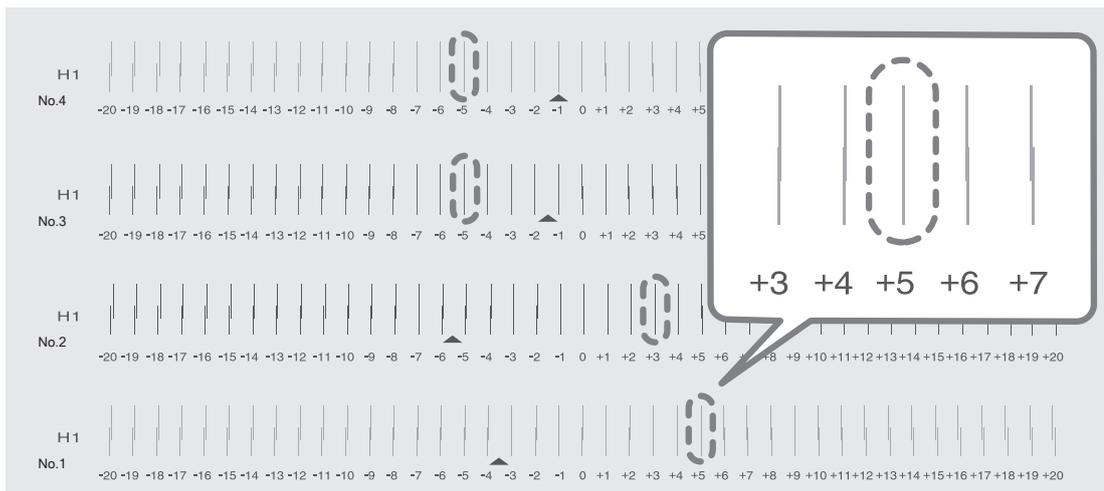
6. 印刷が完了したら [▼] [▶] の順に押して、以下の画面を表示する。



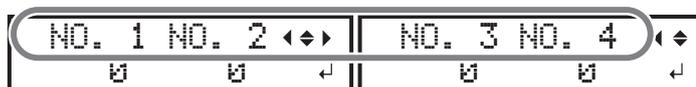
```
NO. 1 NO. 2 ◀▶
0 0 ↵
```

7. 印刷したテストパターンを見て、[メディアギャップホセイ No.1] から [メディアギャップホセイ No.4] の補正値を決める。

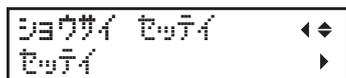
2本の縦線の“ずれ”が最も少ない値を選びます。下図の場合、NO.1に「+5」を選びます。連続する値のどちらか迷う場合は、中間の値にしてください（補正値は「0.5」ずつ設定できます）。



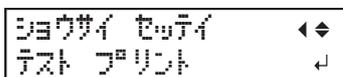
8. [No.1] から [No.4] の補正值を設定する。
 - (1) [◀] [▶] を押して [No.1] から [No.4] を選択する。
 - (2) [▲] [▼] を押して補正值を選択する。



- (3) 補正值の設定が完了したら、[ENTER] を押して決定する。
以下の画面に戻ります。



9. [▼] を押して、以下の画面を表示する。



10. [ENTER] を押す。

テストパターンの印刷を開始します。

11. テストパターンを確認し、調整が成功したかどうか確認する。

すべての補正值において、「▲」が指している 2本の縦線 (=現在の補正值) の「ずれ」が最も少ないことを確認してください。「ずれ」が小さい縦線が他にある場合は、補正值を再設定してください。

12. 調整が成功したら、[MENU] を押してもとの画面に戻る。

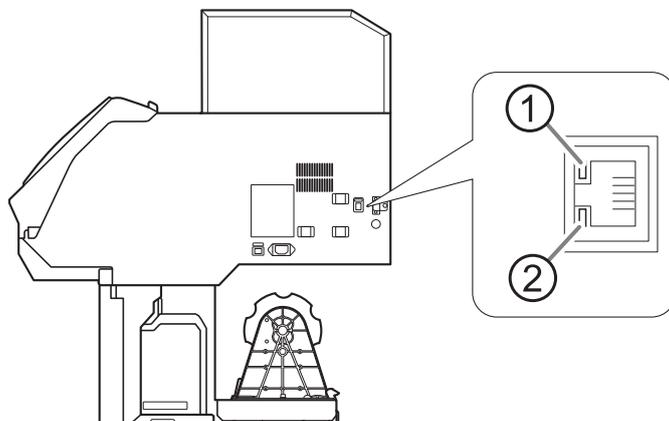
関連情報

- ・ P. 143 インクの着弾位置のずれを調整する

出力前の確認

LAN（ローカルエリアネットワーク）の状態

LAN（ローカルエリアネットワーク）が通信可能な状態になっていることを確認してください。
プリンター側面にある LAN コネクタのステータス LED (②) が緑色に点灯していれば、LAN は有効な状態です。



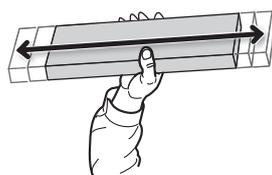
①	アクティビティ LED	ネットワークからのデータを受信中に、黄色で点滅します。
②	ステータス LED	通信機能の状態を示します。緑色で点灯していれば、通信可能な状態です。

インクの沈殿を防ぐ

インクの成分が沈殿していると、正常な色で印刷ができません。インクの成分がよく混ざるように、インクカートリッジを両端 5 cm の振り幅で水平に振ります。

- ホワイトインクのカートリッジをいったん抜き、50 回（20 秒程度）振ってから再び差し込んでください
- ホワイト以外のインクカートリッジは、毎回振る必要はありませんが、新品を取り付けるときには振ってください

ホワイトインクは成分が沈殿しやすい性質を持っています。その日に作業を始める前に、必ずカートリッジを振ってください。放置すると沈殿した成分が固まり、故障などトラブルの原因になります。



重要

- 振る前にインクカートリッジの口についたインクをふき取ってください。ふき取らないと、インクカートリッジを振るときにインクが飛び散ります
- 攪拌が終了したら、すぐにインクカートリッジを取り付けなおしてください。時間がかかると、インク経路に悪影響が出ます
- プリンターを使用しない場合でも、1 週間に 1 回はホワイトインクのカートリッジを 50 回（20 秒程度）振ってください

出力の一時停止と中止

出力の途中で一時停止やキャンセルができます。

出力の一時停止と再開

重要

印刷を再開した場合、一時停止した場所で横すじが出る場合があります。

手順

1. 出力中に [PAUSE] を押す。
出力が一時停止します。
2. もう一度 [PAUSE] を押す。
出力を再開します。

出力の中止

手順

1. 出力中に [PAUSE] を押す。
出力が一時停止します。
2. コンピューター側でデータの送信をストップする。
3. 以下の画面が表示されたら、[PAUSE] を 1 秒以上押し続ける。

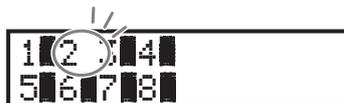
```
PAUSEキー オン/オフ/ケルト  
データ ラ キャンセルシマス
```

出力がキャンセルされます。

インクカートリッジの交換

インクが無くなったときのお知らせ

インクが無くなると印刷が一時停止して、「ピピッ」というブザー音が鳴ります。空のカートリッジを引き抜き、新しいものを差し込んでください。印刷が再開します。



インクが無くなると、無くなった色の番号が点滅します。

点灯	インクが残っていることを示しています。
点滅	インクが無くなったことを示しています。

関連情報

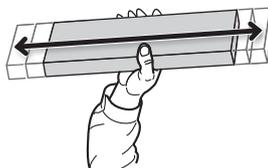
- ・ P. 67 インクカートリッジの交換

インクの沈殿を防ぐ

インクの成分が沈殿していると、正常な色で印刷ができません。インクの成分がよく混ざるように、インクカートリッジを両端 5 cm の振りで水平に振ります。

- ・ ホワイトインクのカートリッジをいったん抜き、50 回（20 秒程度）振ってから再び差し込んでください
- ・ ホワイト以外のインクカートリッジは、毎回振る必要はありませんが、新品を取り付けるときには振ってください

ホワイトインクは成分が沈殿しやすい性質を持っています。その日に作業を始める前に、必ずカートリッジを振ってください。放置すると沈殿した成分が固まり、故障などトラブルの原因になります。



重要

- ・ 振る前にインクカートリッジの口についたインクをふき取ってください。ふき取らないと、インクカートリッジを振るときにインクが飛び散ります
- ・ 攪拌が終了したら、すぐにインクカートリッジを取り付けなおしてください。時間がかかると、インク経路に悪影響が出ます
- ・ プリンターを使用しない場合でも、1 週間に 1 回はホワイトインクのカートリッジを 50 回（20 秒程度）振ってください

出力方法

プリントの方法

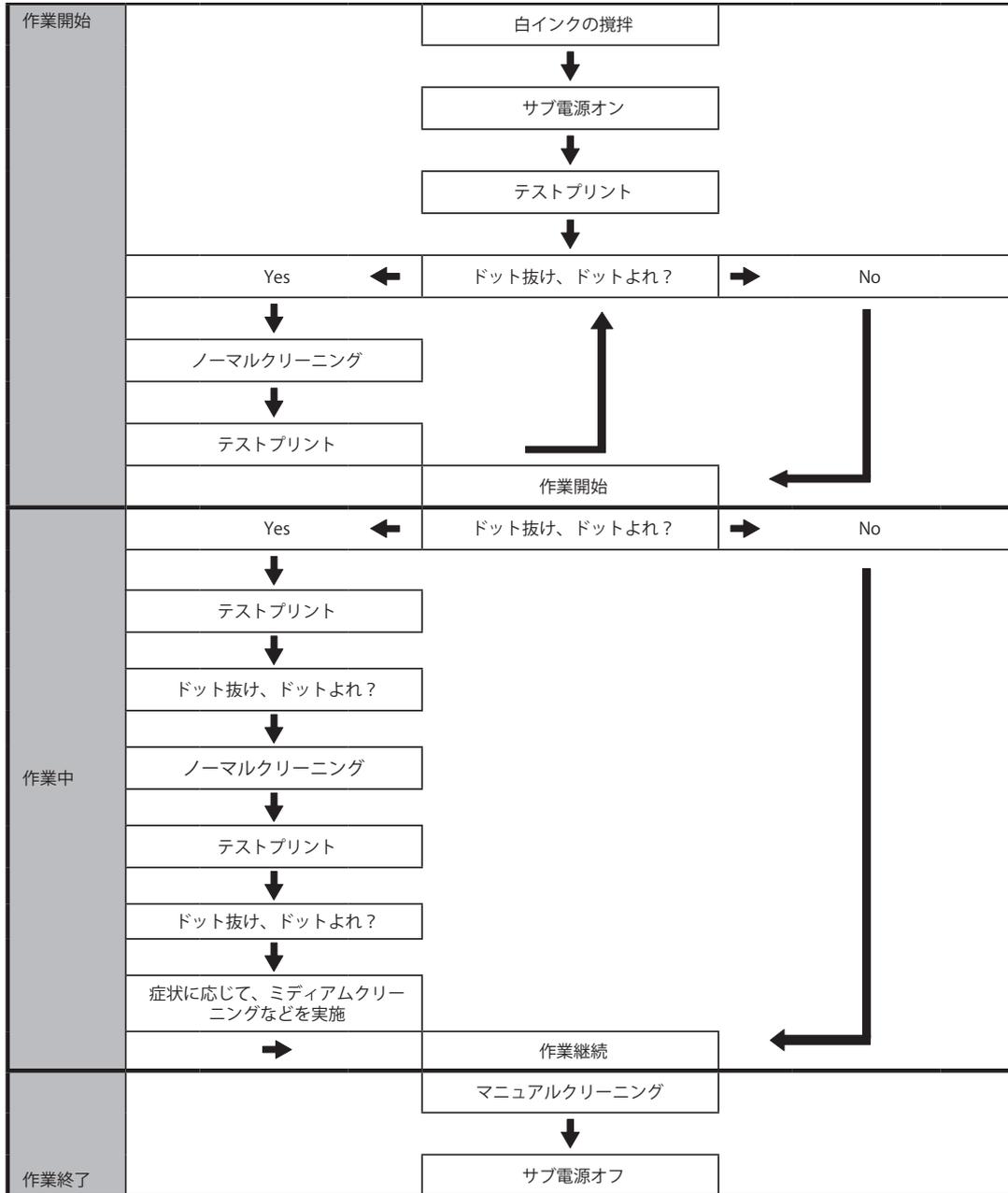
プリント出力前の準備.....	70
1日のワークフローの確認.....	70
テストプリントとノーマルクリーニング.....	71
プリント出力.....	73
Step 1: プリントのための一括設定.....	73
Step 2: 出力の開始.....	82

プリント出力前の準備

1日のワークフローの確認

1日の作業における、基本的なワークフローを説明します。

適切なタイミングで適切なメンテナンスを実施することで、本機的能力を最大限に引き出し、故障を防ぐことに繋がります。



テストプリントとノーマルクリーニング

1. テストプリントを実施する

印刷の前にテストプリントをして、ドット抜けやドットよれがないかを確認します。ドット抜けやドットよれがあった場合は、プリントヘッドのクリーニング（ノーマルクリーニング）を行います。

メモ

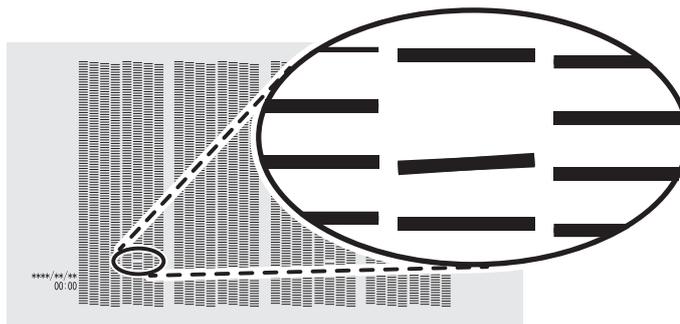
- カuttingだけ行う場合は不要な作業です
- 連続してテストプリントを行なう場合は、2回目以降の印刷位置を1回目の印刷位置に対して〔タテ〕（縦に並べて印刷）にするか〔ヨコ〕（横に並べて印刷）にするか設定できます

手順

1. メディアをセットする。
P. 30 メディアのセットアップ
2. [FUNCTION] を押す。
3. [▼] [▶] の順に押して、以下の画面を表示する。



4. [ENTER] を押す。
テストパターンの印刷を開始します。
5. テストパターンにドット抜けやドットよれがないか確認する。
ブロックに欠けがあると、ドット抜けの状態です。ブロックに崩れや傾きがあると、ドットよれの状態です。



6. フロントカバーを開けた場合は、フロントカバーを閉じる。
ドット抜けやドットよれが無い場合は、この作業は終了です。[FUNCTION] を押して、もとの画面に戻ってください。

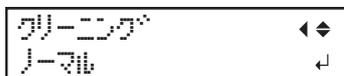
関連情報

- P. 200 テストプリントを横に並べて印刷する

2. ノーマルクリーニングを実施する

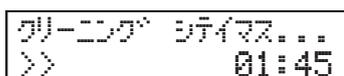
手順

1. [▼] を押して、以下の画面を表示する。

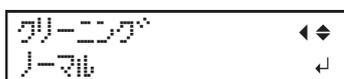


2. [ENTER] を押す。

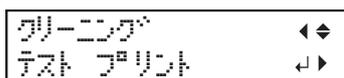
以下の画面が表示され、クリーニングを開始します。画面には、この工程の残り時間（目安）が表示されます（以下の表示は例です。[01:45] の表示は「1分45秒」を意味します）。



終了すると以下の画面に戻ります。



3. [▲] を押す。



4. [ENTER] を押す。

もう一度テストプリントを行って、ドット抜けやドットよれが無くなったか確認します。

5. ドット抜けやドットよれが無くなったか確認する。

ドット抜けやドットよれがなくならなかった場合は、もう一度ノーマルクリーニングを行います。長く使っていると2～3回ノーマルクリーニングを行ってもドット抜けが直らないことがあります。その場合は、別の方法でクリーニングします。

関連情報

- ・ [P. 249 ノーマルクリーニングの効果がないとき](#)

プリント出力

Step 1: プリントのための一括設定

メディアのサイズや種類に合わせて最適な出力ができるように、本機では様々な設定ができます。しかしながら、これらをひとつひとつ設定するのは大変な作業です。〔メディア セットアップ〕メニューを使えば、必要最低限の項目を一括で設定できます。設定内容は、プリセットとして保存できます。

なお、ここで設定する項目はすべて個別に設定できます。

1. 〔メディア セットアップ〕メニューを開始する

手順

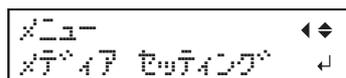
1. メディアをセットする。

[P. 30 メディアのセットアップ](#)

メディアにたるみがないことを確認してください。たるみがあると、補正值の設定などが有効に機能しません。

2. [MENU] を押す。

3. [ENTER] を押す。



一括設定を途中で中止したいときは、下記のページを参照してください。

関連情報

- [P. 81 一括設定を途中で中止する方法](#)

2. プリントヘッドの高さを調整する

手順

1. [◀] を押して [ヘンコウ] を選択する。

```

\ott° 9カサ ヒクイ ▶▶
[ヘンコウ] ツギへ ◀
    
```

2. [ENTER] を押して決定する。

[ツギへ] を選択して [ENTER] を押すと、現在のメニューをスキップして次のメニューに進めます。

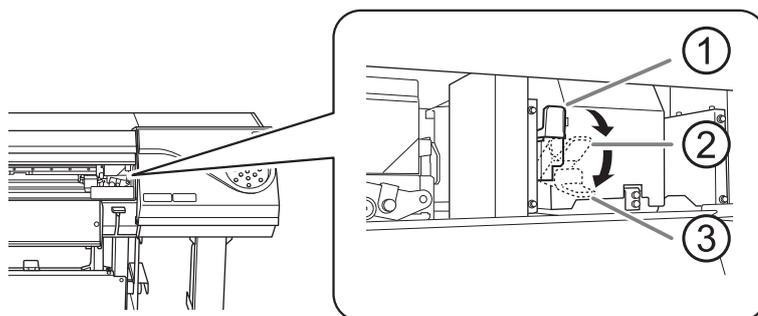
3. 以下の画面が表示されたらフロントカバーを開ける。

```

\ott° 9カサ
ヒクイ ▶ ヒクイ ◀
    
```

4. 高さ調整レバーでプリントヘッドの高さを調整する。

高さ調整レバーの位置を変えると、表示画面の表示が変わり、同時にブザーが鳴ります。



	位置	表示画面
①	[タカイ] (高い)	<pre> \ott° 9カサ ヒクイ ▶ タカイ ◀ </pre>
②	[ヒクイ] (低い)	<pre> \ott° 9カサ ヒクイ ▶ ヒクイ ◀ </pre>
③	[Sp.ロー] (スーパーロー)	<pre> \ott° 9カサ ヒクイ ▶ Sp.ロー ◀ </pre>

重要

[Sp.ロー] にセットするときは、メディアクランプを取り外してください。

メモ

- 通常は [ヒクイ] にしてください。印刷時にしわになったりプラテンから浮き上がったりするメディアの場合は、[タカイ] にしてください
- メディアとプリントヘッドの距離が離れるほど、印刷品質は低下します。むやみに [タカイ] にしないようにしてください

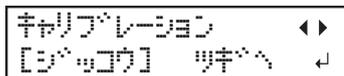
-
5. フロントカバーを閉じる。

3. 送り方向の位置調整を行う（横すじの軽減）

送り方向とは、メディアの送り方向のことです。種類や厚みなどによってメディアの移動距離が微妙に変化して印刷の横すじがめだちやすくなることがあるため、メディアに合わせた補正をしておきます。

手順

1. [◀] を押して [ジッコウ] を選択する。

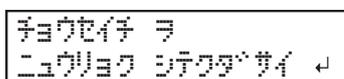


2. [ENTER] を押して決定する。

テストパターンの印刷を開始します。

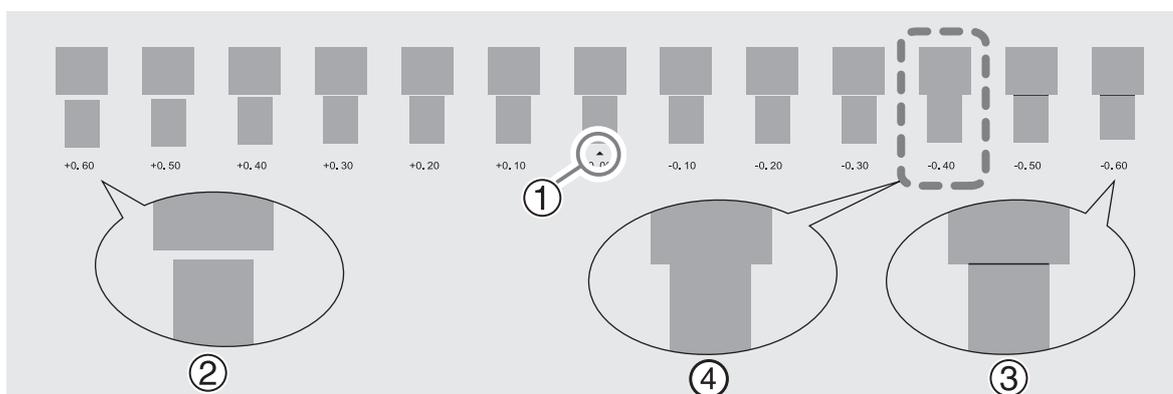
[ツギへ] を選択して [ENTER] を押すと、現在のメニューをスキップして次のメニューに進めます。

3. [ENTER] を押す。



4. 印刷したテストパターンを見て、補正値を決める。

「▲」が指している図形が現在の補正値です (①)。上下の四角形のすき間 (②) や重なり (③) が最も小さいもの (④) を選んでください。下図の場合は、「-0.40」を選びます。連続する値のどちらか迷う場合は、中間の数値を指定してください。

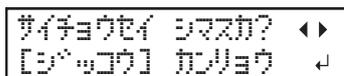


5. [▲] [▼] を押して補正値を選択する。



6. [ENTER] を押して決定する。

7. [◀] を押して [ジッコウ] を選択する。



8. [ENTER] を押して決定する。

もう一度、テストパターンを印刷します。「▲」が指している図形 (=現在の補正値) が、すき間と重なりが最も小さいことを確認してください。すき間と重なりが小さい図形が他にある場合は、手順 5.に戻り再設定してください。

補正値を変更する必要がない場合はもう一度 [ENTER] を押してください。

9. [▶] を押して [カンリョウ] を選択する。

```
サイキョウセイ シマスカ? ◀▶  
ジウゴウ [カンリョウ] ◀
```

10. [ENTER] を押して決定する。

4. インクの着弾位置のずれを調整する

手順

1. [◀] を押して [ジッコウ] を選択する。

```

メティアキッパフホセイ ◀▶
[ジッコウ] ツギへ ↵
    
```

2. [ENTER] を押して決定する。

テストパターンの印刷を開始します。

[ツギへ] を選択して [ENTER] を押すと、現在のメニューをスキップして次のメニューに進めます。

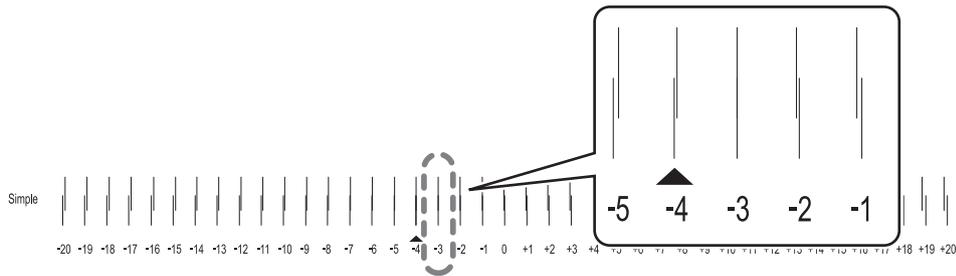
3. [ENTER] を押す。

```

子ョウセイ ラ
ニューリョク シテクダサイ ↵
    
```

4. 印刷したテストパターンを見て、補正值を決める。

2本の縦線の“ずれ”が最も少ない値を選びます。下図の場合は、[-3] を選びます。連続する値のどちらか迷う場合は、中間の値にしてください（補正值は「0.5」ずつ設定できます）。



5. [▲] [▼] を押して補正值を選択する。

```

メティアキッパフホセイ ▲▼
-4 ▶ -3 ↵
    
```

6. [ENTER] を押して決定する。

7. [◀] を押して [ジッコウ] を選択する。

```

サイョウセイ シマスか? ◀▶
[ジッコウ] カンリョウ ↵
    
```

8. [ENTER] を押して決定する。

もう一度、テストパターンを印刷します。「▲」が指している図形（=現在の補正值）が、ずれが最も小さいことを確認してください。ずれが小さい図形が他にある場合は、手順 5.に戻り再設定してください。

補正值を変更する必要がない場合はもう一度 [ENTER] を押してください。

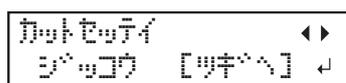
9. [▶] を押して [カンリョウ] を選択する。

```

サイョウセイ シマスか? ◀▶
ジッコウ [カンリョウ] ↵
    
```

10. [ENTER] を押して決定する。

11. [▶] を押して [ツギへ] を選択する。



12. [ENTER] を押して決定する。

5. 設定をプリセットとして保存する

手順

1. [◀] を押して [ホゾン] を選択する。

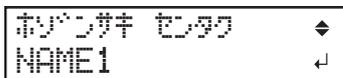


2. [ENTER] を押して決定する。

[ツギへ] を選択して [ENTER] を押すと、手順 6 の画面になり、これまでの設定はプリセットとしては保存されません。ただし、本機における現在の設定値としては残ります。

3. [▲] [▼] を押して保存先を選択する。

[NAME1] ~ [NAME8] まで選べます。



4. [ENTER] を押して決定する。

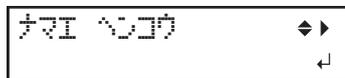
5. 名前を設定する。

(1) [▲] [▼] を押して文字を選択する。

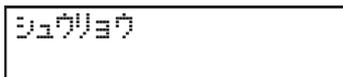
(2) [▶] を押して次の文字に移る。

(3) 以降同様にして文字を設定する。

15 文字まで入力できます。



6. [ENTER] を押して決定する。



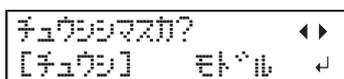
7. [MENU] を 2 回押してもとの画面に戻る。

これで [メディア セットアップ] メニューは完了です。

一括設定を途中で中止する方法

手順

1. 設定の途中で [MENU] を押す。
2. [◀] を押して [チュウシ] を選択する。



チュウシマスカ? ◀▶
[チュウシ] モデル ↵

3. [ENTER] を押して決定する。
以下の画面に戻ります。



メニュー ◀▶
メディア セットアップ ↵

手順 2 で [モデル] を選択すると、[MENU] を押したときの画面に戻ります。

メモ

メディアセッティングを途中で中止しても、それまでに設定した値は保存されます。

Step 2: 出力の開始

警告

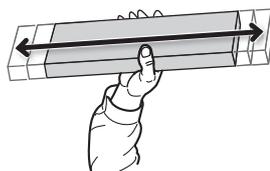
出力中はプリントヘッドキャリッジにさわらない。

プリントヘッドキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

手順

1. 1日の作業開始前の場合、ホワイトインクカートリッジだけを抜き、50回（20秒程度）振って再び差し込む。

インクの成分がよく混ざるように、インクカートリッジを両端5cmの振り幅で水平に振ります。



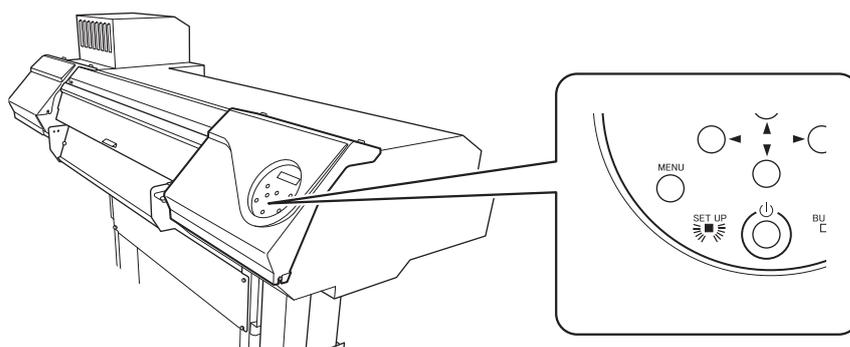
重要

ホワイトインクは成分が沈殿しやすい性質を持っています。インクの成分が沈殿していると、正常な色で印刷できません。放置すると沈殿した成分が固まり、故障などのトラブルの原因になります。

2. フロントカバーを閉じる。

3. [SETUP] が点灯していることを確認する。

[SETUP] が点灯していないときは、セットアップが完了していません。ローディングレバーを下げて、[ENTER] を押してください。



4. 表示画面に以下の画面（トップ画面）が表示されていることを確認する。

トップ画面が表示されていないときは、[MENU] を押してください。

W 1600mm

5. コンピューターから出力データを送信する。

出力用データの作成方法については、ソフトウェア RIP の取扱説明書を参照してください。

メモ

出力データを送信すると、表示画面に〔クリーニング システム〕と表示されることがあります。これらは出力前の準備作業です。画面に表示された時間が経過すると、出力を開始します。

重要**こんなときは出力されません**

- カバー（フロント、L、R、リヤUVシールド）が開いていると動きません
- [SETUP] が消えているときは、コンピューターからデータを受け付けません
- トップ画面でないときは、コンピューターからデータを受け付けません

出力時に守っていただきたいこと

- 出力中にカバー（フロント、L、R、リヤUVシールド）を開けないでください。出力が中断します
- ヘッド高さが〔タカイ〕〔ヒクイ〕のどちらかで出力するときは、メディアクランプでメディアの両端を押さえてください。メディアの両端が反り、プリントヘッドに引っかかる原因になります
- ヘッド高さを〔Sp.ロー〕にしているときは、メディアクランプを取り外してください
- 出力中はメディアにさわらないでください。メディア送りが妨げられたり、メディアがプリントヘッドを擦ったりして紙詰りやプリントヘッド破損の原因となります

使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管してください

- 本機を使用しないときはローディングレバーを上げておいてください
- メディアを取り付けたまま放置すると、メディアが傷んで出力に悪影響が出ることがあります。使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管するようにしてください

カットの方法

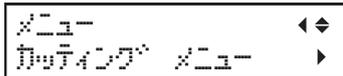
カット出力前の準備	85
Step 1: メディアが無理に引っ張られないようにする	85
Step 2: カッティングの調整を実施する	86
カット出力	88
Step 1: カットのための一括設定	88
Step 2: 出力の開始	93

カット出力前の準備

Step 1: メディアが無理に引っ張られないようにする

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▲] を押して、以下の画面を表示する。



メニュー ◀▶
カットイング ▶

3. [▶] を1回、[▲] を何回か押して、以下の画面を表示する。



カットイング ◀▶
サキオクリ ▶

4. [▶] を押して、以下の画面を表示する。



サキオクリ ◀▶
ムコウ ▶ムコウ ◀

5. [▲] [▼] を押して [ユウコウ] を選択する。



サキオクリ ◀▶
ムコウ ▶ユウコウ ◀

6. [ENTER] を押して決定する。
7. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

出荷時設定：[ムコウ]

Step 2: カッティングの調整を実施する

高品質なカッティングをするために、カッティングの前にはカッティングテストを行ってメディアの切れ具合を確認することをおすすめします。切れ具合の状態によっては、カッター圧を調整してください。

手順

1. フロントカバーを閉じる。
2. 以下の画面が表示されている状態で、[◀] を押す。
カッティングキャリッジがプラテン上に出てきます。

W 1600mm

3. [◀] [▶] [▲] [▼] を押して、カッティングテストをしたい位置までカッティングキャリッジを移動させる。
カッティングテストをする位置は自由に設定できます。
4. [FUNCTION] を押す。

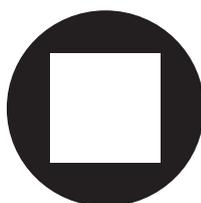
5. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

ファンクション ◀↔
カット セットイ ▶

6. [▶] を押して、以下の画面を表示する。

カット セットイ ◀↔
テスト カット ↵

7. [ENTER] を押す。
テストパターンがカットされます。
8. カットされた図形をはがして切れ具合を確認する。



- **2つの図形が別々にはがれた場合**
カッター圧は問題ないので設定の必要はありません。
- **2つの図形が一緒にはがれた／台紙まで切れた場合**
次の手順に進んでカッター圧を設定します。

9. [▼] を押して、以下の画面を表示する。

カット セットイ ◀↔
カッター圧 ▶

10. [▶] を押して、以下の画面を表示する。



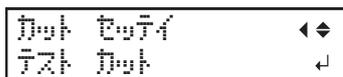
カッターアツ ◀▶
50gf ▶ 50gf ◀

11. [▲] [▼] を押して値を選択する。

- 2つの図形が一緒にはがれた場合
カッター圧を強くしてください。
- 台紙まで切れた場合
カッター圧を弱くしてください。

12. [ENTER] を押して決定する。

13. [◀] [▲] の順に押して、以下の画面を表示する。



カット セッテイ ▶◀
テスト カット ◀

14. [ENTER] を押す。

テストパターンがカットされます。

15. 調整が成功したか確認する。

[カット セッテイ] メニューでは、カッター圧以外のカッティング条件も設定できます。以下のページをご覧ください。

関連情報

- [P. 154 カッティング条件を細かく設定する](#)

カット出力

Step 1: カットのための一括設定

メディアのサイズや種類に合わせて最適な出力ができるように、本機では様々な設定ができます。しかしながら、これらをひとつひとつ設定するのは大変な作業です。〔メディア セッティング〕メニューを使えば、必要最低限の項目を一括で設定できます。設定内容は、プリセットとして保存できます。

なお、ここで設定する項目はすべて個別に設定できます。

1. 〔メディア セッティング〕メニューを開始する

手順

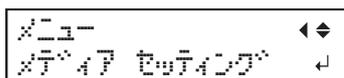
1. メディアをセットする。

[P. 30 メディアのセットアップ](#)

メディアにたるみがないことを確認してください。たるみがあると、補正值の設定などが有効に機能しません。

2. [MENU] を押す。

3. [ENTER] を押す。



一括設定を途中で中止したいときは、下記のページを参照してください。

関連情報

- [P. 92 一括設定を途中で中止する方法](#)

2. カッター圧を設定する

高品質なカッティングをするために、カッティングテストを行ってメディアの切れ具合を確認し、カッター圧を調整します。

手順

1. [▶] を押して [ツギへ] を選択する。

```

\cut> タカサ ヒクイ  ◀▶
\ncut [ツギへ]  ↓
  
```

2. [ENTER] を押して決定する。

3. [▶] を押して [ツギへ] を選択する。

```

キャリブレーション  ◀▶
ジッコウ [ツギへ]  ↓
  
```

4. [ENTER] を押して決定する。

5. [▶] を押して [ツギへ] を選択する。

```

メディアキップホセイ◀▶
[ジッコウ]  ツギへ  ↓
  
```

6. [ENTER] を押して決定する。

7. [◀] を押して [ジッコウ] を選択する。

```

カットセッテイ  ◀▶
[ジッコウ]  ツギへ  ↓
  
```

8. [ENTER] を押して決定する。

9. [◀] を押して [ジッコウ] を選択する。

```

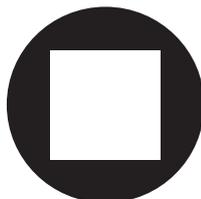
カッターアツ  ◀▶
[ジッコウ]  ツギへ  ↓
  
```

10. [ENTER] を押して決定する。

テストパターンがカットされます。

[ツギへ] を選択して [ENTER] を押すと、現在のメニューをスキップして次のメニューに進めます。

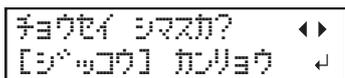
11. カットされた2つの図形（円と四角形）をはがす。



12. 図形のはがれ方を確認する。

- ・ 2つの図形が一緒にはがれた／台紙まで切れた場合

[◀] を押して [ジッコウ] を選択する。



• **2つの図形が別々にはがれた場合**

[▶] を押して [カンリョウ] を選択する。



13. [ENTER] を押して決定する。

- [ジッコウ] を選択した場合は、次の手順に進んでください。
- [カンリョウ] を選択した場合は、**3. 設定をプリセットとして保存する (P. 91)** に進んでください。

14. [▲] [▼] を押してカッター圧を調整する。

- 2つの図形が一緒にはがれた→カッター圧を強くしてください。
- 台紙まで切れてしまった→カッター圧を弱くしてください。



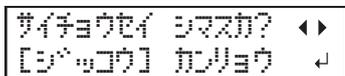
15. [ENTER] を押して決定する。

もう一度テストパターンがカットされます。結果を確認してください。

16. 図形のはがれ方を確認する。

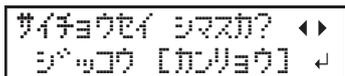
• **2つの図形が一緒にはがれた／台紙まで切れた場合**

[◀] を押して [ジッコウ] を選択する。



• **2つの図形が別々にはがれた場合**

[▶] を押して [カンリョウ] を選択する。



17. [ENTER] を押して決定する。

- [ジッコウ] を選択した場合は、手順 14 に戻り再設定してください。
- [カンリョウ] を選択した場合は、**3. 設定をプリセットとして保存する (P. 91)** に進んでください。

3. 設定をプリセットとして保存する

手順

1. [▶] を押して [ジッコウ] を選択する。

```

インサツカット  イチアワセ◀▶
ジッコウ      [ツギへ]  ↓
  
```

2. [ENTER] を押して決定する。

3. [▶] を押して [ツギへ] を選択する。

```

クローズアップカット  イチアワセ◀▶
ジッコウ      [ツギへ]  ↓
  
```

4. [ENTER] を押して決定する。

5. [◀] を押して [ホゾン] を選択する。

```

プリセット      ◀▶
[ホゾン] [ツギへ]  ↓
  
```

6. [ENTER] を押して決定する。

[ツギへ] を選択して [ENTER] を押すと手順 10 の画面になり、これまでの設定はプリセットとしては保存されません。ただし、本機における現在の設定値としては残ります。

7. [▲] [▼] を押して保存先を選択する。

[NAME1] ~ [NAME8] まで選べます。

```

ホゾンガキ  センタク  ◆
NAME1      ↓
  
```

8. [ENTER] を押して決定する。

9. 名前を設定する。

(1) [▲] [▼] を押して文字を選択する。

(2) [▶] を押して次の文字に移る。

(3) 以降同様にして文字を設定する。

15 文字まで入力できます。

```

ナマエ  \ンゴウ  ◆▶
      ↓
  
```

10. [ENTER] を押して決定する。

```

シュウリョウ
  
```

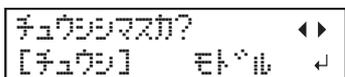
11. [MENU] を 2 回押してもとの画面にもどる。

これで [メディア セッティング] メニューは完了です。

一括設定を途中で中止する方法

手順

1. 設定の途中で [MENU] を押す。
2. [◀] を押して [チュウシ] を選択する。



チュウシマスカ? ◀▶
[チュウシ] モデル ↵

3. [ENTER] を押して決定する。
以下の画面に戻ります。



メニュー ◀▶
メディア セットアップ ↵

手順 2 で [モデル] を選択すると、[MENU] を押したときの画面に戻ります。

メモ

メディアセッティングを途中で中止しても、それまでに設定した値は保存されます。

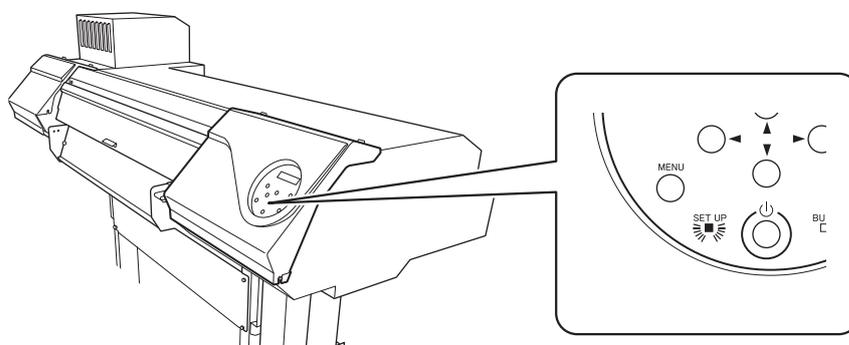
Step 2: 出力の開始

警告

出力中はプリントヘッドキャリッジにさわらない。
プリントヘッドキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

手順

1. フロントカバーを閉じる。
2. [SETUP] が点灯していることを確認する。
[SETUP] が点灯していないときは、セットアップが完了していません。ローディングレバーを下げて、[ENTER] を押してください。



3. 表示画面に以下の画面（トップ画面）が表示されていることを確認する。
トップ画面が表示されていないときは、[MENU] を押してください。

W 1600mm

4. コンピューターから出力データを送信する。
出力用データの作成方法については、ソフトウェア RIP の取扱説明書を参照してください。

重要

こんなときは出力されません

- カバー（フロント、L、R、リヤUVシールド）が開いていると動きません
- [SETUP] が消えているときは、コンピューターからデータを受け付けません
- トップ画面でないときは、コンピューターからデータを受け付けません

出力時に守っていただきたいこと

- 出力中にカバー（フロント、L、R、リヤUVシールド）を開けないでください。出力が中断します
- 出力中はメディアにさわらないでください。メディア送りが妨げられたり、メディアがプリントヘッドを擦ったりして紙詰りやプリントヘッド破損の原因となります

使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管してください

- 本機を使用しないときはローディングレバーを上げておいてください
- メディアを取り付けたまま放置すると、メディアが傷んで出力に悪影響が出る場合があります。使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管するようにしてください

プリント&カットの方法

プリント&カット出力前の準備	95
Step 1: テストプリントとノーマルクリーニング	95
Step 2: カッティングの調整を実施する	97
プリント&カット出力.....	99
Step 1: プリント&カットのための一括設定.....	99
Step 2: 出力の開始.....	113

プリント&カット出力前の準備

Step 1: テストプリントとノーマルクリーニング

1. テストプリントを実施する

印刷の前にテストプリントをして、ドット抜けやドットよれがないかを確認します。ドット抜けやドットよれがあった場合は、プリントヘッドのクリーニング（ノーマルクリーニング）を行います。

メモ

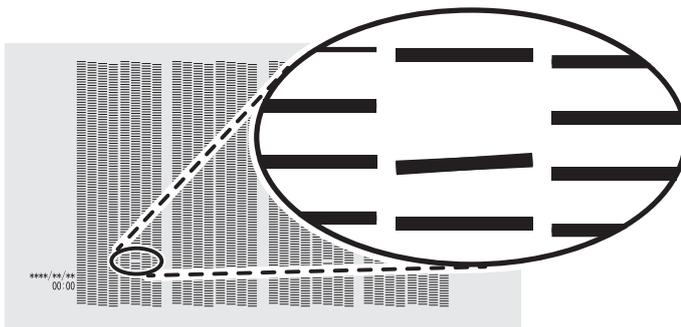
- カuttingだけ行う場合は不要な作業です
- 連続してテストプリントを行なう場合は、2回目以降の印刷位置を1回目の印刷位置に対して〔タテ〕（縦に並べて印刷）にするか〔ヨコ〕（横に並べて印刷）にするか設定できます

手順

1. メディアをセットする。
P. 30 メディアのセットアップ
2. [FUNCTION] を押す。
3. [▼] [▶] の順に押して、以下の画面を表示する。



4. [ENTER] を押す。
テストパターンの印刷を開始します。
5. テストパターンにドット抜けやドットよれがないか確認する。
ブロックに欠けがあると、ドット抜けの状態です。ブロックに崩れや傾きがあると、ドットよれの状態です。



6. フロントカバーを開けた場合は、フロントカバーを閉じる。
ドット抜けやドットよれが無い場合は、この作業は終了です。[FUNCTION] を押して、もとの画面に戻ってください。

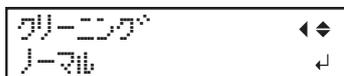
関連情報

- P. 200 テストプリントを横に並べて印刷する

2. ノーマルクリーニングを実施する

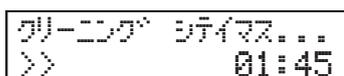
手順

1. [▼] を押して、以下の画面を表示する。

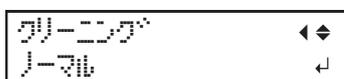


2. [ENTER] を押す。

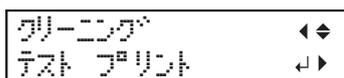
以下の画面が表示され、クリーニングを開始します。画面には、この工程の残り時間（目安）が表示されます（以下の表示は例です。[01:45] の表示は「1分45秒」を意味します）。



終了すると以下の画面に戻ります。



3. [▲] を押す。



4. [ENTER] を押す。

もう一度テストプリントを行って、ドット抜けやドットよれが無くなったか確認します。

5. ドット抜けやドットよれが無くなったか確認する。

ドット抜けやドットよれがなくならなかった場合は、もう一度ノーマルクリーニングを行います。長く使っていると2～3回ノーマルクリーニングを行ってもドット抜けが直らないことがあります。その場合は、別の方法でクリーニングします。

関連情報

- ・ [P. 249 ノーマルクリーニングの効果がないとき](#)

Step 2: カッティングの調整を実施する

高品質なカッティングをするために、カッティングの前にはカッティングテストを行ってメディアの切れ具合を確認することをおすすめします。切れ具合の状態によっては、カッター圧を調整してください。

手順

1. フロントカバーを閉じる。
2. 以下の画面が表示されている状態で、[◀] を押す。
カッティングキャリッジがプラテン上に出てきます。

W 1600mm

3. [◀] [▶] [▲] [▼] を押して、カッティングテストをしたい位置までカッティングキャリッジを移動させる。
カッティングテストをする位置は自由に設定できます。
4. [FUNCTION] を押す。

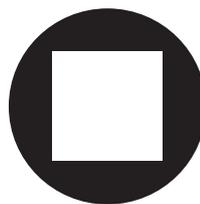
5. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

ファンクション ◀↔
カット セットイ ▶

6. [▶] を押して、以下の画面を表示する。

カット セットイ ◀↔
テスト カット ↵

7. [ENTER] を押す。
テストパターンがカットされます。
8. カットされた図形をはがして切れ具合を確認する。



- **2つの図形が別々にはがれた場合**
カッター圧は問題ないので設定の必要はありません。
- **2つの図形が一緒にはがれた／台紙まで切れた場合**
次の手順に進んでカッター圧を設定します。

9. [▼] を押して、以下の画面を表示する。

カット セットイ ◀↔
カッター圧 ▶

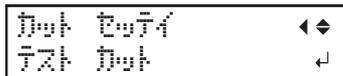
10. [▶] を押して、以下の画面を表示する。



11. [▲] [▼] を押して値を選択する。
 - 2つの図形が一緒にはがれた場合
カッター圧を強くしてください。
 - 台紙まで切れた場合
カッター圧を弱くしてください。

12. [ENTER] を押して決定する。

13. [◀] [▶] の順に押して、以下の画面を表示する。



14. [ENTER] を押す。
テストパターンがカットされます。

15. 調整が成功したか確認する。

[カット セッテイ] メニューでは、カッター圧以外のカッティング条件も設定できます。以下のページをご覧ください。

関連情報

- [P. 154 カッティング条件を細かく設定する](#)

プリント&カット出力

Step 1: プリント&カットのための一括設定

なお、ここで設定する項目はすべて個別に設定できます。

1. [メディア セッティング] メニューを開始する

手順

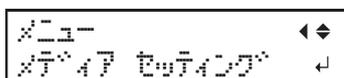
1. メディアをセットする。

[P. 30 メディアのセットアップ](#)

メディアにたるみがないことを確認してください。たるみがあると、補正値の設定などが有効に機能しません。

2. [MENU] を押す。

3. [ENTER] を押す。



一括設定を途中で中止したいときは、下記のページを参照してください。

関連情報

- [P. 112 一括設定を途中で中止する方法](#)

2. プリントヘッドの高さを調整する

手順

1. [◀] を押して [ヘンコウ] を選択する。

```

\prt> タカサ ヒクイ  ◀▶
[ヘンコウ]   ツギへ  ↓
    
```

2. [ENTER] を押して決定する。

[ツギへ] を選択して [ENTER] を押すと、現在のメニューをスキップして次のメニューに進めます。

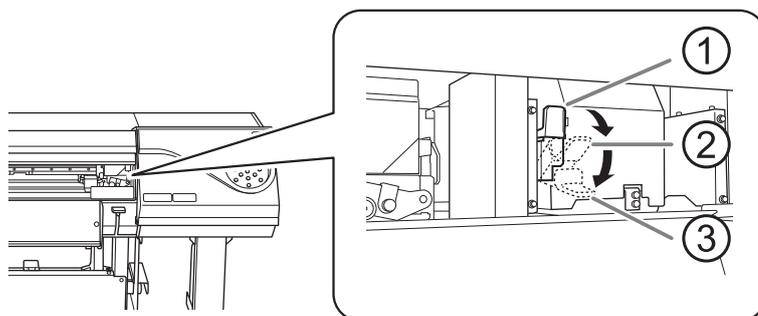
3. 以下の画面が表示されたらフロントカバーを開ける。

```

\prt> タカサ
ヒクイ ▶ ヒクイ  ↓
    
```

4. 高さ調整レバーでプリントヘッドの高さを調整する。

高さ調整レバーの位置を変えると、表示画面の表示が変わり、同時にブザーが鳴ります。



	位置	表示画面
①	[タカイ] (高い)	<pre> \prt> タカサ ヒクイ ▶ タカイ ↓ </pre>
②	[ヒクイ] (低い)	<pre> \prt> タカサ ヒクイ ▶ ヒクイ ↓ </pre>
③	[Sp.ロー] (スーパーロー)	<pre> \prt> タカサ ヒクイ ▶ Sp.ロー ↓ </pre>

重要

[Sp.ロー] にセットするときは、メディアクランプを取り外してください。

メモ

- 通常は [ヒクイ] にしてください。印刷時にしわになったりプラテンから浮き上がったりするメディアの場合は、[タカイ] にしてください
- メディアとプリントヘッドの距離が離れるほど、印刷品質は低下します。むやみに [タカイ] にしないようにしてください

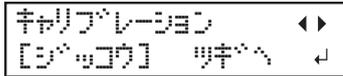
5. フロントカバーを閉じる。

3. 送り方向の位置調整を行う（横すじの軽減）

送り方向とは、メディアの送り方向のことです。種類や厚みなどによってメディアの移動距離が微妙に変化して印刷の横すじがめだちやすくなることがあるため、メディアに合わせた補正をしておきます。

手順

1. [◀] を押して [ジッコウ] を選択する。

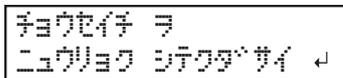


2. [ENTER] を押して決定する。

テストパターンの印刷を開始します。

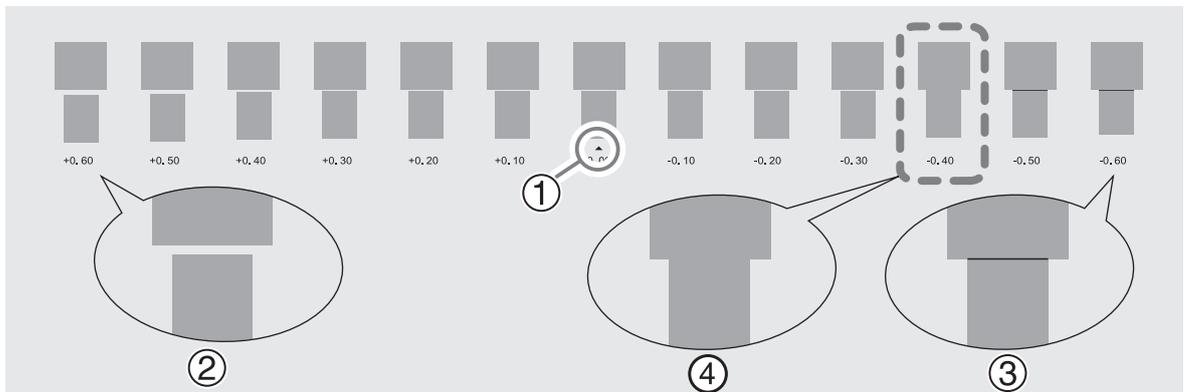
[ツギへ] を選択して [ENTER] を押すと、現在のメニューをスキップして次のメニューに進めます。

3. [ENTER] を押す。



4. 印刷したテストパターンを見て、補正値を決める。

「▲」が指している図形が現在の補正値です (①)。上下の四角形のすき間 (②) や重なり (③) が最も小さいもの (④) を選んでください。下図の場合は、「-0.40」を選びます。連続する値のどちらか迷う場合は、中間の数値を指定してください。

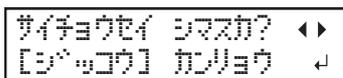


5. [▲] [▼] を押して補正値を選択する。



6. [ENTER] を押して決定する。

7. [◀] を押して [ジッコウ] を選択する。



8. [ENTER] を押して決定する。

もう一度、テストパターンを印刷します。「▲」が指している図形 (=現在の補正値) が、すき間と重なりが最も小さいことを確認してください。すき間と重なりが小さい図形が他にある場合は、手順 5.に戻り再設定してください。

補正値を変更する必要がない場合はもう一度 [ENTER] を押してください。

9. [▶] を押して [カンリョウ] を選択する。

```

ダイテョウセイ シマスカ? ◀▶
ジツゴウ [カンリョウ] ◀
    
```

10. [ENTER] を押して決定する。

4. インクの着弾位置のずれを調整する

手順

1. [◀] を押して [ジッコウ] を選択する。

```

メティアキッパフホセイ ◀▶
[ジッコウ] ツギへ ↵
    
```

2. [ENTER] を押して決定する。

テストパターンの印刷を開始します。

[ツギへ] を選択して [ENTER] を押すと、現在のメニューをスキップして次のメニューに進めます。

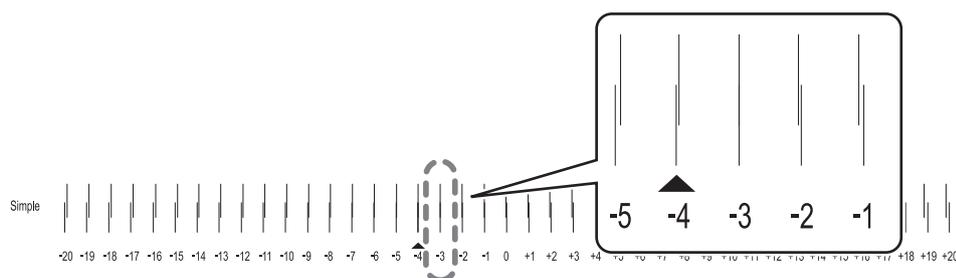
3. [ENTER] を押す。

```

子ョウセイ ラ
ニューリョク シテクダサイ ↵
    
```

4. 印刷したテストパターンを見て、補正值を決める。

2本の縦線の“ずれ”が最も少ない値を選びます。下図の場合は、[-3] を選びます。連続する値のどちらか迷う場合は、中間の値にしてください（補正值は「0.5」ずつ設定できます）。



5. [▲] [▼] を押して補正值を選択する。

```

メティアキッパフホセイ ▲▼
  -4 ▶  -3 ↵
    
```

6. [ENTER] を押して決定する。

7. [◀] を押して [ジッコウ] を選択する。

```

サイョウセイ シマスカ? ◀▶
[ジッコウ] カンリョウ ↵
    
```

8. [ENTER] を押して決定する。

もう一度、テストパターンを印刷します。「▲」が指している図形（=現在の補正值）が、ずれが最も小さいことを確認してください。ずれが小さい図形が他にある場合は、手順 5.に戻り再設定してください。

補正值を変更する必要がない場合はもう一度 [ENTER] を押してください。

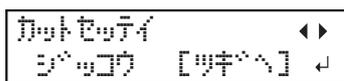
9. [▶] を押して [カンリョウ] を選択する。

```

サイョウセイ シマスカ? ◀▶
ジッコウ [カンリョウ] ↵
    
```

10. [ENTER] を押して決定する。

11. [▶] を押して [ツギへ] を選択する。



12. [ENTER] を押して決定する。

5. カッター圧を設定する

高品質なカッティングをするために、カッティングテストを行ってメディアの切れ具合を確認し、カッター圧を調整します。

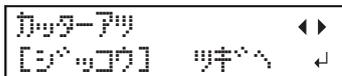
手順

1. [◀] を押して [ジッコウ] を選択する。



2. [ENTER] を押して決定する。

3. [◀] を押して [ジッコウ] を選択する。

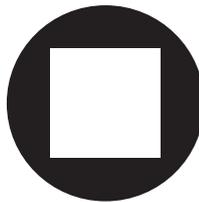


4. [ENTER] を押して決定する。

テストパターンがカットされます。

[ツギへ] を選択して [ENTER] を押すと、現在のメニューをスキップして次のメニューに進めます。

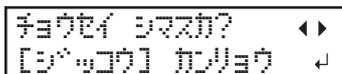
5. カットされた2つの図形（円と四角形）をはがす。



6. 図形のはがれ方を確認する。

- 2つの図形が一緒にはがれた／台紙まで切れた場合

[◀] を押して [ジッコウ] を選択する。



- 2つの図形が別々にはがれた場合

[▶] を押して [カンリョウ] を選択する。



7. [ENTER] を押して決定する。

- [ジッコウ] を選択した場合は、次の手順に進んでください。

- [カンリョウ] を選択した場合は、[6. 印刷位置とカット位置のずれを補正する \(P. 108\)](#) に進んでください。

8. [▲] [▼] を押してカッター圧を調整する。

- 2つの図形が一緒にはがれた→カッター圧を強くしてください。

- 台紙まで切れてしまった→カッター圧を弱くしてください。

```

カッターアップ
50gf ▶ 60gf
    
```

9. [ENTER] を押して決定する。

もう一度テストパターンがカットされます。結果を確認してください。

10. 図形のはがれ方を確認する。

- 2つの図形が一緒にはがれた／台紙まで切れた場合

[◀] を押して [ジッコウ] を選択する。

```

サイチョウセイ シマスカ? ◀▶
[ジッコウ] カンリョウ ◀
    
```

- 2つの図形が別々にはがれた場合

[▶] を押して [カンリョウ] を選択する。

```

サイチョウセイ シマスカ? ◀▶
ジッコウ [カンリョウ] ◀
    
```

11. [ENTER] を押して決定する。

- [ジッコウ] を選択した場合は、手順 8 に戻り再設定してください。
- [カンリョウ] を選択した場合は、[6. 印刷位置とカット位置のずれを補正する \(P. 108\)](#) に進んでください。

6. 印刷位置とカット位置のずれを補正する

メディアの厚みやヘッド高さによって印刷とカッティングの位置が微妙にずれることがあります。お使いのメディアに合わせた補正をおすすめします。

手順

1. [◀] を押して [ジッコウ] を選択する。

```

インサツ-カット  イチアワセ◀▶
[ジッコウ]      ツギへ  ◀
    
```

2. [ENTER] を押して決定する。

テストパターン (P&C1) がプリント&カットされます。テストパターンはメディアの両端に1箇所ずつ出力されます。

[ツギへ] を選択して [ENTER] を押すと、現在のメニューをスキップして次のメニューに進めます。

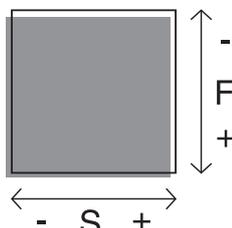
メモ

メディアが傾いていると、両端で位置がずれてしまいます。テストパターンを両端に印刷することで、メディアの傾きによるずれも調整できます。

3. テストパターン (P&C1) を確認する。

プリント位置 (塗りつぶし) とカット位置 (外枠) のずれを確認してください。下図は、プリント位置とカット位置がずれた状態です。

[F] はメディアの送り方向 (FEED 方向)、[S] はプリントヘッドの移動方向 (SCAN 方向) を示しています。



4. 補正を実施するかどうか決める。

- プリント位置とカット位置がずれている場合

[◀] を押して [ジッコウ] を選択する。

```

チヨウセイ シマスか?  ◀▶
[ジッコウ]  カンリョウ  ◀
    
```

- プリント位置とカット位置が合っている場合

[▶] を押して [カンリョウ] を選択する。

```

チヨウセイ シマスか?  ◀▶
ジッコウ [カンリョウ] ◀
    
```

5. [ENTER] を押して決定する。

- [ジッコウ] を選択した場合は、補正値を決めるためのテストパターン (P&C2) がプリント&カットされます。次の手順に進んでください。
- [カンリョウ] を選択した場合は、手順 11 に進んでください。

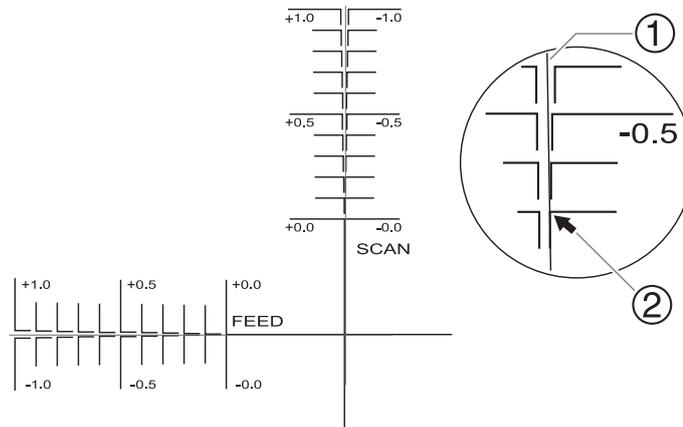
6. [ENTER] を押す。

```

    ちょうせい ラ
    ニュウリョク シテウタサイ ←
    
```

7. テストパターン (P&C2) の状態から補正值を確認する。

カッティングライン (①) と補正值目盛りの交点 (②) が補正值です。下図の場合、補正值は「-0.3」です。メディアの送り方向 (FEED 方向)、プリントヘッドの移動方向 (SCAN 方向) それぞれを確認してください。



8. FEED 方向 (F) と SCAN 方向 (S) の補正值を設定する。

(1) [▲] [▼] を押して FEED 方向 (F) の補正值を設定する。

```

    F: +0.30 ▶ -0.10mm
    S: -0.40 ▶ -0.40mm ←
    
```

(2) [◀] [▶] を押して SCAN 方向 (S) の補正值を設定する。

```

    F: +0.30 ▶ -0.10mm
    S: -0.40 ▶ -0.30mm ←
    
```

(3) 補正值の設定が完了したら、[ENTER] を押して決定する。

もう一度テストパターン (P&C1) がプリント&カットされます。テストパターンの状態を確認して、プリント位置とカット位置が合っているかどうかを確認してください。

9. 補正を実施するかどうか決める。

・ プリント位置とカット位置がずれている場合

[◀] を押して [ジッコウ] を選択する。

```

    サイちょうせい シマスカ? ◀▶
    [ジッコウ] カンリョウ ←
    
```

・ プリント位置とカット位置が合っている場合

[▶] を押して [カンリョウ] を選択する。

```

    サイちょうせい シマスカ? ◀▶
    ジッコウ [カンリョウ] ←
    
```

10. [ENTER] を押して決定する。

- ・ [ジッコウ] を選択した場合は、手順 8 に戻り再設定してください。
- ・ [カンリョウ] を選択した場合は、次の手順に進んでください。

11. [▶] を押して [ツギへ] を選択する。

クローブ カット イチアワセ◀▶
ジューコウ [ツキ°へ] ↵

12. [ENTER] を押して決定する。

7. 設定をプリセットとして保存する

手順

1. [◀] を押して [ホゾン] を選択する。

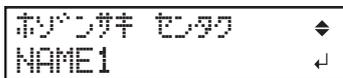


2. [ENTER] を押して決定する。

[ツギへ] を選択して [ENTER] を押すと、手順 6 の画面になり、これまでの設定はプリセットとしては保存されません。ただし、本機における現在の設定値としては残ります。

3. [▲] [▼] を押して保存先を選択する。

[NAME1] ~ [NAME8] まで選べます。



4. [ENTER] を押して決定する。

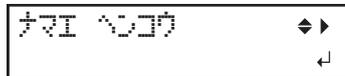
5. 名前を設定する。

(1) [▲] [▼] を押して文字を選択する。

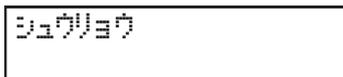
(2) [▶] を押して次の文字に移る。

(3) 以降同様にして文字を設定する。

15 文字まで入力できます。



6. [ENTER] を押して決定する。



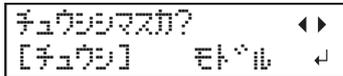
7. [MENU] を 2 回押してもとの画面に戻る。

これで [メディア セッティング] メニューは完了です。

一括設定を途中で中止する方法

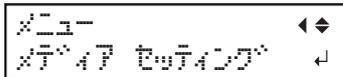
手順

1. 設定の途中で [MENU] を押す。
2. [◀] を押して [チュウシ] を選択する。



チュウシマスカ? ◀▶
[チュウシ] モデル ↵

3. [ENTER] を押して決定する。
以下の画面に戻ります。



メニュー ◀▶
メディア セットアップ ↵

手順 2 で [モデル] を選択すると、[MENU] を押したときの画面に戻ります。

メモ

メディアセッティングを途中で中止しても、それまでに設定した値は保存されます。

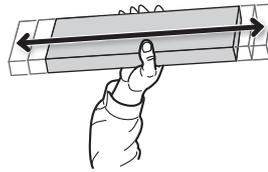
Step 2: 出力の開始

警告

出力中はプリントヘッドキャリッジにさわらない。
プリントヘッドキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

手順

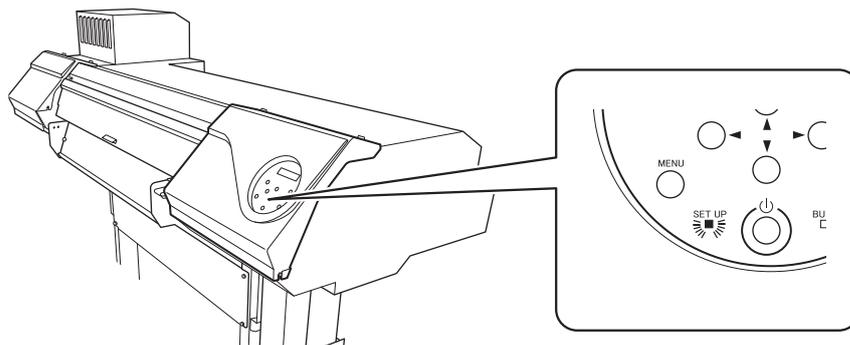
1. 1日の作業開始前の場合、ホワイトインクカートリッジだけを抜き、50回（20秒程度）振って再び差し込む。
インクの成分がよく混ざるように、インクカートリッジを両端5cmの振り幅で水平に振ります。



重要

ホワイトインクは成分が沈殿しやすい性質を持っています。インクの成分が沈殿していると、正常な色で印刷ができません。放置すると沈殿した成分が固まり、故障などのトラブルの原因になります。

2. フロントカバーを閉じる。
3. [SETUP] が点灯していることを確認する。
[SETUP] が点灯していないときは、セットアップが完了していません。ローディングレバーを下げて、[ENTER] を押してください。



4. 表示画面に以下の画面（トップ画面）が表示されていることを確認する。
トップ画面が表示されていないときは、[MENU] を押してください。

W 1600mm

5. コンピューターから出力データを送信する。
出力用データの作成方法については、ソフトウェア RIP の取扱説明書を参照してください。

メモ

出力データを送信すると、表示画面に〔クリーニング システム〕と表示されることがあります。これらは出力前の準備作業です。画面に表示された時間が経過すると、出力を開始します。

重要

こんなときは出力されません

- カバー（フロント、L、R、リヤUVシールド）が開いていると動きません
- [SETUP] が消えているときは、コンピューターからデータを受け付けません
- トップ画面でないときは、コンピューターからデータを受け付けません

出力時に守っていただきたいこと

- 出力中にカバー（フロント、L、R、リヤUVシールド）を開けないでください。出力が中断します
- ヘッド高さが〔タカイ〕〔ヒクイ〕のどちらかで出力するときは、メディアクランプでメディアの両端を押さえてください。メディアの両端が反り、プリントヘッドに引っかかる原因になります
- ヘッド高さを〔Sp.ロー〕にしているときは、メディアクランプを取り外してください
- 出力中はメディアにさわらないでください。メディア送りが妨げられたり、メディアがプリントヘッドを擦ったりして紙詰りやプリントヘッド破損の原因となります

使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管してください

- 本機を使用しないときはローディングレバーを上げておいてください
- メディアを取り付けたまま放置すると、メディアが傷んで出力に悪影響が出ることがあります。使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管するようにしてください

クロップ&カットの方法

クロップ&カット出力前の準備	116
クロップ&カットとは	116
Step 1: テストプリントとノーマルクリーニング	117
Step 2: カッティングの調整を実施する	119
クロップ&カット出力.....	121
Step 1: クロップ&カットのための一括設定.....	121
Step 2: クロップマーク付き出力の開始	134
Step 3: カット出力の準備	136
Step 4: カット出力の開始	140

クropp&カット出力前の準備

クropp&カットとは

印刷したメディアをいったん取り外し、再セットしてカッティングする場合（例：印刷後にラミネートなどの加工をしたメディアを、再セットしてカッティングする）、印刷位置とカッティング位置を合わせる必要があります。そこで、印刷するときあらかじめクroppマークを付けて印刷することで、メディアを再セットしてカッティングするときにクroppマークを目印として位置合わせができるようにします。本書では、この出力方法を「クropp&カット」と呼びます。

「クroppマーク」とは、位置合わせ用の目印です。「トンボ」と呼ばれることもあります。

Step 1: テストプリントとノーマルクリーニング

1. テストプリントを実施する

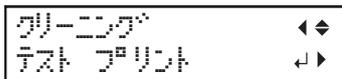
印刷の前にテストプリントをして、ドット抜けやドットよれがないかを確認します。ドット抜けやドットよれがあった場合は、プリントヘッドのクリーニング（ノーマルクリーニング）を行います。

メモ

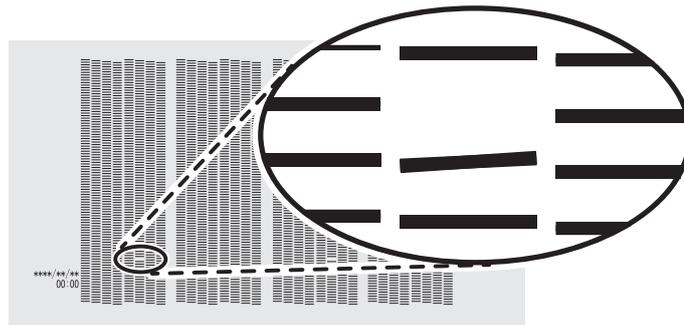
- カuttingだけ行う場合は不要な作業です
- 連続してテストプリントを行なう場合は、2回目以降の印刷位置を1回目の印刷位置に対して〔タテ〕（縦に並べて印刷）にするか〔ヨコ〕（横に並べて印刷）にするか設定できます

手順

1. メディアをセットする。
P. 30 メディアのセットアップ
2. [FUNCTION] を押す。
3. [▼] [▶] の順に押して、以下の画面を表示する。



4. [ENTER] を押す。
テストパターンの印刷を開始します。
5. テストパターンにドット抜けやドットよれがないか確認する。
ブロックに欠けがあると、ドット抜けの状態です。ブロックに崩れや傾きがあると、ドットよれの状態です。



6. フロントカバーを開けた場合は、フロントカバーを閉じる。
ドット抜けやドットよれが無い場合は、この作業は終了です。[FUNCTION] を押して、もとの画面に戻ってください。

関連情報

- P. 200 テストプリントを横に並べて印刷する

2. ノーマルクリーニングを実施する

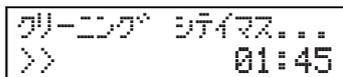
手順

1. [▼] を押して、以下の画面を表示する。

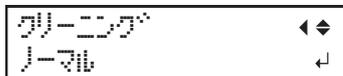


2. [ENTER] を押す。

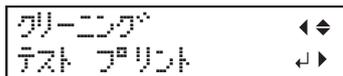
以下の画面が表示され、クリーニングを開始します。画面には、この工程の残り時間（目安）が表示されます（以下の表示は例です。[01:45] の表示は「1分45秒」を意味します）。



終了すると以下の画面に戻ります。



3. [▲] を押す。



4. [ENTER] を押す。

もう一度テストプリントを行って、ドット抜けやドットよれが無くなったか確認します。

5. ドット抜けやドットよれが無くなったか確認する。

ドット抜けやドットよれがなくならなかった場合は、もう一度ノーマルクリーニングを行います。長く使っていると2～3回ノーマルクリーニングを行ってもドット抜けが直らないことがあります。その場合は、別の方法でクリーニングします。

関連情報

- ・ [P. 249 ノーマルクリーニングの効果がないとき](#)

Step 2: カッティングの調整を実施する

高品質なカッティングをするために、カッティングの前にはカッティングテストを行ってメディアの切れ具合を確認することをおすすめします。切れ具合の状態によっては、カッター圧を調整してください。

手順

1. フロントカバーを閉じる。
2. 以下の画面が表示されている状態で、[◀] を押す。
カッティングキャリッジがプラテン上に出てきます。

W 1600mm

3. [◀] [▶] [▲] [▼] を押して、カッティングテストをしたい位置までカッティングキャリッジを移動させる。
カッティングテストをする位置は自由に設定できます。
4. [FUNCTION] を押す。

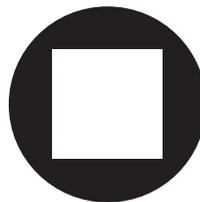
5. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

ファンクション ◀◆
カット セットイ ▶

6. [▶] を押して、以下の画面を表示する。

カット セットイ ◀◆
テスト カット ↵

7. [ENTER] を押す。
テストパターンがカットされます。
8. カットされた図形をはがして切れ具合を確認する。

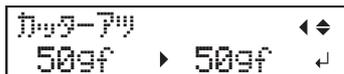


- **2つの図形が別々にはがれた場合**
カッター圧は問題ないので設定の必要はありません。
- **2つの図形が一緒にはがれた／台紙まで切れた場合**
次の手順に進んでカッター圧を設定します。

9. [▼] を押して、以下の画面を表示する。

カット セットイ ◀◆
カッター圧 ▶

10. [▶] を押して、以下の画面を表示する。



11. [▲] [▼] を押して値を選択する。

- 2つの図形が一緒にはがれた場合
カッター圧を強くしてください。
- 台紙まで切れた場合
カッター圧を弱くしてください。

12. [ENTER] を押して決定する。

13. [◀] [▶] の順に押して、以下の画面を表示する。



14. [ENTER] を押す。

テストパターンがカットされます。

15. 調整が成功したか確認する。

[カット セッテイ] メニューでは、カッター圧以外のカッティング条件も設定できます。以下のページをご覧ください。

関連情報

- [P. 154 カッティング条件を細かく設定する](#)

クロップ&カット出力

Step 1: クロップ&カットのための一括設定

メディアのサイズや種類に合わせて最適な出力ができるように、本機では様々な設定ができます。しかしながら、これらをひとつひとつ設定するのは大変な作業です。〔メディア セッティング〕メニューを使えば、必要最低限の項目を一括で設定できます。設定内容は、プリセットとして保存できます。

なお、ここで設定する項目はすべて個別に設定できます。

1. 〔メディア セッティング〕メニューを開始する

手順

1. メディアをセットする。

[P. 30 メディアのセットアップ](#)

メディアにたるみがないことを確認してください。たるみがあると、補正值の設定などが有効に機能しません。

2. [MENU] を押す。

3. [ENTER] を押す。



一括設定を途中で中止したいときは、下記のページを参照してください。

関連情報

- [P. 133 一括設定を途中で中止する方法](#)

2. プリントヘッドの高さを調整する

手順

1. [◀] を押して [ヘンコウ] を選択する。

```

\ott° タカサ ヒクイ  ◀▶
[ヘンコウ]   ツギへ  ↓
    
```

2. [ENTER] を押して決定する。

[ツギへ] を選択して [ENTER] を押すと、現在のメニューをスキップして次のメニューに進めます。

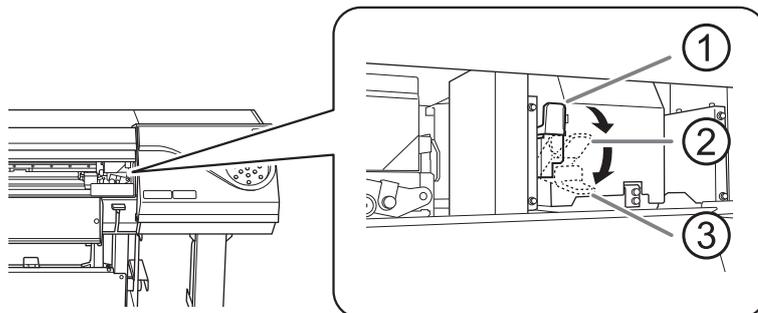
3. 以下の画面が表示されたらフロントカバーを開ける。

```

\ott° タカサ
ヒクイ ▶ ヒクイ  ↓
    
```

4. 高さ調整レバーでプリントヘッドの高さを調整する。

高さ調整レバーの位置を変えると、表示画面の表示が変わり、同時にブザーが鳴ります。



	位置	表示画面
①	[タカイ] (高い)	<pre> \ott° タカサ ヒクイ ▶ タカイ ↓ </pre>
②	[ヒクイ] (低い)	<pre> \ott° タカサ ヒクイ ▶ ヒクイ ↓ </pre>
③	[Sp.ロー] (スーパーロー)	<pre> \ott° タカサ ヒクイ ▶ Sp.ロー ↓ </pre>

重要

[Sp.ロー] にセットするときは、メディアクランプを取り外してください。

メモ

- 通常は [ヒクイ] にしてください。印刷時にしわになったりプラテンから浮き上がったりするメディアの場合は、[タカイ] にしてください
- メディアとプリントヘッドの距離が離れるほど、印刷品質は低下します。むやみに [タカイ] にしないようにしてください

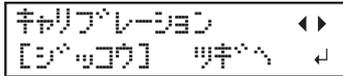
5. フロントカバーを閉じる。

3. 送り方向の位置調整を行う（横すじの軽減）

送り方向とは、メディアの送り方向のことです。種類や厚みなどによってメディアの移動距離が微妙に変化して印刷の横すじがめだちやすくなることがあるため、メディアに合わせた補正をしておきます。

手順

1. [◀] を押して [ジッコウ] を選択する。

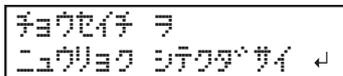


2. [ENTER] を押して決定する。

テストパターンの印刷を開始します。

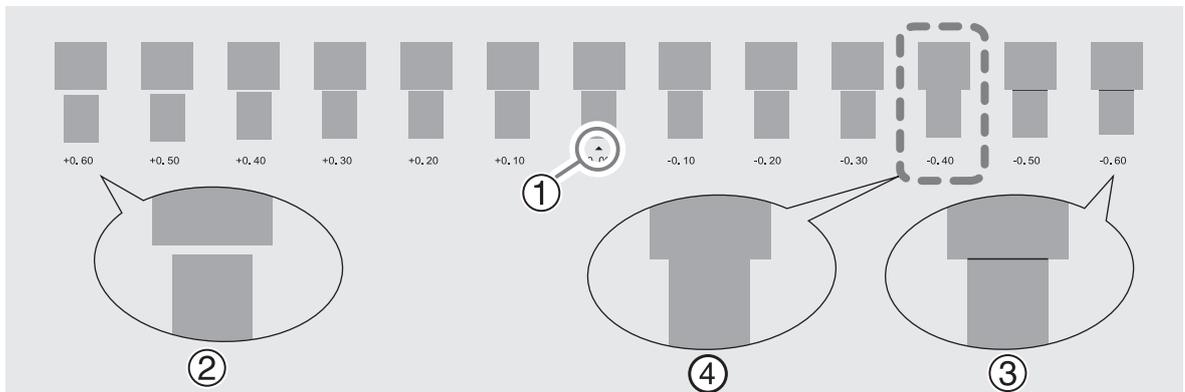
[ツギへ] を選択して [ENTER] を押すと、現在のメニューをスキップして次のメニューに進めます。

3. [ENTER] を押す。



4. 印刷したテストパターンを見て、補正値を決める。

「▲」が指している図形が現在の補正値です (①)。上下の四角形のすき間 (②) や重なり (③) が最も小さいもの (④) を選んでください。下図の場合は、「-0.40」を選びます。連続する値のどちらか迷う場合は、中間の数値を指定してください。

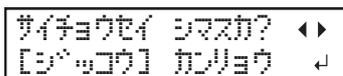


5. [▲] [▼] を押して補正値を選択する。



6. [ENTER] を押して決定する。

7. [◀] を押して [ジッコウ] を選択する。



8. [ENTER] を押して決定する。

もう一度、テストパターンを印刷します。「▲」が指している図形 (=現在の補正値) が、すき間と重なりが最も小さいことを確認してください。すき間と重なりが小さい図形が他にある場合は、手順 5.に戻り再設定してください。

補正値を変更する必要がない場合はもう一度 [ENTER] を押してください。

9. [▶] を押して [カンリョウ] を選択する。

```
サイキョウセイ シマスカ? ◀▶  
ジッコウ [カンリョウ] ↵
```

10. [ENTER] を押して決定する。

4. インクの着弾位置のずれを調整する

手順

1. [◀] を押して [ジッコウ] を選択する。

```
メティアキッパフホセイ ◀▶
[ジッコウ] ツギへ ↵
```

2. [ENTER] を押して決定する。

テストパターンの印刷を開始します。

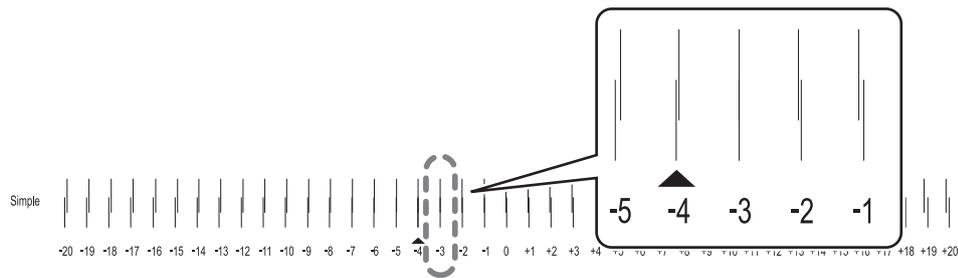
[ツギへ] を選択して [ENTER] を押すと、現在のメニューをスキップして次のメニューに進めます。

3. [ENTER] を押す。

```
子ョウセイ ラ
ニューリョク シテクダサイ ↵
```

4. 印刷したテストパターンを見て、補正值を決める。

2本の縦線の“ずれ”が最も少ない値を選びます。下図の場合は、[-3] を選びます。連続する値のどちらか迷う場合は、中間の値にしてください（補正值は「0.5」ずつ設定できます）。



5. [▲] [▼] を押して補正值を選択する。

```
メティアキッパフホセイ ▲▼
-4 ▶ -3 ↵
```

6. [ENTER] を押して決定する。

7. [◀] を押して [ジッコウ] を選択する。

```
サイョウセイ シマスカ? ◀▶
[ジッコウ] カンリョウ ↵
```

8. [ENTER] を押して決定する。

もう一度、テストパターンを印刷します。「▲」が指している図形（=現在の補正值）が、ずれが最も小さいことを確認してください。ずれが小さい図形が他にある場合は、手順 5.に戻り再設定してください。

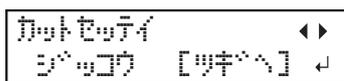
補正值を変更する必要がない場合はもう一度 [ENTER] を押してください。

9. [▶] を押して [カンリョウ] を選択する。

```
サイョウセイ シマスカ? ◀▶
ジッコウ [カンリョウ] ↵
```

10. [ENTER] を押して決定する。

11. [▶] を押して [ツギへ] を選択する。



12. [ENTER] を押して決定する。

5. カッター圧を設定する

高品質なカッティングをするために、カッティングテストを行ってメディアの切れ具合を確認し、カッター圧を調整します。

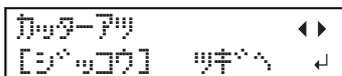
手順

1. [◀] を押して [ジッコウ] を選択する。



2. [ENTER] を押して決定する。

3. [◀] を押して [ジッコウ] を選択する。

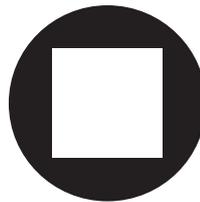


4. [ENTER] を押して決定する。

テストパターンがカットされます。

[ツギへ] を選択して [ENTER] を押すと、現在のメニューをスキップして次のメニューに進めます。

5. カットされた2つの図形（円と四角形）をはがす。



6. 図形のはがれ方を確認する。

- 2つの図形が一緒にはがれた／台紙まで切れた場合

[◀] を押して [ジッコウ] を選択する。



- 2つの図形が別々にはがれた場合

[▶] を押して [カンリョウ] を選択する。



7. [ENTER] を押して決定する。

- [ジッコウ] を選択した場合は、次の手順に進んでください。

- [カンリョウ] を選択した場合は、6. [クロップマーク使用時の印刷位置とカット位置のずれを補正する \(P. 130\)](#) に進んでください。

8. [▲] [▼] を押してカッター圧を調整する。

- 2つの図形が一緒にはがれた→カッター圧を強くしてください。
- 台紙まで切れてしまった→カッター圧を弱くしてください。



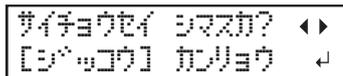
9. [ENTER] を押して決定する。

もう一度テストパターンがカットされます。結果を確認してください。

10. 図形のはがれ方を確認する。

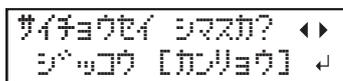
- 2つの図形が一緒にはがれた／台紙まで切れた場合

[◀] を押して [ジッコウ] を選択する。



- 2つの図形が別々にはがれた場合

[▶] を押して [カンリョウ] を選択する。



11. [ENTER] を押して決定する。

- [ジッコウ] を選択した場合は、手順 8 に戻り再設定してください。
- [カンリョウ] を選択した場合は、6. クランプマーク使用時の印刷位置とカット位置のずれを補正する (P. 130) に進んでください。

6. クロップマーク使用時の印刷位置とカット位置のずれを補正する

印刷したメディアを一度取り外し、再セットしてカットする場合にはクロップマークを利用します。この場合に、メディアの材質によっては、クロップマークを使っても印刷とカットの位置がずれることがあり、補正が必要になります。

手順

1. [▶] を押して [ジッコウ] を選択する。

```

    クロップカット  イチアワセ◀▶
    ジッコウ      [ツギへ] ←
    
```

2. [ENTER] を押して決定する。

3. [◀] [▶] を押して [ツギへ] または [ジッコウ] を選択する。

クロップマーク印刷を行わない場合は、[ツギへ]、クロップマーク印刷を行う場合は [ジッコウ] を選択してください。

```

    クロップカット  イチアワセ◀▶
    [ジッコウ]     [ツギへ] ←
    
```

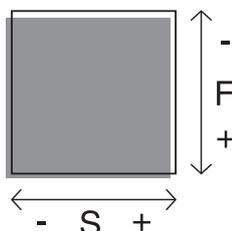
4. [ENTER] を押して決定する。

[ジッコウ] を選択した場合は、テストパターン (C&C1) がプリント&カットされます。次の手順に進んでください。
[ツギへ] を選択した場合は、7. [設定をプリセットとして保存する \(P. 132\)](#) に進んでください。

5. テストパターン (C&C1) の状態を確認する。

プリント位置 (塗りつぶし) とカット位置 (外枠) のずれを確認してください。下図は、プリント位置とカット位置がずれた状態です。

[F] はメディアの送り方向 (FEED 方向)、[S] はプリントヘッドの移動方向 (SCAN 方向) を示しています。



6. 補正を実施するかどうか決める。

- **プリント位置とカット位置がずれている場合**

[◀] を押して [ジッコウ] を選択する。

```

    チョウセイ シマスカ?  ◀▶
    [ジッコウ]   カンリョウ ←
    
```

- **プリント位置とカット位置が合っている場合**

[▶] を押して [カンリョウ] を選択する。

```

    チョウセイ シマスカ?  ◀▶
    ジッコウ   [カンリョウ] ←
    
```

7. [ENTER] を押して決定する。

- [ジッコウ] を選択した場合は、補正値を決めるためのテストパターン (C&C2) がプリント&カットされます。次の手順に進んでください。

- ・ [カンリョウ] を選択した場合は、7. 設定をプリセットとして保存する (P. 132) に進んでください。

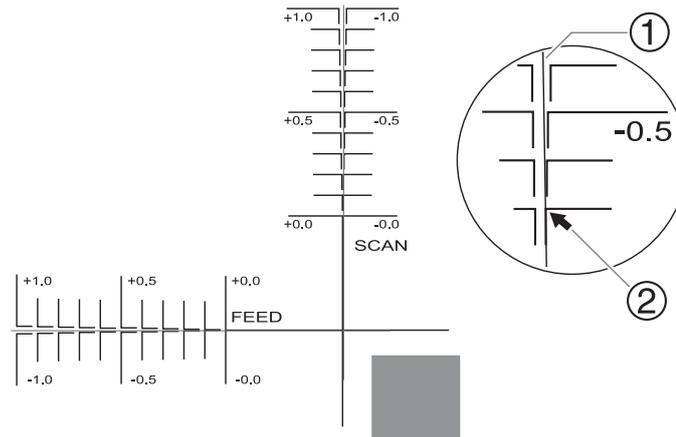
8. [ENTER] を押す。

```

キョウセイチ ラ
ニューリョク シテクダサイ ↓
    
```

9. テストパターン (C&C2) の状態から補正值を確認する。

カッティングライン (①) と補正值目盛りの交点 (②) が補正值です。下図の場合、補正值は「-0.3」です。メディアの送り方向 (FEED 方向)、プリントヘッドの移動方向 (SCAN 方向) それぞれを確認してください。



10. FEED 方向 [F] と SCAN 方向 [S] の補正值を設定する。

- (1) [▲] [▼] を押して FEED 方向 [F] の補正值を設定する。

```

F: +0.30 ▶ -0.10mm
S: -0.40 ▶ -0.40mm ↓
    
```

- (2) [◀] [▶] を押して SCAN 方向 [S] の補正值を設定する。

```

F: +0.30 ▶ -0.10mm
S: -0.40 ▶ -0.30mm ←
    
```

- (3) 補正值の設定が完了したら、[ENTER] を押して決定する。

もう一度テストパターン (C&C1) がプリント&カットされます。テストパターンの状態を確認して、プリント位置とカット位置が合っているかどうかを確認してください。

11. 補正を実施するかどうか決める。

- ・ プリント位置とカット位置がずれている場合

[◀] を押して [ジッコウ] を選択する。

```

サイキョウセイ シマスカ? ◀▶
[ジッコウ] カンリョウ ↓
    
```

- ・ プリント位置とカット位置が合っている場合

[▶] を押して [カンリョウ] を選択する。

```

サイキョウセイ シマスカ? ▶◀
ジッコウ [カンリョウ] ↓
    
```

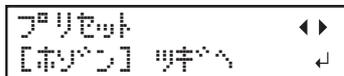
12. [ENTER] を押して決定する。

- ・ [ジッコウ] を選択した場合は、手順 10 に戻り再設定してください。
- ・ [カンリョウ] を選択した場合は、次の手順に進んでください。

7. 設定をプリセットとして保存する

手順

1. [◀] を押して [ホゾン] を選択する。

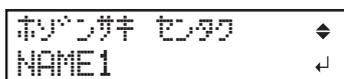


2. [ENTER] を押して決定する。

[ツギへ] を選択して [ENTER] を押すと、手順 6 の画面になり、これまでの設定はプリセットとしては保存されません。ただし、本機における現在の設定値としては残ります。

3. [▲] [▼] を押して保存先を選択する。

[NAME1] ~ [NAME8] まで選べます。



4. [ENTER] を押して決定する。

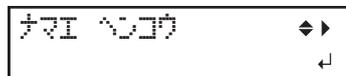
5. 名前を設定する。

(1) [▲] [▼] を押して文字を選択する。

(2) [▶] を押して次の文字に移る。

(3) 以降同様にして文字を設定する。

15文字まで入力できます。



6. [ENTER] を押して決定する。



7. [MENU] を 2 回押してもとの画面に戻る。

これで [メディア セッティング] メニューは完了です。

一括設定を途中で中止する方法

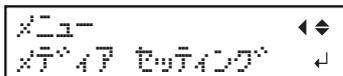
手順

1. 設定の途中で [MENU] を押す。
2. [◀] を押して [チュウシ] を選択する。



チュウシマスカ? ◀▶
[チュウシ] モデル ↵

3. [ENTER] を押して決定する。
以下の画面に戻ります。



メニュー ◀▶
メディア セットアップ ↵

手順 2 で [モデル] を選択すると、[MENU] を押したときの画面に戻ります。

メモ

メディアセッティングを途中で中止しても、それまでに設定した値は保存されます。

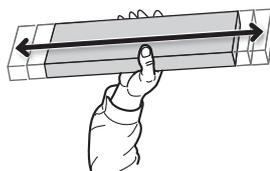
Step 2: クroppマーク付き出力の開始

警告

出力中はプリントヘッドキャリッジにさわらない。
プリントヘッドキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

手順

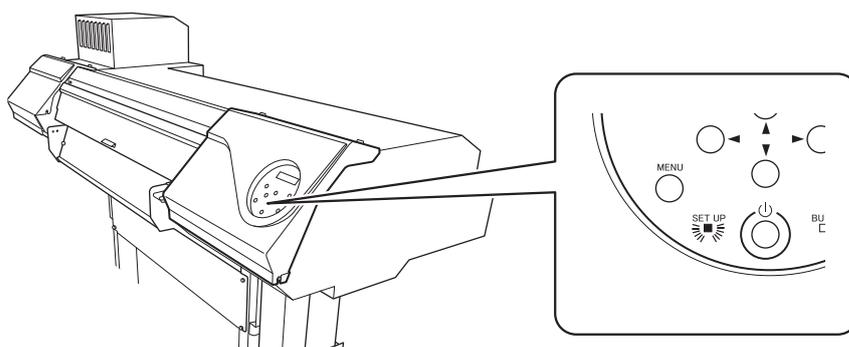
1. 1日の作業開始前の場合、ホワイトインクカートリッジだけを抜き、50回（20秒程度）振って再び差し込む。
インクの成分がよく混ざるように、インクカートリッジを両端5cmの振り幅で水平に振ります。



重要

ホワイトインクは成分が沈殿しやすい性質を持っています。インクの成分が沈殿していると、正常な色で印刷ができません。放置すると沈殿した成分が固まり、故障などのトラブルの原因になります。

2. フロントカバーを閉じる。
3. [SETUP] が点灯していることを確認する。
[SETUP] が点灯していないときは、セットアップが完了していません。ローディングレバーを下げて、[ENTER] を押してください。



4. 表示画面に以下の画面（トップ画面）が表示されていることを確認する。
トップ画面が表示されていないときは、[MENU] を押してください。

W 1600mm

5. コンピューターから出力データを送信する。
出力用データの作成方法については、ソフトウェア RIP の取扱説明書を参照してください。

メモ

出力データを送信すると、表示画面に〔クリーニング システム〕と表示されることがあります。これらは出力前の準備作業です。画面に表示された時間が経過すると、出力を開始します。

重要**こんなときは出力されません**

- カバー（フロント、L、R、リヤUVシールド）が開いていると動きません
- [SETUP] が消えているときは、コンピューターからデータを受け付けません
- トップ画面でないときは、コンピューターからデータを受け付けません

出力時に守っていただきたいこと

- 出力中にカバー（フロント、L、R、リヤUVシールド）を開けないでください。出力が中断します
- ヘッド高さが〔タカイ〕〔ヒクイ〕のどちらかで出力するときは、メディアクランプでメディアの両端を押さえてください。メディアの両端が反り、プリントヘッドに引っかかる原因になります
- ヘッド高さを〔Sp.ロー〕にしているときは、メディアクランプを取り外してください
- 出力中はメディアにさわらないでください。メディア送りが妨げられたり、メディアがプリントヘッドを擦ったりして紙詰りやプリントヘッド破損の原因となります

使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管してください

- 本機を使用しないときはローディングレバーを上げておいてください
- メディアを取り付けたまま放置すると、メディアが傷んで出力に悪影響が出ることがあります。使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管するようにしてください

Step 3: カット出力の準備

クロップマーク印刷し、ラミネートなどのあと処理をしたメディアを再度取り付けてください。ここではカット出力に必要な設定を確認します。

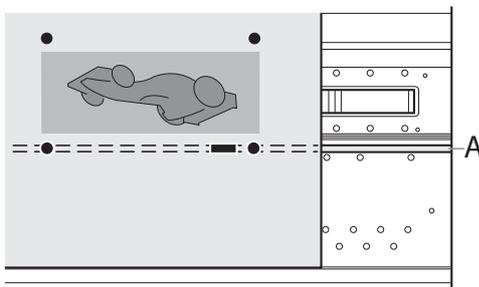
1. クロップマーク付きのメディアをセットする

手順

1. クロップマークが印刷されたメディアをセットする。
手前側の左右クロップマークをカッタープロテクション (A) に沿ってまっすぐ配置してください。

重要

クロップマークの傾きが、 5° を超えないようにしてください。クロップマークが読み取れなくなります。



2. メディアのセットアップを完了する。

関連情報

- ・ P. 30 メディアのセットアップ

2. メディアが無理に引っ張られないようにする

手順

1. [MENU] を押す。

2. [▲] を押して、以下の画面を表示する。

```

メニュー          ◀▶
カットイング*  メニュー ▶
    
```

3. [▶] を1回、[▲] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```

カットイング*  メニュー ◀▶
サキオクリ          ▶
    
```

4. [▶] を押して、以下の画面を表示する。

```

サキオクリ          ◀▶
ムコウ          ▶ムコウ ◀
    
```

5. [▲] [▼] を押して [ユウコウ] を選択する。

```

サキオクリ          ◀▶
ムコウ          ▶ユウコウ ◀
    
```

6. [ENTER] を押して決定する。

7. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

出荷時設定：[ムコウ]

3. カッティングの調整を実施する

高品質なカッティングをするために、カッティングの前にはカッティングテストを行ってメディアの切れ具合を確認することをおすすめします。切れ具合の状態によっては、カッター圧を調整してください。

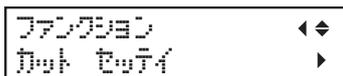
手順

1. フロントカバーを閉じる。
2. 以下の画面が表示されている状態で、[◀] を押す。
カッティングキャリッジがプラテン上に出てきます。

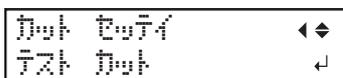


3. [◀] [▶] [▲] [▼] を押して、カッティングテストをしたい位置までカッティングキャリッジを移動させる。
カッティングテストをする位置は自由に設定できます。
4. [FUNCTION] を押す。

5. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

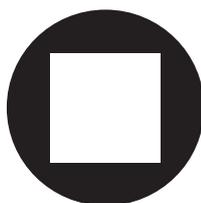


6. [▶] を押して、以下の画面を表示する。



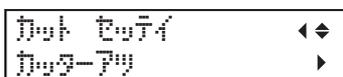
7. [ENTER] を押す。
テストパターンがカットされます。

8. カットされた図形をはがして切れ具合を確認する。



- **2つの図形が別々にはがれた場合**
カッター圧は問題ないので設定の必要はありません。
- **2つの図形が一緒にはがれた／台紙まで切れた場合**
次の手順に進んでカッター圧を設定します。

9. [▼] を押して、以下の画面を表示する。



10. [▶] を押して、以下の画面を表示する。

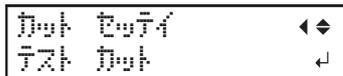


11. [▲] [▼] を押して値を選択する。

- 2つの図形が一緒にはがれた場合
カッター圧を強くしてください。
- 台紙まで切れた場合
カッター圧を弱くしてください。

12. [ENTER] を押して決定する。

13. [◀] [▶] の順に押して、以下の画面を表示する。



14. [ENTER] を押す。

テストパターンがカットされます。

15. 調整が成功したか確認する。

[カット セッテイ] メニューでは、カッター圧以外のカッティング条件も設定できます。以下のページをご覧ください。

関連情報

- [P. 154 カッティング条件を細かく設定する](#)

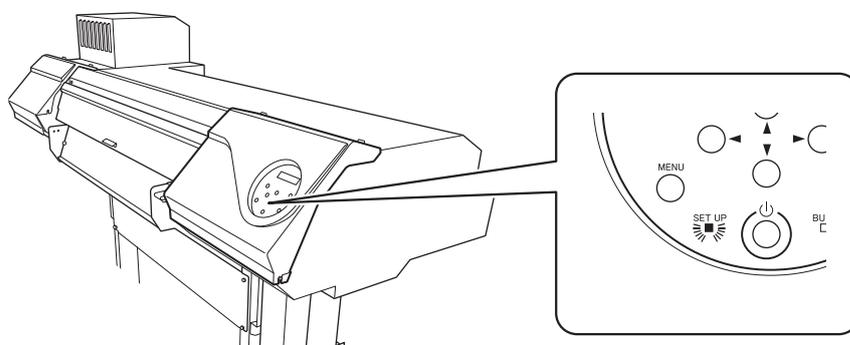
Step 4: カット出力の開始

警告

出力中はプリントヘッドキャリッジにさわらない。
プリントヘッドキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

手順

1. フロントカバーを閉じる。
2. [SETUP] が点灯していることを確認する。
[SETUP] が点灯していないときは、セットアップが完了していません。ローディングレバーを下げて、[ENTER] を押してください。



3. 表示画面に以下の画面（トップ画面）が表示されていることを確認する。
トップ画面が表示されていないときは、[MENU] を押してください。

W 1600mm

4. コンピューターから出力データを送信する。
出力用データの作成方法については、ソフトウェア RIP の取扱説明書を参照してください。

重要

こんなときは出力されません

- カバー（フロント、L、R、リヤUVシールド）が開いていると動きません
- [SETUP] が消えているときは、コンピューターからデータを受け付けません
- トップ画面でないときは、コンピューターからデータを受け付けません

出力時に守っていただきたいこと

- 出力中にカバー（フロント、L、R、リヤUVシールド）を開けないでください。出力が中断します
- 出力中はメディアにさわらないでください。メディア送りが妨げられたり、メディアがプリントヘッドを擦ったりして紙詰りやプリントヘッド破損の原因となります

使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管してください

- 本機を使用しないときはローディングレバーを上げておいてください
- メディアを取り付けたまま放置すると、メディアが傷んで出力に悪影響が出る場合があります。使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管するようにしてください

品質と効率を最適化する

出力品質を最適化する

補正機能を使う	143
インクの着弾位置のずれを調整する	143
インクの着弾位置のずれを詳細に調整する	145
横すじを軽減する（送り補正機能）	147
メディアの性質に応じた設定	149
メディアの厚みにプリントヘッド高さを合わせる	149
透明なメディアを使用する	151
コシのないメディアを使用する	152
浮き上がりやすい／スムーズに動かないメディアを使用する	153
カッティングの設定を細かく調整する	154
カッティング条件を細かく設定する	154
切り込み量を細かく調整する	156
印刷面にカットするときの調整をする	157
カッティング時の距離補正をする	162
角をきれいにカットできるようにする（オーバーカット）	164
本機のカッティング設定をソフトウェア RIP の設定よりも優先させる	165
プリント&カットの設定を細かく調整する	166
印刷とカットのずれを補正する	166
カッティング動作中に印刷位置とカット位置のずれを補正する	170
クロップ&カットの設定を細かく調整する	172
クロップ&カットの位置を手動で合わせる	172
クロップ印刷とカットのずれを補正する（クロップ&カット同時テスト）	174
クロップ印刷とカットのずれを補正する（クロップ&カット分離テスト）	178
クロップマークの読み取りセンサーを補正する	184
メディアに合わせてクロップマークの読み取りセンサーをレベル調整する	187
クロップマークの読み取りセンサーレベルをリセットする	188
印刷中のクリーニングによる中断を回避する	189
印刷中に行われるクリーニングについて	189

補正機能を使う

出力品質を最適化するためには、いくつかの補正機能を活用することが有効です。

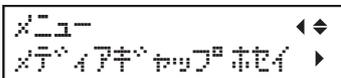
インクの着弾位置のずれを調整する

プリントヘッドから吐出するインクの着弾位置を調整します。着弾位置は、プリントヘッドの高さやメディアの厚みによって変わりますので、お使いのメディアに合わせた補正をおすすめします。

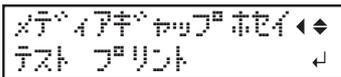
はじめにテストパターンを印刷し、補正値を決めて入力します。補正値を入力したら、あらためてテストパターンを印刷して補正結果を確認してください。

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

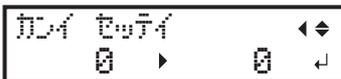


3. [▶] を押して、以下の画面を表示する。

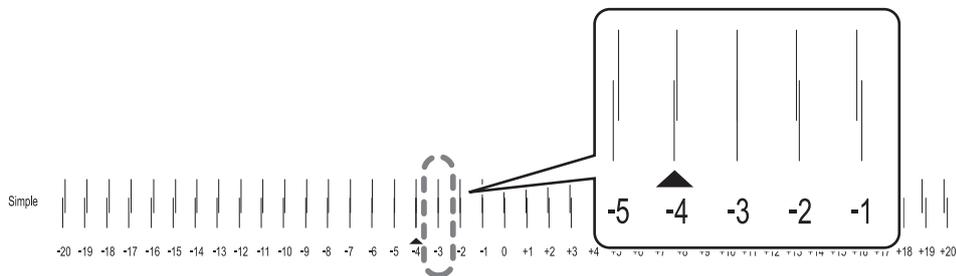


4. [ENTER] を押す。
テストパターンの印刷を開始します。

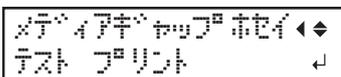
5. 印刷が完了したら [▼] [▶] の順に押して、以下の画面を表示する。



6. 印刷したテストパターンを見て、補正値を決める。
2本の縦線の“ずれ”が最も少ない値を選びます。下図の場合は、[-3] を選びます。連続する値のどちらか迷う場合は、中間の値にしてください（補正値は「0.5」ずつ設定できます）。



7. [▲] [▼] を押して補正値を選択する。
8. [ENTER] を押して決定する。
9. [◀] [▲] を押して、以下の画面を表示する。



10. [ENTER] を押す。
テストパターンの印刷を開始します。
11. テストパターンを確認し、調整が成功したかどうか確認する。
「▲」が指している 2 本の縦線 (=現在の補正值) の“ずれ”が最も少ないことを確認してください。“ずれ”が小さい縦線が他にある場合は、補正值を再設定してください。
12. 調整が成功したら、[MENU] を押してもとの画面に戻る。

インクの着弾位置のずれを詳細に調整する

プリントヘッドから吐出するインクの着弾位置を調整します。〔メディアギャップホセイ カンイ セッテイ〕よりも、細かい調整ができます。着弾位置は、プリントヘッドの高さやメディアの厚みによって変わりますので、お使いのメディアに合わせた補正をおすすめします。

はじめにテストパターンを印刷し、補正値を決めて入力します。補正値を入力したら、あらためてテストパターンを印刷して補正結果を確認してください。

次の場合は、必ずこの調整を実施してください。

- 本機を初めて使用する場合
- 使用するメディアの種類を変更する場合
- ヘッド高さを変更した場合
- 〔メディアギャップホセイ カンイ セッテイ〕で印刷が改善されない場合

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```

メニュー          ◀▶
メディアギャップホセイ ▶
  
```

3. [▶] [▲] の順に押して、以下の画面を表示する。

```

メディアギャップホセイ ◀▶
ショウサイ セッテイ   ▶
  
```

4. [▶] を押して、以下の画面を表示する。

```

ショウサイ セッテイ   ◀▶
テスト プリント      ↓
  
```

5. [ENTER] を押す。
テストパターンの印刷を開始します。

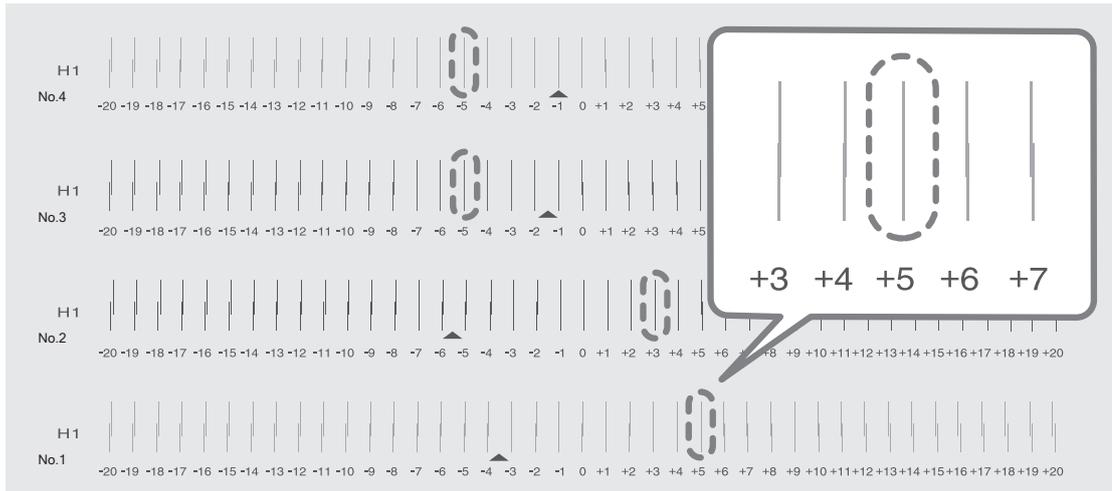
6. 印刷が完了したら [▼] [▶] の順に押して、以下の画面を表示する。

```

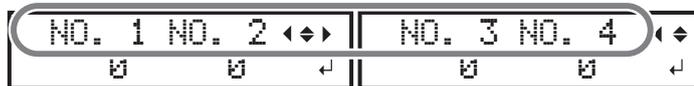
NO. 1 NO. 2 ◀▶
  0      0   ↓
  
```

7. 印刷したテストパターンを見て、〔メディアギャップホセイ No.1〕から〔メディアギャップホセイ No.4〕の補正値を決める。

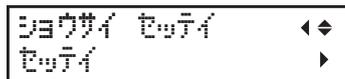
2本の縦線の“ずれ”が最も少ない値を選びます。下図の場合、NO.1に「+5」を選びます。連続する値のどちらか迷う場合は、中間の値にしてください（補正値は「0.5」ずつ設定できます）。



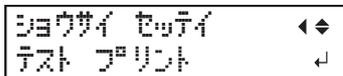
8. [No.1] から [No.4] の補正值を設定する。
 - (1) [◀] [▶] を押して [No.1] から [No.4] を選択する。
 - (2) [▲] [▼] を押して補正值を選択する。



- (3) 補正值の設定が完了したら、[ENTER] を押して決定する。
以下の画面に戻ります。



9. [▼] を押して、以下の画面を表示する。



10. [ENTER] を押す。
テストパターンの印刷を開始します。
11. テストパターンを確認し、調整が成功したかどうか確認する。
すべての補正值において、「▲」が指している 2本の縦線 (=現在の補正值) の”ずれ”が最も少ないことを確認してください。”ずれ”が小さい縦線が他にある場合は、補正值を再設定してください。
12. 調整が成功したら、[MENU] を押してもとの画面に戻る。

関連情報

- ・ P. 143 インクの着弾位置のずれを調整する

横すじを軽減する（送り補正機能）

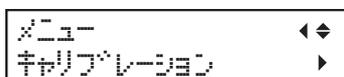
印刷面に入った帯状の「すじ」を目立たなくするように補正します。

帯状の「すじ」のことを、「横すじ」や「バンディング」と呼びます。横すじは、メディアの厚みによって、メディアを送るときに移動距離が微妙に変化することで生じます。お使いのメディアに合わせた補正をお勧めします。

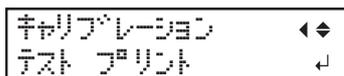
はじめにテストパターンを印刷し、補正値を決めて入力します。補正値を入力したら、あらためてテストパターンを印刷して補正結果を確認してください。テストパターンの印刷と補正値の入力を何度かくり返し、最適な補正値を探してください。

手順

1. ロールメディアを使用している場合は、メディアにたるみがないことを確認する。
2. [MENU] を押す。
3. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



4. [▶] を押して、以下の画面を表示する。



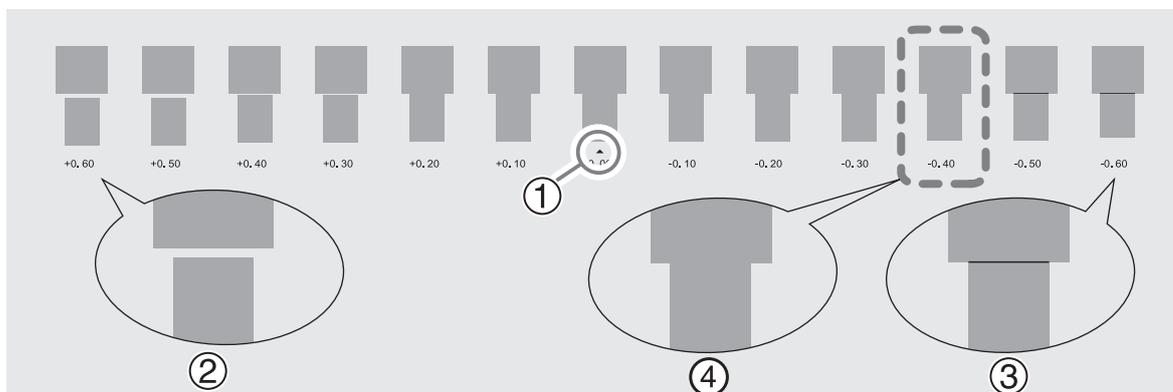
5. [ENTER] を押す。
テストパターンの印刷を開始します。

6. 印刷が完了したら [▼] [▶] の順に押して、以下の画面を表示する。



7. 印刷したテストパターンを見て、補正値を決める。

[▲] が指している図形が現在の補正値です (①)。上下の四角形のすき間 (②) や重なり (③) が最も小さいもの (④) を選んでください。下図の場合は、「-0.40」を選びます。連続する値のどちらか迷う場合は、中間の数値を指定してください。



8. [▲] [▼] を押して補正値を選択する。



9. [ENTER] を押して決定する。
10. [◀] [▼] を押して、以下の画面を表示する。



11. [ENTER] を押す。
テストパターンの印刷を開始します。
12. テストパターンを確認し、調整が成功したかどうか確認する。
「▲」が指している図形 (=現在の補正值) が、すき間と重なりが最も小さいことを確認してください。すき間と重なりが小さい図形が他にある場合は、補正值を再設定してください。
13. 調整が成功したら、[MENU] を押してもとの画面に戻る。

メモ

- 出荷時設定 : 0.00%
- ソフトウェア RIP によっては、この補正をソフトウェア RIP で設定する (たとえば、メディア種類を選ぶ) ことができます。ソフトウェア RIP で設定したときは、プリンター側の設定は無視されソフトウェア RIP の設定が優先されます。

メディアの性質に応じた設定

メディアの厚みにプリントヘッド高さを合わせる

しわになったりプラテンから浮き上がったりするメディアがプリントヘッドに当たらないように、プリントヘッドの高さを調整します。

一般的な厚みのメディアでは、プリントヘッドの高さは【ヒクイ】（低い）または【タカイ】（高い）から選びます。通常は【ヒクイ】にしてください。印刷時にしわになったりプラテンから浮き上がったりするメディアの場合は、【タカイ】にしてください。メディアとプリントヘッドの距離が離れるほど、印刷品質は低下します。むやみに【タカイ】にしないでください。

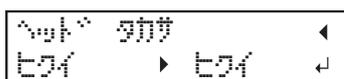
厚さ 0.2mm 以下の極薄メディアへの印刷時には【Sp.ロー】（スーパーロー）を選びます。このとき、メディアクランプを必ず取り外してください。

手順

1. 【MENU】を押す。
2. 【▼】を何回か押して、以下の画面を表示する。

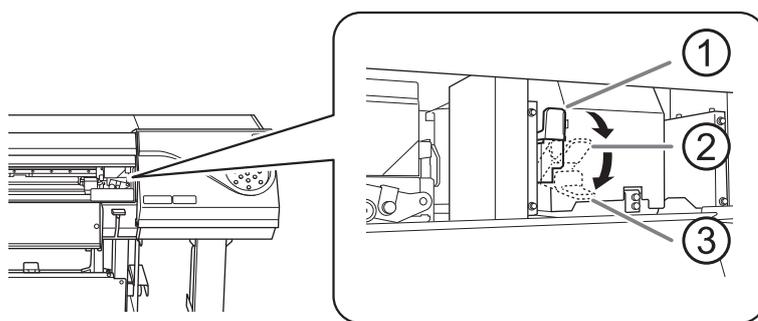


3. 【▶】を押す。【シバラク オマチクダサイ..】と表示された後、以下の画面が表示されます。



4. フロントカバーを開ける。
5. 高さ調整レバーでプリントヘッドの高さを調整する。

高さ調整レバーの位置を変えると、表示画面の表示が変わり、同時にブザーが鳴ります。



	位置	表示画面
①	【タカイ】（高い）	
②	【ヒクイ】（低い）	
③	【Sp.ロー】（スーパーロー）	

重要

〔Sp.ロー〕にセットするときは、メディアクランプを取り外してください。

メモ

- 通常は〔ヒクイ〕にしてください。印刷時にしわになったりプラテンから浮き上がったりするメディアの場合は、〔タカイ〕にしてください
- メディアとプリントヘッドの距離が離れるほど、印刷品質は低下します。むやみに〔タカイ〕にしないようにしてください

6. フロントカバーを閉じる。

7. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

- 出荷時設定：〔ヒクイ〕
- プリントヘッドの高さを高くしたことにより印刷品質の低下がみられた場合は、下記のページを参照して、品質の最適化を試みてください

関連情報

- [P. 143 インクの着弾位置のずれを調整する](#)
- [P. 145 インクの着弾位置のずれを詳細に調整する](#)

透明なメディアを使用する

メディア端の検出を無効にする

メディアの前端と後端の検出を無効にすることで、透明なメディアでもセットアップできるようにします。

通常は、メディアの前後端を検出することでメディアの存在を確認し、セットアップができる状態になります。しかし、透明なメディアの場合はメディアを検出できないため、セットアップができなくなります。なお、メディア端の検出を無効にすると、セットアップ時の斜行矯正補助が有効であっても斜行矯正補助は動作しなくなります。メディアのセットアップ時は以下の手順でメディアの位置を決めてください。

- ロールメディア：2. B：メディアの位置を決める (P. 40)
- カットメディア：1. B：メディアの位置を決める (P. 55)

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



3. [▶] を押して、以下の画面を表示する。



4. [▶] を押して、以下の画面を表示する。



5. [▲] [▼] を押して [ムコウ] を選択する。
6. [ENTER] を押して決定する。
7. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

- 出荷時設定：[ユウコウ]
- [ムコウ] に設定すると、メディアがなくなっても印刷動作が止まりません。印刷の途中でメディアがなくなったら、直ちに [PAUSE] を押して印刷を中断してください。さもないと、インクでプラテンなどを汚したり、インクが内部に入って本機を傷めたりする恐れがあります

コシのないメディアを使用する

メディアの斜行矯正補助を無効にする

メディアの斜行矯正補助を〔ムコウ〕にすることで、メディアの吸着力を手動で設定できます。メディアをセットアップしていない状態では吸着力が 20 % になっており、[PAUSE] を押すたびに吸着力を 50 % -> 100 % -> 20% と変えられます。

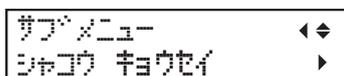
手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



メニュー ◀▶
サブメニュー ▶

3. [▶] を押して、以下の画面を表示する。



サブメニュー ◀▶
シャコウ キョウセイ ▶

4. [▶] を押して、以下の画面を表示する。



シャコウ キョウセイ ◀▶
ユウコウ ▶ユウコウ ↵

5. [▲] [▼] を押して〔ムコウ〕を選択する。
6. [ENTER] を押して決定する。
7. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

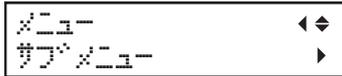
- 出荷時設定：〔ユウコウ〕

浮き上がりやすい／スムーズに動かないメディアを使用する

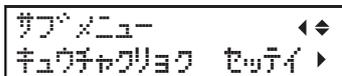
メディアを安定させるため、プラテンはメディアを吸着しています。メディアの性質や状態などに合わせて吸着力を調整することができます。

手順

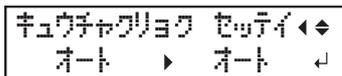
1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



3. [▶] を1回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



4. [▶] を押して、以下の画面を表示する。



5. [▲] [▼] を押して値を選択する。

0~100 %	こしがなくてスムーズに移動しにくいメディアでは、値を小さくする（吸着力を弱める）とスムーズに移動するようになることがあります。
[オート]（出荷時設定）	メディア幅に最適な吸着力に自動調整されます。

6. [ENTER] を押して決定する。
7. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

- ソフトウェア RIP によってはこの設定をソフトウェア RIP でも行うことができます。ソフトウェア RIP で設定したときは、本機側の設定は無視されます

カッティングの設定を細かく調整する

カッティング条件を細かく設定する

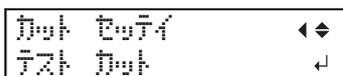
カッターの圧力、移動速度、刃先補正量などを、メディアの性質やカットする形状に合わせて、細かく設定することができます。はじめにカッティングテストを実施し、設定値を決めて入力します。設定値を入力したら、あらためてカッティングテストを実施して結果を確認してください。カッティングテストと設定を何度かくり返し、最適な設定値を探してください。

手順

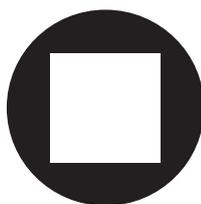
1. フロントカバーを閉じる。
2. [◀] [▶] [▲] [▼] を押して、カッティングテストをしたい位置までカッティングキャリッジを移動させる。カッティングテストをする位置は自由に設定できます。
3. [FUNCTION] を押す。
4. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



5. [▶] を押して、以下の画面を表示する。



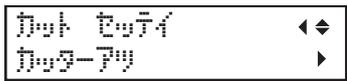
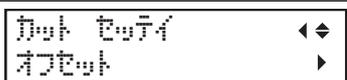
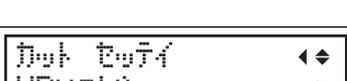
6. [ENTER] を押す。
テストパターンがカットされます。
7. テストパターンのカッティングが完了したら [▼] を押す。
8. カッティングテストの結果を確認する。



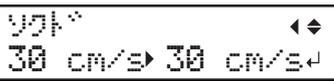
確認項目	判定	設定項目	調整
形を確認する	形がゆがんでいる	[ソクド]	小さくする
円をはがす	四角形が一緒にはがれる	[カッターアツ]	大きくする
	部分的な切り残しがある	[ソクド]	小さくする
四角形をはがす	うっすらと台紙にカッターの跡がある	[カッターアツ]	そのまま
	カッターの跡がわからない		大きくする
	カッターの跡が深すぎる、台紙まで切れている		小さくする

確認項目	判定	設定項目	調整	
はがした四角形の形を確認する		角に丸みやツノが無い	[オフセット]	そのまま
		角がとれて丸くなっている		大きくする
		角にツノができています		小さくする

9. [▲] [▼] を押して設定したいカッティング条件を選択する。

表示画面 (カッティング条件)	設定内容	出荷時設定
	カッターの圧力を設定します	50 gf
	カッティングの速度を設定します	30 cm/s
	カッターの刃先補正量を設定します。カッターに記載のオフセット値を入力してください 付属品のカッターのオフセット値は 0.250 mm です	0.250 mm
	カッティング中のカッターの空送り速度 (1つのカット線をカッティング後、次のカット線をカッティングするためにカッターが移動するときの速度) を設定します。空送り中に、メディアが浮き上がりカッターがメディア表面を傷つけるような場合には、速度を落としてください	30 cm/s

10. [▶] を押して、以下の画面を表示する。



11. [▲] [▼] を押して値を選択する。

12. [ENTER] を押して決定する。

13. [◀] を押して手順9に戻る。

手順9～12を繰り返して、各カッティング条件を調整してください。

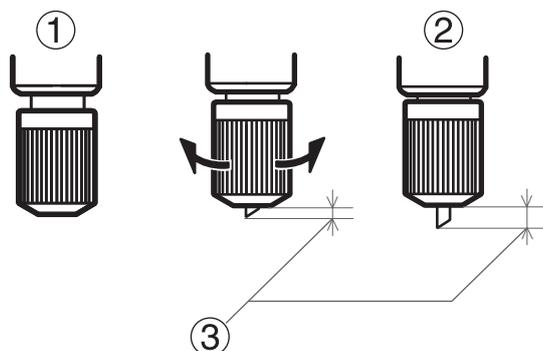
14. [FUNCTION] を押して、もとの画面に戻る。

切り込み量を細かく調整する

台紙が薄いメディアのカッティングなど、切り込み量を細かく調整したいときは、カッターの刃先突出量を調整するとよい結果が得られます。刃先突出量は、カッターホルダーのキャップ部分を回して調整します。1目盛で0.1 mm、1回転で0.5 mmの調整ができます。

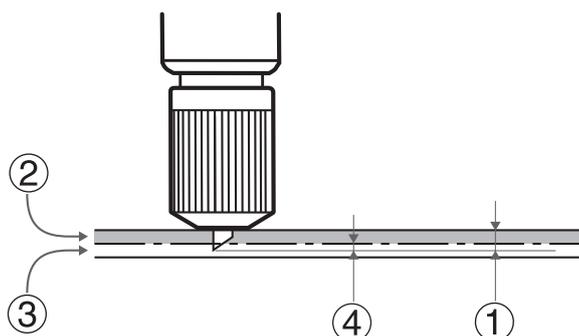
ただし、刃先突出量を少なめにすると、カッターホルダーのキャップ先端が印刷面と接触して、汚したり傷つけたりすることがあります。インクが定着しにくいメディアを使用するときは特に注意してください。

刃先突出量 (③) は、最小で0 mm (①)、最大で2.5 mm (②) です。



刃先突出量の目安 (ステッカーを作成する場合)

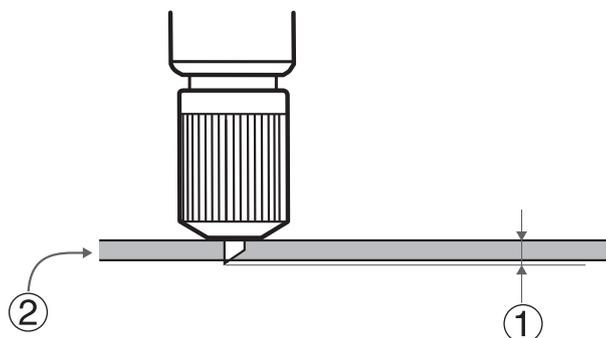
刃先突出量 (①) は、「シート部分の厚み (②)」と「台紙の厚み (③) の半分 (④)」を足した量にしてください。



刃先突出量の目安 (ミシン目カットを実施する場合)

刃先突出量 (①) は、カッターがメディア (②) を貫通して刃先がわずかに出る量にしてください。

ミシン目カットの出力設定については、VersaWorks の取扱説明書を参照してください。



重要

刃先を多く出しすぎると、カッターとカッタープロテクションの摩耗が激しくなり、劣化を早めますので注意してください。

印刷面にカットするときの調整をする

硬化したインクには厚みがあります。そのため、印刷面をカットするときと印刷してないところをカットするときとはカッティング条件が異なります。印刷面にカットするときは、この〔カット テスト プリント〕を使ってカッティング条件の調整を行なってください。

※この調整は、おおよその目安です。その精度を保証するものではありません。

1. カットテストプリントの開始位置を設定する

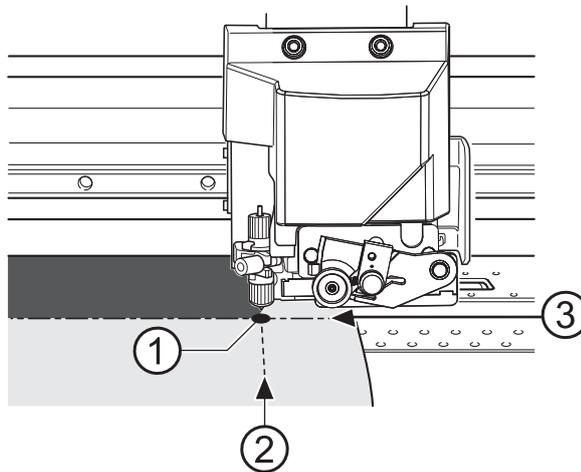
手順

1. メディアをセットする。

P. 30 メディアのセットアップ

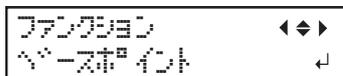
2. [◀] [▶] [▲] [▼] を押して、カッティングキャリッジを動かす。

好きな位置でカットテストプリントができます。カッターの中心を印刷開始位置に合わせます。



- ①：印刷開始位置
- ②：SCAN 方向の開始位置
- ③：FEED 方向の開始位置

3. [FUNCTION] を押して、以下の画面を表示する。



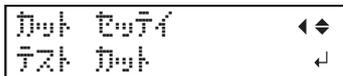
4. [ENTER] を押す。

ベースポイントが設定されます。

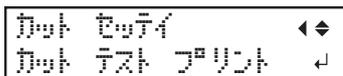
2. カットテストプリントし、その上にテストカットをする

手順

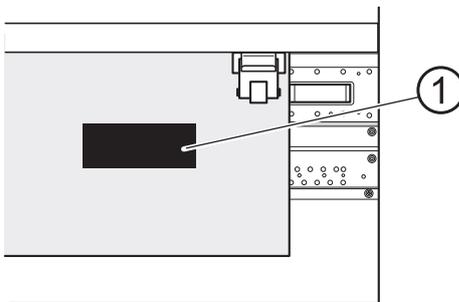
1. [FUNCTION] を押す。
2. [▲] [▶] を押して、以下の画面を表示する。



3. [▲] を押して、次の画面を表示する。

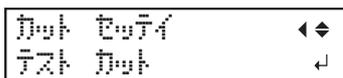


4. [ENTER] を押す。
図のような印刷が行われます。

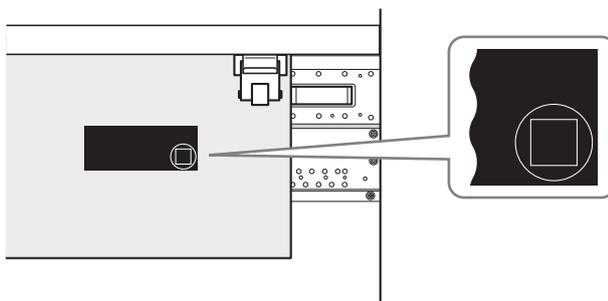


①：カットテストプリント

5. [▼] を押して、以下の画面を表示する。



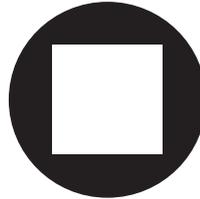
6. [ENTER] を押す。
テストカットが行われます。



3. テストカットの結果を確認し、調整する

手順

1. フロントカバーを開ける。
2. カッティングテストの結果を確認する。



確認項目	判定	設定項目	調整
形を確認する	形がゆがんでいる	[ソクド]	小さくする
円をはがす	四角形が一緒にはがれる	[カッターアツ]	大きくする
	部分的な切り残しがある	[ソクド]	小さくする
四角形をはがす	うっすらと台紙にカッターの跡がある	[カッターアツ]	そのまま
	カッターの跡がわからない		大きくする
	カッターの跡が深すぎる、台紙まで切れている		小さくする
はがした四角形の形を確認する	 角に丸みやツノが無い	[オフセット]	そのまま
	 角がとれて丸くなっている		大きくする
	 角にツノができています		小さくする

3. [▲] [▼] を押して設定したいカッティング条件を選択する。

表示画面 (カッティング条件)	設定内容	出荷時設定
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> カット セッテイ ◀◆ カッターアツ ▶ </div>	カッターの圧力を設定します	50 gf
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> カット セッテイ ◀◆ ソクド ▶ </div>	カッティングの速度を設定します	30 cm/s
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> カット セッテイ ◀◆ オフセット ▶ </div>	カッターの刃先補正量を設定します。カッターに記載のオフセット値を入力してください 付属品のカッターのオフセット値は 0.250 mm です	0.250 mm
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> カット セッテイ ◀◆ UPソクド ▶ </div>	カッティング中のカッターの空送り速度（1つのカット線をカッティング後、次のカット線をカッティングするためにカッターが移動するときの速度）を設定します。空送り中に、メディアが浮き上がりカッターがメディア表面を傷つけるような場合には、速度を落としてください	30 cm/s

4. [▶] を押して、以下の画面を表示する。

カッターフィード ◀▶
50gf ▶ 50gf ◀

ソフト° ◀▶
30 cm/s▶ 30 cm/s◀

オフセット ◀▶
0.250mm▶ 0.250mm◀

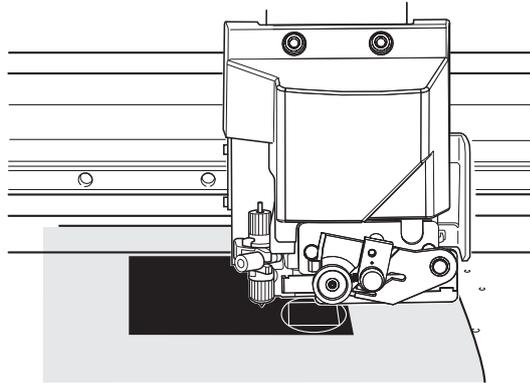
UFソフト° ◀▶
20 cm/s▶ 20 cm/s◀

5. [▲] [▼] を押して値を選択する。
6. [ENTER] を押す。
7. フロントカバーを閉じる。

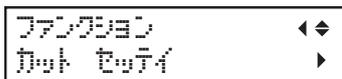
4. 調整結果を確認する

手順

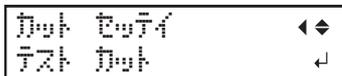
1. [FUNCTION] を押す。
2. [◀] [▶] [▲] [▼] を押して、カッティングキャリッジを動かす。
カットテストプリント上でテストカットができる位置にカッターの中心を合わせます。



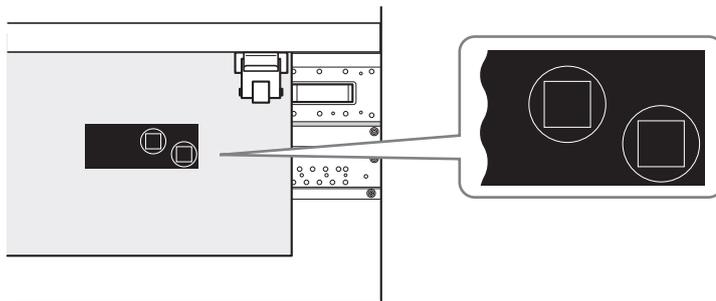
3. [FUNCTION] を押す。
4. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



5. [▶] を押して、以下の画面を表示する。



6. [ENTER] を押す。
テストカットが行われます。



7. フロントカバーを開ける。
8. テストカットの結果を再確認する。

カッティング時の距離補正をする

カッティング時、カット線の長さを正確に合わせたいときの補正を行います。カッティングのみ、またはプリント&カット、ク
ロップ&カットでも適用されます。

メディアの厚みによって、メディアの移動距離が微妙に変化します。そのためカッティングしたときの線の長さがデータで設定
された長さとはずれることがあります。

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▲] を押して、以下の画面を表示する。

```
メニュー          ◀▶
カッティング*  メニュー ▶
```

3. [▶] を1回、[▼] を何度か押して、以下の画面を表示する。

```
カッティング*  メニュー ◀▶
キャリブレーション ▶
```

4. [▶] を2回押して、以下の画面を表示する。

```
FEEDセッテイ ◀▶
0.00% ▶ 0.00% ↵
```

5. [▲] [▼] を押して補正值を選択する。
メディアの送り方向の補正值を設定します。

```
FEEDセッテイ ◀▶
0.00% ▶ -0.10% ↵
```

6. [ENTER] を押して決定する。

7. [◀] [▼] の順に押して、以下の画面を表示する。

```
キャリブレーション ◀▶
SCANセッテイ ▶
```

8. [▶] を押して、以下の画面を表示する。

```
SCANセッテイ ◀▶
0.00% ▶ 0.00% ↵
```

9. [▲] [▼] を押して補正值を選択する。
カッティングキャリッジの移動方向の補正值を設定します。

10. [ENTER] を押して決定する。

11. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

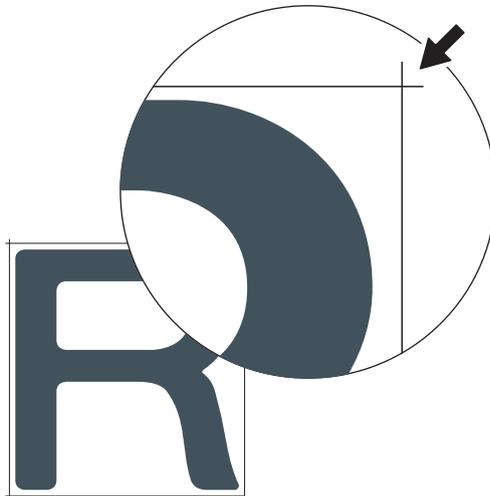
出荷時設定

- [FEED セッテイ] : 0.00%
- [SCAN セッテイ] : 0.00%

角をきれいにカットできるようにする（オーバーカット）

カット線の外枠の角部分を少し長めにカットして、角をきれいにカットすることができます。

ラミネートした後や、厚みのあるメディア、コシのないメディアを使用する場合に効果的です。また、ステッカーを剥がしやすくなる効果もあります。



手順

1. [MENU] を押す。
2. [▲] を押して、以下の画面を表示する。

メニュー ◀▶
 カッティング◀▶ メニュー ▶
3. [▶] を1回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

カッティング◀▶ メニュー ◀▶
 オーバーカット ▶
4. [▶] を押して、以下の画面を表示する。

オーバーカット ◀▶
 ムコウ ▶ムコウ ◀
5. [▲] [▼] を押して [ユウコウ] を選択する。
6. [ENTER] を押して決定する。
7. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

- 出荷時設定：[ムコウ]
- カッティングの始点ではオーバーカットされません。

本機のカッティング設定をソフトウェア RIP の設定よりも優先させる

ソフトウェア RIP の設定よりも、本機で設定したカッティング条件を優先するように設定します。カッティング条件はソフトウェア RIP でも設定でき、通常はソフトウェア RIP の設定を優先します。

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▲] を押して、以下の画面を表示する。

```
メニュー          ◀▶
カッティング°  メニュー ▶
```

3. [▶] を 1 回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
カッティング°  メニュー ◀▶
カッティング°  100% ▶
```

4. [▶] を押して、以下の画面を表示する。

```
カッティング°  100% ◀▶
コマンド° ▶コマンド° ◀
```

5. [▲] [▼] を押して [メニュー] を選択する。

ソフトウェア RIP の設定よりも、本機で設定したカッティング条件を優先します。

[コマンド] に設定していると、ソフトウェア RIP の設定を優先します。

```
カッティング°  100% ◀▶
コマンド° ▶メニュー ◀
```

6. [ENTER] を押して決定する。
7. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

出荷時設定：[コマンド]

プリント&カットの設定を細かく調整する

印刷とカットのずれを補正する

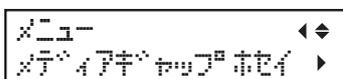
印刷とカッティングを連続して行った場合に、印刷とカッティングが微妙にずれの場合の補正方法です。

位置合わせマークを印刷して読み取り、ずれを補正します。メディアの厚みやヘッド高さによって印刷とカッティングの位置が微妙にずれることがあります。お使いのメディアに合わせた補正をおすすめします。

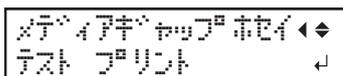
1. インクの着弾位置のずれを調整する

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

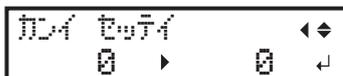


3. [▶] を押して、以下の画面を表示する。

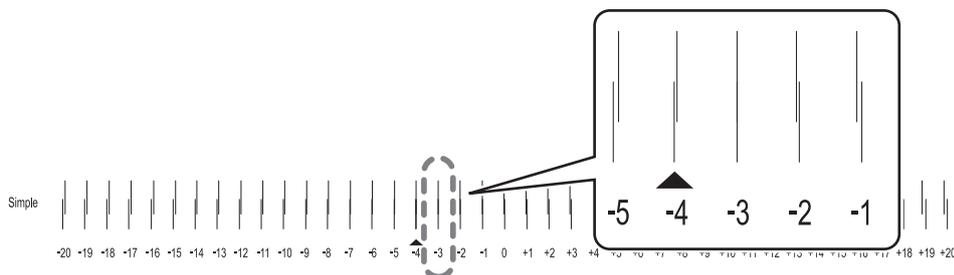


4. [ENTER] を押す。
テストパターンの印刷を開始します。

5. 印刷が完了したら [▼] [▶] の順に押して、以下の画面を表示する。



6. 印刷したテストパターンを見て、補正値を決める。
2本の縦線の“ずれ”が最も少ない値を選びます。下図の場合は、[-3] を選びます。連続する値のどちらか迷う場合は、中間の値にしてください（補正値は「0.5」ずつ設定できます）。



7. [▲] [▼] を押して補正値を選択する。
8. [ENTER] を押して決定する。
9. [◀] [▲] を押して、以下の画面を表示する。



10. [ENTER] を押す。
テストパターンの印刷を開始します。
11. テストパターンを確認し、調整が成功したかどうか確認する。
「▲」が指している 2 本の縦線 (=現在の補正值) の“ずれ”が最も少ないことを確認してください。“ずれ”が小さい縦線が他にある場合は、補正值を再設定してください。
12. 調整が成功したら、[MENU] を押してもとの画面に戻る。

2. 印刷とカットのずれを補正する

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▲] を1回、[▶] を2回押して、以下の画面を表示する。

```

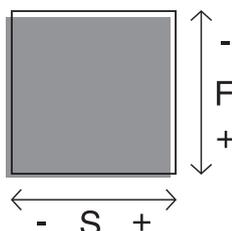
インサツ-カット  イチアワセ◀▶
テスト プリント      ↵
    
```

3. [ENTER] を押す。
テストパターン (P&C1) がプリント&カットされます。テストパターンはメディアの両端に1箇所ずつ出力されます。

メモ

メディアが傾いていると、両端で位置がずれてしまいます。テストパターンを両端に印刷することで、メディアの傾きによるずれも調整できます。

4. テストパターン (P&C1) を確認する。
プリント位置 (塗りつぶし) とカット位置 (外枠) のずれを確認してください。下図は、プリント位置とカット位置がずれた状態です。
(F) はメディアの送り方向 (FEED 方向)、(S) はプリントヘッドの移動方向 (SCAN 方向) を示しています。



プリント位置とカット位置が合っている場合は、調整は必要ありません。
プリント位置とカット位置がずれている場合は、次の手順に進んでください。

5. [▼] を2回押して以下の画面を表示する。

```

インサツ-カット  イチアワセ◀▶
テスト プリント2  ↵
    
```

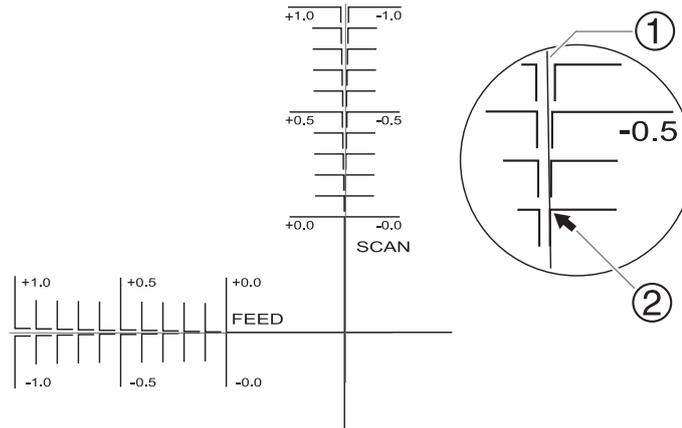
6. [ENTER] を押す。
テストパターン (P&C2) がプリント&カットされます。

7. [▲] を押して、以下の画面を表示する。

```

インサツ-カット  イチアワセ◀▶
セツテイ      ▶
    
```

8. テストパターン (P&C2) の状態から補正值を確認する。
カッティングライン (①) と補正值目盛りの交点 (②) が補正值です。下図の場合、補正值は「-0.3」です。
メディアの送り方向 (FEED 方向)、プリントヘッドの移動方向 (SCAN 方向) それぞれを確認してください。



9. [▶] を押す。

10. FEED 方向 [F] と SCAN 方向 [S] の補正値を設定する。

(1) [▲] [▼] を押して FEED 方向 [F] の補正値を設定する。

F: +0.30 ▶ -0.10mm
S: -0.40 ▶ -0.40mm ◀

(2) [◀] [▶] を押して SCAN 方向 [S] の補正値を設定する。

F: +0.30 ▶ -0.10mm
S: -0.40 ▶ -0.30mm ◀

(3) 補正値の設定が完了したら、[ENTER] を押して決定する。

11. [MENU] [▲] の順に押して、以下の画面を表示する。

インサットカット イチアワセ ◀▶
テスト プリント ◀

12. [ENTER] を押す。

テストパターン (P&C1) がプリント&カットされます。印刷とカット線が合っていれば調整完了です。さらに調整が必要な場合は、[▼] [▶] の順に押して手順 10 に戻って微調整をしてください。

メモ

出荷時設定

- [F] (メディアの送り方向の補正値) : 0.00 mm
- [S] (カッティングキャリッジの移動方向の補正値) : 0.00 mm

カッティング動作中に印刷位置とカット位置のずれを補正する

カッティング中に動作を一時停止して、印刷位置とカット位置のずれを補正する方法です。ここで設定した補正值は、印刷位置とカット位置の初期値に反映されます。

通常は、印刷位置とカット位置のずれは、テストパターンを見ながら補正します。

手順

1. カッティング動作中に [PAUSE] を押して、以下の画面を表示する。

```
PAUSEキー オシツツァケルト
データヲ キャンセルシマス
```

カッティング動作が一時停止します。

2. [FUNCTION] を押す。
以下の画面が表示されます。

```
ファンクション ◀
カット セッテイ ▶
```

3. [▶] を1回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

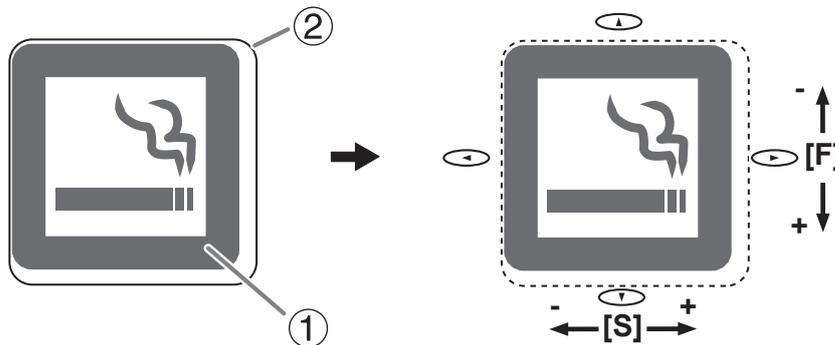
```
カット セッテイ ◀▶
インサツ-カット イチアワセ ◀
```

4. [▶] を押す。

5. 補正值を決める。

メモ

プリント位置 (①) に対するカット位置 (②) のずれを補正するように値を決めます。下図の場合、FEED 方向 [F] がマイナス方向に、SCAN 方向 [S] がプラス方向にずれています。したがって、補正值は FEED 方向 [F] はプラスの値、SCAN 方向 [S] はマイナスの値にします。実際にずれている量を計測して、値を決めてください。



6. FEED 方向 [F] と SCAN 方向 [S] の補正值を設定する。
(1) [▲] [▼] を押して FEED 方向 [F] の補正值を設定する。

```
F: +0.30▶-0.10mm
S: -0.40▶-0.40mm◀
```

(2) [◀] [▶] を押して SCAN 方向 [S] の補正値を設定する。

```
F: +0.20 ▶ -0.10mm
S: -0.40 ▶ -0.30mm
```

(3) 補正値の設定が完了したら、[ENTER] を押して決定する。

7. [PAUSE] を押して、以下の画面を表示する。

```
PAUSEキー オシツツァケルト
データヲ キャンセルシマス
```

8. もう一度 [PAUSE] を押して、カッティング動作を再開する。

このとき [PAUSE] を 1 秒以上長押しすると、カッティング動作はキャンセルされます。

メモ

出荷時設定

- [F] (メディアの送り方向の補正値) : 0.00 mm
- [S] (カッティングキャリッジの移動方向の補正値) : 0.00 mm

関連情報

- P. 66 出力の一時停止と中止
- P. 166 印刷とカットのずれを補正する

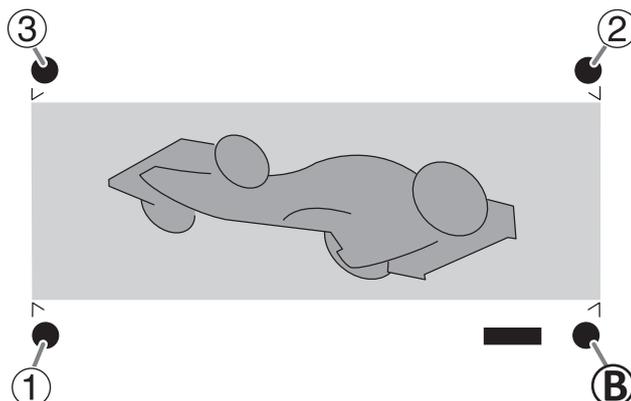
クropp&カットの設定を細かく調整する

クropp&カットの位置を手動で合わせる

メディアの種類によっては、自動でクroppマークを検出できないことがあります。そのようなときは、手動で位置合わせをします。

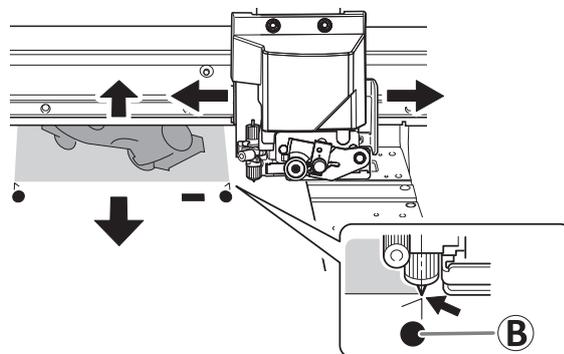
以下の図を例にして、ベースポイント [B] とアラインポイント (①②③) を手動で設定する方法を説明します。

アラインポイントは、ベースポイントの位置を基準として、以下の図のように番号が決められています。ベースポイントを指定しないと、アラインポイントは設定できません。ベースポイントを設定し直すと、それまでに設定されていたアラインポイントはすべて解除されます。

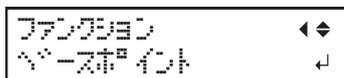


手順

1. [◀] [▶] [▲] [▼] を押してカッターの中心を「ベースポイント [B]」の位置に合わせる。

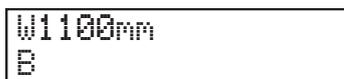


2. [FUNCTION] を押して、以下の画面を表示する。

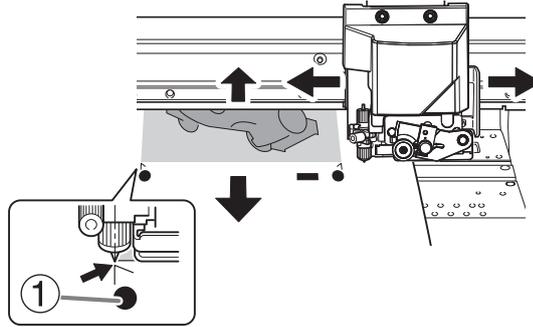


3. [ENTER] を押す。

ベースポイントが設定されました。表示画面に [B] の文字が表示されます。



4. [◀] [▶] [▲] [▼] を押してカッターの中心を「アラインポイント 1 (①)」の位置に合わせる。



5. [FUNCTION] [▶] の順に押して、以下の画面を表示する。

```

ベースポイント  ◀▶
アラインポイント 1  ↵
    
```

6. [ENTER] を押す。

アラインポイントが設定されました。表示画面に [B1] の文字が表示されます。

```

W1100mm
B1
    
```

7. 必要に応じて「アラインポイント2」「アラインポイント3」も手順4～6を繰り返して指定する。
アラインポイントの番号は自動的に判別されます。

クロープ印刷とカットのずれを補正する（クロープ&カット同時テスト）

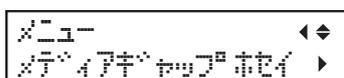
メディアの材質によっては、クロープマークを使っても印刷とカットの位置がずれることがあります。お使いのメディアに合わせて印刷とカットのずれを補正してください。

クロープ&カットは、印刷後にメディアをいったん取り外してからカットしますが、この方法ではメディアは取り外さずに、印刷位置とカット位置の補正を一度に実施することができます。

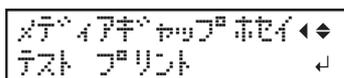
1. インクの着弾位置のずれを調整する

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

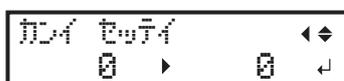


3. [▶] を押して、以下の画面を表示する。

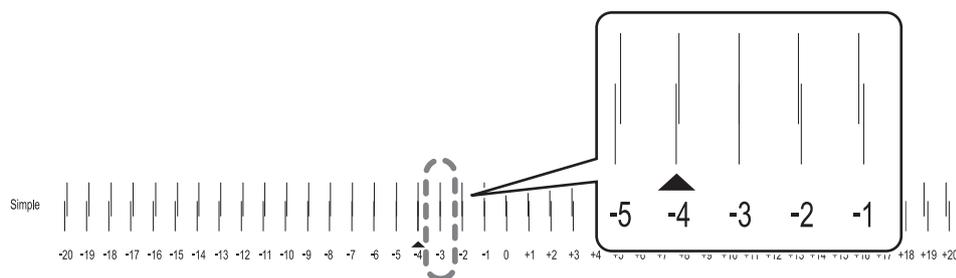


4. [ENTER] を押す。
テストパターンの印刷を開始します。

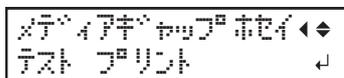
5. 印刷が完了したら [▼] [▶] の順に押して、以下の画面を表示する。



6. 印刷したテストパターンを見て、補正值を決める。
2本の縦線の”ずれ”が最も少ない値を選びます。下図の場合は、[-3] を選びます。連続する値のどちらか迷う場合は、中間の値にしてください（補正值は「0.5」ずつ設定できます）。



7. [▲] [▼] を押して補正值を選択する。
8. [ENTER] を押して決定する。
9. [◀] [▶] を押して、以下の画面を表示する。



10. [ENTER] を押す。
テストパターンの印刷を開始します。
11. テストパターンを確認し、調整が成功したかどうか確認する。
「▲」が指している 2 本の縦線 (=現在の補正值) の“ずれ”が最も少ないことを確認してください。“ずれ”が小さい縦線が他にある場合は、補正值を再設定してください。
12. 調整が成功したら、[MENU] を押してもとの画面に戻る。

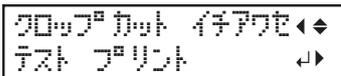
2. クロップ印刷とカットのずれを同時に補正する

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▲] を押して、以下の画面を表示する。

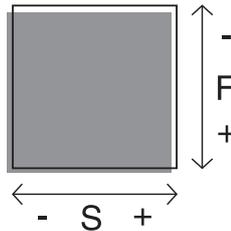


3. [▶] [▼] [▶] の順に押して、以下の画面を表示する。



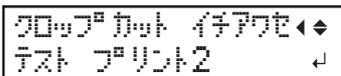
4. [ENTER] を押す。
テストパターン (C&C1) がプリント&カットされます。テストパターンはメディア上に1つ出力されます。

5. テストパターン (C&C1) の状態を確認する。
プリント位置 (塗りつぶし) とカット位置 (外枠) のずれを確認してください。下図は、プリント位置とカット位置がずれた状態です。
[F] はメディアの送り方向 (FEED 方向)、[S] はプリントヘッドの移動方向 (SCAN 方向) を示しています。



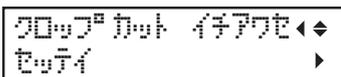
プリント位置とカット位置が合っている場合は、調整は必要ありません。
プリント位置とカット位置がずれている場合は、次の手順に進んでください。

6. [▼] を2回押して以下の画面を表示する。

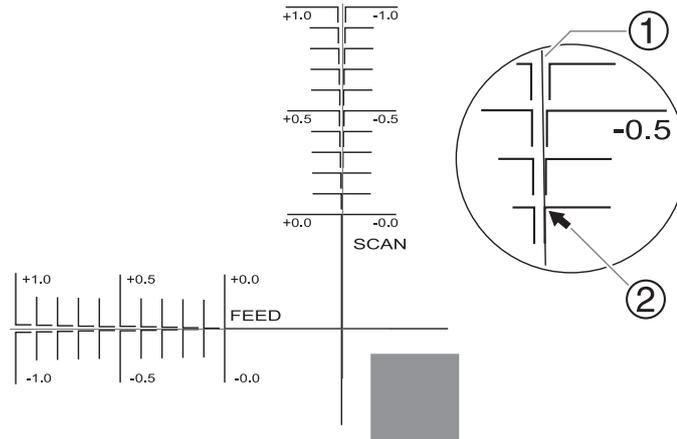


7. [ENTER] を押す。
テストパターン (C&C2) がプリント&カットされます。

8. [▲] を押して、以下の画面を表示する。



9. テストパターン (C&C2) の状態から補正値を確認する。
カッピングライン (①) と補正値目盛りの交点 (②) が補正値です。下図の場合、補正値は「-0.3」です。
メディアの送り方向 (FEED 方向)、プリントヘッドの移動方向 (SCAN 方向) それぞれを確認してください。



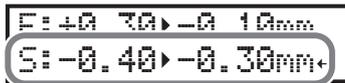
10. [▶] を押す。

11. FEED 方向 [F] と SCAN 方向 [S] の補正値を設定する。

(1) [▲] [▼] を押して FEED 方向 [F] の補正値を設定する。

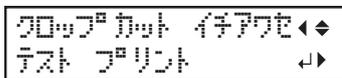


(2) [◀] [▶] を押して SCAN 方向 [S] の補正値を設定する。



(3) 補正値の設定が完了したら、[ENTER] を押して決定する。

12. [MENU] [▲] の順に押して、以下の画面を表示する。



13. [ENTER] を押す。

テストパターン (C&C1) がプリント&カットされます。印刷とカット線が合っていれば調整完了です。さらに調整が必要な場合は、[▼] [▶] の順に押して手順 11 に戻って微調整をしてください。

メモ

- 出荷時設定
 - [F] (メディアの送り方向の補正値) : 0.00 mm
 - [S] (カッティングキャリッジの移動方向の補正値) : 0.00 mm
- ラミネート加工によるメディアの状態変化や、カット前のメディアの取り付け位置によって、カット位置がずれることがあります。そのような場合は、以下のページを参照してください

関連情報

- P. 178 クロープ印刷とカットのずれを補正する (クロープ&カット分離テスト)

クロープ印刷とカットのずれを補正する（クロープ&カット分離テスト）

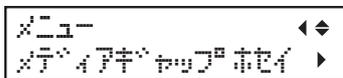
ラミネート加工によってメディアの厚みが変わったり、カット前後のメディア取り付け位置がずれたりすることで、クロープマークを使っても印刷とカットの位置がずれることがあります。お使いのメディアや状態に合わせて、印刷とカットのずれを補正してください。

このテストでは、実際の作業と同じ条件にするため、クロープマークだけを印刷した後にメディアを取り外し、もう一度メディアを取り付けてからカットのテストを実施します。

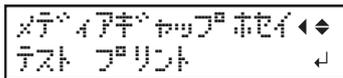
1. インクの着弾位置のずれを調整する

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

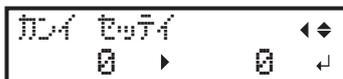


3. [▶] を押して、以下の画面を表示する。

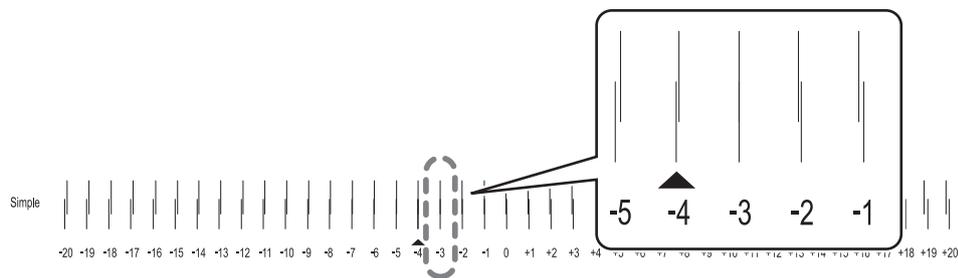


4. [ENTER] を押す。
テストパターンの印刷を開始します。

5. 印刷が完了したら [▼] [▶] の順に押して、以下の画面を表示する。



6. 印刷したテストパターンを見て、補正値を決める。
2本の縦線の”ずれ”が最も少ない値を選びます。下図の場合は、[-3] を選びます。連続する値のどちらか迷う場合は、中間の値にしてください（補正値は「0.5」ずつ設定できます）。



7. [▲] [▼] を押して補正値を選択する。
8. [ENTER] を押して決定する。
9. [◀] [▶] を押して、以下の画面を表示する。



10. [ENTER] を押す。
テストパターンの印刷を開始します。
11. テストパターンを確認し、調整が成功したかどうか確認する。
「▲」が指している 2 本の縦線 (=現在の補正值) の“ずれ”が最も少ないことを確認してください。“ずれ”が小さい縦線が他にある場合は、補正值を再設定してください。
12. 調整が成功したら、[MENU] を押してもとの画面に戻る。

2. クロップマークだけを印刷する

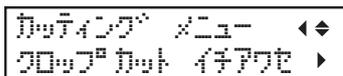
手順

1. [MENU] を押す。
2. [▲] を押して、以下の画面を表示する。



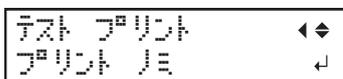
メニュー ◀▶
クロップ&カット ▶

3. [▶] [▼] の順に押して、以下の画面を表示する。



クロップ&カット ◀▶
イテアワセ ▶

4. [▶] を2回押して、以下の画面を表示する。



テスト プリント ◀▶
プリント ▶

5. [ENTER] を押す。
テストパターンの印刷を開始します。
クロップマークを印刷します。
6. 印刷が完了したら、[MENU] を押してもとの画面に戻る。
7. メディアを取り外す。
クロップマークからメディアの後端までの余白は十分に確保してください。
[P. 340 最大領域](#)
8. ラミネート加工など、通常のクロップ&カット出力のカット出力前の作業を完了する。

関連情報

- [P. 62 メディアの切り離し](#)

3. テストカットを実施する

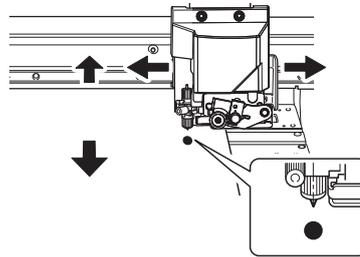
手順

1. ラミネート加工など、カット出力前の作業を完了したメディアをセットアップする。

2. 以下の画面が表示されている状態で、[◀] を押す。
 カuttingキャリッジがプラテン上に出てきます。

W 1600mm

3. [◀] [▶] [▲] [▼] を押してカッターの中心をクロップマークの上に移動する。
 カッターの中心がクロップマークの上であればよく、クロップマークの中心に合わせる必要はありません。



4. 位置が決まったら、[FUNCTION] を押して以下の画面を表示する。

ファンクション ◀▶
 ページポイント ↵

5. [ENTER] を押して決定する。
 以下の画面のようにその位置での印刷可能幅と [B] という文字が表示されたら設定は完了です。

W1100mm
 B

6. [MENU] を押す。

7. [▲] を押して、以下の画面を表示する。

メニュー ◀▶
 Cuttingメニュー ▶

8. [▶] [▼] の順に押して、以下の画面を表示する。

Cuttingメニュー ◀▶
 クロップ&カット イチアワセ ▶

9. [▶] を2回、[▼] を1回押して、以下の画面を表示する。

テストプリント ◀▶
 カット 1/3 ↵

10. [ENTER] を押す。
 テストカットを開始します。

4. 補正値を設定する

手順

1. [◀] [▼] [▶] の順に押し、以下の画面を表示する。

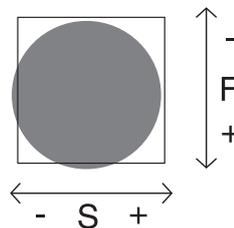
```
F: +0.30 ▶ +0.35mm
S: -0.40 ▶ -0.40mm ◀
```

2. テストカットの結果を見て、補正値を決める。

クロープマーク（塗りつぶし）とカット位置（外枠）のずれを確認してください。下図は、プリント位置とカット位置がずれた状態です。

カット線の中にテストプリントしたクロープマークが収まっていれば、補正の必要はありません。

カット線からテストプリントしたクロープマークがはみ出ている場合は、補正が必要です。



[F] はメディアの送り方向（FEED 方向）、[S] はプリントヘッドの移動方向（SCAN 方向）です（実際のテストパターンでは [F] [S] 「+」 「-」 と矢印の表示はありません）。

メモ

カット位置のずれを補正するように値を決めます。上図の場合、FEED 方向 [F] がマイナス方向に、SCAN 方向 [S] がプラス方向にずれています。したがって、補正値は FEED 方向 [F] はプラスの値、SCAN 方向 [S] はマイナスの値にします。実際にずれている量を計測して、値を決めてください。

3. FEED 方向 [F] と SCAN 方向 [S] の補正値を設定する。

- (1) [▲] [▼] を押しして FEED 方向 [F] の補正値を設定する。

```
F: +0.30 ▶ -0.10mm
S: -0.40 ▶ -0.40mm ◀
```

- (2) [◀] [▶] を押しして SCAN 方向 [S] の補正値を設定する。

```
F: +0.30 ▶ -0.10mm
S: -0.40 ▶ -0.30mm ◀
```

- (3) 補正値の設定が完了したら、[ENTER] を押しして決定する。

4. 3. テストカットを実施する (P. 181) の手順 3~10 をやり直して、補正が成功したかどうか確認する。

- ・ カット線の中にテストプリントしたクロープマークが収まっていれば、補正は完了です
- ・ カット線からテストプリントしたクロープマークがはみ出ている場合は、補正をやり直してください

メモ

印刷したクロープマークをすべて使用しても補正が成功しなかった場合は、再度 2. クロープマークだけを印刷する (P. 180) からやり直してください。

5. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

- 出荷時設定
 - [F] (メディアの送り方向の補正值) : 0.00 mm
 - [S] (カッティングキャリッジの移動方向の補正值) : 0.00 mm
- メディアは取り外さずに、印刷位置とカット位置の補正を一度に実施することもできます。以下のページを参照してください

関連情報

- P. 174 クロップ印刷とカットのずれを補正する (クロップ&カット同時テスト)

クロップマークの読み取りセンサーを補正する

メディアの特性（反射性や色など）によって、クロップマークが読み取れないことがあります。そのような場合は、クロップマークを読み取るセンサーを補正します。

1. クロップマークの読み取りセンサーを補正する

手順

1. クロップマークの読み取りに失敗したメディアをセットアップする。
クロップマークの読み取りに失敗した、印刷済のメディアそのものを使ってください。

2. [MENU] を押す。

3. [▲] を押して、以下の画面を表示する。

```
メニュー          ◀▶
カッピング*  メニュー ▶
```

4. [▶] を1回、[▼] を2回押して、以下の画面を表示する。

```
カッピング*  メニュー ◀▶
クロップ* センサー  ホセイ ▶
```

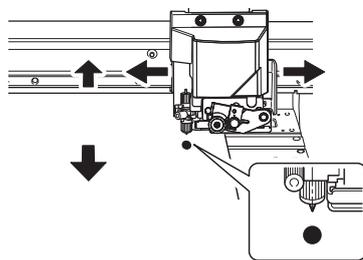
5. [▶] を押して、以下の画面を表示する。

```
クロップ* センサー  ホセイ ◀▶
センサー  ホセイ      ◀
```

6. [ENTER] を押して、以下の画面を表示する。

```
カットツール クロップ* マーク
チューブ*   ニット*ウサセル◀
```

7. [◀] [▶] [▲] [▼] を押してカッターの中心をクロップマークの上に移動する。
カッターの中心がクロップマークの上であればよく、クロップマークの中心に合わせる必要はありません。



8. [ENTER] を押す。
補正に成功すると、以下のメッセージが表示されます。次の手順に進んでください。

```
ホセイが* テキマシタ
+ 20%
```

補正に失敗すると、以下のメッセージが表示されます。対策を施したうえで、もう一度やり直してください。

メッセージ	原因	対策
ホセイカ° テ°キマセン (アカヒスキ°ル)	<ul style="list-style-type: none"> プリンターを設置している部屋、またはプリンター周辺の照明が明るすぎる メディアの反射光が強すぎる 	<ul style="list-style-type: none"> 照明の明るさを調整してください メディアの種類を変更してください
ホセイカ° テ°キマセン (クラスキ°ル)	<ul style="list-style-type: none"> メディアの反射が弱すぎる 	<ul style="list-style-type: none"> メディアの種類を変更してください
ホセイカ° テ°キマセン トリナオンテクダ°サイ	<ul style="list-style-type: none"> 何らかの理由で補正に失敗した 	<ul style="list-style-type: none"> もう一度やり直してください

何度やり直しても同じメッセージが出る場合は、本機をお買い上げの販売店または当社コールセンターまでお問い合わせください。

9. 操作パネルのキーをどれかひとつ押して、以下の画面を表示する。



2. クロップマークを読み取れるか確認する

手順

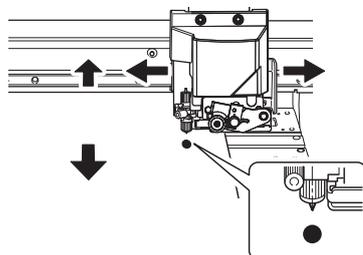
1. [▲] を押して、以下の画面を表示する。

```
クロップセンサー 補正 ←◇
ヨミトリ カウン ←
```

2. [ENTER] を押して、以下の画面を表示する。

```
カットツール クロップマーク
チュウシン ニ イトウサセ ←
```

3. [◀] [▶] [▲] [▼] を押してカッターの中心をクロップマークの上に移動する。
カッターの中心がクロップマークの上であればよく、クロップマークの中心に合わせる必要はありません。



4. [ENTER] を押す。
クロップマークを読み取れるか確認します。
読み取りに成功すると、以下のメッセージが表示されます。次の手順に進んでください。

```
クロップマーク ラ  
ケンシュウマシタ
```

読み取りに失敗すると、以下のメッセージが表示されます。

```
クロップマーク ラ  
ケンシュウデキマセン
```

クロップマークを検出できないのは、本機に対応したソフトウェア RIP から出力したクロップマークではないことが原因だと考えられます。描画ソフトウェアで描画したクロップマークも検出できません。

本機に対応したソフトウェア RIP からクロップマークを出力し、はじめからやり直してください。

対応したソフトウェア RIP から出力したクロップマークでも検出に失敗した場合は、センサーの補正からやり直してください。

5. 操作パネルのキーをどれかひとつ押して、以下の画面を表示する。

```
クロップセンサー 補正 ←◇
ヨミトリ カウン ←
```

6. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

メディアに合わせてクロップマークの読み取りセンサーをレベル調整する

クロップマークの読み取りセンサーを補正すると、補正値は記憶されます。別のメディアを使う場合には補正値が合わないことがありますので、クロップマークの読み取りセンサーのレベルを調整します。

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▲] を押して、以下の画面を表示する。

```

メニュー          ◀▶
カッピング*  メニュー ▶
    
```

3. [▶] を1回、[▼] を2回押して、以下の画面を表示する。

```

カッピング*  メニュー ◀▶
クロップ*センサー  ホセイ ▶
    
```

4. [▶] [▼] の順に押して、以下の画面を表示する。

```

クロップ*センサー  ホセイ ◀▶
ホセイ レベル      ▶
    
```

5. [▶] を2回押して、以下の画面を表示する。

```

ホセイ レベル      ◀▶
+20%              ▶+20% ▶
    
```

6. [▲] [▼] を押して補正値を設定する。
7. [ENTER] を押して決定する。
8. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

出荷時設定：0%

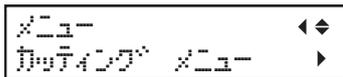
クロップマークの読み取りセンサーレベルをリセットする

クロップマークの読み取りセンサーを補正すると、補正値は記憶されます。別のメディアを使う場合には補正値が合わないことがありますので、クロップマークの読み取りセンサーのレベルを初期設定にリセットします。

手順

1. [MENU] を押す。

2. [▲] を押して、以下の画面を表示する。



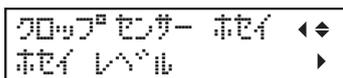
メニュー ◀▶
カットイング メニュー ▶

3. [▶] を1回、[▼] を2回押して、以下の画面を表示する。



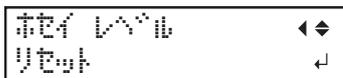
カットイング メニュー ◀▶
クロップセンサー 補正 ▶

4. [▶] [▼] の順に押して、以下の画面を表示する。



クロップセンサー 補正 ◀▶
補正レベル ▶

5. [▶] [▼] の順に押して、以下の画面を表示する。



補正レベル ◀▶
リセット ↵

6. [ENTER] を押して決定する。

7. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

印刷中のクリーニングによる中断を回避する

印刷中に行われるクリーニングについて

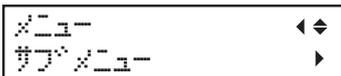
本機は印刷している時間をカウントしており、印刷積算時間が規定時間に達すると自動的にクリーニングを行います。クリーニングが終了すると、印刷積算時間はリセットされます。このクリーニングは印刷中でも行われるため、印刷品質に影響を及ぼす可能性があります。

印刷中のクリーニングを回避するために、まずクリーニングまでの時間を把握します。その後、ソフトウェア RIP で印刷に必要な時間を確認します。印刷に必要な時間がクリーニングするまでの時間より長い場合は、印刷前にノーマルクリーニングを行います。これにより印刷積算時間がリセットされます。または印刷品質を変更して印刷に必要な時間を短くします。これらのどちらかまたは両方を行うことで、印刷中のクリーニングを回避することができます。

1. 印刷積算時間を確認する

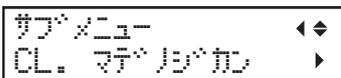
手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



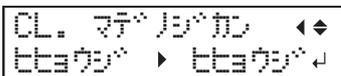
メニュー ◀▶
サブメニュー ▶

3. [▶] を 1 回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



サブメニュー ◀▶
CL. マテリジカ ▶

4. [▶] を押して、以下の画面を表示する。



CL. マテリジカ ◀▶
ヒョウジ ▶ ヒョウジ◀

5. [▲] または [▼] を押して [ヒョウジ] を選択する。
6. [ENTER] を押して決定する。

7. メディアをセットして、以下の画面を表示させる。
[CL.] のあとにクリーニングまでの印刷時間が表示されます。



W1600mm
CL.: 60分

メモ

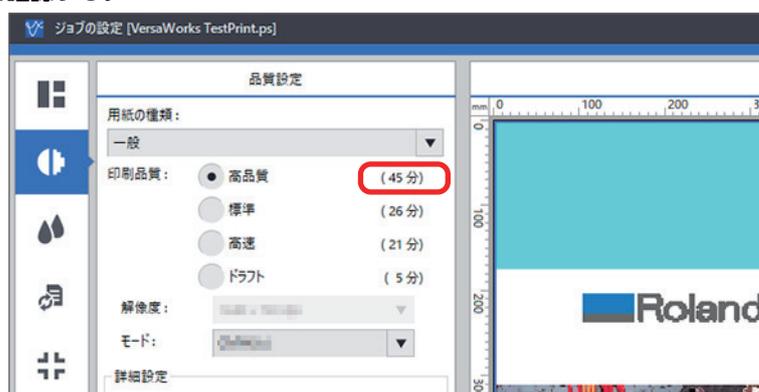
出荷時設定：[ヒョウジ]

2. 印刷に必要な時間を確認する

印刷に必要な時間はご使用のソフトウェア RIP でご確認ください。以下は VersaWorks の確認方法です。

手順

1. [ジョブの設定]画面を表示する。
2. 印刷に必要な時間を確認する。



関連情報

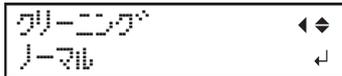
- VersaWorks マニュアル (<https://downloadcenter.rolanddg.com/VersaWorks6>)

3. ノーマルクリーニングを実施する

クリーニングまでの時間と印刷に必要な時間を確認し、必要に応じてノーマルクリーニングを行ってください。

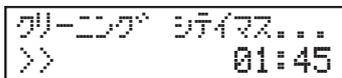
手順

1. [FUNCTION] を押す。
2. [▼] [▶] [▼] の順に押して、以下の画面を表示する。

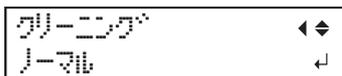


3. [ENTER] を押す。

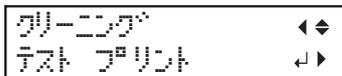
以下の画面が表示され、クリーニングを開始します。画面には、この工程の残り時間（目安）が表示されます（以下の表示は例です。[01:45] の表示は「1分45秒」を意味します）。



終了すると以下の画面に戻ります。



4. [▲] を押す。



5. [ENTER] を押す。

ドット抜けやドットよれが無いことを確認します。

作業効率を最適化する

プリセットを活用する	193
現在の設定をプリセットに保存する	193
プリセットを呼び出して出力する	195
出力開始位置を調整する	196
ベースポイントを設定する	196
出力時間を短縮する	198
幅のせまいメディアへの出力を速くする	198
メディア巻取装置を使用する	199
メディア巻取装置について	199
その他の便利な機能	200
テストプリントを横に並べて印刷する	200

プリセットを活用する

現在の設定をプリセットに保存する

〔プリセット〕メニューを使うと、いろいろなメニューの設定をメディアに最適な設定へ簡単に変更できます。

最大8種類のプリセットを保存できます。各プリセットには名前をつけることができるので、メディア名など区別しやすい名前をつけるとよいでしょう。メディアを交換するたびに、メニューごとに設定を変更するのは手間がかかります。そこで、よく利用するメディアについては各メニューの設定をプリセットへ保存します。すると、次回からは保存したプリセットを呼び出すだけで各メニューをお使いのメディアに最適な設定へ変更できます。

手順

1. [MENU] を押す。

2. [▼] を押して、以下の画面を表示する。



3. [▶] を1回、[▼] を2回押して、以下の画面を表示する。



4. [▶] を押して、以下の画面を表示する。

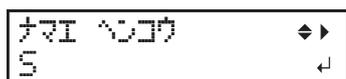


5. プリセット番号を決める。

(1) [▲] [▼] を押して [NAME1] ~ [NAME8] のいずれかを選択する。

(2) [ENTER] を押して決定する。

現在の各メニューの設定が保存され、以下の画面が表示されます。



6. プリセット名を設定する。

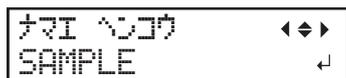
(1) [▲] [▼] を押して文字を選択する。

(2) 文字が決まったら [▶] を押す。

入力可能な文字は「A~Z」と「0~9」、[-] です。

(3) [▲] [▼] を押して次の文字を選択する。

以降同様にして次の文字を選択する。空白も含め15文字まで入力できます。



(4) 入力が終了したら [ENTER] を押して決定する。

7. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

プリセットに設定を保存できるメニューは次のとおりです。

設定メニュー	参照ページ
[メディアギャップホセイ カンイ セッテイ]	P. 143 インクの着弾位置のずれを調整する
[メディアギャップホセイ ショウサイ セッテイ]	P. 145 インクの着弾位置のずれを詳細に調整する
[キャリブレーション]	P. 147 横すじを軽減する (送り補正機能)
[エッジケンシュツ]	P. 151 メディア端の検出を無効にする
[キュウチャクリョク セッテイ]	P. 153 浮き上がりやすい/スムーズに動かないメディアを使用する
[テイハバ インサツ]	P. 198 幅のせまいメディアへの出力を速くする
[カッターアツ] [ソクド] [オフセット] [UP ソクド]	P. 154 カutting条件を細かく設定する
[キャリブレーション] (カuttingメニュー内)	P. 162 カutting時の距離補正をする
[インサツ-カット イチアワセ]	P. 166 印刷とカットのずれを補正する
[クロップカット イチアワセ]	P. 174 クロップ印刷とカットのずれを補正する (ク ロップ&カット同時テスト) P. 178 クロップ印刷とカットのずれを補正する (ク ロップ&カット分離テスト)
[クロップセンサー ホセイ]	P. 187 メディアに合わせてクロップマークの読み取 りセンサーをレベル調整する

プリセットを呼び出して出力する

8種類のプリセットから保存したプリセットを呼び出し、セットアップを行います。

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を押して、以下の画面を表示する。



```
メニュー  ◀▶
プリセット ▶
```

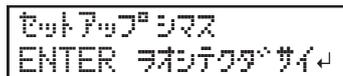
3. [▶] [▼] [▶] の順に押して、以下の画面を表示する。



```
ユニタリ  ◀▶
NAME1     ◀
```

4. 呼び出したいプリセットを選択する。
 - (1) [▲] [▼] を押して呼び出したい名前を選択する。
 - (2) [ENTER] を押して決定する。

メディアがセットアップされている場合、以下の画面が表示されます。
もう一度 [ENTER] を押して決定する。



```
セットアップシマス
ENTER ランテクトクサイ◀
```

5. [ENTER] を押す。

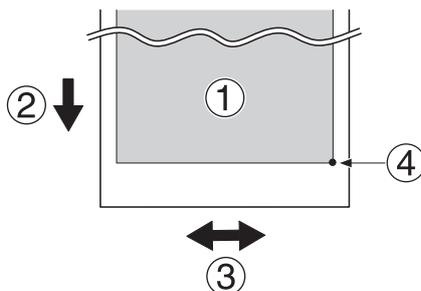
出力開始位置を調整する

ベースポイントを設定する

セットしたメディアへの出力エリアを決めるために、ベースポイントを設定します。

ベースポイント (④) とは、出力エリア (①) の右端を指します (②：メディアの送り方向、③：プリントヘッドキャリッジの移動方向)。ベースポイントを設定しなくても出力はできますが、出力エリアを定めることでメディアを無駄なく使ったり、狙った場所に印刷したりできます。

印刷後は初期状態に戻りますので 1 ページごとに設定してください。



メモ

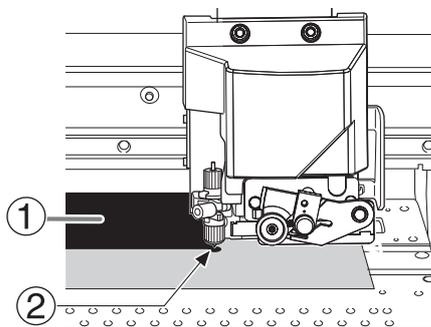
- テストパターンの場合、左右の位置は初期状態に戻りません
- 別売のメディア巻取装置を使用する場合、メディアのセットアップ完了後に [▲] を押さないでください。[▲] を押すと、モーターを保護するために本機は緊急停止します

手順

1. 以下の画面が表示されている状態で、[◀] を押す。
カッティングキャリッジがプラテン上に出てきます。

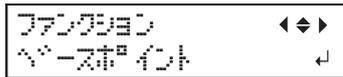
W 1600mm

2. [◀] [▶] [▲] [▼] を押してカッターの中心をベースポイントにしたい位置に移動する。
カッティングキャリッジだけが動きます。



- ①：出力エリア
- ②：ベースポイント (出力エリアの右端)

3. 位置が決まったら、[FUNCTION] を押して以下の画面を表示する。



ファンクション ◀▶
ページポイント ↵

4. [ENTER] を押して決定する。

以下の画面のようにその位置での印刷可能幅と [B] という文字が表示されたら設定は完了です。



W1100mm
B

出力時間を短縮する

幅のせまいメディアへの出力を速くする

ヘッドの動く幅を必要最小限にすることで出力時間を短縮します。メディアの幅がせまいときや出力データの幅がせまいときに効果があります。

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
メニュー ←↔
サブメニュー ▶
```

3. [▶] を1回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
サブメニュー ←↔
ティーン インサツ ▶
```

4. [▶] を押して、以下の画面を表示する。

```
ティーン インサツ ←↔
ゼンイキ ▶ ゼンイキ ↵
```

5. [▲] [▼] を押して [シート] または [オフ] を選択する。

```
ティーン インサツ ←↔
ゼンイキ ▶ オフ ↵
```

[シート]	プリントヘッドの動く範囲をメディアの幅に合わせます。
[オフ]	プリントヘッドの動く範囲を出力データに合わせます。必要最小限の動きになり、最も速い出力が期待できます。ただし、メディアの移動速度が一定ではなくなり、色がむらになることがあります。
[ゼンイキ] (出荷時設定)	メディアの移動速度が常に一定になり、最も安定した出力結果になります。

6. [ENTER] を押して決定する。
7. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

メディア巻取装置を使用する

メディア巻取装置について

- メディア巻取装置（以降、巻取装置）はオプション品です
- 巻取装置の組立、設置方法、操作方法などについては、巻取装置の取扱説明書を参照してください

その他の便利な機能

テストプリントを横に並べて印刷する

連続してテストプリントを行なう場合の2回目以降の印刷位置を、1回目の印刷位置に対して〔タテ〕（縦に並べて印刷）にするか〔ヨコ〕（横に並べて印刷）にするか設定できます。

オプション品のメディア巻取装置を使用する場合は、この設定は無視されて、〔タテ〕に印刷されます。

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
メニュー          ◀▶
サブメニュー      ▶
```

3. [▶] [▲] の順に押して、以下の画面を表示する。

```
サブメニュー      ◀▶
テスト プリント イチ ▶
```

4. [▶] を押して、以下の画面を表示する。

```
テスト プリント イチ ◀▶
タテ              ▶ タテ ◀
```

5. [▲] [▼] を押して〔ヨコ〕を選択する。

```
テスト プリント イチ ◀▶
タテ              ▶ ヨコ ◀
```

6. [ENTER] を押して決定する。

7. [ENTER] を押してもとの画面に戻る。

メモ

出荷時設定：〔タテ〕

業務管理を最適化する

業務を適切かつ効率的に管理する	202
現在日時を設定してメンテナンスに活用する	202
メディアの残量が表示されるようにする	203
メディア交換時に必ず残量表示を更新する	205
メディア残量を印刷する	206
インクが無くなったときの動作を決める	207
インクの使用期限切れを通知する	208
インクの使用期限を確認する	209
スリープモード（省電力機能）になるまでの時間を設定する	210
スリープモード（省電力機能）にならないようにする	211
プリンターの基本設定を管理する	212
表示言語と単位の設定	212
システム情報を確認する	213
すべての設定を工場出荷時の状態に戻す	214

業務を適切かつ効率的に管理する

現在日時を設定してメンテナンスに活用する

現在の日時と時刻を設定します。この設定をすることで、テストプリントを実施したときにテストプリント実施日時がテストパターン印刷の横にプリントされます。

手順

1. [MENU] を押す。

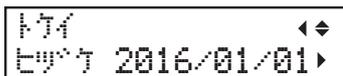
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



3. [▶] を1回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



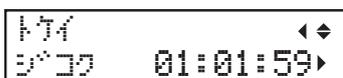
4. [▶] を押して、以下の画面を表示する。



- (1) [▶] を押す。
- (2) [▲] [▼] を押して「年」を設定する。
- (3) [▶] を押す。
- (4) [▲] [▼] を押して「月」を設定する。
- (5) [▶] を押す。
- (6) [▲] [▼] を押して「日」を設定する。

5. [ENTER] を押して決定する。

6. [▼] を押して、以下の画面を表示する。



- (1) [▶] を押す。
- (2) [▲] [▼] を押して「時」を設定する。
- (3) [▶] を押す。
- (4) [▲] [▼] を押して「分」を設定する。
- (5) [▶] を押す。
- (6) [▲] [▼] を押して「秒」を設定する。

7. [ENTER] を押して決定する。

8. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

メディアの残量が表示されるようにする

使用中のメディアの残量を表示させることができます。はじめに現在の残量を設定しておくことで、残量が0になるまで常に表示画面に残量が表示されます。

メディアを取り外したり、ローディングレバーを上げてメディアの取り付けを解除したりすると、その時点での残量が点滅表示されます。残量表示はメディアを交換しても自動更新されませんので、メディアを交換するたびに設定しなおしてください。なお、メディアを交換するたびに自動的にこのメニューを表示させるように設定することができます。

メモ

表示される残量はおおよその目安です。その精度を保証するものではありません。

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
メニュー          ◀▶
シートサンプル カリ ▶
```

3. [▶] [▼] の順に押して、以下の画面を表示する。

```
シートサンプル カリ ◀▶
サンプル セット ▶
```

4. [▶] を押して、以下の画面を表示する。

```
サンプル セット ◀▶
0.0m ▶ 99.9m ◀
```

5. [▲] [▼] を押して現在の残量を設定する。

```
サンプル セット ◀▶
0.0m ▶ 25.0m ◀
```

6. [ENTER] を押して決定する。

7. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

```
W 736mm L 25.0m ▶   シートリット
◀ロール L 25.0m
```

① ②

- ①：新たに表示されます
- ②：メディアを取り付けていない場合は、設定した値が点滅します

メモ

出荷時設定：0.00 m

関連情報

- ・ P. 205 メディア交換時に必ず残量表示を更新する

メディア交換時に必ず残量表示を更新する

メディアの交換時に、必ずメディアの残量が表示されるように設定します。

〔ユウコウ〕に設定することで、メディア交換時に残量表示の更新を忘れずに行えます。ただし、必ず〔エッジケンシュツ〕メニューを〔ユウコウ〕に設定してください。

P. 151 メディア端の検出を無効にする

〔エッジケンシュツ〕が〔ムコウ〕になっていると、〔ザンリョウ セッテイ〕が自動的に表示されません。

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```

メニュー ◀▶
シートザンリョウ カンリ ▶
  
```

3. [▶] [▲] の順に押して、以下の画面を表示する。

```

シートザンリョウ カンリ ◀▶
セットアップ シェ セッテイ ▶
  
```

4. [▶] を押して、以下の画面を表示する。

```

セットアップ シェ セッテイ ◀▶
ムコウ ▶ムコウ ◀
  
```

5. [▲] [▼] を押して〔ユウコウ〕を選択する。

```

セットアップ シェ セッテイ ◀▶
ムコウ ▶ユウコウ ◀
  
```

6. [ENTER] を押して決定する。
〔ユウコウ〕にした場合は、〔エッジケンシュツ〕メニューを〔ユウコウ〕に設定する必要があります。
7. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

出荷時設定：〔ムコウ〕

関連情報

- ・ P. 151 メディア端の検出を無効にする

メディア残量を印刷する

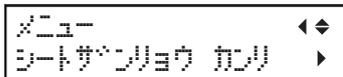
トップ画面に表示されているメディア残量を印刷します。

現在使用中のメディアの残り長さを記録したいときに使います。メディアの交換前にそのときの残量を印刷しておく、次回使用するときにはその印刷結果を見て残量を設定できます。

ただし、続けて次の印刷を行うと、メディア残量が印刷された部分の上に印刷を開始してしまいます。続けて次の印刷を行う場合は、印刷前にメディアを切り離してください。

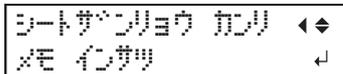
手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



メニュー ◀▶
シートサブリョウ カリ ▶

3. [▶] を押して、以下の画面を表示する。



シートサブリョウ カリ ◀▶
メモ インサリ ↵

4. [ENTER] を押す。
印刷を開始します。
5. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

インクが無くなったときの動作を決める

印刷中にインクカートリッジが空になったときの動作を決めます。選択した動作によっては、印刷品質に影響があります。

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



3. [▶] を押す。
4. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



5. [▶] を2回押して、以下の画面を表示する。



6. [▲] [▼] を押して項目を選択する。

(エンブティ モード)	説明
[ティン] (出荷時設定)	インクカートリッジが空になると、すぐに印刷が一時停止します。印刷中に一時停止するため色むらの原因になることがあります。色むらを防止するため、印刷前にインク残量が十分か確認してから印刷を開始するようにしてください。
[ゾッコウ]	インクカートリッジが空になると、ブザーが鳴ります。本機が受け付けたデータを印刷し終えるまでは印刷を継続します。このとき、[PAUSE] を押して印刷を一時停止することもできます。

7. [ENTER] を押して決定する。
8. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

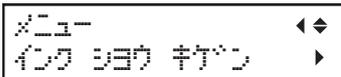
インクの使用期限切れを通知する

インクの使用期限を越えると、表示画面に警告メッセージ（[インク シヨウ キゲン ガ キレテイマス]）が表示されるように設定します。

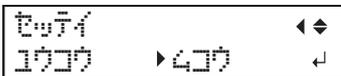
メッセージが表示されるのは、インク使用期限を越えた後、最初にサブ電源をオンにしたときです。また、メッセージを表示するとき、ブザーが鳴ります。

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



3. [▶] を 2 回押して、以下の画面を表示する。



4. [▲] [▼] を押して項目を選択する。

〔セッテイ〕	説明
[ユウコウ] (出荷時設定)	インクの使用期限が切れると、ブザー音とメッセージで通知します。
[ムコウ]	インクの使用期限が切れても、通知しません。

5. [ENTER] を押して決定する。
6. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

インクの使用期限を越えて使用し続けると、次のようなトラブルや故障の原因になります。この設定は、[ユウコウ] に設定することをおすすめします。

- インクカートリッジからインクが漏れ出す
- インクの粘度が上がり、吐出不良を起こす（印刷品質の低下を招きます）
- インクが固化し、プリンターが故障する

インクの使用期限を確認する

表示画面にて、スロット1から8まで、各インクの使用期限を確認することができます。

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

3. [▶] [▼] の順に押して、以下の画面を表示する。

4. [▶] を押して、以下の画面を表示する。
インクの使用期限を確認することができます。

5. [◀] を押す。
6. 手順3、4を参考にして、他のスロットのインクの使用期限を確認する。
7. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

インクカートリッジのICチップが破損している場合は、使用期限が表示されず、図の「年/月/日」表示位置は空欄になります。

関連情報

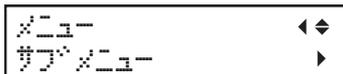
- P. 208 インクの使用期限切れを通知する

スリープモード（省電力機能）になるまでの時間を設定する

印刷データの受信や、操作のない状態が続いたときに、どの程度の時間が経ったらスリープモード（省電力機能が働く状態）になるかを設定します。

手順

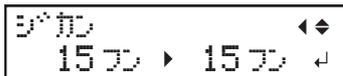
1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



3. [▶] を押す。
4. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



5. [▶] を2回押して、以下の画面を表示する。



6. [▲] [▼] を押して時間を設定する。
7. [ENTER] を押して決定する。
8. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

- 出荷時設定：30分
- [スリープ セッテイ] が [ムコウ] の場合はスリープモードに入らないため、この設定は無視されます。

関連情報

- P. 211 スリープモード（省電力機能）にならないようにする

スリープモード（省電力機能）にならないようにする

印刷データの受信や、操作のない状態が続いてもスリープモード（省電力機能が働く状態）にならないように設定します。

手順

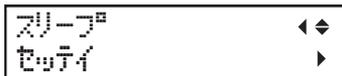
1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



3. [▶] を押す。
4. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



5. [▶][▼] の順に押して、以下の画面を表示する。



6. [▶] を押して、以下の画面を表示する。



7. [▲] [▼] を押して項目を選択する。

〔セッテイ〕	説明
[ユウコウ] (出荷時設定)	一定時間でスリープモードに切り替わります。
[ムコウ]	スリープモードに切り替わらなくなります。

8. [ENTER] を押して決定する。
9. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

関連情報

- ・ P. 210 スリープモード（省電力機能）になるまでの時間を設定する

プリンターの基本設定を管理する

表示言語と単位の設定

操作パネルの表示画面に表示される言語と単位を設定します。

手順

1. [MENU] を押しながら、サブ電源をオンにする。

2. [▲] [▼] を押して表示言語を選択する。



MENU LANGUAGE ◆
JAPANESE ↵

3. [ENTER] を押して決定する。

4. [▲] [▼] を押して長さの単位を選択する。



ナガサ タンイ ◆
ミリ ▶ インチ ↵

5. [ENTER] を押して決定する。

6. [▲] [▼] を押して温度の単位を選択する。



オンド タンイ ◆
°C ▶ °F ↵

7. [ENTER] を押して決定する。

メモ

出荷時設定

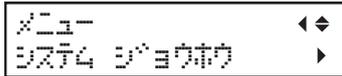
- (MENU LANGUAGE) : ENGLISH
- (ナガサ タンイ) : ミリ
- (オンド タンイ) : °C

システム情報を確認する

シリアル番号やインクの種類など、本機のシステム情報を確認する方法です。

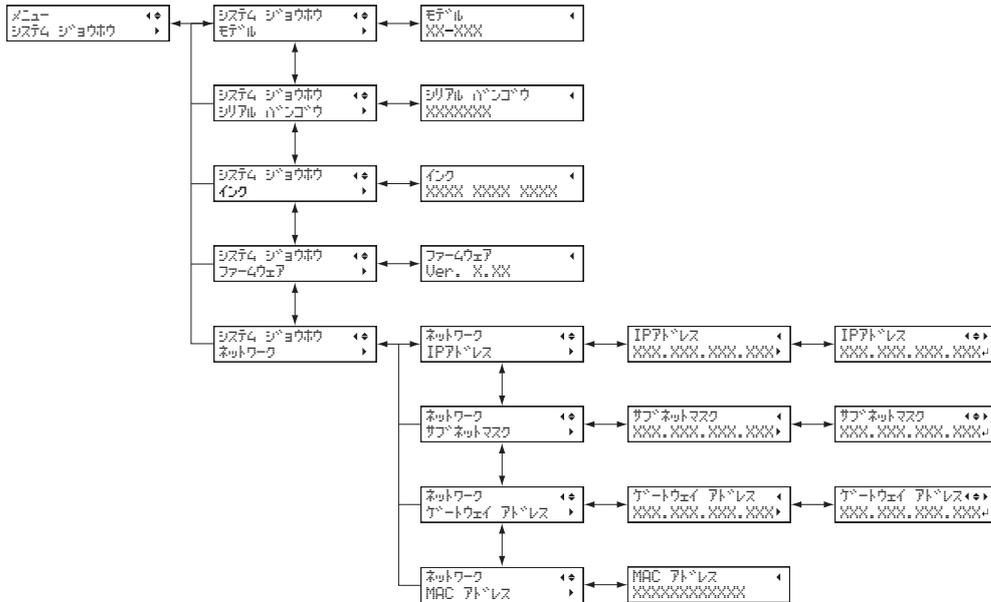
手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



以下の情報を確認できます。

- [モデル]：機種名
- [シリアル バンゴウ]：シリアル番号
- [インク]：インクの種類
- [ファームウェア]：ファームウェアのバージョン
- [ネットワーク]：IP アドレスなどのネットワーク設定



メモ

- ネットワークの設定方法については「セットアップガイド」をご覧ください

関連情報

- MG-640 セットアップガイド (<https://downloadcenter.rolanddg.com/MG-640>)

すべての設定を工場出荷時の状態に戻す

すべてのメニューを出荷時設定に戻します。

〔MENU LANGUAGE〕〔ナガサ タンイ〕〔オンド タンイ〕の各種設定は、出荷時の設定にはもどりません。

手順

1. 〔MENU〕を押す。

2. 〔▼〕を何回か押して、以下の画面を表示する。



3. 〔▶〕を1回、〔▼〕を何回か押して、以下の画面を表示する。



4. 〔ENTER〕を押して決定する。

メンテナンス

はじめに

取り扱いに際してのお願い.....	217
プリンター.....	217
インクカートリッジ.....	217
メンテナンスの基礎知識.....	218
メンテナンスの種類とタイミング.....	218
自動メンテナンス機能と注意事項.....	219
長期間使わないときの処置.....	220

取り扱いに際してのお願い

プリンター

- **本機は精密機器です**
 - 衝撃や無理な力を加えないようにしてください
 - カバーの中やインクカートリッジ挿入口など、本機の内部にむやみに手を入れないでください
- **適切な場所に設置してください**
 - 決まった温度と湿度の場所に設置してください
 - 静かで安定している、条件のよい場所に設置してください
- **プリントヘッド、UV 照射装置はデリケートです**
 - むやみにさわったり、印刷対象物でこすったりしないでください。ていねいに扱わないと壊れます
 - プrintヘッドは乾燥すると壊れます。本機は自動で乾燥を防ぎますが、不適切な操作をすると、この機能が働かないことがあります。本書に従って適切に操作してください
 - インクカートリッジを抜いたまま放置しないでください。プリンターに残ったインクが固まり、プリントヘッドが目づまりすることがあります
 - 毎日のメンテナンス、状態に応じた各種のメンテナンスが必要です。本書をよく読んで、適切なタイミングで適切なメンテナンスを行うようにしてください
 - プrintヘッドは消耗部品です。ご使用の頻度により定期的な交換が必要です

インクカートリッジ

⚠ 警告

インク、洗浄液、廃液は、次の場所に保管しない。

- 火気のある場所
- 高温になる場所
- 漂白剤などの酸化剤、爆発物のそば
- 子供の手の届く場所

火災の恐れがあります。子供が誤って飲むと、健康障害の恐れがあります。

- **インクカートリッジには種類があります**
 - プリンターに適合した種類のものをお使いください。また、必ず当社純正品をお使いください
- **衝撃を加えたり分解したりしないでください**
 - 落としたり強く振ったりしないでください。衝撃で中の袋が破れ、インクがもれ出すことがあります
 - 分解しないでください
 - インクを補充しないでください
 - インクが手や服などに付いたときは、なるべく早く洗ってください。放っておくと落ちにくくなります
- **保管について**
 - インクカートリッジに記載されている使用期限内に使い切ってください
 - 直射日光や強い照明が当たらない場所で保管してください
 - 温度が 5 °C 以上 40 °C 未満、湿度 20 %RH 以上 80 %RH 以下の風通しのよい場所で、未開封のまま保管してください

メンテナンスの基礎知識

メンテナンスの種類とタイミング

本機をより良い状態でお使いいただくためには、適切なタイミングで適切なメンテナンスを実施することが大切です。

レギュラーメンテナンス

日常的に必要なメンテナンス項目です。

タイミング	カテゴリー	項目
毎日の作業前	インクカートリッジのメンテナンス	P. 224 インクカートリッジのメンテナンス
	プリントヘッドのクリーニング	P. 225 テストプリントとノーマルクリーニング
毎日の作業中、または作業後	機体の清掃	P. 222 機体の清掃
	マニュアルクリーニング	P. 227 マニュアルクリーニング
廃液処理のメッセージが表示されたとき	廃液の処理	P. 246 廃液処理のメッセージが表示されたら
1 かに 1 度	UV 照射装置の清掃	P. 239 UV 照射装置の清掃方法

ハードメンテナンス

インク消費量の多いメンテナンスです。説明をよく読んで、適切な時期に実施してください。

タイミング	カテゴリー	項目
ドット抜けやドットよれが発生したとき	プリントヘッドのクリーニング	P. 225 テストプリントとノーマルクリーニング
		P. 249 ミディアムクリーニングの方法
		P. 251 パワフルクリーニングの方法
		P. 254 マニュアルクリーニングの方法
ホワイトインクの濃度が下がったとき	インク濃度低下の解消	P. 267 ライトチョーククリーニングの方法
マニュアルクリーニングの効果がな とき	色ムラ、ドット抜け、ドットよれの解消	P. 271 重度のドット抜け、ドットよれ、色むらへの対応

消耗部品の交換

消耗部品の交換です。説明をよく読んで、適切な時期に実施してください。

タイミング	カテゴリー	項目
交換メッセージが表示されたとき	消耗部品の交換	P. 278 ワイパーの交換
		P. 282 フェルトワイパーの交換
切れ味が悪くなったとき	・ワイパー ・フェルトワイパー ・カッター ・セパレーティングナイフ（メディア切り離し用ナイフ）	P. 285 カッターの交換
		P. 291 セパレーティングナイフ（メディア切り離し用ナイフ）の交換

自動メンテナンス機能と注意事項

本機は定期的に自動でメンテナンスする機能があります。

プリントヘッドの乾燥を防ぐ動作をしますので、次のことをご守りください。

- **メイン電源は常にオンにしておく。**
- **フロントカバーを長期間開けたままにしない。**
- **各種メニューの設定が終わったらトップ画面に戻す。**

長期間使わないときの処置

長期間使わないときは、次の事項を守ってください。

- **廃液ボトルを空にしておく**

長期間使用しないことがわかっているときは、廃液ボトルを空にしておいてください。本機はメイン電源をオンにしておくと、自動メンテナンスを定期的に行って廃液を排出します。

下記の期間が経過すると廃液は満杯になります。自動メンテナンスを行なうため、期間内に廃液を処理してください。

- [ハイエキ ヲ ステクダサイ] というメッセージが表示されて以降、約3週間
- 廃液ボトルが空の状態から約300日

- **2週間に1度はサブ電源をオンにする**

2週間に1度はサブ電源をオンにしてください。通知を確認し、必要なメンテナンスを行ってください。

- **温度と湿度を一定に保つ**

使っていないときでも、温度5~40°C、湿度20~80%RH（ただし結露のないこと）を保ってください。守られない場合、本機の故障の原因になります。

関連情報

- [P. 246 廃液処理のメッセージが表示されたら](#)

レギュラーメンテナンス

機体の清掃.....	222
メディアの通り道の清掃.....	222
カッティングキャリッジのローラーの清掃.....	223
毎日必要なメンテナンス.....	224
インクカートリッジのメンテナンス.....	224
テストプリントとノーマルクリーニング.....	225
マニュアルクリーニング.....	227
月に1度以上必要なクリーニング.....	238
UV 照射装置の清掃が必要なタイミング.....	238
UV 照射装置の清掃方法.....	239

機体の清掃

メディアの通り道の清掃

日常的な清掃として、メディアの通り道を中心にインクや汚れをふき取ってください。メディアの通り道にはインクや汚れがつきやすく、放置すると新しいメディアを汚したり、出力時のメディアの搬送に悪影響を及ぼしたりします。特にピンチローラーやグリットローラー、またはプラテンなどに汚れがつきます。

警告

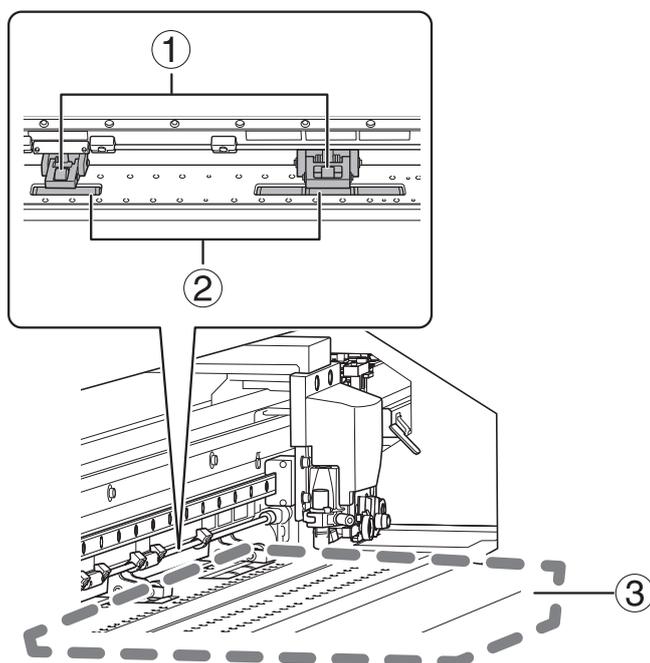
清掃に、ガソリン、アルコール、シンナーなどの溶剤を使わない。
火災の原因になります。

注意

清掃は、サブ電源をオフにし、UV照射装置が冷めてから（約15分待つ）行うこと。
機械が突然動いてけがをしたり、やけどしたりすることがあります。

重要

- 本機は精密機器ですので、ほこりや塵を嫌います。日常的な清掃を心がけてください
- 注油は一切しないでください



水で薄めた中性洗剤を含ませてかたくしぼった布でふいてください。

①	ピンチローラー	メディアを固定または搬送する部位で、インクや汚れが付きやすい場所です。清掃をおこたると、メディア表面を汚します。
②	グリットローラー	メディアを固定または搬送する部位で、汚れが付きやすい場所です。ブラシを使って、こびりついたメディアかすなどを取ってください。金属ブラシは使わないでください。
③	プラテン	メディアの通り道や溝に付いた、インクや汚れ、またはカットしたメディアの切り粉をふき取ってください。

カッティングキャリッジのローラーの清掃

メディアを切り離すときに、セパレーティングナイフ（メディア切り離し用ナイフ）のキャリッジのローラーには紙粉がつきます。定期的にふき取ってください。

⚠ 警告

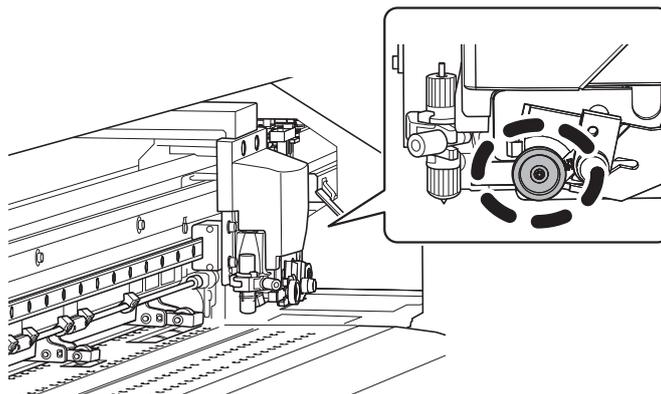
清掃に、ガソリン、アルコール、シンナーなどの溶剤を使わない。
火災の原因になります。

⚠ 注意

清掃は、サブ電源をオフにし、UV 照射装置が冷めてから（約 15 分待つ）行うこと。
機械が突然動いてけがをしたり、やけどしたりすることがあります。

重要

- 本機は精密機器ですので、ほこりや塵を嫌います。日常的な清掃を心がけてください
- 注油は一切しないでください



水で薄めた中性洗剤を含ませてかたくしぼった布でふいてください。

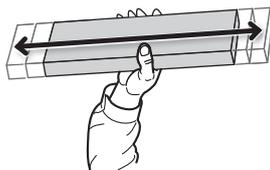
毎日必要なメンテナンス

インクカートリッジのメンテナンス

インクの成分が沈殿していると、正常な色で印刷ができません。インクの成分がよく混ざるように、インクカートリッジを両端 5 cm の振り幅で水平に振ります。

- ホワイトインクのカートリッジをいったん抜き、50 回（20 秒程度）振ってから再び差し込んでください
- ホワイト以外のインクカートリッジは、毎回振る必要はありませんが、新品を取り付けるときには振ってください

ホワイトインクは成分が沈殿しやすい性質を持っています。その日に作業を始める前に、必ずカートリッジを振ってください。放置すると沈殿した成分が固まり、故障などトラブルの原因になります。



重要

- 振る前にインクカートリッジの口についたインクをふき取ってください。ふき取らないと、インクカートリッジを振るときにインクが飛び散ります
- 攪拌が終了したら、すぐにインクカートリッジを取り付けなおしてください。時間がかかると、インク経路に悪影響が出ます
- プリンターを使用しない場合でも、1 週間に 1 回はホワイトインクのカートリッジを 50 回（20 秒程度）振ってください

テストプリントとノーマルクリーニング

1. テストプリントを実施する

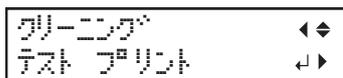
印刷の前にテストプリントをして、ドット抜けやドットよれがないかを確認します。ドット抜けやドットよれがあった場合は、プリントヘッドのクリーニング（ノーマルクリーニング）を行います。

メモ

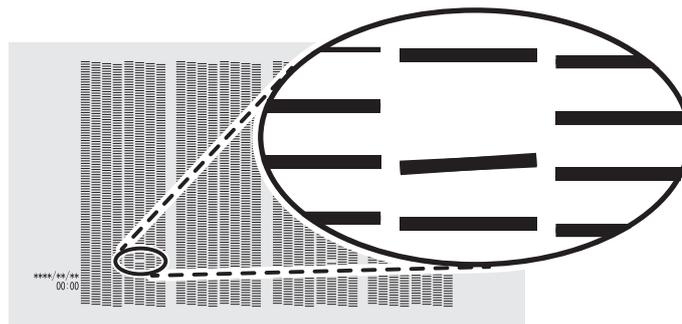
- カuttingだけ行う場合は不要な作業です
- 連続してテストプリントを行なう場合は、2回目以降の印刷位置を1回目の印刷位置に対して〔タテ〕（縦に並べて印刷）にするか〔ヨコ〕（横に並べて印刷）にするか設定できます

手順

1. メディアをセットする。
P. 30 メディアのセットアップ
2. [FUNCTION] を押す。
3. [▼] [▶] の順に押して、以下の画面を表示する。



4. [ENTER] を押す。
テストパターンの印刷を開始します。
5. テストパターンにドット抜けやドットよれがないか確認する。
ブロックに欠けがあると、ドット抜けの状態です。ブロックに崩れや傾きがあると、ドットよれの状態です。



6. フロントカバーを開けた場合は、フロントカバーを閉じる。
ドット抜けやドットよれが無い場合は、この作業は終了です。[FUNCTION] を押して、もとの画面に戻ってください。

関連情報

- P. 200 テストプリントを横に並べて印刷する

2. ノーマルクリーニングを実施する

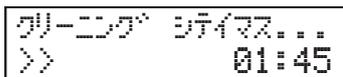
手順

1. [▼] を押して、以下の画面を表示する。

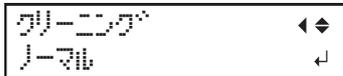


2. [ENTER] を押す。

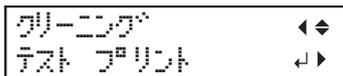
以下の画面が表示され、クリーニングを開始します。画面には、この工程の残り時間（目安）が表示されます（以下の表示は例です。[01:45] の表示は「1分45秒」を意味します）。



終了すると以下の画面に戻ります。



3. [▲] を押す。



4. [ENTER] を押す。

もう一度テストプリントを行って、ドット抜けやドットよれが無くなったか確認します。

5. ドット抜けやドットよれが無くなったか確認する。

ドット抜けやドットよれがなくならなかった場合は、もう一度ノーマルクリーニングを行います。長く使っていると2～3回ノーマルクリーニングを行ってもドット抜けが直らないことがあります。その場合は、別の方法でクリーニングします。

関連情報

- ・ [P. 249 ノーマルクリーニングの効果がないとき](#)

マニュアルクリーニング

一日の作業が終わったあとに必ずマニュアルクリーニングを実施してください。

1. プリントヘッドを清掃する

手順

1. メディアを取り外す。
2. メディアクランプを取り外す。
3. [FUNCTION] を押す。
4. [▶] を押す。
5. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
クリーニング◀▶
マニュアル◀
```

6. [ENTER] を押す。

メディアクランプ取り外しのメッセージが表示されたときは、再度 [ENTER] を押してください。[シバラク オマチクダサイ..] と表示された後、以下の画面が表示されます。

また、プリントヘッドがプラテンの左端まで移動します。

```
シュウリョウゴ◀ ENTER
キーヲオシテクダサイ◀
```

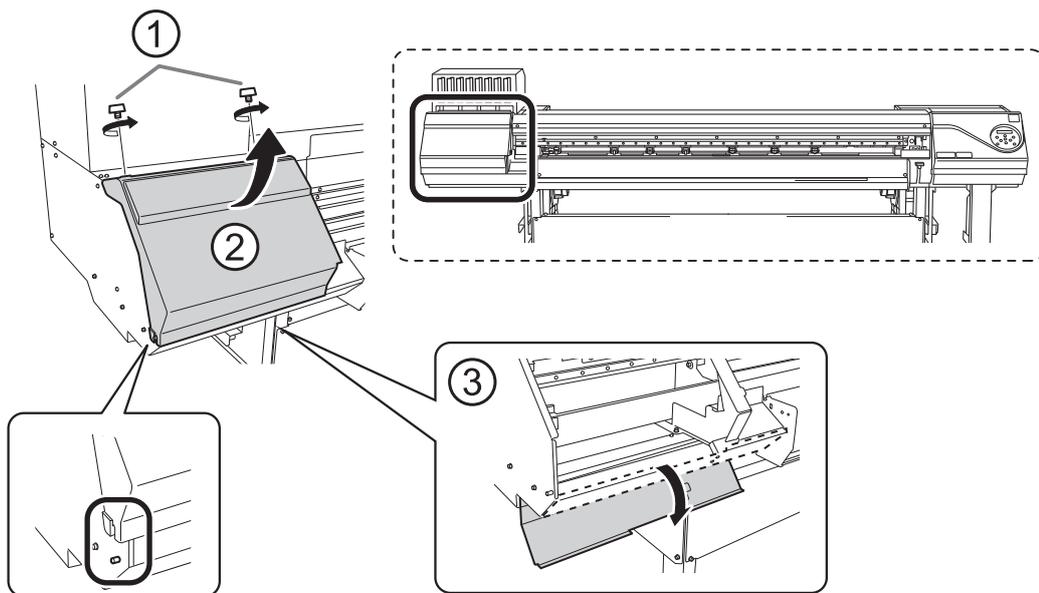
重要

ここではまだ [ENTER] を押さないでください。[ENTER] は、クリーニング終了後に押します。ここで [ENTER] を押してしまった場合は、下図のように画面が遷移するまで待ち、もう一度 [ENTER] を押してください。

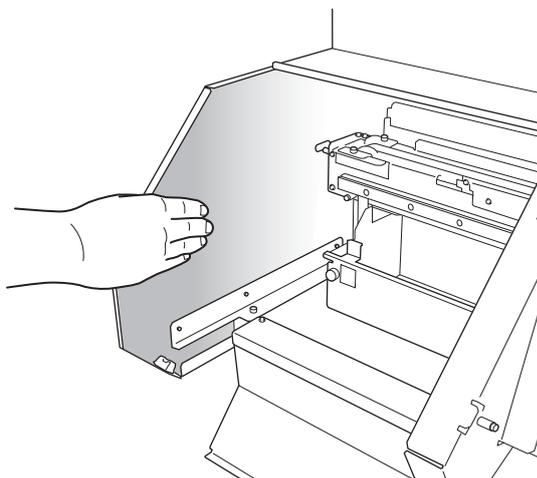
```
クリーニング システム...
>> 01:45
```

```
クリーニング◀▶
マニュアル◀
```

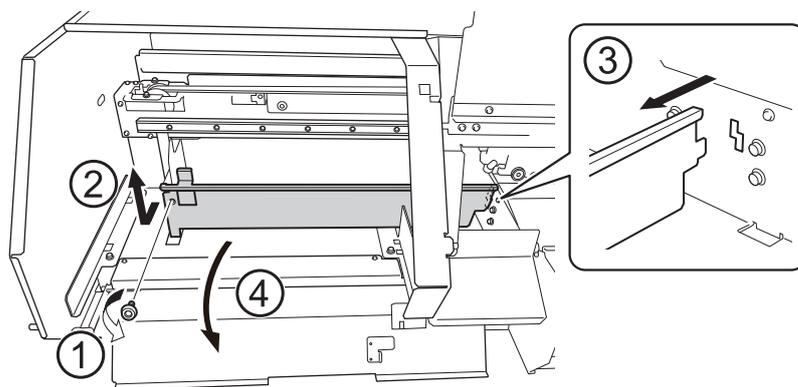
7. フロントカバーを開ける。
8. カバーL (上下) を開ける。



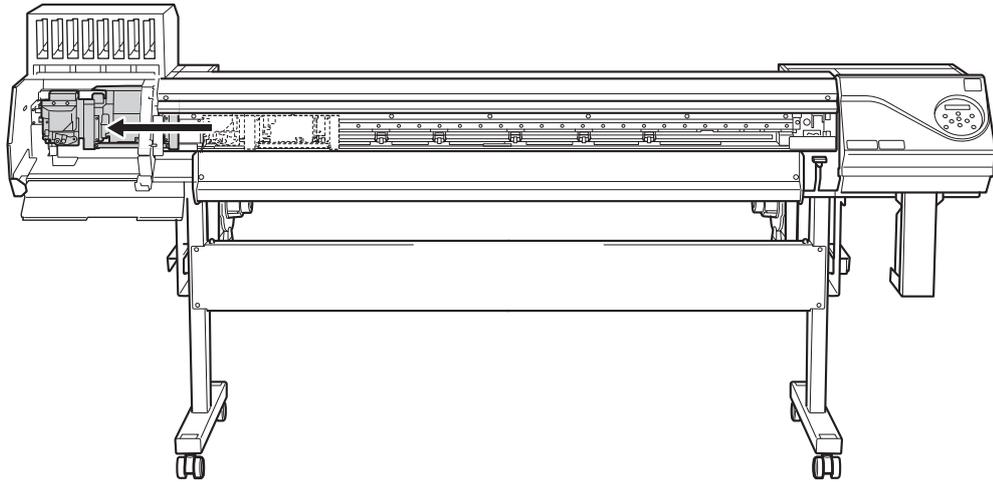
9. 図の位置をさわって作業者の静電気を逃がす。



10. カットレールを取り外す。



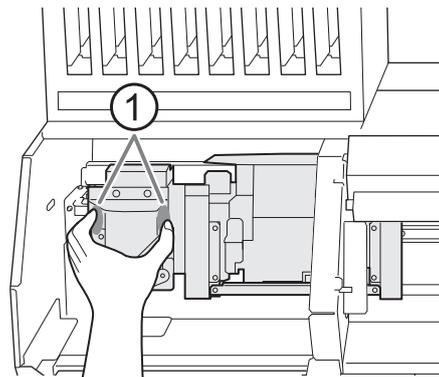
11. プリントヘッドキャリッジを左端へ移動する。



プリントヘッドキャリッジを手で持って移動してください。

⚠ 注意

プリントヘッドキャリッジを手で移動するときは、必ず指定位置を持つこと。
指定以外の場所を持って動かすと、カバーが変形して破損することがあります。

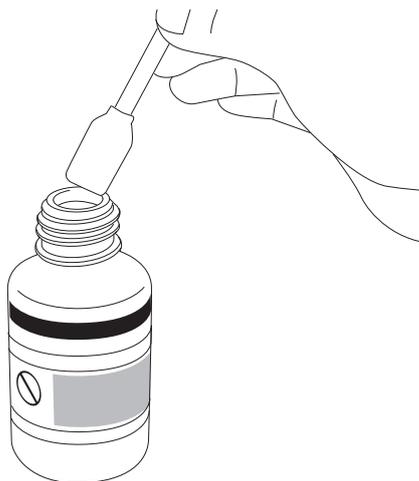


①：手で持つ場所

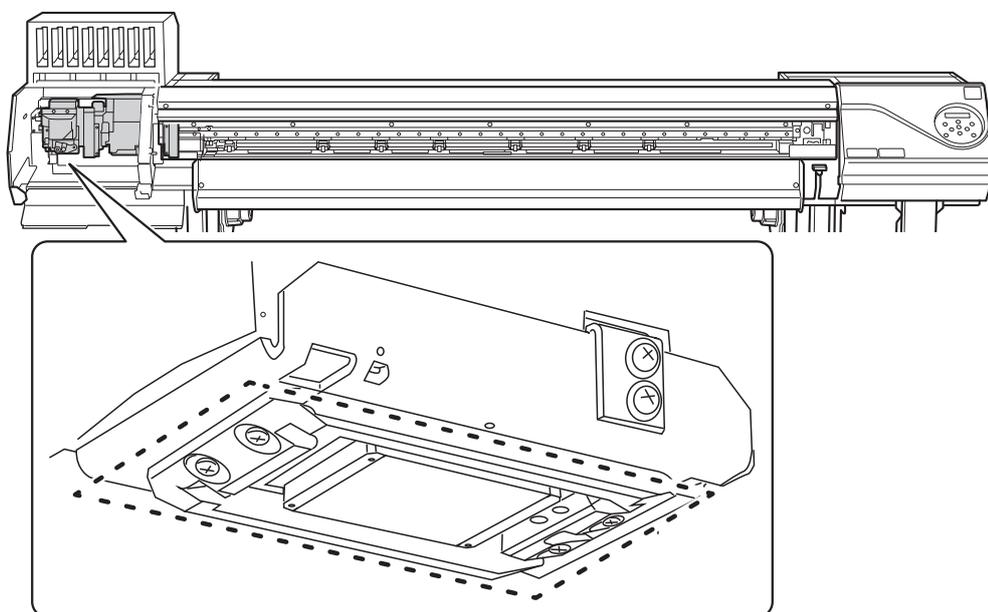
12. クリーニングスティックに洗浄液をたっぷり染み込ませる。

重要

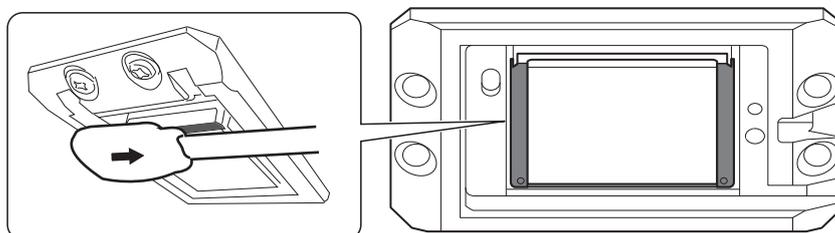
必ず付属のクリーニングスティックを使用すること。



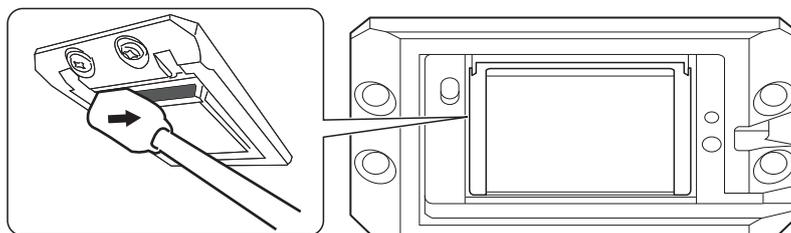
13. 下図の場所を清掃する。
特に繊維状のほこりをよく清掃してください。



- (1) クリーニングスティックの広い面を当て左側を拭いたあと、汚れていない反対の面を当てて右側を拭く。

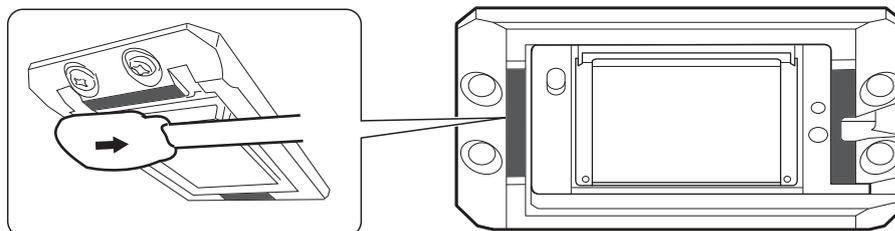


- (2) クリーニングスティックを縦にして左側を拭いたあと、反対の面を当てて右側を拭く。

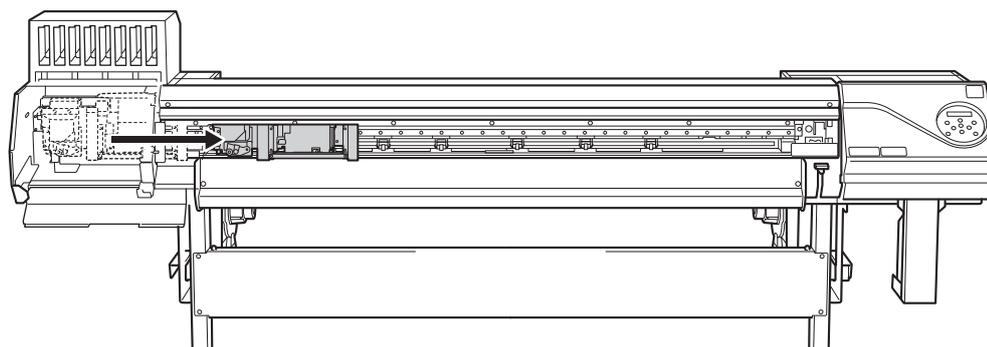


(3) クリーニングスティックの広い面を使って、図の場所の汚れを拭き取る。

この部分に垂れそうなインクや洗浄液が残っている場合は、毛羽立たない乾いた布でやさしく拭き取ってください。



14. 清掃が終了したら、プリントヘッドキャリッジをプラテンの上まで移動する。

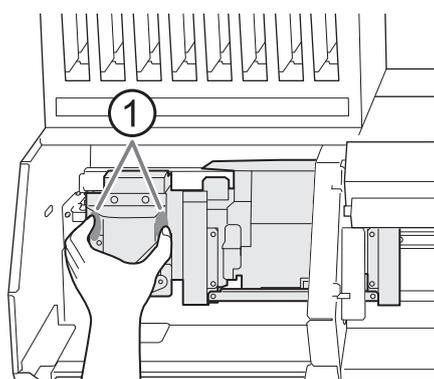


プリントヘッドキャリッジを手で持って移動してください。

⚠ 注意

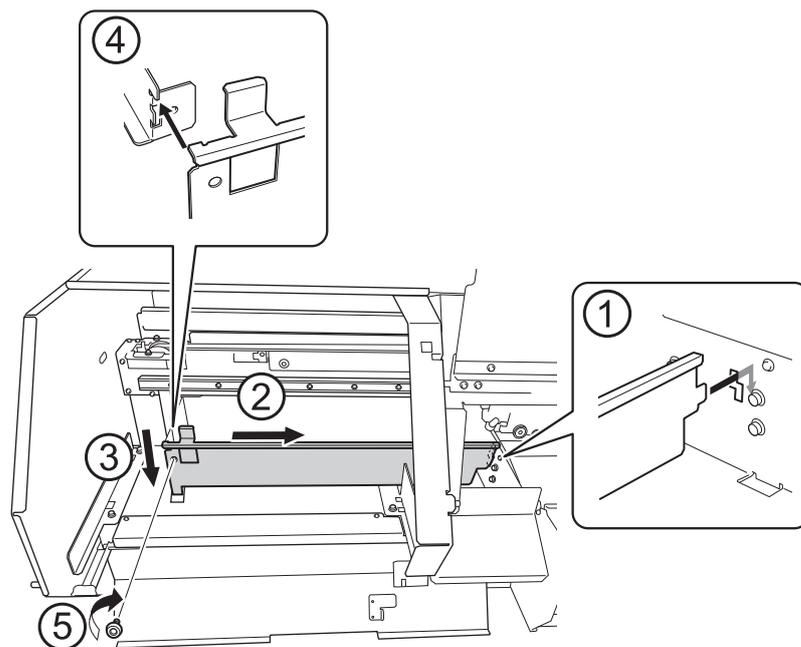
プリントヘッドキャリッジを手で移動するときは、必ず指定位置を持つこと。

指定以外の場所を持って動かすと、カバーが変形して破損することがあります。



①：手で持つ場所

15. カットレールを取り付ける。

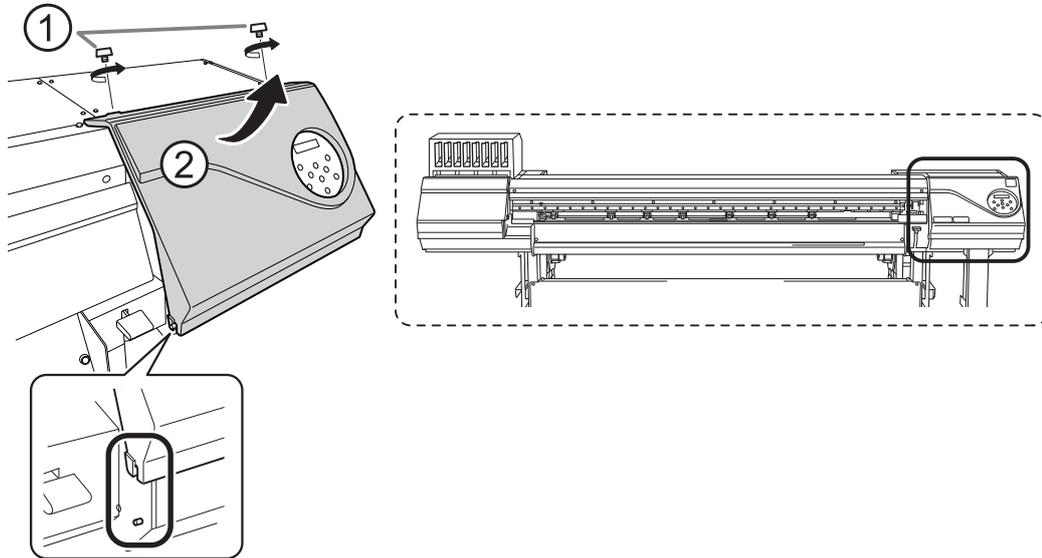


16. カバーL (上下) を閉じる。

2. プリントヘッドキャップを清掃する

手順

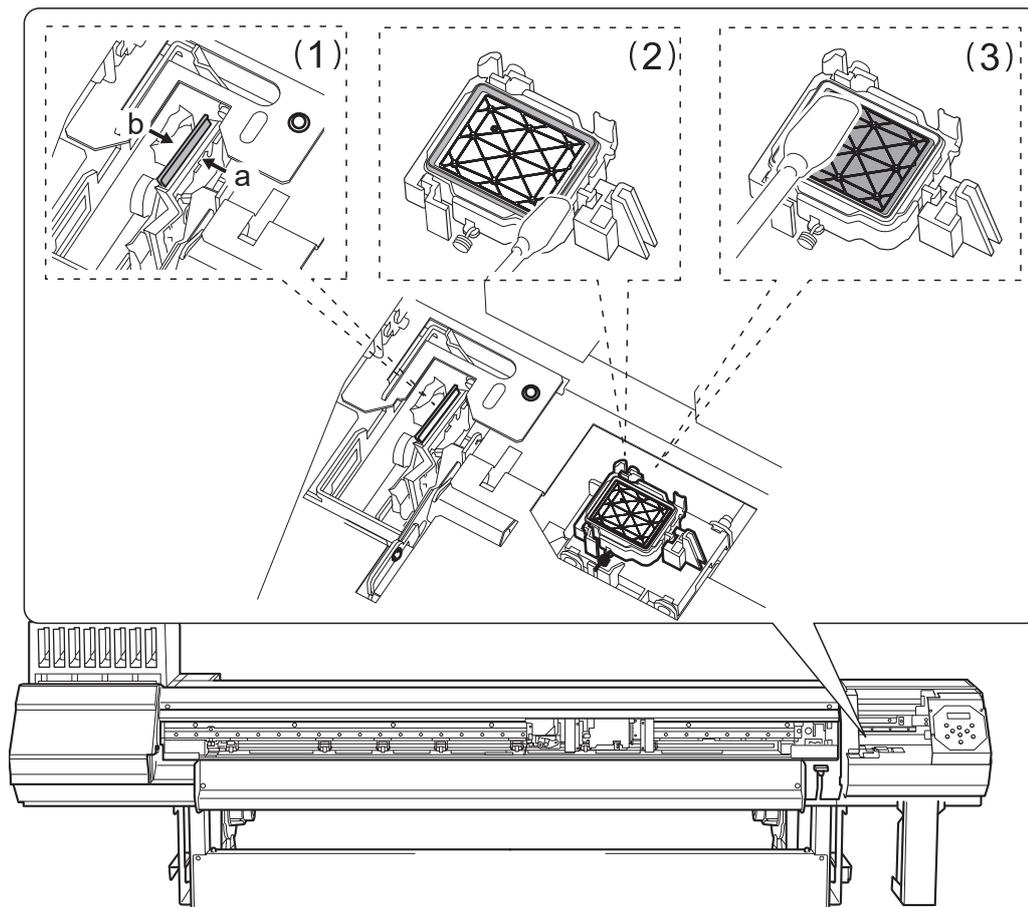
1. カバー R を開ける。



2. 下図の場所を清掃する。

特に繊維状のほこりをよく清掃してください。

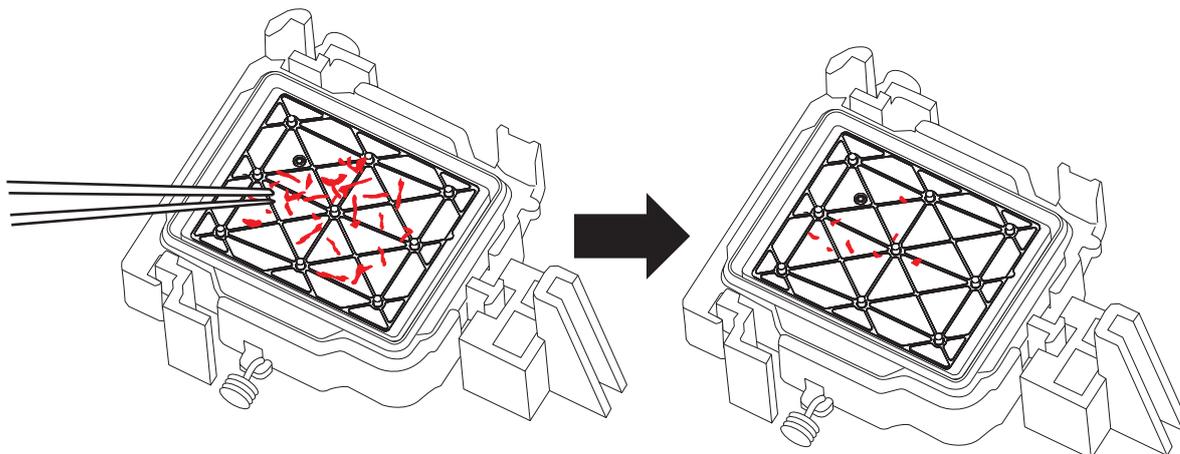
- (1) ワイパーのかぎ爪側 (a) をクリーニングスティックで拭き取ったあと、反対側 (b) を拭き取る。
- (2) 図の場所をクリーニングスティックで拭き取る。
- (3) クリーニングスティックの広い面を使い、場所をずらしながら押し当てて、汚れを吸い取る。



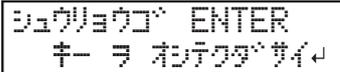
3. プrintヘッドキャップの上にインクの硬化したものがあある場合、取り除く。
ピンセットを使って、長さ 3 mm 以上のインク硬化物を取り除いてください。

重要

取りにくいインク硬化物を無理に引っ張らないでください。Printヘッドキャップが破損する恐れがあります。



4. カバー R を閉じる。
5. フロントカバーを閉じる。

6. [ENTER] を押す。

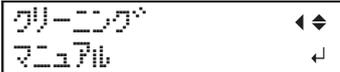
```
シュウリョウゴ ENTER
キー ラ オシテクダサイ
```

以下の画面が表示され、クリーニングを開始します。画面には、この工程の残り時間（目安）が表示されます（以下の表示は例です。[01:45] の表示は「1分45秒」を意味します）。



```
クリーニング システム...
>>
01:45
```

クリーニングが終了すると、以下の画面に戻ります。



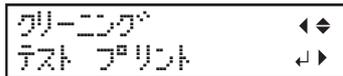
```
クリーニング →
マニュアル ←
```

7. [FUNCTION] を押して、もとの画面に戻る。

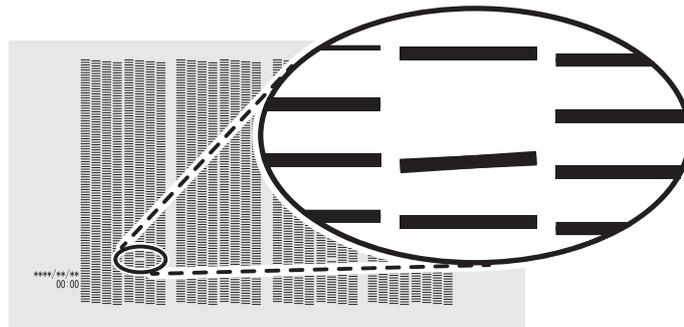
3. テストプリントを実施して結果を確認する

手順

1. メディアをセットする。
P. 30 メディアのセットアップ
2. [FUNCTION] を押す。
3. [▼] [▶] の順に押して、以下の画面を表示する。



4. [ENTER] を押す。
テストパターンの印刷を開始します。
5. テストパターンにドット抜けやドットよれがないか確認する。
ブロックに欠けがあると、ドット抜けの状態です。ブロックに崩れや傾きがあると、ドットよれの状態です。



6. フロントカバーを開けた場合は、フロントカバーを閉じる。
ドット抜けやドットよれが無い場合は、この作業は終了です。[FUNCTION] を押して、もとの画面に戻ってください。

ドット抜けやドットよれがある場合は、ノーマルクリーニングなどのクリーニングを実施してください。

関連情報

- P. 225 テストプリントとノーマルクリーニング
- P. 249 ミディアムクリーニングの方法
- P. 251 パワフルクリーニングの方法

4. マニュアルクリーニングに関する消耗品、消耗部品について

クリーニングスティック、洗浄液、プリントヘッドは消耗品、または消耗部品です。

- マニュアルクリーニングで使用するクリーニングスティックと洗浄液を使い切ったら、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト (<https://www.rolanddg.co.jp/>) をご覧ください
- プrintヘッドは消耗部品です。ご使用の頻度により定期的な交換が必要です。お買い上げの販売店または当社コールセンターまでお問い合わせください

月に1度以上必要なクリーニング

UV 照射装置の清掃が必要なタイミング

UV 照射装置は、インクを定着させるための重要な部品です。定期的かつ適切なメンテナンスが必要です。UV 照射装置の清掃は適切なタイミングで行うことが重要です。

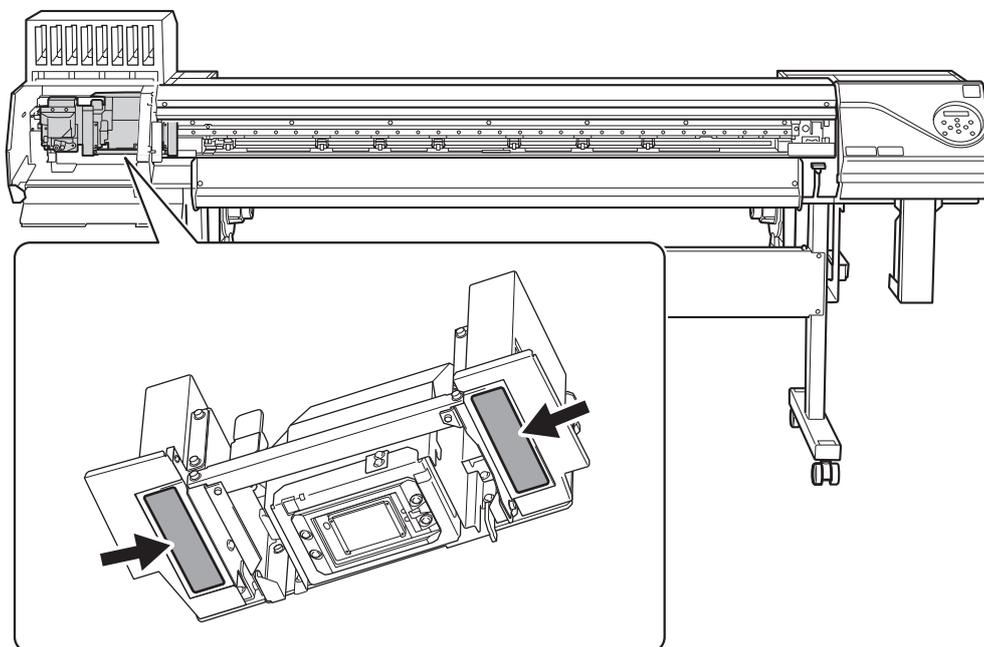
月に一度以上

常に安定した印刷状態を保っていただくために、月に一度以上は清掃を実施してください。

インクミスの飛散が多くて機体内部が汚れやすいとき

プリントヘッドと印刷面との距離が離れた状態での印刷が多かったり、印刷面からはみ出た位置にインクが吐き出されたりするような場合には、毎日実施してください。飛散したインクミストが硬化して故障の原因になります。

UV 照射装置の底面および照射窓が汚れているとき (下図参照)



メモ

- UV 照射装置の清掃が必要な頻度は、本機の使いかたによって変わります。お使いの状況に応じた頻度については、お買い上げの販売店または当社コールセンターまでお問い合わせください
- 固着したインクなど、清掃しきれない汚れがある場合は、お買い上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡ください。

UV 照射装置の清掃方法

重要

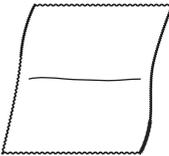
作業にあたってのお願い

- この作業はメディアを取り外してから行ってください
- プリントヘッドの乾燥を防ぐため、10 分以内に作業を終わらせてください。10 分を過ぎると警告音が鳴ります
- 清掃に使う布やアルコールなどは、お客様ご自身でご用意ください

クリーニング中に警告音が鳴ったときは

- 作業開始から 10 分が経過すると警告音が鳴ります。作業を一時中断し、すべてのカバーを閉めてから [ENTER] を押し、マニュアルクリーニングモードを終了させます。その後、はじめの手順から作業を再開してください。

必要なもの

	
無水エタノール、またはイソプロピルアルコール	布 (毛羽立ちのないもの)

⚠ 注意

印刷直後は清掃しないこと。(印刷後約 15 分待つ)
UV 照射装置周辺が熱く、やけどすることがあります。

⚠ 注意

無水エタノール、およびイソプロピルアルコールは、当該製品の使用上の注意を守って使うこと。
引火や、換気、肌荒れなどに注意してください。

⚠ 注意

無水エタノール、およびイソプロピルアルコール以外は使用しないこと。
無水エタノール、およびイソプロピルアルコール以外の薬品等を使用すると、UV 照射装置の故障の原因になります。

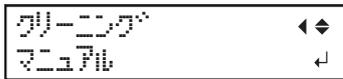
⚠ 注意

拭き取りに使う布は、毛羽立ちのないものを使うこと。金属など、硬い素材は使わないこと。
毛羽立ちの多い布や金属などの硬い素材を使うと、UV 照射装置の故障の原因になります。

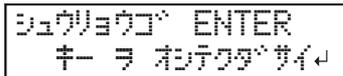
手順

1. メディアを取り外す。
2. メディアクランプを取り外す。
3. [FUNCTION] を押す。

4. [▶] を押す。
5. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

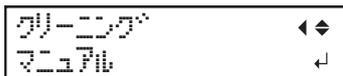
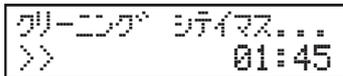


6. [ENTER] を押す。
メディアクランプ取り外しのメッセージが表示されたときは、再度 [ENTER] を押してください。[シバラク オマチクダサイ..] と表示された後、以下の画面が表示されます。
また、プリントヘッドがプラテンの左端まで移動します。

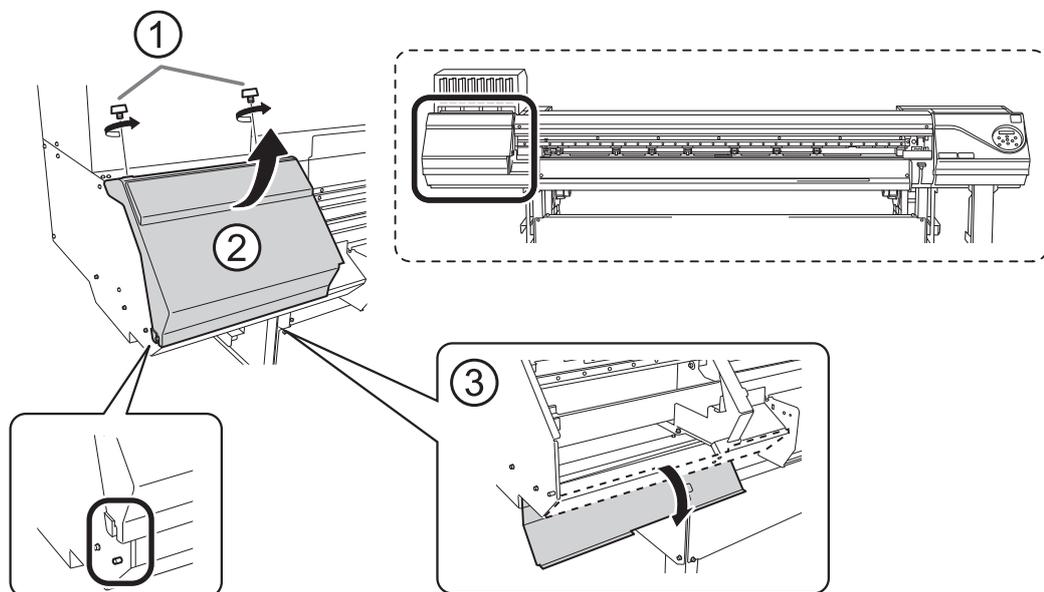


重要

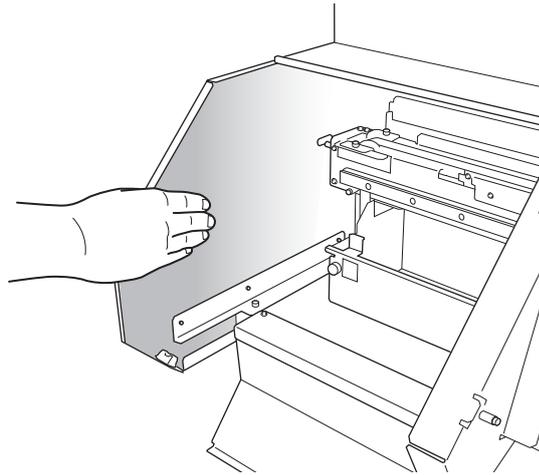
ここではまだ [ENTER] を押さないでください。[ENTER] は、作業終了後に押します。ここで [ENTER] を押してしまった場合は、下図のように画面が遷移するまで待ち、もう一度 [ENTER] を押してください。



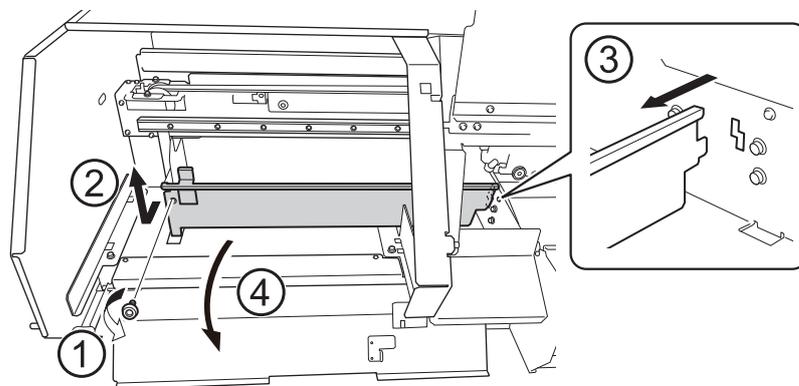
7. フロントカバーを開ける。
8. カバーL (上下) を開ける。



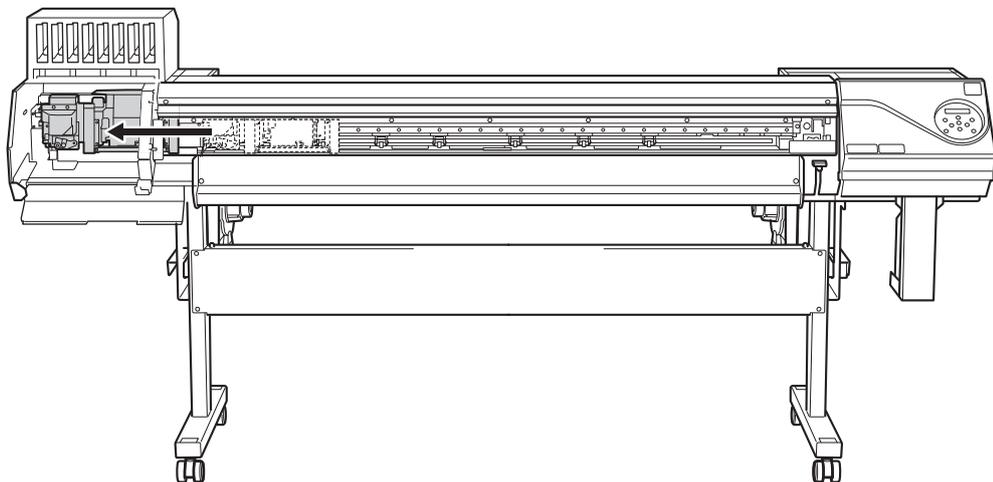
9. 図の位置をさわって作業者の静電気を逃がす。



10. カットレールを取り外す。



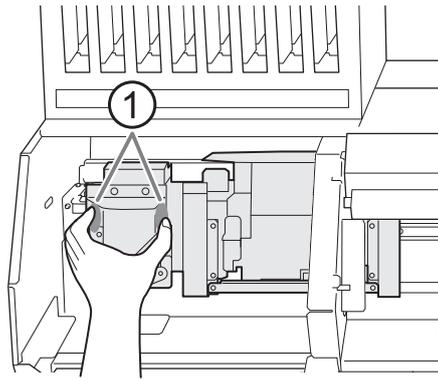
11. プrintヘッドキャリッジを左端へ移動する。



プリントヘッドキャリッジを手で持って移動してください。

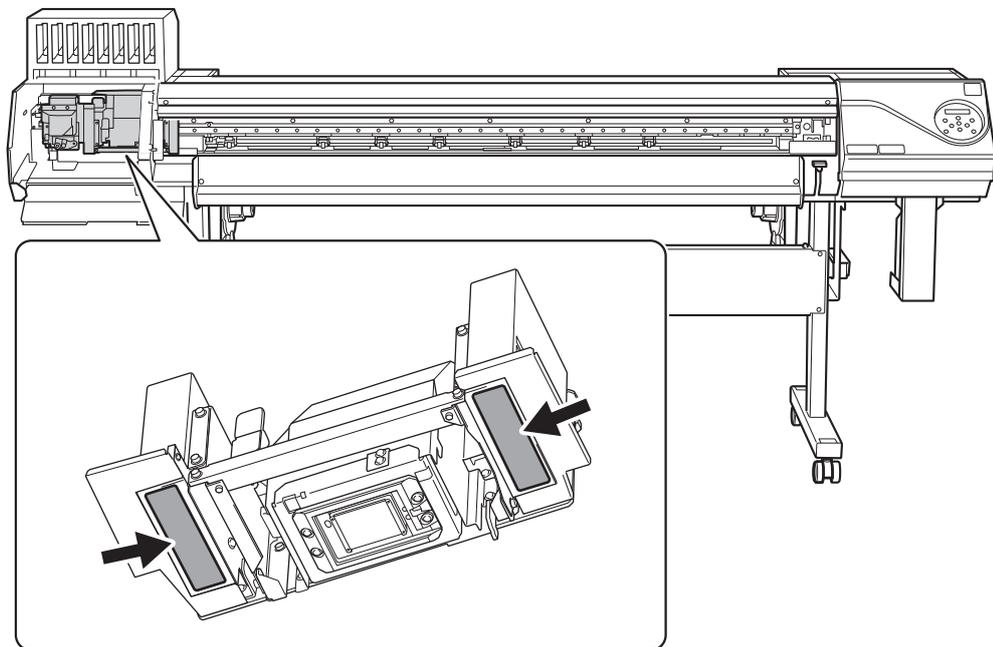
⚠ 注意

プリントヘッドキャリッジを手で移動するときは、必ず指定位置を持つこと。
指定以外の場所を持って動かすと、カバーが変形して破損することがあります。

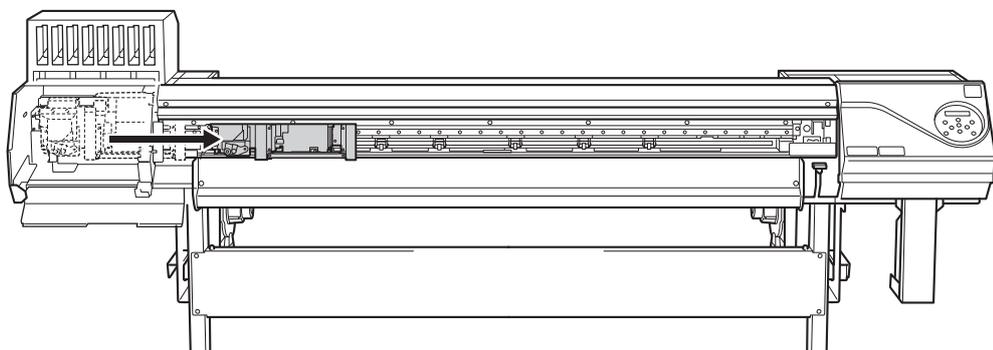


①：手で持つ場所

12. 無水エタノール、またはイソプロピルアルコールをつけた布で、UVランプの底面と照射部を拭く。
10 往復程度、汚れが落ちるまで拭き取ってください。



13. 清掃が終了したら、プリントヘッドキャリッジをプラテンの上まで移動する。

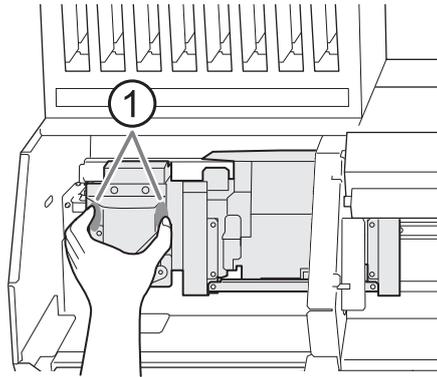


プリントヘッドキャリッジを手で持って移動してください。

⚠ 注意

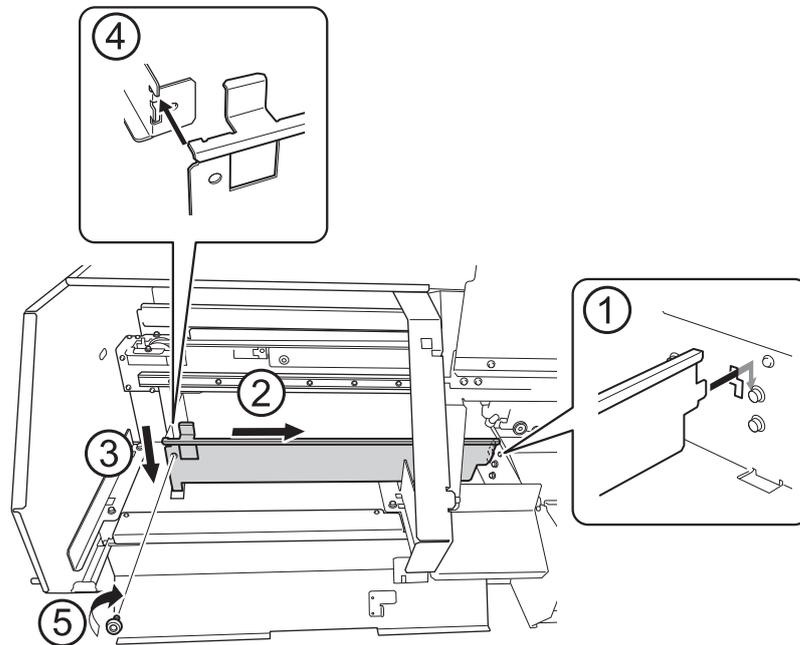
プリントヘッドキャリッジを手で移動するときは、必ず指定位置を持つこと。

指定以外の場所を持って動かすと、カバーが変形して破損することがあります。



①：手で持つ場所

14. カットレールを取り付ける。



15. カバーL（上下）を閉じる。

16. フロントカバーを閉じる。

17. [ENTER] を押す。

以下の画面が表示され、ヘッドクリーニングを開始します。

```

クリーニング シティマス...
>>                01:45
  
```

以下の画面に戻ったら、UV 照射装置の清掃は終了です。

```

クリーニング          <>
マニュアル            ↵
  
```

関連情報

- P. 238 UV 照射装置の清掃が必要なタイミング

廃液の処理

廃液処理におけるご注意	245
廃液処理のメッセージが表示されたら.....	246

廃液処理におけるご注意

⚠ 警告

廃液やインクを火気の近くに置かない。
火災の原因になります。

⚠ 注意

廃液を一時的に保管するには、付属の廃液ボトル、金属缶やポリタンクなどの丈夫な密閉容器に入れ、ふたをきちんと閉じること。
こぼれたり蒸気がもれたりすると、火災につながったり臭いで気分が悪くなったりすることがあります。

重要

廃液は、地域の条例に従い、適切な方法で処理してください。
廃液には引火性があり、有害な成分も含まれています。廃液を焼却したり、一般のゴミと一緒に廃棄したりしないでください。また、下水や河川に流さないでください。環境に影響を及ぼす恐れがあります。

廃液処理のメッセージが表示されたら

廃液がある程度ボトルにたまると、サブ電源をオンにしたとき、下記のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら、廃液を処理してください。

ハイエキ ラ ステテクダサイ
↓

上記のメッセージが表示されても廃液を捨てずに使用をつづけると、廃液ボトルが満タンになり下記のメッセージが表示されます。廃液ボトルにはこれ以上の廃液は溜められませんので、すぐに廃液を捨ててください。印刷中にこのメッセージが出た場合、印刷は停止します。

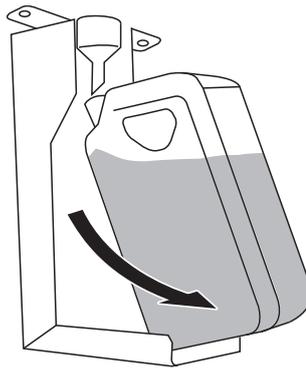
ハイエキ ガ マンタン デス
ステテクダサイ
↓

重要

画面に〔ハイエキ ガ マンタン デス ステテクダサイ〕のメッセージが表示されたら、必ず廃液を捨てること。このメッセージが表示されたときに廃液を捨てないと、メッセージが解除できません。

手順

1. 廃液ボトルを取り外し、廃液を捨てて空にする。



重要

廃液ボトルを取り外すと、本体から廃液が数滴出てくることがあります。手についたり、床を汚したりしないようご注意ください。

警告

廃液やインクを火気の近くに置かない。
火災の原因になります。

注意

廃液を一時的に保管するには、付属の廃液ボトル、金属缶やポリタンクなどの丈夫な密閉容器に入れ、ふたをきちんと閉じること。
こぼれたり蒸気がもれたりすると、火災につながったり臭いで気分が悪くなったりすることがあります。

重要

廃液は、地域の条例に従い、適切な方法で処理してください。

廃液には引火性があり、有害な成分も含まれています。廃液を焼却したり、一般のゴミと一緒に廃棄したりしないでください。また、下水や河川に流さないでください。環境に影響を及ぼす恐れがあります。

2. 空にした廃液ボトルを速やかに再び取り付ける。
3. [ENTER] を押す。
もとの画面に戻ります。

ハードメンテナンス

ノーマルクリーニングの効果がでないとき	249
ミディアムクリーニングの方法.....	249
パワフルクリーニングの方法	251
マニュアルクリーニング	253
マニュアルクリーニングが必要なタイミング	253
マニュアルクリーニングの方法.....	254
ホワイトインクの色ムラが発生したとき	266
インク循環の方法.....	266
ライトチョーククリーニングの方法	267
ホワイトインク以外の色ムラが発生したとき	269
ライトチョーククリーニングの方法	269
重度のドット抜け、ドットよれ、色むらへの対応.....	271
インク更新の方法.....	271
印刷に使用するプリントヘッドを部分的に制限する	274
応急処置) プリントヘッド表面のクリーニング.....	276

ノーマルクリーニングの効果がないとき

ミディアムクリーニングの方法

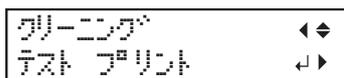
プリントヘッドは、インクを吐出する重要な部品です。定期的かつ適切なメンテナンスが必要です。ノーマルクリーニングでドット抜けなどが直らないときは、より強力な「ミディアムクリーニング」を行って、プリントヘッドの詰まりを解消してください。

重要

ミディアムクリーニングは、ノーマルクリーニングよりもインクの消費量が多く、あまり頻繁に行うとプリントヘッド自身も傷みややすくなります。必要以上に行わないでください。

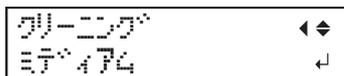
手順

1. メディアをセットする。
P. 30 メディアのセットアップ
2. [FUNCTION] を押す。
3. [▼] [▶] の順に押して、以下の画面を表示する。



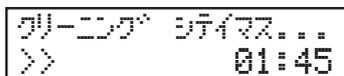
クリーニング ◀▶
テスト プリント ↵▶

4. [ENTER] を押す。
テストパターンが印刷されます。
5. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



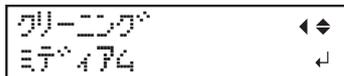
クリーニング ◀▶
メディア ↵

6. [ENTER] を押して決定する。
以下の画面が表示され、クリーニングを開始します。画面には、この工程の残り時間（目安）が表示されます（以下の表示は例です。[01:45] の表示は「1分45秒」を意味します）。



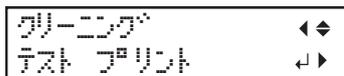
クリーニング シテイマス... ◀▶
>> 01:45

終了すると以下の画面に戻ります。



クリーニング ◀▶
メディア ↵

7. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



クリーニング ◀▶
テスト プリント ↵▶

8. [ENTER] を押す。
もう一度テストプリントを行って、ドット抜けやドットよれが無くなったか確認します。

メモ

- ドット抜けやドットよれが無くならなかった場合は、もう一度ミディアムクリーニングを行ってください
- ミディアムクリーニングを数回行ってもドット抜けやドットよれなどが直らないときは、「パワフルクリーニング」を行ってください

関連情報

- [P. 225 テストプリントとノーマルクリーニング](#)
- [P. 251 パワフルクリーニングの方法](#)

パワフルクリーニングの方法

プリントヘッドは、インクを吐出する重要な部品です。定期的かつ適切なメンテナンスが必要です。ミディアムクリーニングでドット抜けなどが直らないときは、より強力な「パワフルクリーニング」を行って、プリントヘッドの詰まりを解消してください。

重要

パワフルクリーニングは、ミディアムクリーニングよりもインクの消費量が多く、あまり頻繁に行うとプリントヘッド自身も傷みやすくなります。必要以上に行わないでください。

手順

1. メディアをセットする。
P. 30 メディアのセットアップ
2. [FUNCTION] を押す。
3. [▼] [▶] の順に押して、以下の画面を表示する。

```

クリーニング  ◀▶
テスト プリント ▶▶
  
```

4. [ENTER] を押す。
テストパターンが印刷されます。
5. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```

クリーニング  ◀▶
パワフル      ◀
  
```

6. [ENTER] を押して決定する。
以下の画面が表示され、クリーニングを開始します。画面には、この工程の残り時間（目安）が表示されます（以下の表示は例です。[01:45] の表示は「1分45秒」を意味します）。

```

クリーニング システム...
>>           01:45
  
```

終了すると以下の画面に戻ります。

```

クリーニング  ◀▶
パワフル      ◀
  
```

7. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```

クリーニング  ◀▶
テスト プリント ▶▶
  
```

8. [ENTER] を押す。
もう一度テストプリントを行って、ドット抜けやドットよれが無くなったか確認します。

メモ

- ドット抜けやドットよれが無くならなかった場合は、もう一度パワフルクリーニングを行ってください

- パワフルクリーニングを数回行ってもドット抜けやドットよれなどが直らないときは、「マニュアルクリーニング」を行ってください

関連情報

- [P. 249 ミディアムクリーニングの方法](#)
- [P. 254 マニュアルクリーニングの方法](#)

マニュアルクリーニング

マニュアルクリーニングが必要なタイミング

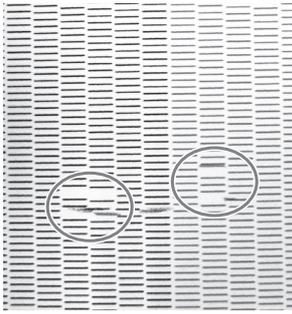
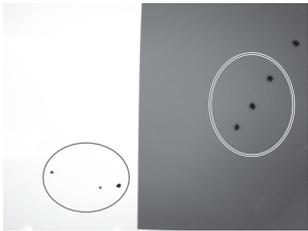
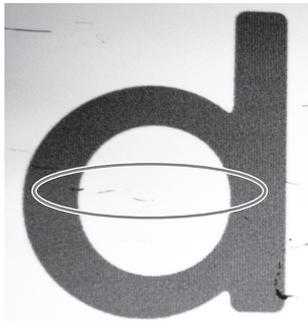
プリントヘッドは、インクを吐出する重要な部品です。定期的かつ適切なメンテナンスが必要です。マニュアルクリーニングは適切なタイミングで行うことが重要です。

毎日の作業終了後

一日の作業が終わったあとに必ずマニュアルクリーニングを実施してください。

パワフルクリーニングでも改善しない症状が出たとき

次のような症状が出て、パワフルクリーニングの効果が無いときは、マニュアルクリーニングを実施してください。

ドット抜け/ドットよれ	インクボタ落ち	引きずり
		
プリントヘッドに埃などが付着し、正常なインク吐出を妨げている状態です。	プリントヘッド周りに付着した汚れにインクが溜まり、メディアに垂れ落ちてしまいます。	プリントヘッド周りに付着した汚れがメディアに接触して起こる現象です。

メモ

- ワイパーの交換も症状の改善に効果的です。
- プリントヘッドは消耗部品です。お使いの頻度により、定期的な交換が必要です。

関連情報

- P. 278 ワイパーの交換

マニュアルクリーニングの方法

一日の作業が終わったあとに必ずマニュアルクリーニングを実施してください。夜間、無人で印刷をさせたい場合は、その印刷データを送るまえにマニュアルクリーニングを実施してください。

⚠ 注意

印刷直後は清掃しないこと。(印刷後約 15 分待つ)
UV 照射装置周辺が熱く、やけどすることがあります。

⚠ 警告

必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。
機械が思わぬ動作をして、けがをすることがあります。

重要

作業にあたってのお願い

- この作業はメディアを取り外してから行ってください
- プリントヘッドの乾燥を防ぐため、10 分以内に作業を終わらせてください。10 分を過ぎると警告音が鳴ります
- 付属のクリーニングスティック以外は使わないでください。綿棒などの毛羽の出るものはかえてプリントヘッドを傷めます
- 付属の洗浄液以外は使わないでください
- クリーニングスティックはクリーニングのたびに 1 本ずつ使いきってください。クリーニングスティックの使いまわしは印刷結果に悪影響を与えます
- 清掃に使ったクリーニングスティックを洗浄液の中に浸さないでください。洗浄液が劣化します
- プリントヘッド表面（ノズル面）はこすらないでください
- スポンジ部分のごく軽くなでるようにします。こすったり押しつぶしたりしないでください
- クリーニングスティック、または洗浄液を使い切ったら、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト (<https://www.rolanddg.co.jp/>) をご覧ください

クリーニング中に警告音がなったときは

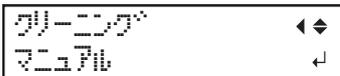
- 作業開始から 10 分が経過すると警告音が鳴ります。作業を一時中断し、すべてのカバーを閉めてから [ENTER] を押し、マニュアルクリーニングモードを終了させます。その後、はじめの手順から作業を再開してください。

必要なもの	
	
クリーニングスティック	洗浄液

1. プリントヘッドを清掃する

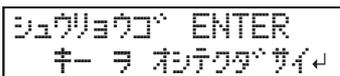
手順

1. メディアを取り外す。
2. メディアクランプを取り外す。
3. [FUNCTION] を押す。
4. [▶] を押す。
5. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



クリーニング ◀▶
マニュアル ↵

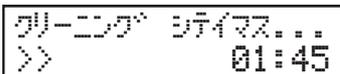
6. [ENTER] を押す。
メディアクランプ取り外しのメッセージが表示されたときは、再度 [ENTER] を押してください。[シバラク オマチ クダサイ..] と表示された後、以下の画面が表示されます。
また、プリントヘッドがプラテンの左端まで移動します。



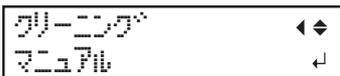
クリーニング◀▶ ENTER
キーヲオシテクダサイ↵

重要

ここではまだ [ENTER] を押さないでください。[ENTER] は、クリーニング終了後に押します。ここで [ENTER] を押してしまった場合は、下図のように画面が遷移するまで待ち、もう一度 [ENTER] を押してください。

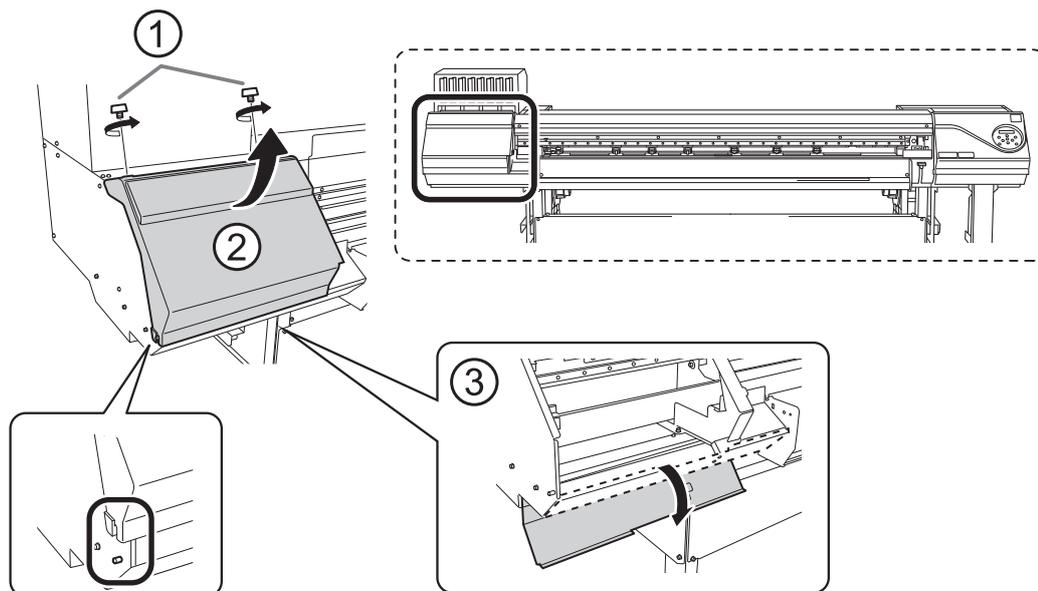


クリーニング◀▶ シテイマス...
>> 01:45

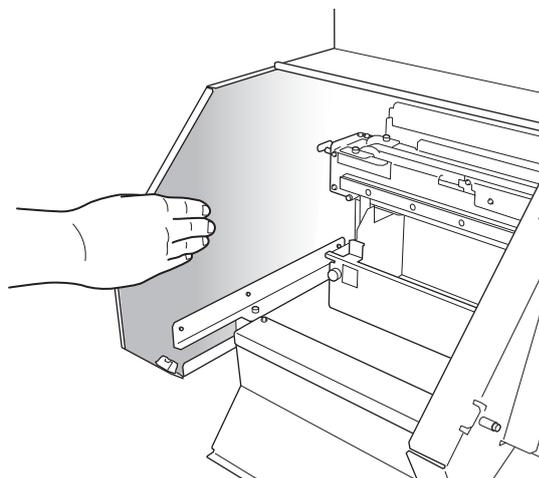


クリーニング ◀▶
マニュアル ↵

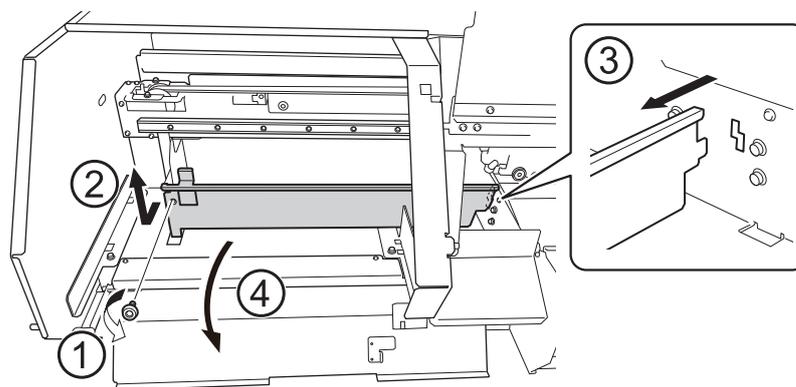
7. フロントカバーを開ける。
8. カバーL (上下) を開ける。



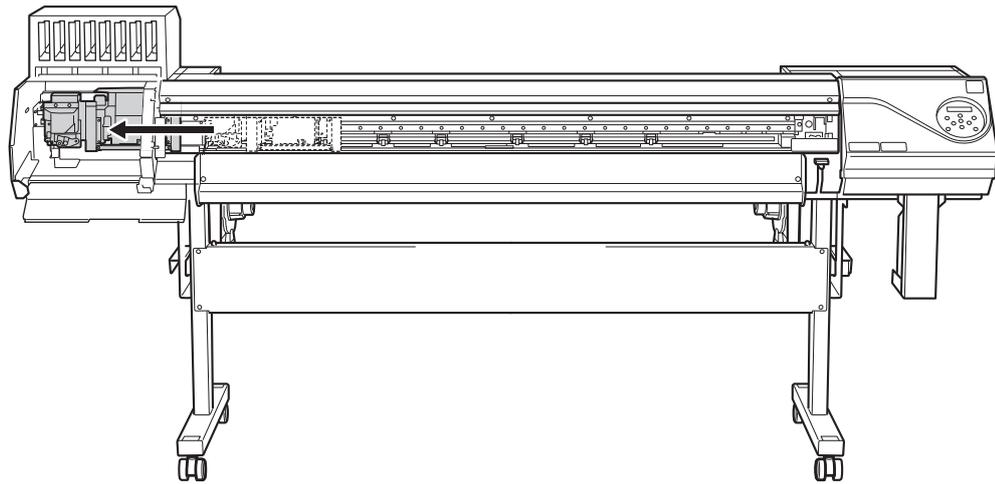
9. 図の位置をさわって作業者の静電気を逃がす。



10. カットレールを取り外す。



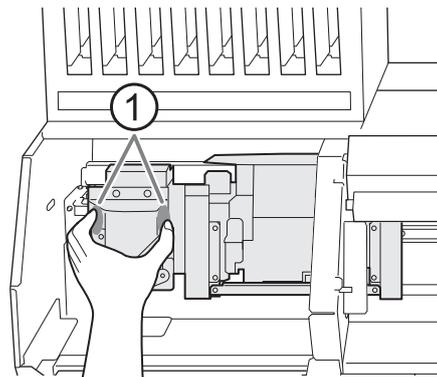
11. プリントヘッドキャリッジを左端へ移動する。



プリントヘッドキャリッジを手で持って移動してください。

⚠ 注意

プリントヘッドキャリッジを手で移動するときは、必ず指定位置を持つこと。
指定以外の場所を持って動かすと、カバーが変形して破損することがあります。

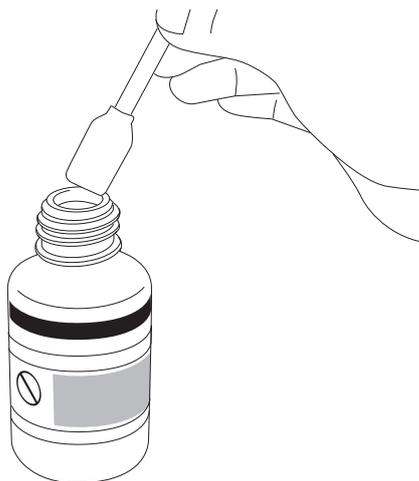


①：手で持つ場所

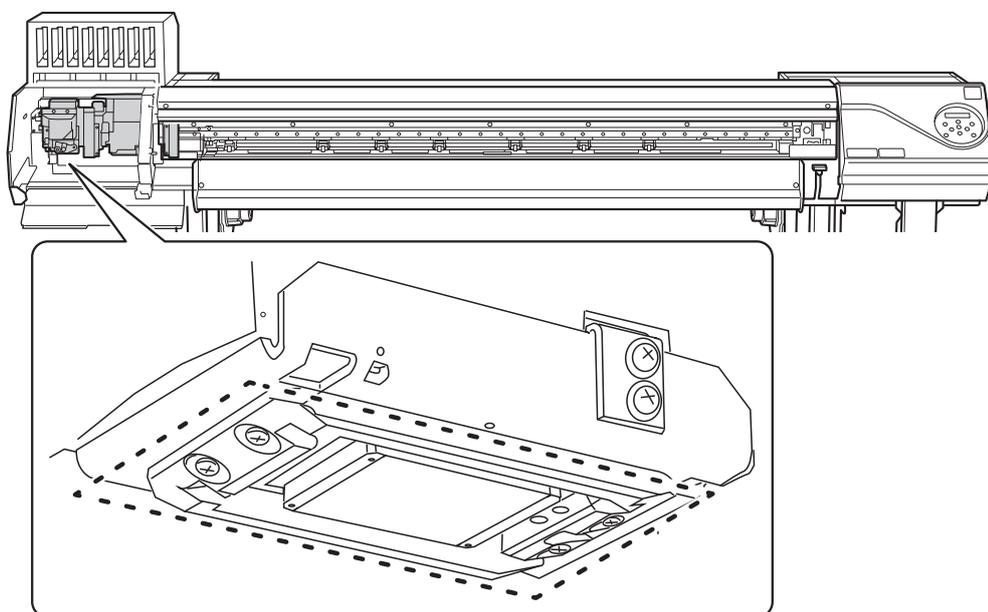
12. クリーニングスティックに洗浄液をたっぷり染み込ませる。

重要

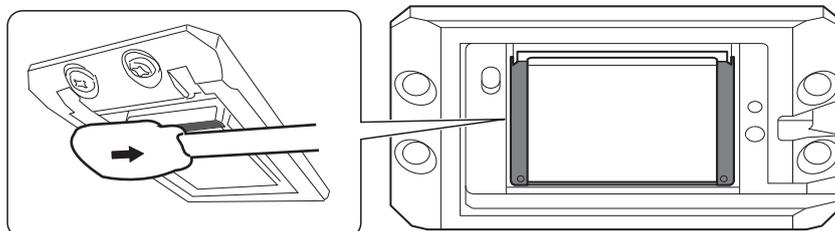
必ず付属のクリーニングスティックを使用すること。



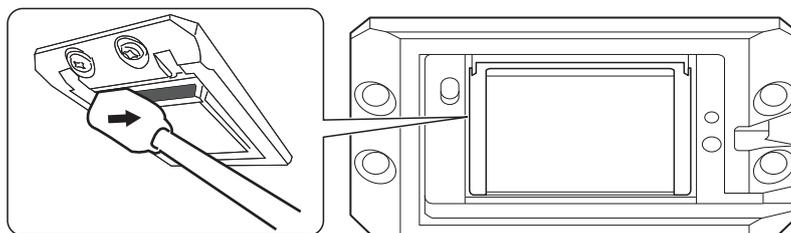
13. 下図の場所を清掃する。
特に繊維状のほこりをよく清掃してください。



- (1) クリーニングスティックの広い面を当て左側を拭いたあと、汚れていない反対の面を当てて右側を拭く。

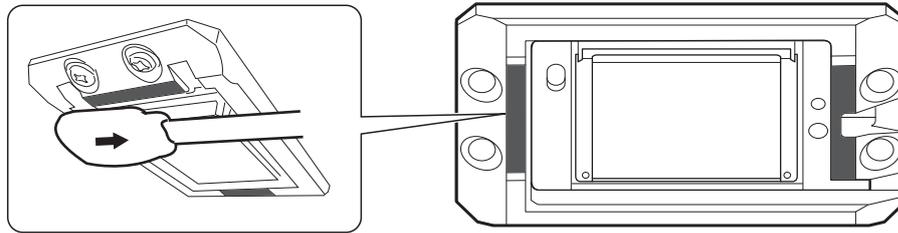


- (2) クリーニングスティックを縦にして左側を拭いたあと、反対の面を当てて右側を拭く。

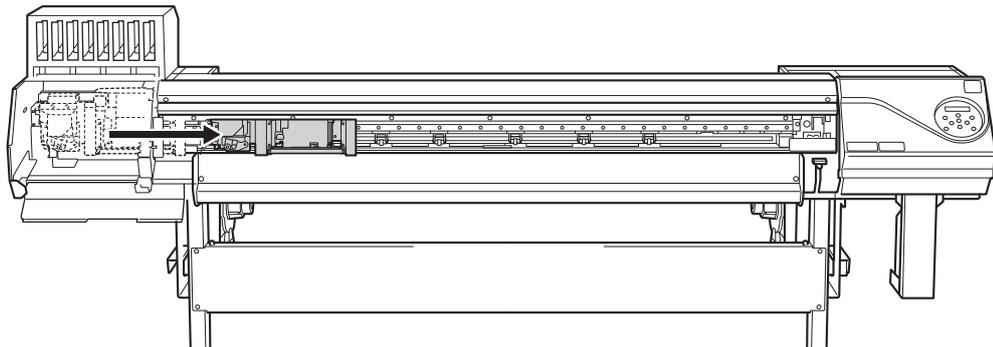


(3) クリーニングスティックの広い面を使って、図の場所の汚れを拭き取る。

この部分に垂れそうなインクや洗浄液が残っている場合は、毛羽立たない乾いた布でやさしく拭き取ってください。



14. 清掃が終了したら、プリントヘッドキャリッジをプラテンの上まで移動する。

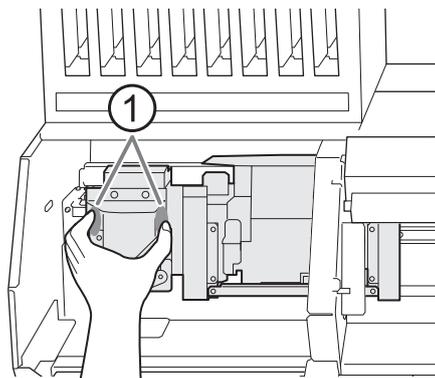


プリントヘッドキャリッジを手で持って移動してください。

⚠ 注意

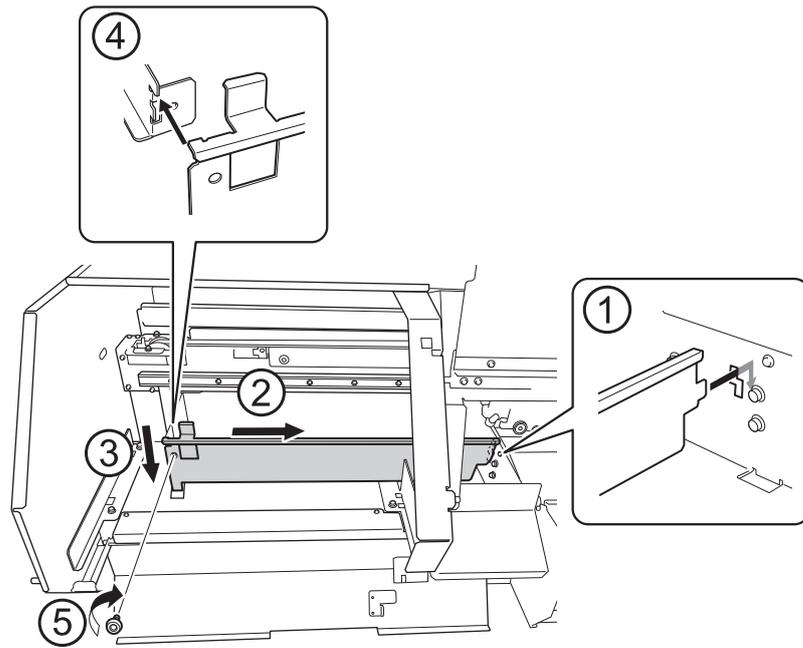
プリントヘッドキャリッジを手で移動するときは、必ず指定位置を持つこと。

指定以外の場所を持って動かすと、カバーが変形して破損することがあります。



①：手で持つ場所

15. カットレールを取り付ける。

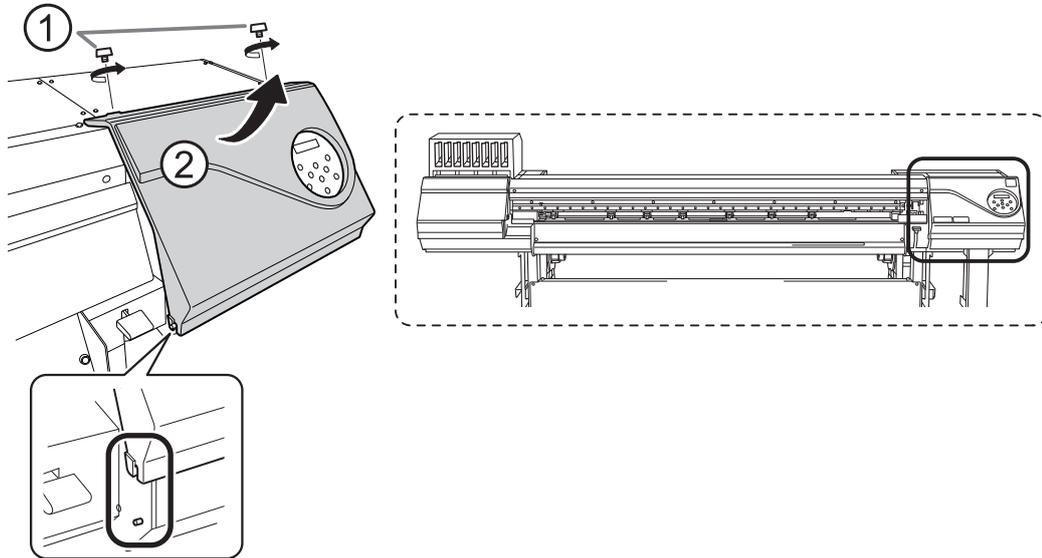


16. カバーL (上下) を閉じる。

2. プリントヘッドキャップを清掃する

手順

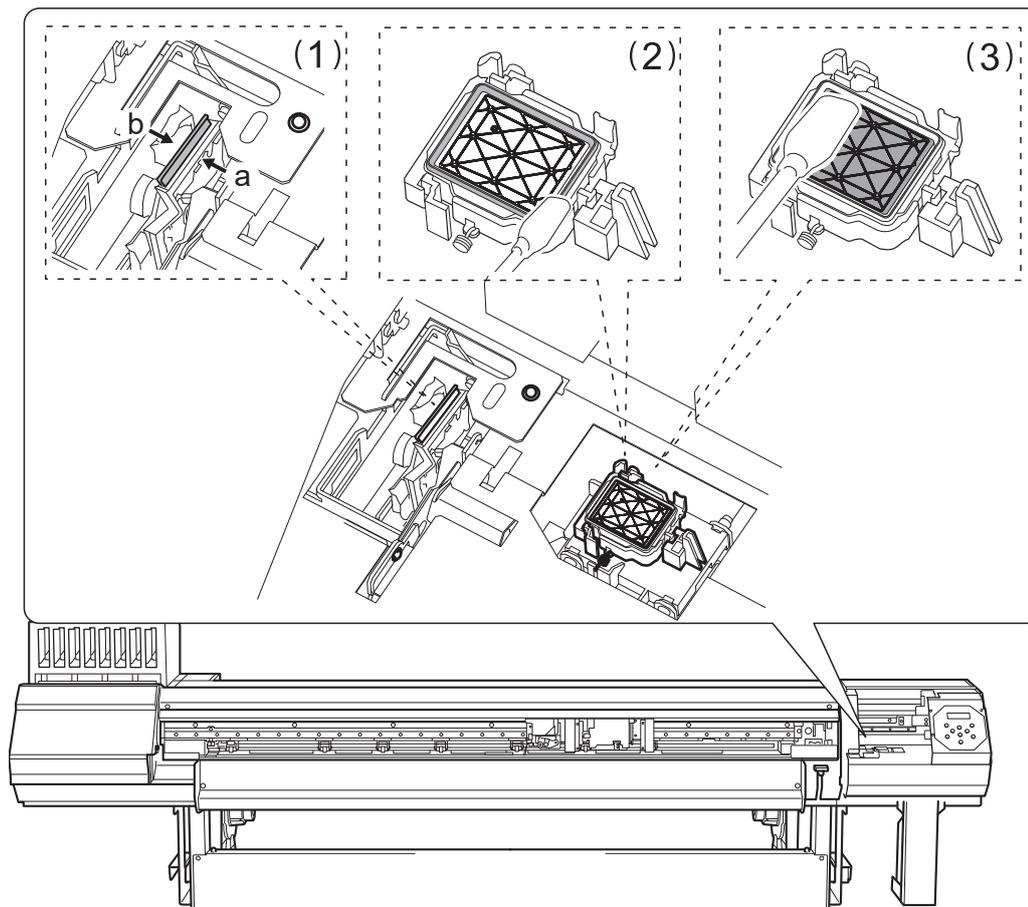
1. カバー R を開ける。



2. 下図の場所を清掃する。

特に繊維状のほこりをよく清掃してください。

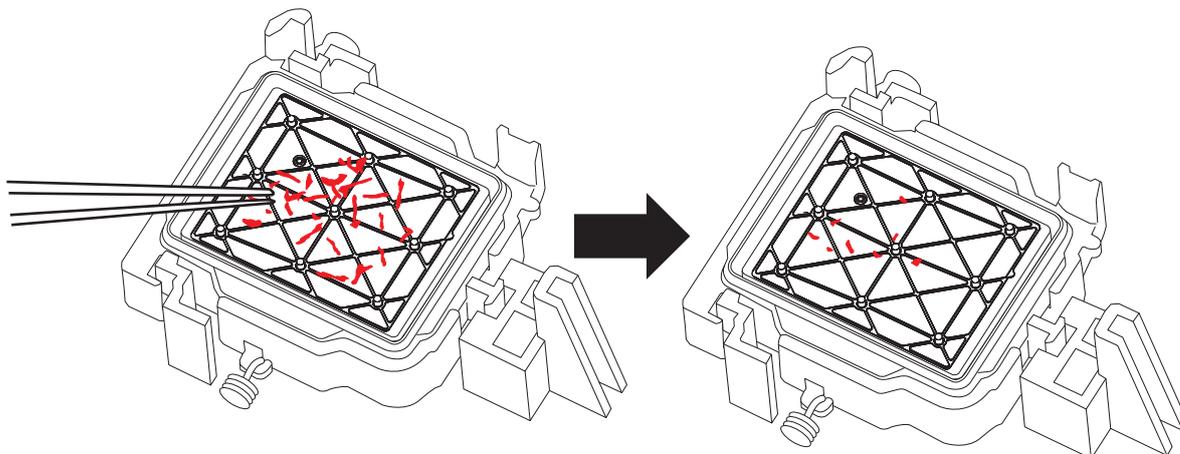
- (1) ワイパーのかぎ爪側 (a) をクリーニングスティックで拭き取ったあと、反対側 (b) を拭き取る。
- (2) 図の場所をクリーニングスティックで拭き取る。
- (3) クリーニングスティックの広い面を使い、場所をずらしながら押し当てて、汚れを吸い取る。



3. プリントヘッドキャップの上にインクの硬化したものがあある場合、取り除く。
ピンセットを使って、長さ 3 mm 以上のインク硬化物を取り除いてください。

重要

取りにくいインク硬化物を無理に引っ張らないでください。プリントヘッドキャップが破損する恐れがあります。



4. カバー R を閉じる。
5. フロントカバーを閉じる。

6. [ENTER] を押す。

```

シュウリョウコ` ENTER
キーヲ オシテクダサイ↓
    
```

以下の画面が表示され、クリーニングを開始します。画面には、この工程の残り時間（目安）が表示されます（以下の表示は例です。[01:45] の表示は「1分45秒」を意味します）。

```

クリーニング` システムス...
>>                01:45
    
```

クリーニングが終了すると、以下の画面に戻ります。

```

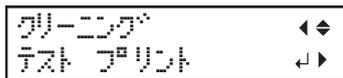
クリーニング`      ◀▶
マニュアル        ↓
    
```

7. [FUNCTION] を押して、もとの画面に戻る。

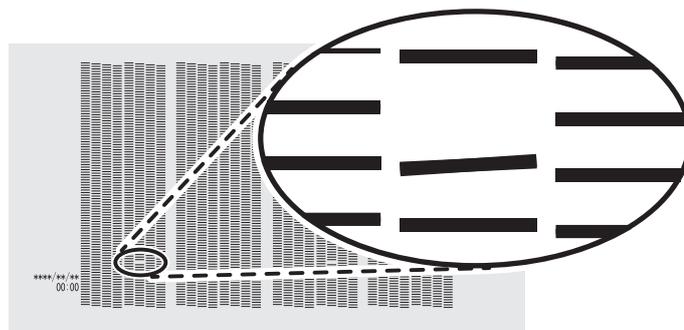
3. テストプリントを実施して結果を確認する

手順

1. メディアをセットする。
P. 30 メディアのセットアップ
2. [FUNCTION] を押す。
3. [▼] [▶] の順に押して、以下の画面を表示する。



4. [ENTER] を押す。
テストパターンの印刷を開始します。
5. テストパターンにドット抜けやドットよれがないか確認する。
ブロックに欠けがあると、ドット抜けの状態です。ブロックに崩れや傾きがあると、ドットよれの状態です。



6. フロントカバーを開けた場合は、フロントカバーを閉じる。
ドット抜けやドットよれが無い場合は、この作業は終了です。[FUNCTION] を押して、もとの画面に戻ってください。

ドット抜けやドットよれがある場合は、ノーマルクリーニングなどのクリーニングを実施してください。

関連情報

- P. 225 テストプリントとノーマルクリーニング
- P. 249 ミディアムクリーニングの方法
- P. 251 パワフルクリーニングの方法

4. マニュアルクリーニングに関する消耗品、消耗部品について

クリーニングスティック、洗浄液、プリントヘッドは消耗品、または消耗部品です。

- マニュアルクリーニングで使用するクリーニングスティックと洗浄液を使い切ったら、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト (<https://www.rolanddg.co.jp/>) をご覧ください
- プrintヘッドは消耗部品です。ご使用の頻度により定期的な交換が必要です。お買い上げの販売店または当社コールセンターまでお問い合わせください

ホワイトインクの色ムラが発生したとき

インク循環の方法

インクカートリッジを振ってインクを攪拌させてもホワイトインクの色ムラが直らない場合は、「インク循環」を行ってください。色ムラとは、同じデータを同じ設定で出力しても濃淡が異なるなど、出力色にムラがある症状です。

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



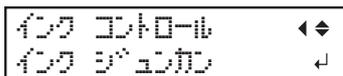
```
メニュー      ◀▶
サブメニュー  ▶
```

3. [▶] を1回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



```
サブメニュー  ◀▶
インクコントロール ▶
```

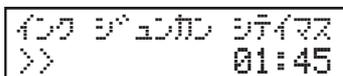
4. [▶] を1回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



```
インクコントロール ◀▶
インクジェンカ      ◀
```

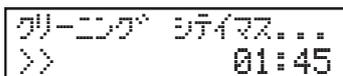
5. [ENTER] を押す。

以下の画面が表示され、インク循環が開始されます。画面には、この工程の残り時間（目安）が表示されます（以下の表示は例です。[01:45] の表示は「1分45秒」を意味します）。



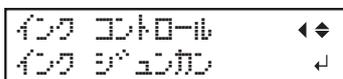
```
インクジェンカ システム
>>                      01:45
```

インク循環を開始するタイミングによっては、以下の画面が表示されてクリーニングを開始することがあります。クリーニングが終了するとインク循環を開始しますので、そのままお待ちください（以下の表示は例です。[01:45] の表示は「1分45秒」を意味します）。



```
クリーニング システム...
>>                      01:45
```

終了すると以下の画面に戻ります。



```
インクコントロール ◀▶
インクジェンカ      ◀
```

ライトチョーククリーニングの方法

インク循環を行っても症状が改善しないときは、「ライトチョーククリーニング」を行ってください。
ライトチョーククリーニングによってインクを攪拌し、出力色が安定するようにします。

重要

ライトチョーククリーニングはインクの消費量が多く、あまり頻繁に行うとプリントヘッド自身も傷みやすくなります。
必要以上に行わないでください

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
メニュー          ◀▶
サブメニュー      ▶
```

3. [▶] を1回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
サブメニュー      ◀▶
インクコントロール ▶
```

4. [▶] を1回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
インクコントロール ◀▶
ライトチョーククリーニング▶
```

5. [ENTER] を押す。

以下の画面が表示され、クリーニングを開始します。画面には、この工程の残り時間（目安）が表示されます（以下の表示は例です。[01:45] の表示は「1分45秒」を意味します）。

```
クリーニング° システムス...
>>                01:45
```

メモ

クリーニング中に [ハイエキ ヲ ステテクダサイ] と表示されたら

```
ハイエキ ヲ ステテクダサイ
◀
```

1. 廃液ボトルを取り外して廃液を捨てて空にする。
2. 空にした廃液ボトルを速やかに再び取り付ける。
3. [ENTER] を押す。



重要

廃液ボトルを取り外すと、本体から廃液が数滴出てくる場合があります。手についたり、床を汚したりしないようご注意ください。

警告

廃液やインクを火気の近くに置かない。
火災の原因になります。

注意

画面に【ハイエキ ヲ ステテクダサイ】と表示されてから、廃液ボトルを外すこと。廃液を捨てたら、速やかに廃液ボトルを本体に取り付けること。
手順を守らないと、本体から廃液が出てきて、廃液が手についたり、こぼれて床を汚したりすることがあります。

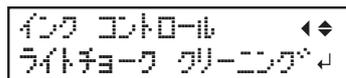
注意

廃液を一時的に保管するには、付属の廃液ボトル、金属缶やポリタンクなどの丈夫な密閉容器に入れ、ふたをきちんと閉じること。
こぼれたり蒸気がもれたりすると、火災につながったり臭いで気分が悪くなったりすることがあります。

重要

廃液は、地域の条例に従い、適切な方法で処理してください。
廃液には引火性があり、有害な成分も含まれています。廃液を焼却したり、一般のゴミと一緒に廃棄したりしないでください。また、下水や河川に流さないでください。環境に影響を及ぼす恐れがあります。

クリーニングが終了すると以下の画面に戻ります。



6. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。
「ライトチョーククリーニング」を行っても出力色が安定しない場合は、「インク更新」を行ってください。

関連情報

- P. 271 インク更新の方法

ホワイトインク以外の色ムラが発生したとき

ライトチョーククリーニングの方法

同じデータを同じ設定で出力しても濃淡が異なるなど、出力色にムラがあって安定しない場合には、ライトチョーククリーニングを行ってください。インクを攪拌することで出力色が安定するようにします。

重要

ライトチョーククリーニングはインクの消費量が多く、あまり頻繁に行うとプリントヘッド自身も傷みやすくなります。必要以上に行わないでください

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



メニュー ◀▶
サブメニュー ▶

3. [▶] を1回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



サブメニュー ◀▶
インクコントロール ▶

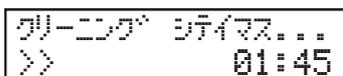
4. [▶] を1回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



インクコントロール ◀▶
ライトチョーククリーニング ◀▶

5. [ENTER] を押す。

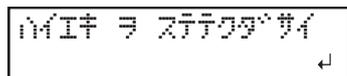
以下の画面が表示され、クリーニングを開始します。画面には、この工程の残り時間（目安）が表示されます（以下の表示は例です。[01:45] の表示は「1分45秒」を意味します）。



クリーニング シテイマス...
>> 01:45

メモ

クリーニング中に [ハイエキ ヲ ステテクダサイ] と表示されたら



ハイエキ ヲ ステテクダサイ ◀▶

1. 廃液ボトルを取り外して廃液を捨てて空にする。
2. 空にした廃液ボトルを速やかに再び取り付ける。
3. [ENTER] を押す。



重要

廃液ボトルを取り外すと、本体から廃液が数滴出てくる場合があります。手についたり、床を汚したりしないようご注意ください。

警告

廃液やインクを火気の近くに置かない。
火災の原因になります。

注意

画面に【ハイエキ ヲ ステテクダサイ】と表示されてから、廃液ボトルを外すこと。廃液を捨てたら、速やかに廃液ボトルを本体に取り付けること。
手順を守らないと、本体から廃液が出てきて、廃液が手についたり、こぼれて床を汚したりすることがあります。

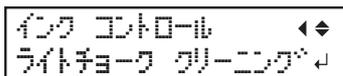
注意

廃液を一時的に保管するには、付属の廃液ボトル、金属缶やポリタンクなどの丈夫な密閉容器に入れ、ふたをきちんと閉じること。
こぼれたり蒸気がもれたりすると、火災につながったり臭いで気分が悪くなったりすることがあります。

重要

廃液は、地域の条例に従い、適切な方法で処理してください。
廃液には引火性があり、有害な成分も含まれています。廃液を焼却したり、一般のゴミと一緒に廃棄したりしないでください。また、下水や河川に流さないでください。環境に影響を及ぼす恐れがあります。

クリーニングが終了すると以下の画面に戻ります。



6. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

「ライトチョーククリーニング」を行っても出力色が安定しない場合は、「インク更新」を行ってください。

関連情報

- P. 271 インク更新の方法

重度のドット抜け、ドットよれ、色むらへの対応

インク更新の方法

クリーニング機能（ノーマル、ミディアム、パワフル）やマニュアルクリーニングを行ってもドット抜けなどインクの吐出不良が直らない場合は、以下の操作を行ってください。

重要

この操作ではインクを多量に排出します。他のクリーニング（ノーマル、ミディアム、パワフル、マニュアル）を行っても、どうしてもドット抜け、ドットよれ、色ムラなどのインク吐出不良が直らない場合にだけ行ってください。

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
メニュー          ◀▶
サブメニュー      ▶
```

3. [▶] を1回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
サブメニュー      ◀▶
インクコントロール ▶
```

4. [▶] を1回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
インクコントロール ◀▶
インクコウジン      ◀
```

5. [ENTER] を押す。

以下の画面が表示され、インク更新を開始します。画面には、この工程の残り時間（目安）が表示されます（以下の表示は例です。[01:45] の表示は「1分45秒」を意味します）。

```
インクコウジン システムズ
>>                01:40
```

メモ

〔ハイエキ ヲ ステテクダサイ〕と表示されたら

```
ハイエキ ヲ ステテクダサイ◀
                               ◀
```

1. 廃液ボトルを取り外して廃液を捨てて空にする。
2. 空にした廃液ボトルを速やかに再び取り付ける。
3. [ENTER] を押す。



重要

廃液ボトルを取り外すと、本体から廃液が数滴出てくる場合があります。手についたり、床を汚したりしないようご注意ください。

警告

廃液やインクを火気の近くに置かない。
火災の原因になります。

注意

画面に【ハイエキ ヲ ステテクダサイ】と表示されてから、廃液ボトルを外すこと。廃液を捨てたら、速やかに廃液ボトルを本体に取り付けること。
手順を守らないと、本体から廃液が出てきて、廃液が手についたり、こぼれて床を汚したりすることがあります。

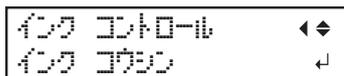
注意

廃液を一時的に保管するには、付属の廃液ボトル、金属缶やポリタンクなどの丈夫な密閉容器に入れ、ふたをきちんと閉じること。
こぼれたり蒸気がもれたりすると、火災につながったり臭いで気分が悪くなったりすることがあります。

重要

廃液は、地域の条例に従い、適切な方法で処理してください。
廃液には引火性があり、有害な成分も含まれています。廃液を焼却したり、一般のゴミと一緒に廃棄したりしないでください。また、下水や河川に流さないでください。環境に影響を及ぼす恐れがあります。

クリーニングが終了すると以下の画面に戻ります。



6. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

関連情報

- P. 225 テストプリントとノーマルクリーニング
- P. 249 ミディアムクリーニングの方法

- [P. 251 パワフルクリーニングの方法](#)
- [P. 253 マニュアルクリーニング](#)

印刷に使用するプリントヘッドを部分的に制限する

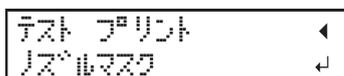
インク更新を行ってもドット抜けやドットよれが改善しない場合、吐出不良を起こしているプリントヘッドを部分的に使用しないようにします。この操作を「ノズルマスク」といい、印刷スピードは遅くなりますが、ドット抜けやドットよれの影響を減らすことができます。

まずテストパターン印刷を行い、テスト結果を見て、使用するノズルグループを選択します。その後、VersaWorks を使用して印刷に使用するノズルグループを選択する作業を行います。

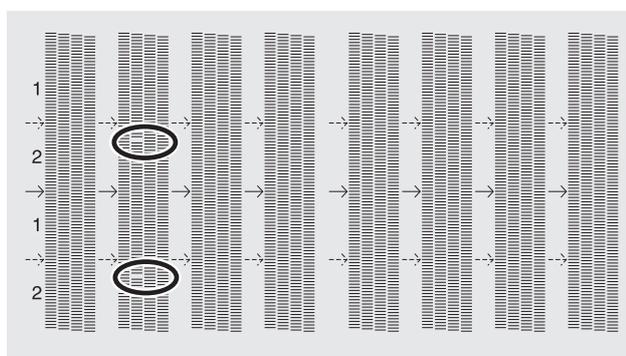
1. ノズルマスク用のテストプリントを行う

手順

1. メディアをセットする。
P. 30 メディアのセットアップ
2. [FUNCTION] を押す。
3. [▼] を 1 回 [▶] を 2 回押して、以下の画面を表示する。



4. [ENTER] を押す。
テストパターンの印刷を開始します。
5. テストプリントの結果を見て、ドット抜けやドットよれのあるノズルグループを確認する。
「1」または「2」がノズルグループです。下記ではノズルグループ 2 にドット抜けがあります。



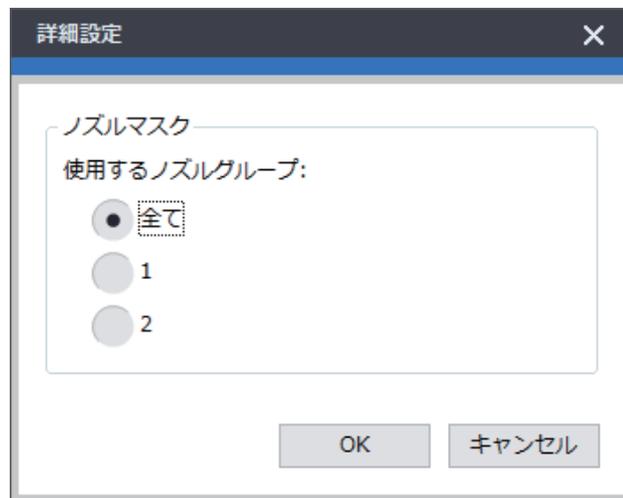
メモ

テストプリントの結果がわかりにくいときは
明るい場所で視線を変えながら結果を確認してください。光の反射を利用して目視が可能です。

2. 印刷に使用するプリントヘッドを限定する

手順

1. VersaWorks を起動する。
2. [プリンター]>[プリンターの設定]をクリックする。
[プリンターの設定]ダイアログボックスが表示されます。
3. [プリンターの一覧] からプリントヘッドを限定するプリンターを選択する。
4. [詳細設定]をクリックする。
[詳細設定]ダイアログボックスが表示されます。
5. テストプリントの結果から、印刷に使用するノズルグループを選択する。
選択できるノズルグループの番号はお使いの機種、またはファームウェアバージョンによって異なります。テストプリント結果に合わせて、適切なグループ番号を選択してください。



6. [OK]をクリックする。
[詳細設定]ダイアログボックスを閉じます。
7. [OK]をクリックする。
[プリンターの設定]ダイアログボックスを閉じます。
設定を変更したプリンターのイメージ画像の上に  のアイコンが表示されます。

関連情報

- VersaWorks マニュアル (<https://webmanual.rolanddg.com/VersaWorks6>)

応急処置) プリントヘッド表面のクリーニング

何度クリーニングしてもドット抜けやドットよれが改善しない場合は、応急処置として、プリントヘッド表面をクリーニングする方法があります。プリントヘッド表面（ノズル面）はとても繊細な機構となっていますので、作業はていねいかつ慎重に行ってください。

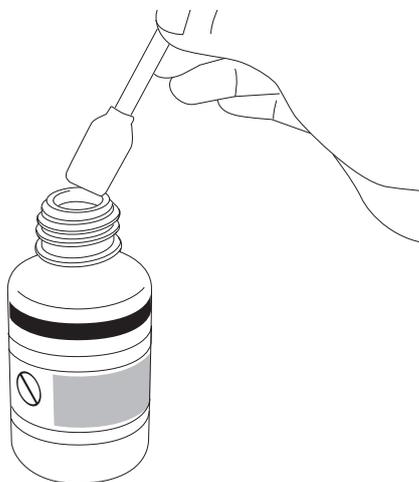
この作業は応急的処置です。症状によっては正常な箇所を傷め、さらに症状の悪化を招くことがあります。ご不明な点は、お買い上げの販売店または当社コールセンターまでお問い合わせください。

手順

1. クリーニングスティックに洗浄液をたっぷり染み込ませる。

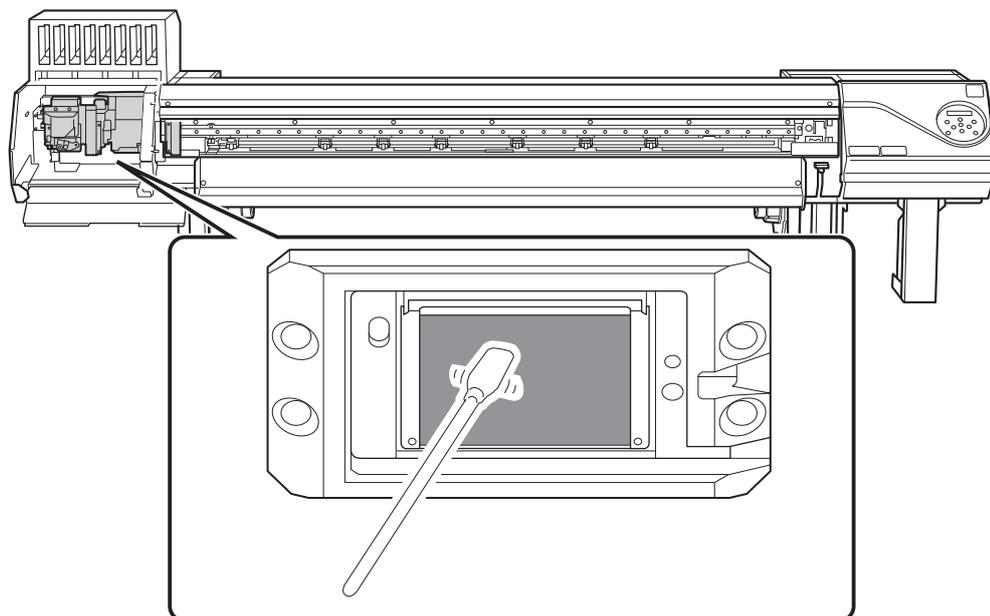
重要

必ず付属のクリーニングスティックを使用すること。



2. プリントヘッド表面（ノズル面）にクリーニングスティックをそっと軽く押し当てる。

プリントヘッド表面（ノズル面）に洗浄液が染み込むように、やさしくそっと押し当ててください。決してスティックをこすりつけたり、力強く押し当てたりしないようにしてください。



消耗部品の交換

メンテナンス用部品の交換.....	278
ワイパーの交換.....	278
フェルトワイパーの交換.....	282
刃物の交換.....	285
カッターの交換.....	285
セパレーティングナイフ（メディア切り離し用ナイフ）の交換.....	291
消耗部品、消耗品のお問い合わせについて	294
お客様ご自身でご購入、交換作業ができるもの.....	294
交換前にお問い合わせが必要なもの	294

メンテナンス用部品の交換

ワイパーの交換

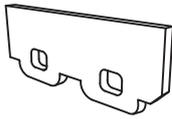
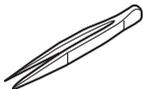
ワイパーはプリントヘッドのクリーニングに使われる部品です。
以下の画面が表示されたら交換時期です。

```
ワイパー - コウカンノ  
シキテマス
```

ワイパーの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト (<https://www.rolanddg.co.jp/>) をご覧ください。

⚠ 注意

必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。
本機が突然動き、けがをすることがあります。

必要なもの			
			
ワイパー	ピンセット	クリーニングスティック	洗浄液

手順

1. 以下の画面が表示されたら、[ENTER] を押す。

```
ワイパー - コウカンノ  
シキテマス
```

2. メディアを取り外す。
3. メディアクランプを取り外す。
4. [MENU] を押す。

5. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
メニュー ←▶  
サブメニュー ▶
```

6. [▶] を1回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

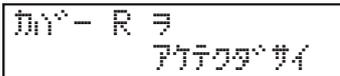
```
サブメニュー ←▶  
メンテナンス ▶
```

7. [▶] を押して、以下の画面を表示する。

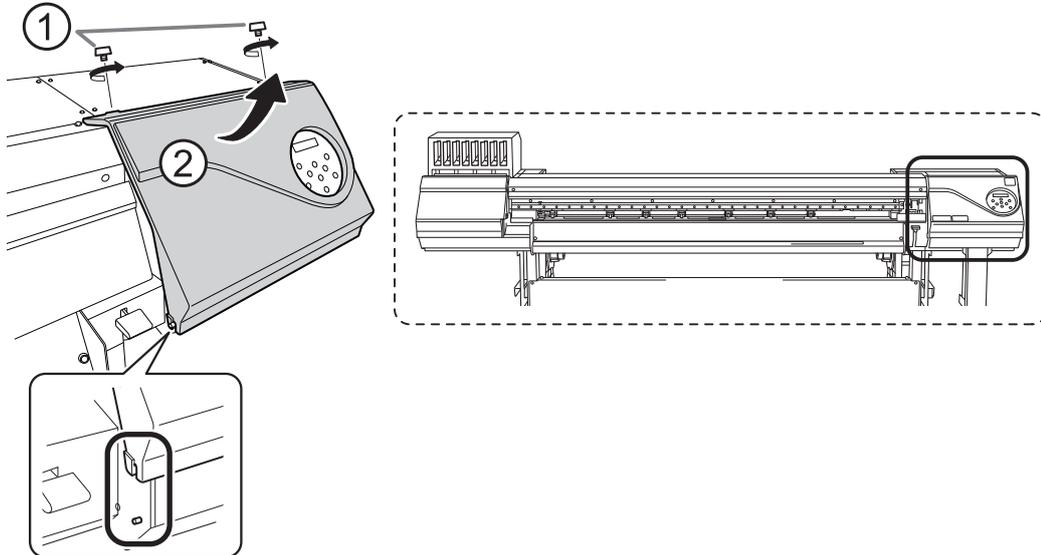
```
メンテナンス ←▶  
ワイパー - コウカンノ ↓
```

8. [ENTER] を押す。

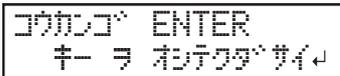
プリントヘッドキャリッジがワイパー交換可能な位置へ移動し、以下の画面が表示されます。



9. カバー R を開ける。

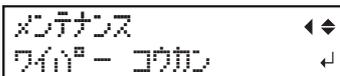


以下の画面が表示されたら準備完了です。

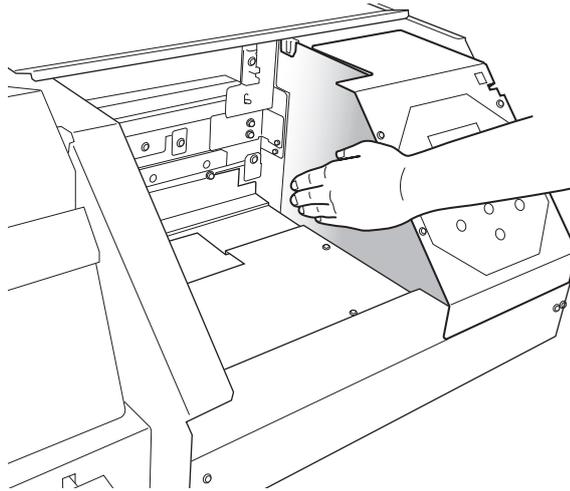


重要

ここではまだ [ENTER] を押さないでください。[ENTER] は、ワイパーの交換後に押します。ここで [ENTER] を押してしまった場合は、[ワイパー ヲ クリーニング シテクダサイ] のメッセージが表示された後、[ENTER] を押してください。その後は、画面の指示に従ってカバー R を閉じ、以下の画面が表示されたらもう一度 [ENTER] を押してください。



10. 図の位置をさわって作業者の静電気を逃がす。



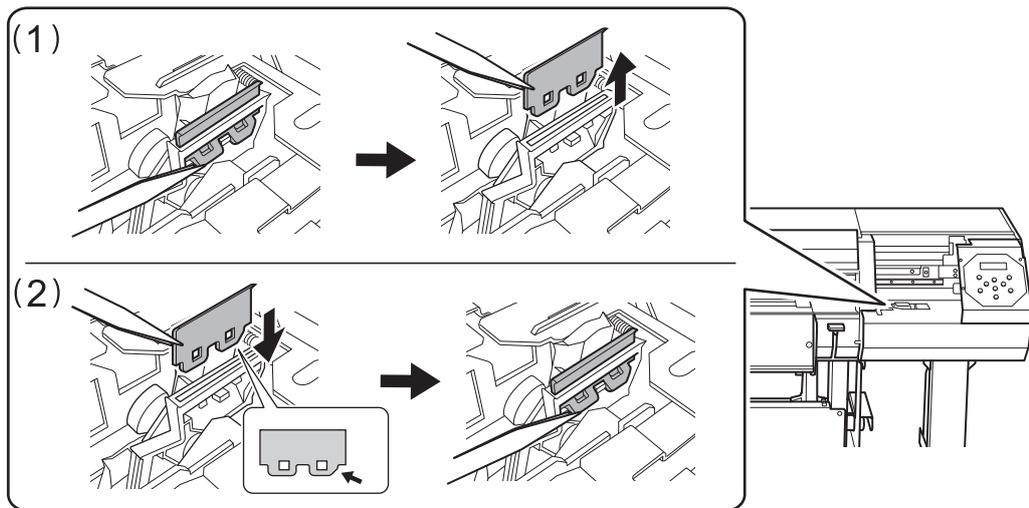
11. ワイパーを交換する。

(1) 古いワイパーを取り外す。

ピンセットを使ってフックを外し、上に引き抜いてください。ワイパーの穴にピンセットを引っ掛けると外れやすいです。

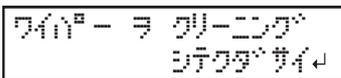
(2) 新しいワイパーを取り付ける。

ワイパーは、傾きのある方を機体の奥側にしてください。向きを間違えると、適切なクリーニングができません。ワイパーの穴を必ずフックに引っ掛けてください。さもないと、ドット抜けなどの原因になります。



12. [ENTER] を押す。

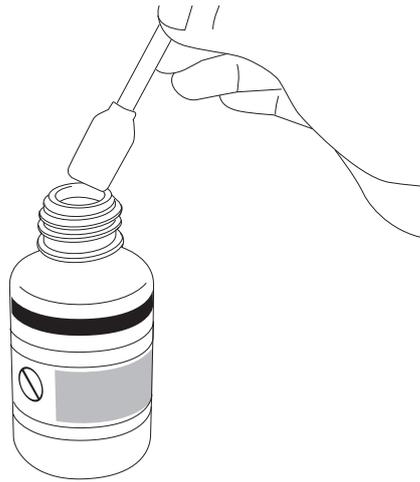
以下の画面が表示されます。



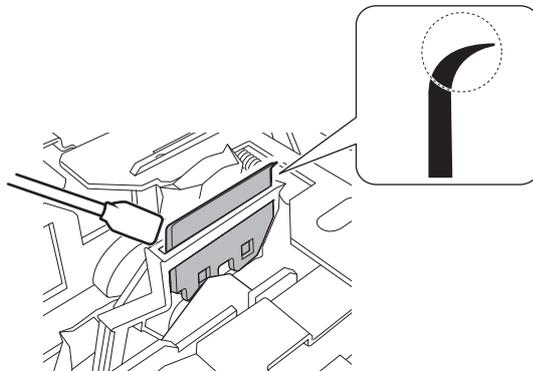
13. クリーニングスティックに洗浄液をたっぷり染み込ませる。

重要

必ず付属のクリーニングスティックを使用すること。



14. 下図の場所を清掃する。



15. [ENTER] を押す。

16. 以下の画面が表示されたら、カバー R を閉じる。

カバー R ラ
トシテクダサイ

以下の画面に戻ったら、ワイパー交換は終了です。

メンテナンス ◀▶
ワイパー コウカン ↓

17. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

フェルトワイパーの交換

フェルトワイパーはプリントヘッドのクリーニングに使われる部品です。
以下の画面が表示されたら交換時期です。

```

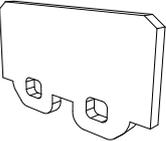
フェルト コウカン /
                シキテス
    
```

フェルトワイパーの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト (<https://www.rolanddg.co.jp/>) をご覧ください。

⚠ 注意

必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。

本機が突然動き、けがをすることがあります。

必要なもの	
	
フェルトワイパー	ピンセット

手順

- 以下の画面が表示されたら、[ENTER] を押す。

```

フェルト コウカン /
                シキテス
    
```

- メディアを取り外す。

- メディアクランプを取り外す。

- [MENU] を押す。

- [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```

メニュー          ◀▶
サブメニュー      ▶
    
```

- [▶] を1回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```

サブメニュー      ◀▶
メンテナンス     ▶
    
```

- [▶] を1回、[▼] を1回押して、以下の画面を表示する。

```

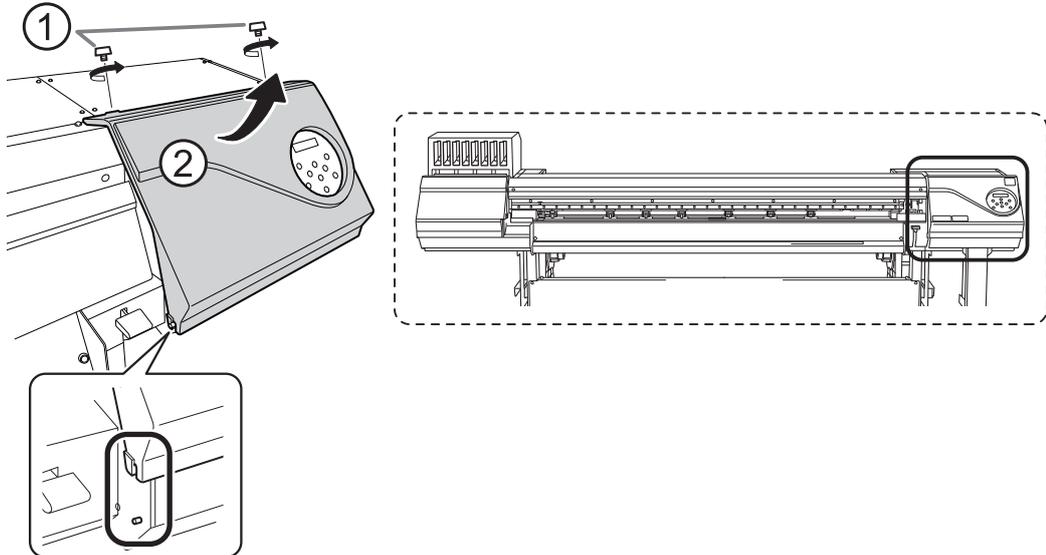
メンテナンス     ◀▶
フェルト コウカン ▶
    
```

- [ENTER] を押す。

プリントヘッドキャリッジがフェルトワイパー交換可能な位置へ移動し、以下の画面が表示されます。

カバー R を
開ける

9. カバー R を開ける。



以下の画面が表示されたら準備完了です。

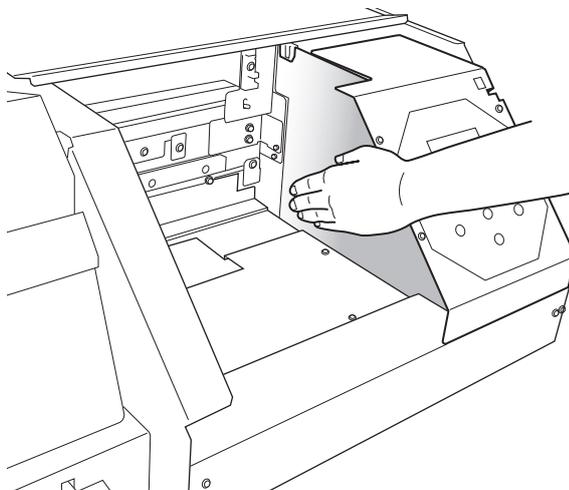
シュリョウゴ ENTER
キー オンテクダサイ

重要

ここではまだ [ENTER] を押さないでください。[ENTER] は、フェルトワイパーの交換後に押します。ここで [ENTER] を押してしまった場合は、画面の指示に従ってカバー R を閉じ、以下の画面が表示されたらもう一度 [ENTER] を押してください。

メンテナンス
フェルト コウカン

10. 図の位置をさわって作業者の静電気を逃がす。



11. フロントカバーを開ける。

フェルトワイパーの取り付け状態が確認しやすくなります。

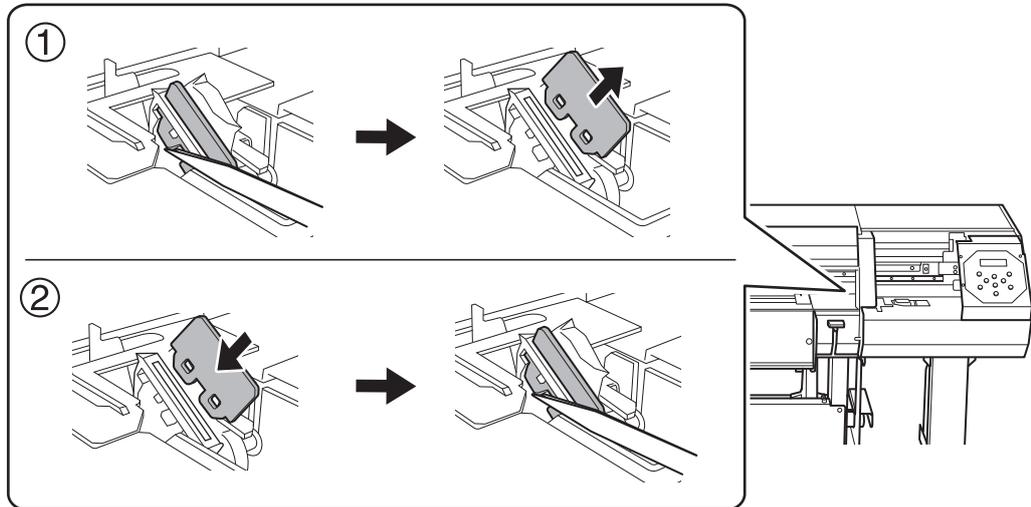
12. フェルトワイパーを交換する。

(1) 古いフェルトワイパーを取り外す。

ピンセットを使ってフックを外し、上に引き抜いてください。フェルトワイパーの穴にピンセットを引っ掛けると外れやすいです。

(2) 新しいフェルトワイパーを取り付ける。

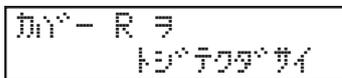
フェルトワイパーの穴を必ずフックに引っ掛けてください。さもないと、ドット抜けなどの原因になります。



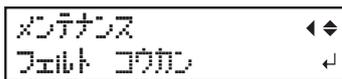
13. フロントカバーを閉じる。

14. [ENTER] を押す。

15. 以下の画面が表示されたら、カバー R を閉じる。



以下の画面に戻ったら、フェルトワイパーの交換は終了です。



16. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

刃物の交換

カッターの交換

カッターの切れ味が悪くなったとき、刃先が欠けたとき、カット品質が悪くなったときは、新しいカッターと交換してください。

⚠ 注意

必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。

本機が突然動き、けがをすることがあります。

⚠ 注意

カッターの刃先に触らない。

けがをすることがあります。またカッターの切れ具合が悪くなります。

必要なもの



交換用カッター

1. カッターを交換する

手順

1. メディアを取り外す。
2. [MENU] を押す。
3. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



4. [▶] を1回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



5. [▶] を1回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。



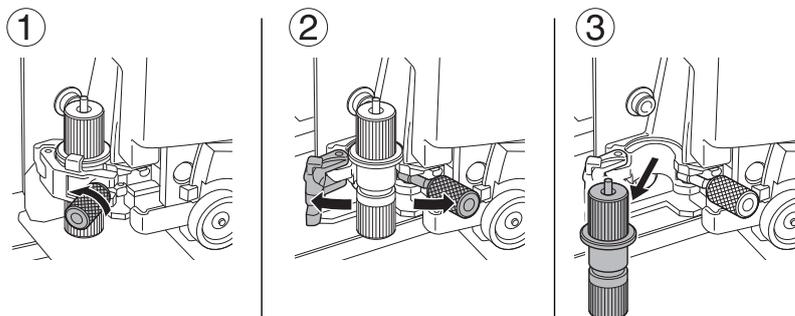
6. [ENTER] を押す。
カッティングキャリッジが交換可能な位置まで移動します。
7. 以下の画面が表示されたら、フロントカバーを開ける。

フロントカッター ラ
アゲテクタサイ

以下の画面が表示されたら準備完了です。

シュウリョウコ ENTER
キー ラ オンテクタサイ

8. カッターホルダーを取り外す。

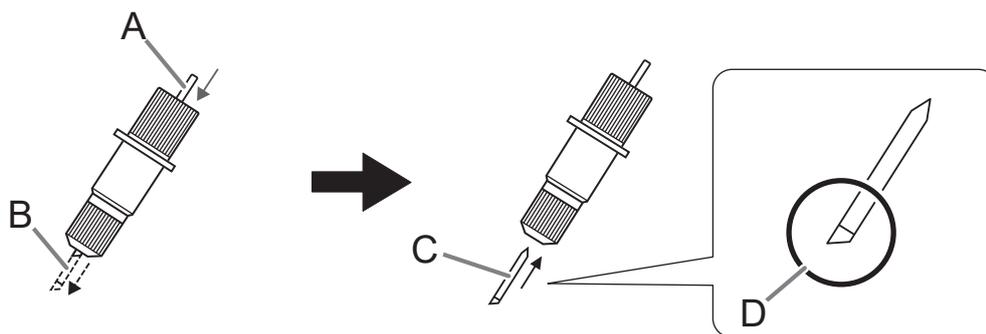


9. カッターを交換する。

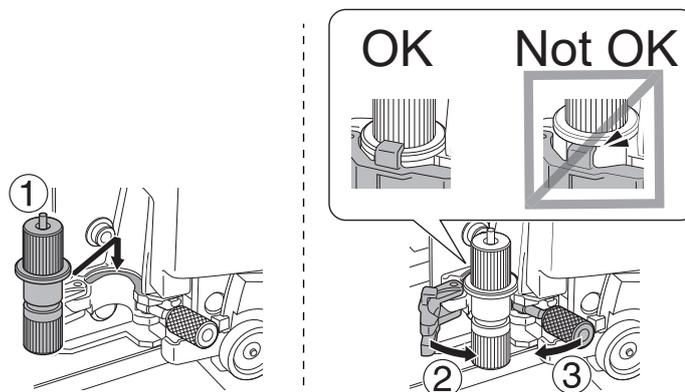
(1) ピン (A) を押して古いカッター (B) を押し出す。

(2) 新しいカッター (C) を差し込む。

刃先 (D) の向きを間違えないようにしてください。

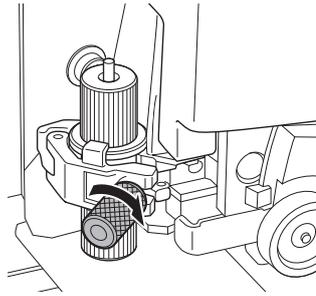


10. カッターホルダーをカッティングキャリッジに取り付ける。



11. ネジをしっかりと締める。

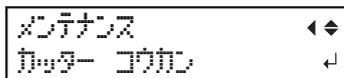
上に引っ張り、抜けないことを確認してください。



12. フロントカバーを閉じる。

13. [ENTER] を押す。

以下の画面に戻ったら、カッター交換は終了です。



14. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

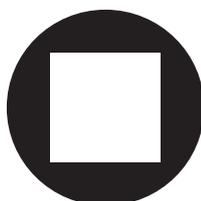
2. 新しいカッターに合わせて調整する

手順

1. メディアをセットする。
P. 30 メディアのセットアップ
2. [◀] [▶] [▲] [▼] を押して、カッティングテストをしたい位置までカッティングキャリッジを移動させる。
カッティングテストをする位置は自由に設定できます。
3. [FUNCTION] を押す。
4. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

ファンクション	◀◆
カット セッテイ	▶
5. [▶] を押して、以下の画面を表示する。

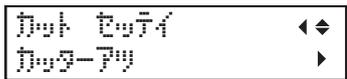
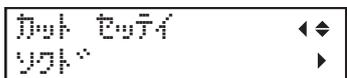
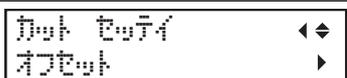
カット セッテイ	◀◆
テスト カット	↵
6. [ENTER] を押す。
テストパターンがカットされます。
7. テストパターンのカッティングが完了したら [▼] を押す。
8. カッティングテストの結果を確認する。



確認項目	判定	設定項目	調整
形を確認する	形がゆがんでいる	[ソクド]	小さくする
円をはがす	四角形が一緒にはがれる	[カッターアツ]	大きくする
	部分的な切り残しがある	[ソクド]	小さくする
四角形をはがす	うっすらと台紙にカッターの跡がある	[カッターアツ]	そのまま
	カッターの跡がわからない		大きくする
	カッターの跡が深すぎる、台紙まで切れている		小さくする

確認項目	判定	設定項目	調整	
はがした四角形の形を確認する		角に丸みやツノが無い	[オフセット]	そのまま
		角がとれて丸くなっている		大きくする
		角にツノができています		小さくする

9. [▲] [▼] を押して設定したいカッティング条件を選択する。

表示画面 (カッティング条件)	設定内容	出荷時設定
	カッターの圧力を設定します	50 gf
	カッティングの速度を設定します	30 cm/s
	カッターの刃先補正量を設定します。カッターに記載のオフセット値を入力してください 付属品のカッターのオフセット値は0.250 mm です	0.250 mm
	カッティング中のカッターの空送り速度 (1つのカット線をカッティング後、次のカット線をカッティングするためにカッターが移動するときの速度) を設定します。空送り中に、メディアが浮き上がりカッターがメディア表面を傷つけるような場合には、速度を落としてください	30 cm/s

10. [▶] を押して、以下の画面を表示する。









11. [▲] [▼] を押して値を選択する。

12. [ENTER] を押して決定する。

13. [◀] を押して手順9に戻る。

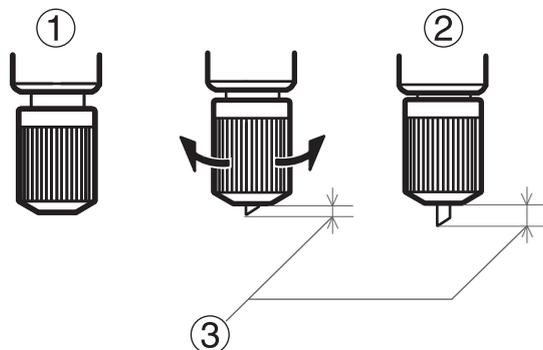
手順9～12を繰り返して、各カッティング条件を調整してください。

14. [FUNCTION] を押して、もとの画面に戻る。

3. 切り込み量を細かく調整する

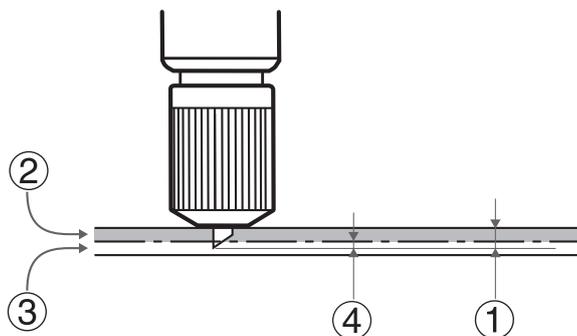
刃先突出量を少なめにすると、カッターホルダーのキャップ先端が印刷面と接触して、汚したり傷つけたりすることがあります。インクが定着しにくいメディアを使用するときは特に注意してください。

刃先突出量 (③) は、最小で 0 mm (①)、最大で 2.5 mm (②) です。



• 刃先突出量の目安 (ステッカーを作成する場合)

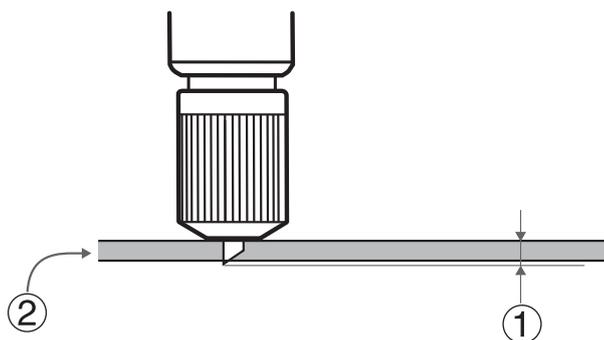
刃先突出量 (①) は、「シート部分の厚み (②)」と「台紙の厚み (③) の半分 (④)」を足した量にしてください。



• 刃先突出量の目安 (ミシン目カットを実施する場合)

刃先突出量 (①) は、カッターがメディア (②) を貫通して刃先がわずかに出る量にしてください。

ミシン目カットの出力設定については、VersaWorks の取扱説明書を参照してください。



重要

刃先を多く出しすぎると、カッターとカッタープロテクションの摩耗が激しくなり、劣化を早めますので注意してください。

関連情報

- VersaWorks マニュアル (<https://downloadcenter.rolanddg.com/VersaWorks6>)

セパレーティングナイフ（メディア切り離し用ナイフ）の交換

セパレーティングナイフの切れ味が悪くなったら、付属の替え刃と交換してください。

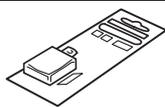
⚠ 注意

必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。
本機が突然動き、けがをすることがあります。

⚠ 注意

セパレーティングナイフの刃先にさわらない。
けがをすることがあります。

必要なもの



セパレーティングナイフ替え刃

手順

1. メディアを取り外す。
2. [MENU] を押す。
3. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
メニュー          ◀▶
サブメニュー      ▶
```

4. [▶] を1回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
サブメニュー      ◀▶
メンテナンス     ▶
```

5. [▶] を1回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
メンテナンス     ◀▶
カッター コウカン ▶
```

6. [ENTER] を押す。
カッピングキャリッジが交換可能な位置まで移動します。

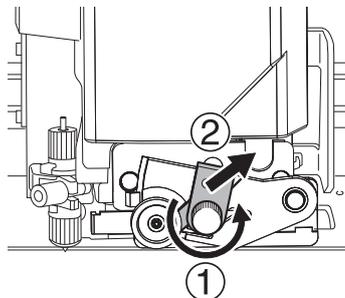
7. 以下の画面が表示されたら、フロントカバーを開ける。

```
フロントカバー 開
アケクワダサイ
```

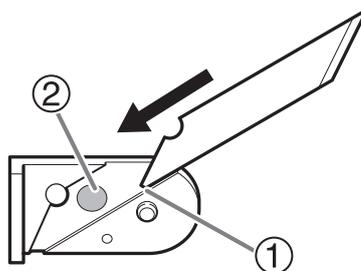
以下の画面が表示されたら準備完了です。

シュウリョウゴ[®] ENTER
キー ラ オシテクタ[®]サイ

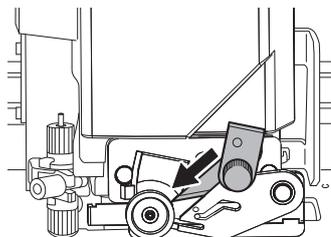
8. セパレーティングナイフを取り外す。
- (1) ネジが飛び出してくるまで緩める。
 - (2) ネジ部分を持ち、矢印の方向にゆっくりと抜く。
- このとき手前に引っ張らないでください。



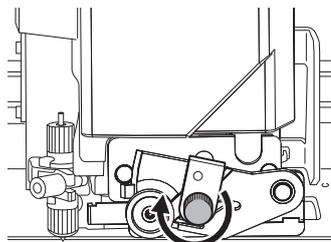
9. 新しいナイフを取り付ける。
- 溝に合わせるように滑り込ませてください (①)。ナイフは磁石 (②) で固定されます。



10. 溝に沿ってゆっくりと差し込む。



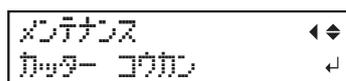
11. ネジを締める。
- ナイフがずれないように注意してください。



12. フロントカバーを閉じる。

13. [ENTER] を押す。

以下の画面に戻ったら、カッター交換は終了です。



14. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

消耗部品、消耗品のお問い合わせについて

お客様ご自身でご購入、交換作業ができるもの

下記の消耗部品または消耗品のご購入は、本機をお買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト (<https://www.rolanddg.co.jp/>) をご覧ください。

品名	関連ページ
ワイパー	P. 278 ワイパーの交換
フェルトワイパー	P. 282 フェルトワイパーの交換
クリーニングスティック	P. 253 マニュアルクリーニング
洗剤液	
カッター	P. 285 カッターの交換
セパレーティングナイフ (メディア切り離し用ナイフ)	P. 291 セパレーティングナイフ (メディア切り離し用ナイフ) の交換

交換前にお問い合わせが必要なもの

下記の消耗部品を交換する際は、本機をお買い上げの販売店または当社コールセンターまでお問い合わせください。

品名	関連ページ
プリントヘッド	P. 253 マニュアルクリーニング

トラブルへの対応方法

出力品質のトラブル

印刷が粗い／横すじが入る.....	297
プリントヘッドがドット抜けを起こしていませんか？	297
プリントヘッド高さは適切ですか？	297
送り補正はしてありますか？	297
インクの着弾位置補正〔メディアギャップホセイ〕はしてありますか？	297
プリンターは水平で安定した場所に設置してありますか？	297
印刷モードは適切ですか？	298
メディアの取り付け方法は適切ですか？	298
〔プリセット〕メニューの設定は適切ですか？	298
印刷するとメディアが汚れる.....	299
プリントヘッドがメディアに当たっていませんか？	299
プリントヘッドが汚れていませんか？	299
ピンチローラーやメディアクランプが汚れていませんか？	299
色が安定しない／ムラになる.....	300
インクカートリッジを振ってから取り付けましたか？	300
メディアがしわになっていませんか？	300
印刷途中で一時停止しませんでしたか？	300
印刷中にクリーニングが行われていませんか？	300
プリンターは水平で安定した場所に設置してありますか？	300
メディアの取り付け方法は適切ですか？	300
動作条件を適切に設定してありますか？	301
〔プリセット〕メニューの設定は適切ですか？	301
UV 照射装置の照射窓は汚れていませんか？	301
カットがずれる／ゆがむ.....	302
メディアの取り付け方法は適切ですか？	302
カッティング条件の設定は適切ですか？	302
出力の長さが長すぎませんか？	302
伸縮の大きいメディアを使用していませんか？	302
〔カッティングメニュー〕の〔キャリブレーション〕は正しく設定されていますか？	302
ピンチローラーを適切な位置に配置していますか？	303
プリントとカットがずれる.....	304
プリントとカットのずれを補正しましたか？	304

印刷が粗い／横すじが入る

プリントヘッドがドット抜けを起こしていませんか？

テストプリントを行い、ドット抜けやドットよれがないか確認してください。ドット抜けやドットよれがある場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。

関連情報

- ・ [P. 71 テストプリントとノーマルクリーニング](#)
- ・ [P. 249 ノーマルクリーニングの効果がでないとき](#)

プリントヘッド高さは適切ですか？

〔ヘッドタカサ〕メニューが〔タカイ〕に設定されていると、〔ヒクイ〕のときに比べて印刷が粗くなります。厚みのあるメディアを使う場合などを除き、必要のないときは〔ヒクイ〕に設定してください。

関連情報

- ・ [P. 149 メディアの厚みにプリントヘッド高さを合わせる](#)

送り補正はしてありますか？

メディアの送り量が大きくずれると、印刷が粗い感じになったり、横すじが入ったりすることがあります。メディアの種類に適合した設定をソフトウェア RIP で行うか、プリンター側で補正を行ってください。

関連情報

- ・ [P. 147 横すじを軽減する（送り補正機能）](#)

インクの着弾位置補正〔メディアギャップホセイ〕はしてありますか？

メディアの厚みによって、最適な補正は異なります。メディアに応じた補正值を設定してください。〔メディアギャップホセイ カンイ セッテイ〕を行っても印刷がきれいにできない場合は、〔メディアギャップホセイ ショウサイ セッテイ〕で補正を行ってください。

関連情報

- ・ [P. 143 インクの着弾位置のずれを調整する](#)
- ・ [P. 145 インクの着弾位置のずれを詳細に調整する](#)

プリンターは水平で安定した場所に設置してありますか？

傾いている場所、揺れたり振動したりする場所には設置しないでください。また、プリントヘッドに風が当たらないようにしてください。これらは、ドット抜けや印刷品質の低下を招くことがあります。

印刷モードは適切ですか？

きれいに印刷できないときは、より高品質な印刷モードを試してみてください。メディアによっては高品質な印刷モードでにじむこともありますし、ソフトウェア RIP の設定（カラープロファイルの選択など）によっても結果は大きく変わります。お使いのメディアに適した設定をしてください。

メディアの取り付け方法は適切ですか？

メディアの取り付けが適切でなかったり、メディアの送りがスムーズでなかったりすると、印刷に悪影響を与えます。メディアを正しく取り付けてください。

関連情報

- ・ [P. 30 ロールメディアのセットアップ](#)
- ・ [P. 49 カットメディアのセットアップ](#)

〔プリセット〕メニューの設定は適切ですか？

〔プリセット〕メニューで選択した設定が、メディアの種類に適合していない場合、印刷に悪影響を与えます。お使いのメディアに最適な設定を選んでください。

関連情報

- ・ [P. 193 プリセットを活用する](#)

印刷するとメディアが汚れる

プリントヘッドがメディアに当たっていませんか？

プリントヘッド高さが低すぎるかもしれません。また、メディアのセットが適切でなかったりすると、しわや浮き上がりが起こりヘッドに当たることもあります。

関連情報

- [P. 30 ロールメディアのセットアップ](#)
- [P. 49 カットメディアのセットアップ](#)
- [P. 149 メディアの厚みにプリントヘッド高さを合わせる](#)

プリントヘッドが汚れていませんか？

次のことが原因で、印刷中、メディアの上にインクが垂れることがあります。

- ヘッドのまわりに繊維状のほこりなどが付いている
- メディアをこすった影響でヘッドにインクがべったり付いている

このようなときは、マニュアルクリーニングを行ってください。定期的なヘッドの清掃をおすすめします。

- 湿度が低すぎる

20～80 %RH（ただし結露がないこと）の環境で使用してください。

関連情報

- [P. 253 マニュアルクリーニング](#)

ピンチローラーやメディアクランプが汚れていませんか？

定期的に清掃してください。

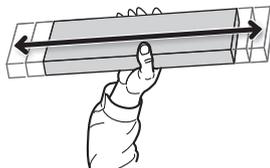
関連情報

- [P. 222 機体の清掃](#)

色が安定しない／ムラになる

インクカートリッジを振ってから取り付けましたか？

新しいインクカートリッジを取り付ける前には、インクカートリッジを50回（20秒程度）振ってください。ホワイトインクは、その日の作業を始める前にインクカートリッジをいったん取り外して、50回（20秒程度）振ってから再び取り付けてください。



メディアがしわになっていませんか？

メディアがしわになってプラテンから浮いた状態になると、色のむらになったり、印刷品質が低下したりします。

関連情報

- ・ [P. 30 ロールメディアのセットアップ](#)
- ・ [P. 49 カットメディアのセットアップ](#)

印刷途中に一時停止しませんでしたか？

印刷を一時停止すると、再開したときのつなぎ目で色味が変わってしまうことがあります。印刷の一時停止は避けてください。長尺印刷の前には、インクの残量を確認するようにしてください。また、コンピューターからのデータ転送速度が十分でないと、印刷がときおり停止することがあります。印刷中は、コンピューターに印刷以外の処理をさせないことをおすすめします。

印刷中にクリーニングが行われていませんか？

印刷中にクリーニングが行われると、印刷品質に影響を与えます。印刷前にクリーニングまでの時間と印刷時間を確認してください。

関連情報

- ・ [P. 189 印刷中のクリーニングによる中断を回避する](#)

プリンターは水平で安定した場所に設置してありますか？

傾いている場所、揺れたり振動したりする場所には設置しないでください。また、プリントヘッドに風が当たらないようにしてください。これらは、ドット抜けや印刷品質の低下を招くことがあります。

メディアの取り付け方法は適切ですか？

メディアの取り付けが適切でなかったり、メディアの送りがスムーズでなかったりすると、印刷に悪影響を与えます。メディアを正しく取り付けてください。

関連情報

- ・ [P. 30](#) ロールメディアのセットアップ
- ・ [P. 49](#) カットメディアのセットアップ

動作条件を適切に設定してありますか？

〔テイハバ インサツ〕メニューの設定によっては、色のむらになることがあります。設定を変えてある場合は、初期値に戻してみてください。

関連情報

- ・ [P. 198](#) 幅のせまいメディアへの出力を速くする

〔プリセット〕メニューの設定は適切ですか？

〔プリセット〕メニューで選択した設定が、メディアの種類に適合していない場合、印刷に悪影響を与えます。お使いのメディアに最適な設定を選んでください。

関連情報

- ・ [P. 193](#) プリセットを活用する

UV 照射装置の照射窓は汚れていませんか？

照射窓が汚れていると、インクの定着性や印刷物の品質が低下することがあります。汚れの程度をご確認いただき、適切なタイミングで清掃をお願いします。

関連情報

- ・ [P. 238](#) 月に 1 度以上必要なクリーニング

カットがずれる／ゆがむ

メディアの取り付け方法は適切ですか？

メディアの取り付けが適切でなかったり、メディアの送りがスムーズでなかったりすると、印刷に悪影響を与えます。メディアを正しく取り付けてください。

関連情報

- ・ [P. 30 ロールメディアのセットアップ](#)
- ・ [P. 49 カットメディアのセットアップ](#)

カッティング条件の設定は適切ですか？

カッティング速度が速すぎたり、カッター圧が強すぎたりすると、位置ずれやゆがみの原因になります。カッティング条件を変えてみてください。粘着層の粘りが強いメディアは、カット後すぐに粘着層部分がつながります。しかし、カッティングテストをして、メディアのはがれ具合と台紙に付いたカッターの跡が最適であればメディアは切れています。カッター圧を大きくしすぎないように注意してください。

関連情報

- ・ [P. 154 カッティングの設定を細かく調整する](#)

出力の長さが長すぎませんか？

特にプリント&カットする場合、ひとつのページが長くなるほど（つまり、プリント後にメディアを引き戻す距離が長いほど）位置ずれが起きやすくなります。1 ページの大きさは必要最小限にするとよいでしょう。

伸縮の大きいメディアを使用していませんか？

プリント&カットする場合、メディアが伸縮すると位置がずれてしまいます。このようなときは、クロップマーク付きで印刷し、ベースポイントとアラインポイントを設定してからカッティングをしてみてください。メディアの伸縮が補正されます。

関連情報

- ・ [P. 116 クロップ&カット出力前の準備](#)

〔カッティングメニュー〕の〔キャリブレーション〕は正しく設定されていますか？

プリント&カットするときは、〔カッティングメニュー〕の〔キャリブレーション〕の補正値を〔0.00〕に設定してください。

関連情報

- ・ [P. 162 カッティング時の距離補正をする](#)

ピンチローラーを適切な位置に配置していますか？

ピンチローラーは必ずグリットローラーの上に配置してください。適切な位置に配置していないと、メディアの位置がずれま

す。

関連情報

- [P. 30 ロールメディアのセットアップ](#)
- [P. 49 カットメディアのセットアップ](#)

プリントとカットがずれる

プリントとカットのずれを補正しましたか？

メディアの厚みやヘッド高さによって、プリントとカットの位置がずれることがあります。お使いのメディアに合わせて印刷とカットのずれを補正してください。

関連情報

- ・ [P. 166 プリント&カットの設定を細かく調整する](#)

クロップ&カットのトラブル

クロップマークの自動検出に失敗した.....	306
メディアに”しわ”や”ゆがみ”がありませんか？	306
メディアサイズが大きすぎませんか？	306
光が反射しやすいメディアを使っていますか？	306
透明なメディアを使っていますか？	306
プリントとカットがずれる.....	307
クロップ印刷とカットのずれを補正しましたか？	307

クロップマークの自動検出に失敗した

メディアに”しわ”や”ゆがみ”がありませんか？

メディアの”しわ”や”ゆがみ”は、クロップマークの検出に失敗する原因になります。”しわ”や”ゆがみ”のあるメディアの使用は避けてください。

自動でクロップマークを検出できない場合は、手動で位置合わせすることもできます。

関連情報

- ・ [P. 172 クロップ&カットの位置を手動で合わせる](#)
- ・ [P. 187 メディアに合わせてクロップマークの読み取りセンサーをレベル調整する](#)

メディアサイズが大きすぎませんか？

メディアのサイズが大きいと誤差が大きくなり、クロップマークの検出に失敗する原因になることがあります。

長尺メディアを使用する場合は、なるべく短いサイズに分割して出力することをおすすめします。

自動でクロップマークを検出できない場合は、手動で位置合わせすることもできます。

関連情報

- ・ [P. 172 クロップ&カットの位置を手動で合わせる](#)

光が反射しやすいメディアを使っていませんか？

光が反射しやすいメディアの場合、クロップマークを読み取れないことがあります。〔クロップセンサー ホセイ〕（クロップマークの読み取りセンサーの補正機能）をお試しください。それでも読み取れない場合は使用するメディアを変更してください。

関連情報

- ・ [P. 184 クロップマークの読み取りセンサーを補正する](#)

透明なメディアを使っていませんか？

透明なメディアの場合、クロップマークを読み取ることができません。使用するメディアを変更してください。

プリントとカットがずれる

クロープ印刷とカットのずれを補正しましたか？

メディアの材質によっては、クロープマークを使っても印刷とカットの位置がずれることがあります。お使いのメディアに合わせて印刷とカットのずれを補正してください。

関連情報

- ・ [P. 174 クロープ印刷とカットのずれを補正する \(クロープ&カット同時テスト\)](#)
- ・ [P. 178 クロープ印刷とカットのずれを補正する \(クロープ&カット分離テスト\)](#)

メディア送りのトラブル

メディアがしわになる／縮む.....	309
メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか？	309
メディアクランプは取り付けてありますか？	309
部屋の湿度が高すぎませんか？	309
使用しているメディアにたわみがありませんか？	309
メディアが斜行する	310
メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか？	310
メディア送りがなめらかでない	311
メディアが何かにぶつかったりしていませんか？	311
メディアが厚すぎませんか？	311
グリットローラーが汚れていませんか？	311
メディアが詰まった	312
エラーメッセージが表示されていませんか？	312
メディアが反ったりしわになったりしていませんか？	312
プリントヘッド高さが低すぎませんか？	312
グリットローラーが汚れていませんか？	312
メディアクランプは取り付けてありますか？	312
メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか？	312
メディアが何かにぶつかったりしていませんか？	313
メディアが厚すぎませんか？	313

メディアがしわになる／縮む

メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか？

斜めになっていたり、メディアの張り具合が左右で違っていたりするとスムーズに送られません。メディアをセットし直してください。

関連情報

- ・ [P. 30 ロールメディアのセットアップ](#)
- ・ [P. 49 カットメディアのセットアップ](#)

メディアクランプは取り付けてありますか？

ヘッド高さを〔タカイ〕または〔ヒクイ〕にして印刷するときは、メディアクランプを必ず取り付けてください。

部屋の湿度が高すぎませんか？

本機は、20～80 %RH（ただし結露のないこと）の環境でお使いください。

使用しているメディアにたわみがありませんか？

たわんだメディアを使用すると、メディアにしわができてしまいます。

メディアが斜行する

メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか？

斜めになっていたり、メディアの張り具合が左右で違っていたりするとスムーズに送られません。メディアをセットし直してください。

関連情報

- ・ [P. 30 ロールメディアのセットアップ](#)
- ・ [P. 49 カットメディアのセットアップ](#)

メディア送りがなめらかでない

メディアが何かにぶつかったりしていませんか？

メディアに何も当たらないようにしてください。見た目には送りがスムーズでも、印刷に影響することがあります。

関連情報

- ・ [P. 30 ロールメディアのセットアップ](#)
- ・ [P. 49 カットメディアのセットアップ](#)

メディアが厚すぎませんか？

厚すぎるメディアは、送りが不安定になるばかりでなく、プリントヘッドをこすって故障の原因にもなります。このようなメディアは使用しないでください。

グリットローラーが汚れていませんか？

グリットローラーにメディアかすなどの異物が付着していないか確認してください。

関連情報

- ・ [P. 222 機体の清掃](#)

メディアが詰まった

エラーメッセージが表示されていませんか？

メディアづまりのためエラー表示が出たときは、すぐにその対処をしてください。プリントヘッドが壊れることがあります。

関連情報

- ・ [P. 328 \[モーターエラー：デンゲン ヲ イレナオシテ クダサイ\]](#)

メディアが反ったりしわになったりしていませんか？

反りやしわにはさまざまな原因があります。以下をご覧のうえ対処してください。

関連情報

- ・ [P. 309 メディアがしわになる／縮む](#)

プリントヘッド高さが低すぎませんか？

メディアが詰まる場合は高い位置〔タカイ〕にしてください。メディアは多少なりとも反ったりしわになったりしますので、その分も考慮してヘッドの高さを決めてください。

関連情報

- ・ [P. 149 メディアの厚みにプリントヘッド高さを合わせる](#)

グリットローラーが汚れていませんか？

グリットローラーにメディアかすなどの異物が付着していないか確認してください。

関連情報

- ・ [P. 222 機体の清掃](#)

メディアクランプは取り付けられていますか？

ヘッド高さを〔タカイ〕または〔ヒクイ〕にして印刷するときは、メディアクランプを必ず取り付けてください。

メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか？

斜めになっていたり、メディアの張り具合が左右で違っていたりするとスムーズに送られません。メディアをセットし直してください。

関連情報

- ・ [P. 30 ロールメディアのセットアップ](#)
- ・ [P. 49 カットメディアのセットアップ](#)

メディアが何かにぶつかったりしていませんか？

メディアに何も当たらないようにしてください。見た目には送りがスムーズでも、印刷に影響することがあります。

関連情報

- [P. 30 ロールメディアのセットアップ](#)
- [P. 49 カットメディアのセットアップ](#)

メディアが厚すぎませんか？

厚すぎるメディアは、送りが不安定になるばかりでなく、プリントヘッドをこすって故障の原因にもなります。このようなメディアは使用しないでください。

機体のトラブル

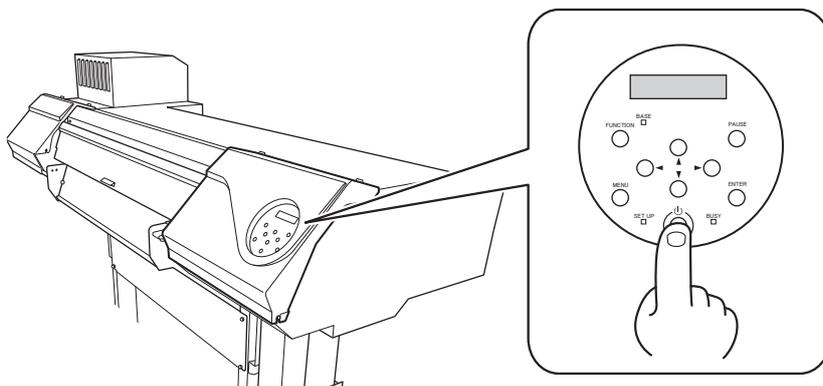
プリントヘッドが動かない.....	315
はじめに行う処置.....	315
どうしても動かないときは.....	315
プリンター本体が動かない.....	317
電源がオンになっていますか？.....	317
[SETUP] が点灯していますか？.....	317
カバーが開いていませんか？.....	317
トップ画面が表示されていますか？.....	317
[PAUSE] が点灯していませんか？.....	317
画面にメッセージが表示されていませんか？.....	317
ケーブルが接続されていますか？.....	318
LAN のルーティングは適切ですか？.....	318
LAN の設定は正しいですか？.....	318
ソフトウェア RIP が異常終了していませんか？.....	318
インクがなくなっていないですか？.....	318
メディアの切り離しができない.....	319
セパレーティングナイフ（メディア切り離し用ナイフ）は取り付けられていますか？.....	319
カッターは取り付けられていますか？.....	319
セットアップができない.....	320
マニュアルクリーニングを実施しましたか？.....	320

プリントヘッドが動かない

プリントヘッドキャリッジがプラテン上で止まってしまったときは、ヘッドの乾燥を防ぐためすぐに対処してください。

はじめに行う処置

サブ電源をいったんオフにし、再びオンにしてください。メディアづまりのときはメディアも取り除いてください。プリントヘッドがスタンバイポジション（カバー R の中）に移動すれば完了です。



それでもプリントヘッドが動かない場合

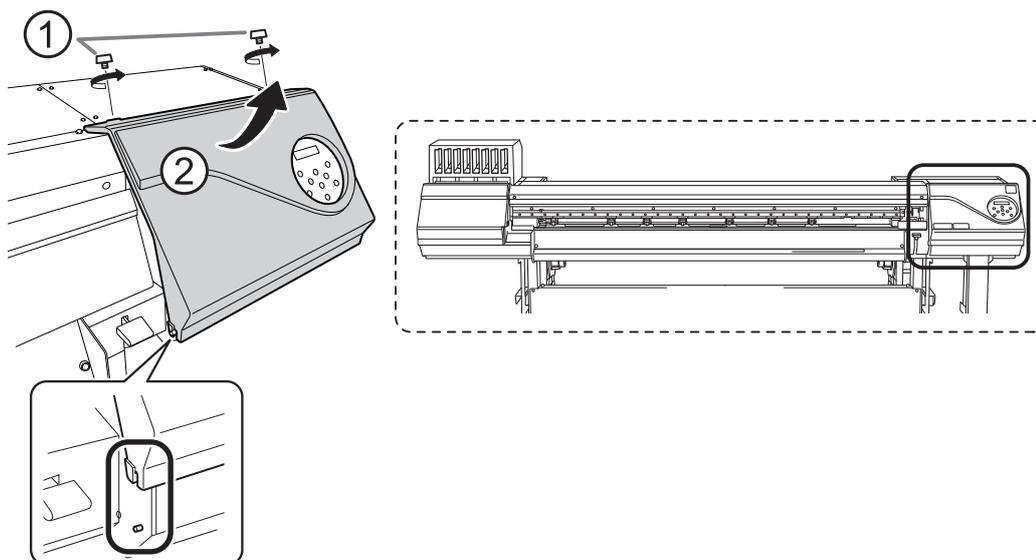
メイン電源をオフにし、再びメイン電源、サブ電源の順でオンにしてみてください。

どうしても動かないときは

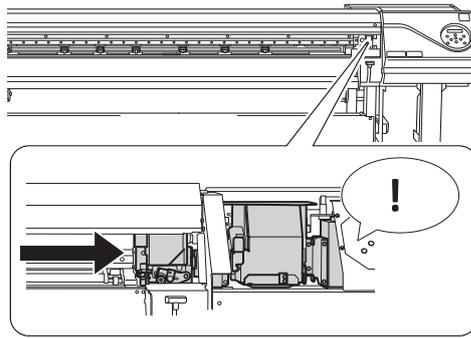
それでも動かないときは、次の応急処置を施したうえで買い上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡ください。

手順

1. メイン電源をオフにし、フロントカバーを開ける。
2. カバー R を開ける。



3. プリントヘッドキャリッジを静かに手で動かし、スタンバイポジションまで持っていく。「カチッ」と音がしたところでとめると、プリントヘッドが固定されます。



4. 右側から静かに力を加え、左側に動かないことを確認する。
左側に動いてしまった場合は、もう一度左側からゆっくりプリントヘッドを移動し、固定されることを確認してください。

プリンター本体が動かない

電源がオンになっていますか？

プリンターのメイン電源をオンにしてからサブ電源スイッチを押し、サブ電源スイッチが点灯したことを確認してください。

関連情報

- ・ [P. 25 電源オン](#)

[SETUP] が点灯していますか？

[SETUP] が点灯していないと出力しません。メディアを取り付けたら、ローディングレバーを下ろした後、[ENTER] を押してください。

関連情報

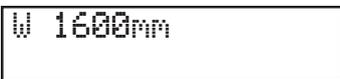
- ・ [P. 82 出力の開始](#)

カバーが開いていませんか？

フロントカバー、カバー L、カバー R、リヤ UV シールドを閉じてください。

トップ画面が表示されていますか？

トップ画面



W 1600mm

トップ画面が表示されていないときにコンピューターからデータを送っても、出力は開始されません。トップ画面にするには、[MENU] を押してください。

関連情報

- ・ [P. 82 出力の開始](#)

[PAUSE] が点灯していませんか？

[PAUSE] が点灯しているときは一時停止状態です。再開するときは、[PAUSE] を押してください。[PAUSE] が消灯し、出力を再開します。

関連情報

- ・ [P. 66 出力の一時停止と中止](#)

画面にメッセージが表示されていませんか？

関連情報

- P. 322 メッセージ
- P. 325 エラーメッセージ

ケーブルが接続されていますか？

ケーブルをしっかりと接続してください。

関連情報

- MG-640 セットアップガイド (<https://downloadcenter.rolanddg.com/MG-640>)

LAN のルーティングは適切ですか？

ネットワークのルーティングが適切か確認してみてください。コンピューターと本機を同じハブに接続するか、ケーブルで直接接続します。これで出力できるようなら、ネットワーク側の問題である可能性があります。

LAN の設定は正しいですか？

ケーブルがしっかりと接続されており、ネットワーク側に問題がない場合は、IP アドレスなどの設定が適切か確認してください。本機とコンピューターの両方の設定が適切である必要があります。ネットワーク上で IP アドレスが重複していないか、ソフトウェア RIP のポート設定は本機で設定した IP アドレスが指定されているか、入力ミスはないかなどを確認しながら設定をやり直してください。

関連情報

- P. 213 システム情報を確認する
- MG-640 セットアップガイド (<https://downloadcenter.rolanddg.com/MG-640>)

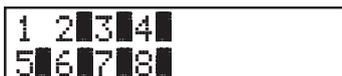
ソフトウェア RIP が異常終了していませんか？

ソフトウェア RIP が正常に起動していることを確認し、サブ電源スイッチをいったんオフにしてから、もう一度オンにしてください。

関連情報

- VersaWorks マニュアル (<https://downloadcenter.rolanddg.com/VersaWorks6>)

インクがなくなっていないですか？



図の画面が表示されているときは、出力データを受け付けることはできません。新しいインクカートリッジに交換するとエラーを解消することができます。本機にまだ出力されていないデータが残っている場合は、出力を再開します。コンピューターに未送信のデータがある場合は、データの再送信をすると出力を再開します。

関連情報

- P. 67 インクカートリッジの交換

メディアの切り離しができない

セパレーティングナイフ（メディア切り離し用ナイフ）は取り付けられていますか？

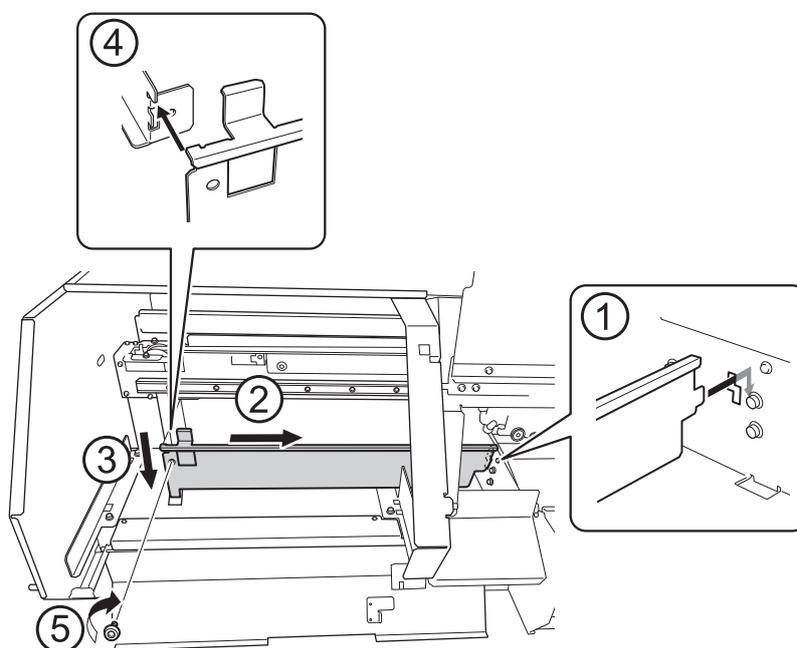
セパレーティングナイフが取り付けられていないとメディアの切り離しはできません。

関連情報

- ・ P. 291 セパレーティングナイフ（メディア切り離し用ナイフ）の交換

カッターールは取り付けられていますか？

カッターールが取り付けられていないとメディアの切り離しはできません。カッターールが取り付けられていない場合は、カバーLを取り外し、下記を参考にしてカッターールを取り付けてください。カッターールを取り付けた後は忘れずにカバーLを取り付けてください。



セットアップができない

マニュアルクリーニングを実施しましたか？

マニュアルクリーニングをしていないとメディアのセットアップはできません。

関連情報

- ・ [P. 254 マニュアルクリーニングの方法](#)

操作パネルのメッセージ

メッセージ.....	322
[1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8 ■]	322
[カバー ヲ トジテクダサイ]	322
[シート ヲ セット シテクダサイ]	322
[シート ガ ナクナリマシタ]	322
[ハイエキ ヲ ステテクダサイ]	322
[ハイエキ ガ マンタンデス ステテクダサイ]	322
[ハイエキボトル ヲ セットシテ クダサイ]	322
[フェルト コウカン ノ ジキデス]	323
[ヘッド ホゴモード ニ ハイリマス]	323
[メディアクランプ ヲ ハズシテクダサイ]	323
[メンテナンス ノ ジキデス]	323
[メンテナンス ガ ヒツヨウデス]	323
[ワイパー コウカン ノ ジキデス]	324
エラーメッセージ.....	325
[アラインポイント ノ イチガ フセイデス]	325
[インク ショウ キゲン ガ キレテイマス]	325
[クロップ マーク ガ ミツカリマセン]	325
[クロップマーク ヲ カケマセン シュツリョクヲツヅケマスカ?]	325
[コウオンエラー： デンゲンヲイレナオシテクダサイ **° C]	326
[サービス コール ****]	326
[シート ガ タリマセン シュツリョクヲツヅケマスカ?]	326
[シートセット エラー サイセット シテクダサイ]	326
[テイオンエラー： デンゲンヲイレナオシテクダサイ **° C]	326
[データ エラー キャンセル シテイマス...]	327
[ピンチローラ エラー ダウン サセテ クダサイ]	327
[ピンチローラ エラー ヒダリ (ミギ) ノ イチガ フセイデス]	327
[ピンチローラ エラー ミギカラ 2バンメ]	327
[フセイナ カートリッジ デス]	327
[ヘッド カンソウ ホゴノタメ テイシ シマシタ]	327
[ヘッドタカサ ヲ ニ シテクダサイ]	327
[ポンプ ホゴノタメ ドウサ ヲ テイシ シマシタ]	328
[モーターエラー：デンゲン ヲ イレナオシテ クダサイ]	328

メッセージ

正しい操作を促すために、本機の表示画面に表示される主なメッセージです。特にエラーを示すものではありません。メッセージに従って操作してください。

【1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8 ■】

インク残量が少なくなりました。

点滅している番号のインクカートリッジを新しいものと交換してください。

【カバー ヲ トジテクダサイ】

フロントカバー、カバーL、カバーR、フロントUVシールド、リヤUVシールドのいずれかが開いています。安全のため、カバーが開かれた状態では一部のキャリッジ動作は制限されます。

フロントカバー、カバーL、カバーR、フロントUVシールド、リヤUVシールドをすべて閉じてください。

【シート ヲ セット シテクダサイ】

メディアをセットせずにテストプリントの指示をすると表示されます。

メディアをセットしてください。

【シート ガ ナクナリマシタ】

動作中にメディアの後ろ端が検出されました。

操作パネル上のボタンを押すと復帰します。新しいメディアを取り付けてください。

【ハイエキ ヲ ステテクダサイ】

廃液ボトルにある程度廃液がたまると表示されます。

ボトルにたまった廃液を捨ててください。

関連情報

- ・ [P. 246 廃液処理のメッセージが表示されたら](#)

【ハイエキ ガ マンタンデス ステテクダサイ】

廃液ボトル内の廃液量が限界に達すると表示されます。

この画面が表示されたら、ただちに廃液を捨ててください。

関連情報

- ・ [P. 246 廃液処理のメッセージが表示されたら](#)

【ハイエキボトル ヲ セットシテ クダサイ】

廃液ボトルが正しくセットされているか確認します。

廃液ボトルを取り付け、[ENTER] を押してください。

関連情報

- ・ [P. 244 廃液の処理](#)

【フェルト コウカン ノ ジキデス】

フェルトワイパーの交換時期が来ました。

確認後、[ENTER] を押してから、フェルトワイパーを交換してください。

関連情報

- ・ [P. 282 フェルトワイパーの交換](#)

【ヘッド ホゴモード ニ ハイリマス】

ご使用のインクが当社指定の製品ではない可能性があります。

[ENTER] を押すと復帰します。最適なパフォーマンスを発揮するために当社指定のインクをご使用いただくことを推奨します。購入方法は本機をお買い上げの販売店または当社コールセンターまでお問い合わせください。

【メディアクランプ ヲ ハズシテクダサイ】

ヘッド高さを [Sp.ロー] にしたとき、またはプリントヘッドとの接触の可能性があるとき、メディアクランプの取り外しを促す。

メディアクランプを取り外し、[ENTER] を押してください。

関連情報

- ・ [P. 74 プリントヘッドの高さを調整する](#)

【メンテナンス ノ ジキデス】

マニュアルクリーニングの実施を推奨する状態になりました。

前回のマニュアルクリーニングから、しきい値を超える時間の経過と印刷が行われました。[ENTER] を押してメッセージを消し、マニュアルクリーニングを実施してください。

関連情報

- ・ [P. 253 マニュアルクリーニング](#)

【メンテナンス ガ ヒツヨウデス】

印刷データを受け取りましたが、印刷できません。

受け取った印刷データは、自動でキャンセルされ印刷されません。このまま印刷を続けるとプリントヘッドが破損する恐れがあるため、マニュアルクリーニングを実施してください。

マニュアルクリーニングをしなければ、以降の印刷はできません。[ENTER] を押すと、セットアップ状態を解除してメディアの種類を選択する画面になります。

関連情報

- ・ [P. 253 マニュアルクリーニング](#)

【ワイパー コウカン ノ ジキデス】

ワイパーの交換時期が来ました。

確認後、[ENTER] を押してから、ワイパーを交換してください。

関連情報

- ・ [P. 278 ワイパーの交換](#)

エラーメッセージ

本機の表示画面に表示されるエラーメッセージとその対処方法です。ここで説明する対処をしても復帰できない場合や、ここにはないエラーメッセージが表示された場合は、お買い上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡ください。

【アラインポイント ノ イチガ フセイデス】

設定できない位置にアラインポイントを設定しようとした。

ベースポイントとアラインポイントの傾きが大きすぎるとアラインポイントを設定できません。傾きがないようにメディアを正しい位置へセットしてから、クロップマークに合わせてベースポイントとアラインポイントを設定し直してください。

関連情報

- ・ P. 115 クロップ&カットの方法

【インク ショウ キゲン ガ キレテイマス】

いずれかのインクが使用期限を越えました。

使用期限を越えたインクのカートリッジ番号が点滅します。[ENTER] を押した後、点滅している番号のカートリッジを交換してください。

メッセージが表示されるのは、インク使用期限を越えた後、最初にサブ電源をオンにしたときです。また、メッセージを表示するとき、ブザーが鳴ります。

インクカートリッジを交換しなくても、使用し続けることはできます。ただし、使用期限を越えたインクカートリッジを使い続けると、次のようなトラブルや故障の原因になります。

- ・ インクカートリッジからインクが漏れ出す
- ・ インクの粘度が上がり、吐出不良を起こす（出力品質の低下を招きます）
- ・ インクが固化し、プリンターが故障する

使用期限を越えたインクカートリッジは交換することをおすすめします。インクカートリッジの購入については、本機をお買い上げの販売店にお問合せいただくか、当社ウェブサイト (<https://www.rolanddg.co.jp/>) をご覧ください。

【クロップ マーク ガ ミツカリマセン】

クロップマークの自動検出ができなかった。

正しい位置にメディアを取り付け、再度クロップマークの検出を行ってください。再度クロップマークの自動検出を行ってもエラーが表示されるときは、[クロップセンサー ホセイ]（クロップマークの読み取りセンサーの補正機能）を使って補正を試みてください。ただし、メディアによっては自動検出ができないことがあります。

クロップマークを検出することができない場合は、手動でクロップマークを設定してください。

関連情報

- ・ P. 115 クロップ&カットの方法
- ・ P. 172 クロップ&カットの位置を手動で合わせる
- ・ P. 184 クロップマークの読み取りセンサーを補正する
- ・ P. 306 クロップマークの自動検出に失敗した

【クロップマーク ヲ カケマセン シュツリョクヲツツケマスカ?】

クロップマークを含めたデータサイズに対して、取り付けたメディアの印刷領域が足りません。

そのまま出力を続けるときは [ENTER] を押します。このとき、印刷領域からはみ出した部分とクロップマークは出力されません。出力を中止するには、コンピューターからの転送を止め、ローディングレバーを上げます。大きなメディアに取り替えて、印刷領域を広げてデータを送り直してください。

出力するデータのサイズが小さすぎます。

左右 (SCAN) 方向のデータサイズを 60 mm 以上にしてください。そのまま出力を続けるときは、[ENTER] を押します。このときクロップマークは印刷されません。出力を中止するには、コンピューターからの転送を止め、ローディングレバーを上げます。データサイズを大きくしてデータを送り直してください。

【コウオンエラー： デンゲンヨイレナオシテクダサイ **° C】

設置場所の気温が動作可能な環境温度より高くなりました。

作業は続行できません。サブ電源をオフにしてください。表示される温度は現在の設置場所の温度です。設置場所を動作可能な温度 (15 ~ 32° C) にした後、電源をオンにしてください。

【サービス コール * * * *】

復帰不能なエラーが発生した、または、サービスマンによる部品交換が必要になった。

ディスプレイに表示されている番号を確認してから、サブ電源をオフにします。電源オフ後、お買い上げの販売店または当社コールセンターにディスプレイに表示された番号をご連絡ください。

【シート ガ タリマセン シュツリョクヲツツケマスカ?】

データサイズに対して、取り付けたメディアの印刷領域が足りません。

そのまま出力を続けるときは、[ENTER] を押します。このとき、印刷領域からはみ出した部分は出力されません。出力を中止するには、コンピューターからの転送を止め、ローディングレバーを上げます。大きなメディアに取り替えて、印刷領域を広げてデータを送り直してください。

【シートセット エラー サイセット シテクダサイ】

【エッジケンシュツ】が【ユウコウ】に設定されているのに、透明なメディアを取り付けた。

いったんローディングレバーを上げ、【エッジケンシュツ】メニューをムコウに設定してからセットし直してください。ローディングレバーを下げてから、[ENTER] を押してください。

関連情報

- [P. 30 ロールメディアのセットアップ](#)
- [P. 49 カットメディアのセットアップ](#)
- [P. 151 メディア端の検出を無効にする](#)

【テイオンエラー： デンゲンヨイレナオシテクダサイ **° C】

設置場所の気温が動作可能な環境温度より低くなりました。

作業は続行できません。サブ電源をオフにしてください。表示される温度は現在の設置場所の温度です。設置場所を動作可能な温度 (15 ~ 32° C) にした後、電源をオンにしてください。

【データ エラー キャンセル シテイマス...】

受信したデータに異常があったため出力を中止しました。

作業は続行できません。データのキャンセルが終了するとメッセージは消えます。接続ケーブルやコンピューターに異常がないか、あるいは印刷データに不備がないか（出力できない色を指定している、等）を確認してください。異常または不備を修正できたら、あらためてデータを送信してください。

【ピンチローラ エラー ダウン サセテ クダサイ】

初期動作中、またはメディア取り付け完了後にローディングレバーを上げた。

何かボタンを押すと復帰します。または、しばらくすると復帰します。出力中にローディングレバーを動かさないでください。

【ピンチローラ エラー ヒダリ (ミギ) ノ イチガ フセイデス】

左 (右) ピンチローラーがメディアを挟めない位置にあります。

いったんローディングレバーを上げ、ピンチローラーを正しい位置に移動してください。

関連情報

- ・ [P. 30 ロールメディアのセットアップ](#)
- ・ [P. 49 カットメディアのセットアップ](#)

【ピンチローラ エラー ミギカラ 2バンメ】

ミドルピンチローラーの位置が不正。

表示されたミドルピンチローラーの位置が正しくありません。ミドルピンチローラーを正しい位置に配置してください。

【フセイナ カートリッジ デス】

使用できないインクカートリッジを取り付けていませんか。

インクカートリッジを抜き取ると復帰します。インクカートリッジは指定のものをご使用ください。

【ヘッド カンソウ ホゴノタメ テイシ シマシタ】

プリントヘッドの乾燥を防ぐため強制的にスタンバイポジションに移動しました。

作業は続行できません。サブ電源をオフにした後、再びオンにしてください。

【ヘッドタカサ ヲ ニ シテクダサイ】

プリントヘッド高さがソフトウェア RIP の指定より低くないですか。

ソフトウェア RIP で指定したヘッドの高さに対して、プリントヘッド高さが低すぎることの警告です。高さ調整レバーの操作ができる位置にヘッドが移動しますので、表示の高さに変更し、[ENTER] を押してください。

関連情報

- ・ [P. 149 メディアの厚みにプリントヘッド高さを合わせる](#)

〔ポンプ ホゴノタメ ドウサ ヲ テイシ シマシタ〕

クリーニング中（ノーマル、ミディアム、パワフル、ライトチョーク、サブ電源オフ時の自動クリーニング）または本機での初めてのインク充てん中に、異常な状態が 10 分以上続いたために、緊急停止しました。

作業は続行できません。サブ電源をオフにします。電源オフ後、お買い上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡ください。

〔モーターエラー：デンゲン ヲ イレナオシテ クダサイ〕

モーターエラーが発生しました。

作業は続行できません。サブ電源をオフにしてください。次に、エラーの原因を取り除き、すぐにサブ電源をオンにしてください。エラーのまま放置すると、プリントヘッドが乾燥して壊れることがあります。このエラーの原因には、メディアのセット方法の誤り、メディアづまり、メディアを無理に引っばる操作などがあります。

メディアづまりを起こしています。

つまったメディアをていねいに取り除いてください。また、プリントヘッドがダメージを受けたかも知れません。ヘッドクリーニングをし、テストプリントで確認してください。

メディアを無理に引っばっていませんか。

メディアに過剰な張力がかかっており、このままでは復帰できません。まずローディングレバーを上げてメディアを少しゆるめてから、サブ電源をオンにしてください。

付録

移送するときの作業

移送の準備をする	331
Step 1: メディアとカッターホルダーを取り外す	331
Step 2: インクを循環させる（ホワイトインクを使用している場合のみ）	333
Step 3: ワイパーの下に溜まったインクを除去する	334
Step 4: 廃液を捨てる	336
Step 5: プリントヘッドを固定具で固定する	337
Step 6: 再設置する	338

移送の準備をする

移送前に廃液を処分して、プリントヘッドを固定します。また、ホワイティンクをお使いの場合は、手動で循環を行う必要があります。移送前の準備をしないと、インクが漏れて内部の機器を傷めたり、プリントヘッドが壊れたりする原因になりますのでご注意ください。

重要

- 準備ができたら速やかに移送し、移送後すぐに電源を入れてください。電源を入れずに放置すると、沈殿したインクが固まり、プリントヘッドが目詰まりするなどの故障につながります
- 移送時は、温度 5～40 ° C、湿度 20～80 %RH（ただし結露のないこと）を保ってください。守らないと、故障の原因になります
- 衝撃を与えたり、傾けたりしないよう、慎重に移送してください

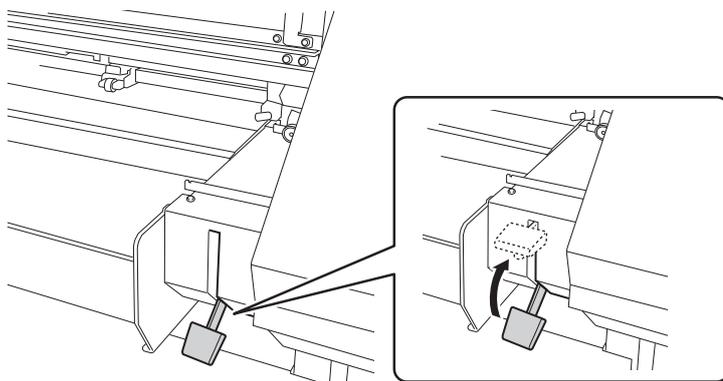
Step 1: メディアとカッターホルダーを取り外す

手順

1. メディアを取り外す。

メモ

メディアが取り付けられていない場合は、ローディングレバーを上げてください。



2. メディアクランプを取り外す。
3. [MENU] を押す。
4. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
メニュー          ◀▶
サブメニュー      ▶
```

5. [▶] を 1 回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
サブメニュー      ◀▶
メンテナンス     ▶
```

6. [▶] を 1 回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

メンテナンス ◀◆
カッター コウカン ↓

7. [ENTER] を押す。
カッピングキャリッジが交換可能な位置まで移動します。

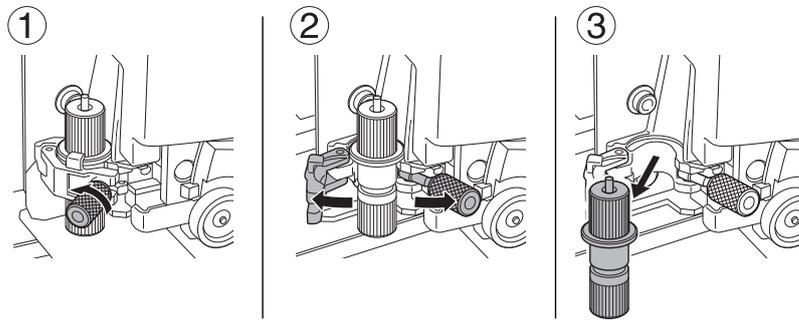
8. 以下の画面が表示されたら、フロントカバーを開ける。

フロントカバー オ
アゲテクダサイ

以下の画面が表示されたら準備完了です。

シュウリョウコ ENTER
キー オンテクダサイ ↓

9. カッターホルダーを取り外す。



10. カッピングキャリッジのネジを軽く締める。

11. フロントカバーを閉じる。

12. [ENTER] を押す。

13. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

Step 2: インクを循環させる（ホワイトインクを使用している場合のみ）

※CMYKの4色の場合は不要な作業です。Step 3に進んでください。

手順

1. [MENU] を押す。
2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```

メニュー          ◀▶
サブメニュー     ▶
  
```

3. [▶] を1回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```

サブメニュー     ◀▶
インク コントロール ▶
  
```

4. [▶] を1回、[▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```

インク コントロール ◀▶
インク ジェンカシ  ⌵
  
```

5. [ENTER] を押す。

以下の画面が表示され、インク循環が開始されます。画面には、この工程の残り時間（目安）が表示されます（以下の表示は例です。[01:45] の表示は「1分45秒」を意味します）。

```

インク ジェンカシ システム
>>          01:45
  
```

インク循環を開始するタイミングによっては、以下の画面が表示されてクリーニングを開始することがあります。クリーニングが終了するとインク循環を開始しますので、そのままお待ちください（以下の表示は例です。[01:45] の表示は「1分45秒」を意味します）。

```

クリーニング システム...
>>          01:45
  
```

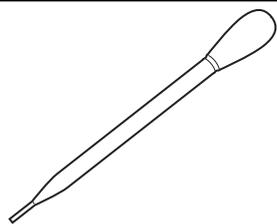
終了すると以下の画面に戻ります。

```

インク コントロール ◀▶
インク ジェンカシ  ⌵
  
```

Step 3: ワイパーの下に溜まったインクを除去する

必要なもの



スポイト (市販品)

手順

1. [FUNCTION] を押す。
2. [▶] を押す。
3. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
クリーニング◀▶
マニュアル↓
```

4. [ENTER] を押す。
[シバラク オマチクダサイ..] と表示された後、以下の画面が表示されます。
また、プリントヘッドがプラテンの左端まで移動します。

```
シュウリョウコ◀ ENTER
キーヲ オシテクダサイ↓
```

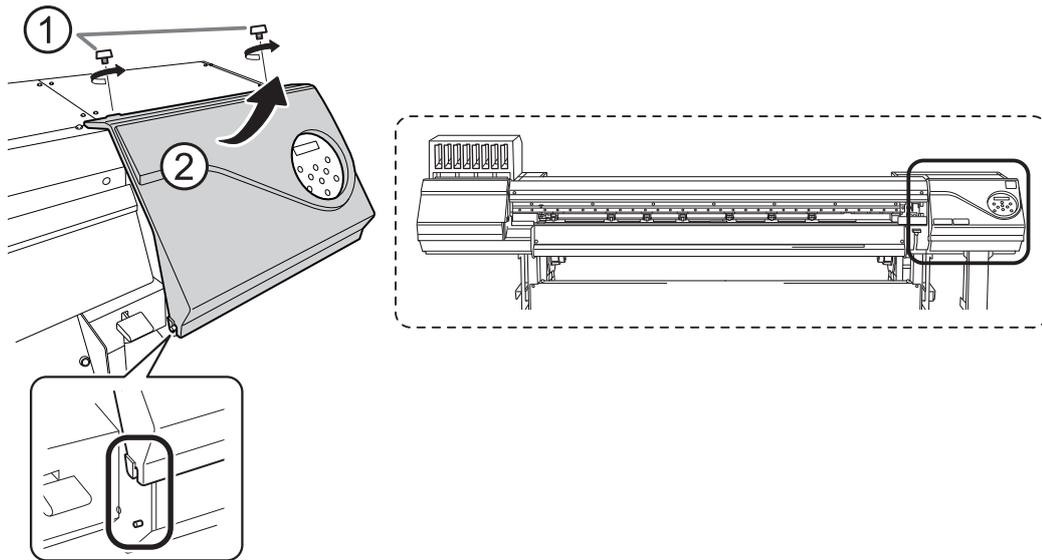
重要

ここではまだ [ENTER] を押さないでください。[ENTER] は、クリーニング終了後に押します。ここで [ENTER] を押ししてしまった場合は、下図のように画面が遷移するまで待ち、もう一度 [ENTER] を押してください。

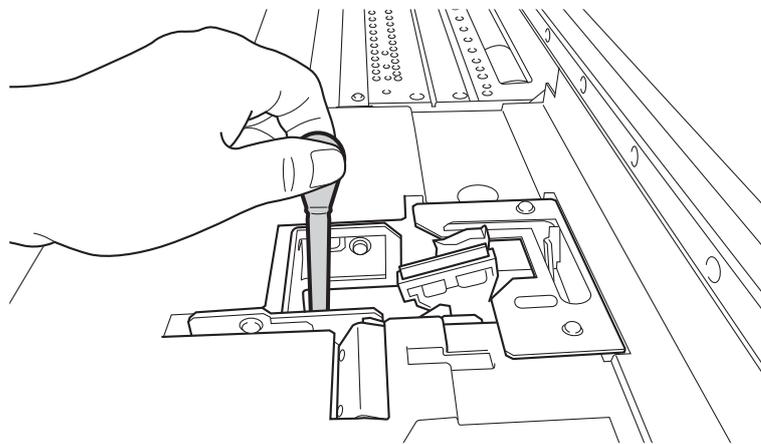
```
クリーニング◀ シテイマス...
>> 01:45
```

```
クリーニング◀▶
マニュアル↓
```

5. カバー R を開ける。



6. ワイパー下の受け皿に溜まったインクを、市販のスポイトで吸い取る。



7. カバー R を閉じる。

8. [ENTER] を押す。

以下の画面が表示され、クリーニングを開始します。画面には、この工程の残り時間（目安）が表示されます。（以下の表示は例です。[01:45] の表示は「1 分 45 秒」を意味します。

```

クリーニング システム...
>>                01:45
    
```

クリーニングが終了すると、以下の画面に戻ります。

```

クリーニング          ◀▶
マニュアル            ↵
    
```

9. 廃液ボトルを取り外す。

10. スポイトに吸い取った廃液を廃液ボトルの中に入れ、廃液ボトルをボトルスタンドに戻す。

Step 4: 廃液を捨てる

手順

1. 廃液ボトルを取り外し、廃液を捨てて空にする。



重要

廃液ボトルを取り外すと、本体から廃液が数滴出てくる場合があります。手についたり、床を汚したりしないようご注意ください。

警告

廃液やインクを火気の近くに置かない。
火災の原因になります。

注意

廃液を一時的に保管するには、付属の廃液ボトル、金属缶やポリタンクなどの丈夫な密閉容器に入れ、ふたをきちんと閉じること。

こぼれたり蒸気がもれたりすると、火災につながったり臭いで気分が悪くなったりすることがあります。

重要

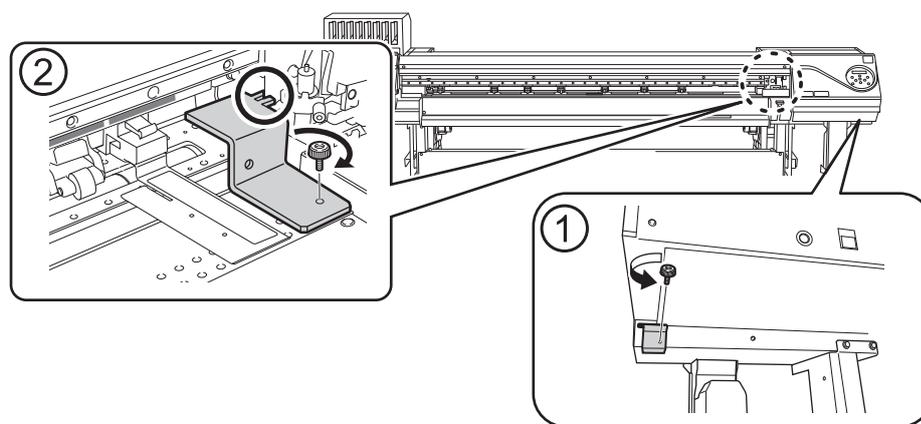
廃液は、地域の条例に従い、適切な方法で処理してください。

廃液には引火性があり、有害な成分も含まれています。廃液を焼却したり、一般のゴミと一緒に廃棄したりしないでください。また、下水や河川に流さないでください。環境に影響を及ぼす恐れがあります。

2. 空にした廃液ボトルを速やかに再び取り付ける。

Step 5: プリントヘッドを固定具で固定する**手順**

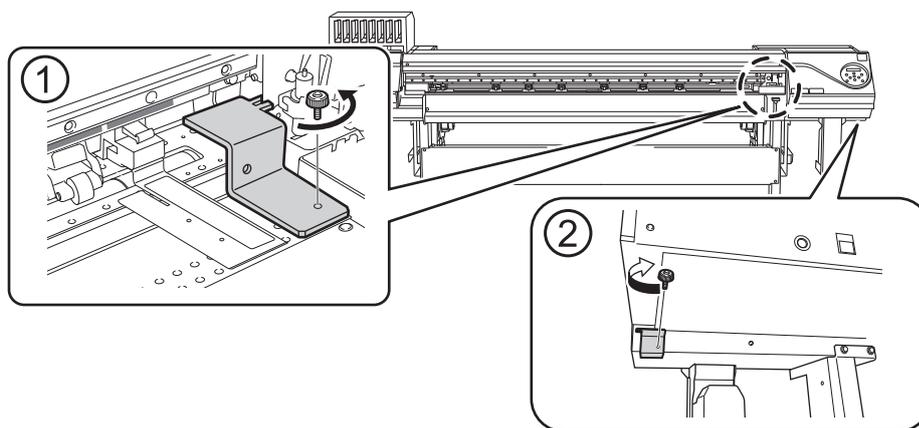
1. サブ電源をオフにする。
2. メイン電源をオフにする。
3. メディアクランプを取り付ける。
4. プリントヘッドを固定具で固定する。
固定具は、本機設置時に底面に取り付けておいたものを使用します。



Step 6: 再設置する

手順

1. 準備ができたなら、時間をおかずすぐに移送する。
2. すぐに設置し直し、プリントヘッドを固定した固定具を取り外す。
保管のため、固定具は図の位置に取り付けてください。



3. メイン電源をオンにする。

重要

プリントヘッドの故障などを避けるために、なるべく時間をおかずに移送を完了し、移送後はすぐにメイン電源をオンにしてください。再設置は、セットアップガイドの手順に従ってください。

4. サブ電源をオンにする。
5. 移送前に取り外したカッターを取り付ける。

関連情報

- P. 30 メディアのセットアップ
- P. 285 カッターの交換

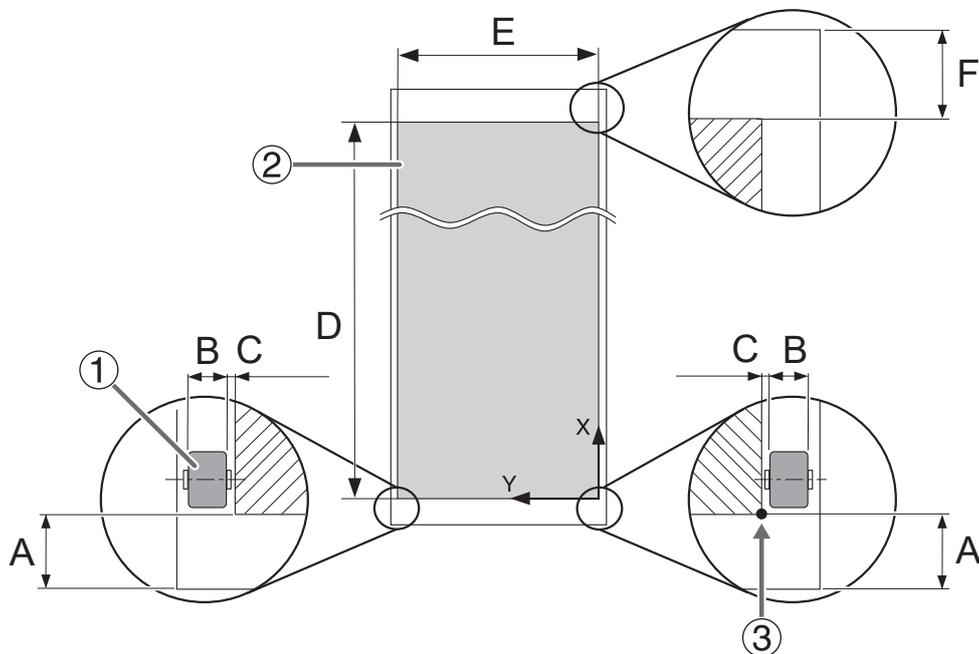
主な仕様

印刷／カッティング領域	340
最大領域.....	340
クロップマーク使用時の最大印刷領域	341
連続印刷時のメディア切り離し位置	342
カッターについて	343

印刷／カッティング領域

最大領域

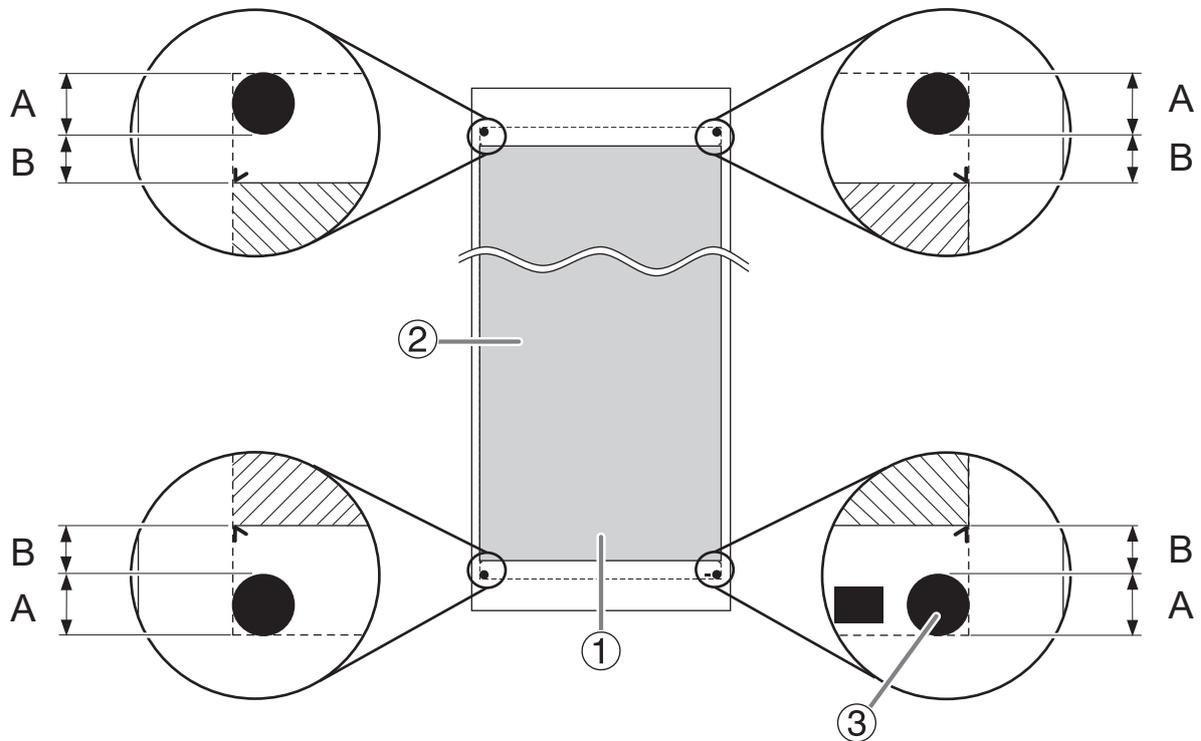
取り付けたメディアの横方向（キャリッジの移動方向）の印刷／カッティング領域は、ピンチローラーの位置で決まります。



①	ピンチローラー
②	印刷またはカッティング領域
③	印刷またはカッティング座標原点
A	75 mm
B	10 mm
C	1.5 mm
D	最大 24,998 mm
E	64 インチモデル：最大 1,600 mm 30 インチモデル：最大 736 mm
F	105 mm

クロップマーク使用時の最大印刷領域

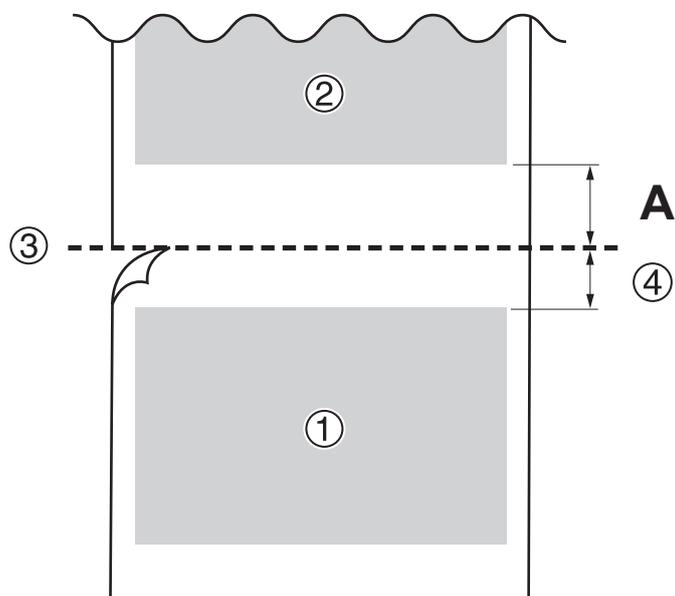
クロップマークを使用する場合の最大印刷領域は、クロップマーク未使用時の最大印刷領域よりもクロップマークの分だけ小さくなります。



①	最大印刷領域
②	印刷領域
③	クロップマーク
A	12.5 mm
B	10 mm

連続印刷時のメディア切り離し位置

コンピューターからメディアを切り離す命令を送った場合、メディアの切り離し位置は下図のようになります。



①	1 ページ目
②	2 ページ目
③	切り離し位置
④	余白 (ソフトウェア RIP の値)
A	75 mm

カッターについて

同じカッターを使っても、メディアや使用環境によって、カット条件やカッターの寿命は変わってきます。また、カッターの種類によって寿命も違います。おおよその目安は下記のとおりです。

カッター	メディア	カッター圧	カッターオフセット (刃先補正量)	寿命 (目安) *1
ZEC-U5032	サインシート一般	30 ~ 100 gf	0.25 mm	8,000 m
ZEC-U5025	サインシート一般	30 ~ 100 gf	0.25 mm	4,000 m
	蛍光シート	120 ~ 200 gf	0.25 mm	4,000 m
	反射シート	100 ~ 200 gf	0.25 mm	4,000 m

*1 「寿命」は、同一種類のメディアをカットした場合の目安です

カッター圧をこの表に示したものより 50~60 gf 以上高くしても切り残しができる場合はカッターを交換してください。

Memo

この文書について 345

この文書について

本書は MG-640/300 共通のユーザーズマニュアルです。機種を区別する必要がある場合、本書内では各機種を次のように表記しています。

- MG-640 : 64 インチモデル
- MG-300 : 30 インチモデル

本書内のイラストはおもに MG-640 のものを使用しています。

